

# 現場説明事項

工事名称 市立小・中学校屋内運動場空調設備設置工事 その1（ゼロ債務）

担当部署 総務部 営繕課

## 「説明事項」

### 1. 工事目的

本工事は、 屋内運動場へ空調設備の設置工事を行う。

### 2. 工事概要

特記仕様書、設計図書による。

### 3. 工事範囲

本工事は目的上必要と思われる、仮設材、安全措置（ガードフェンス・バリケード等）も本工事に含む。

### 4. 特記事項

- 1) 契約後速やかに、設計図製本3部（見開きA3版）を提出すること。
- 2) 関係各署への申請や届出は、提出期限を厳守すること。
- 3) 仮設については、学校・学校関係者に十分配慮し安全を確保すること。また、現場事務所については、学校と協議し設置し、定例会議を開催できるスペースを含むこと。
- 4) 工事中の騒音・振動等の防止に努めると共に指定場所以外に車両等を駐車しないこと。
- 5) 工事搬入口付近の道路について清掃等を行うこと。
- 6) 各学校の学校環境を考え、安全面などを十分に考慮し工事を進行すること。また、児童、生徒の授業等に支障となる騒音、振動、異臭等が伴う工事は、原則、学校休業日に行うこと。
- 7) 現場施工期間は令和4年5月20日から令和4年11月30日とし詳細は、別紙の計画工程表による。ただし、各学校の工事開始日は、学校と協議の上、決定する。
- 8) 施工にあたっての調査・準備は学校、監督員と協議の上、施工期間前に可能とする。
- 9) 各施工期間内に現場使用前検査を受け、引き渡しをすること。
- 10) 例年同様の降雨日数での工期延長は認めない。ただし、発注者が認めた場合はこの限りではない。
- 11) 工事期間中に避難所を開設するような災害等が発生した場合は、工事を中断し避難所としてのスペースを確保すること。
- 12) ホルムアルデヒド等の有害化学物質の発生材は、SDS（安全データシート）を確認した上で監督員に提出し、厚生労働省及び文部科学省の室内濃度指針値以下に抑えること。
- 13) 竣工図の原図は、監督員と協議の上、CADデータから作成すること。
- 14) 提出書類については、富士見市様式にて遅滞無く提出すること。

計 画 工 程 表

市立小・中学校屋内運動場空調設備設置工事 その1(ゼロ債務)

工 事 場 所	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
総 括	契約		機器承認・製作								竣工検査	
水 谷 小 学 校				5/20	施工期間							
勝 瀬 小 学 校						7/20	施工期間			使用前検査		
富 士 見 台 中 学 校								9/20	施工期間		使用前検査	11/30
備考	※調査(内部・外部共)は、施設と協議の上、施工期間前に可能とする。 ※現場工事開始は、各学校共標記による。 ※騒音を伴う工事については、学校と協議の上計画する。											

参考資料

# 設 計 仕 様 書

工事名称 市立小・中学校屋内運動場空調設備設置工事 その1(ゼロ債務)

工事場所 富士見市 水谷1丁目 地内 外2施設

積算書は、本工事の積算をする際の参考として提示するものです。入札の際には、設計図書に従い積算をして下さい。なお、参考積算書への質問に関しましては回答できませんのでご了承願います。

工事名称 市立小・中学校屋内運動場空調設備設置工事 その1(ゼロ債務)									
請負工事費									
工事概要 屋内運動場への空調設備の設置 空調設備の設置に伴うガス設備工事 空調設備の設置に伴う建築工事 空調設備の設置に伴う電気設備工事									
総括				表				上段	設計変更
				水谷小	勝瀬小	富士見台中	その1合計	下段	原設計
名称	数量	単位	金額	金額	金額	金額	金額	備考	備考
直接工事費									
建築工事	1	式							
電気設備工事	1	式							
機械設備工事	1	式							
計	1	式							
共通仮設費	1	式							
純工事費									
現場経費	1	式							
工事原価									
一般管理費	1	式							
工事価格									スクラップ控除前 スクラップ控除
改め									
消費税相当額	1	式							10%
請負工事費									

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

水谷小学校

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
工事共通仮設費						
準備費	予備調査、敷地整理、その他に要する費用	1.0	式			
	倉庫、下小屋、作業員施設等の費用	1.0	式			
工事施設費	場内通信設備等の工事用施設に要する費用	1.0	式			
	安全標識、消火設備等の施設の設置隣接物の養生等に要する費用	1.0	式			
動力用水光熱費	工事用電気設備及び工事用給排水設備とその料金に要する費用	支給				(共通仮設費率) + (積上げ)
	屋外跡片付け、屋外発生材の処分等の整理清掃に要する費用	1.0	式			
機械器具費	測量機器及び雑機械器具に要する費用	1.0	式			
	材料試験等に要する費用	1.0	式			
計						

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

水谷小学校

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
共通仮設積上げ						
仮囲い	ガードフェンス H=1800	67.00	m			
仮設材運搬		67.00	m			
仮設鉄板敷		254.00	㎡			
仮設鉄板運搬		254.00	㎡			
整地		254.00	㎡			
電気主任技術者立会費用		1.00	日			
高所作業車		1.00	台			
計						

# 積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

水谷小学校

名 称	摘 要	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
	直接工事費					
A	建築工事	1.00	式			
B	電気設備工事	1.00	式			
C	機械設備工事	1.00	式			
	計					

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

水谷小学校

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
A	建築工事												
1	直接仮設工事			1.00		式							
2	土工事			1.00		式							
3	コンクリート工事			1.00		式							
4	鉄筋工事			1.00		式							
5	内装工事			1.00		式							
6	外構工事			1.00		式							
7	撤去工事			1.00		式							
	計												

# 積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

水谷小学校

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	直接仮設工事					
	遣り方	小規模	19.20	m <sup>2</sup>		
	枠組本足場	建枠600	232.60	m <sup>2</sup>		
	簡易型移動式足場	H=7.00~9.00 541.50m <sup>2</sup>	541.50	m <sup>2</sup>		
	脚立足場		70.60	m <sup>2</sup>		
	養生	複合改修	550.50	m <sup>2</sup>		
	清掃片付け	複合改修	679.60	m <sup>2</sup>		
	仮設材運搬		1.00	式		別紙明細1
	墜落制止用器具費		1.00	式		
	小計					

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

水谷小学校

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
2	土工事												
	布堀	人力		0.40		m <sup>3</sup>							
	つぼ堀	人力		0.30		m <sup>3</sup>							
	埋戻し	人力		0.20		m <sup>3</sup>							
	残土処分	場外処分	運搬共	1.00		式						別紙明細2	
	碎石			2.50		m <sup>3</sup>							
	小計												

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

水谷小学校

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
3	コンクリート工事												
	コンクリート	Fc=21		3.10		m <sup>3</sup>							
	コンクリート打設手間	基礎	人力 小型構造物	1.50		m <sup>3</sup>							
		土間	人力	1.60		m <sup>3</sup>							
	コンクリート金罫			19.20		m <sup>2</sup>							
	型枠	普通	小型構造物	6.70		m <sup>2</sup>							
	型枠運搬			6.70		m <sup>2</sup>							
	小計												

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

水谷小学校

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
4	鉄筋工事												
	異形鉄筋	SD295	D10	71.00		kg							
	鉄筋加工組立	小型構造物		71.00		kg							
	鉄筋運搬	4 t		71.00		kg							
	溶接金網	Φ6-150×150		12.90		m <sup>2</sup>							
	小計												

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

水谷小学校

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
5	内装工事												
	有孔合板	壁	t=6	39.80		m <sup>2</sup>							
	合成樹脂調合ペイント	木部	工程B種 素地B種	39.80		m <sup>2</sup>							
	床下点検口	鍵付き	600角 アルミ製目地枠	2.00		個所							
	エキスパンコム	W=20		4.80		m							
	フローリング	t=12		0.80		m <sup>2</sup>							
	サンダー掛け			0.80		m <sup>2</sup>							
	ウレタン樹脂ワニス	B種		0.80		m <sup>2</sup>							
	小計												

# 積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

水谷小学校

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
6	外構工事												
	アスファルト舗装	A-5-10	密粒	27.40		m <sup>2</sup>							
	舗装直接仮設		養生、清掃等	27.40		m <sup>2</sup>							
	舗装機械運搬		4 t	1.00		式							
	スチールメッシュフェンス	H=1500	施工共	8.80		m							
	片開き門扉	H=1500		1.00		組							
	同上施工費			1.00		個所							
	汚水樹	樹脂製 Φ150-100	鋳鉄蓋	1.00		組							
		蝶番ロック式	45Y										
	雨水樹	樹脂製 Φ200-150	樹脂蓋	1.00		組							
		45Y											
	小計												

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

水谷小学校

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
7	撤去工事												
	有孔合板	壁	t=6	39.80		m <sup>2</sup>							
	フローリング	床	t=12	1.00		m <sup>2</sup>							
	下地合板	床	t=12	1.00		m <sup>2</sup>							
	土間コンクリート			2.40		m <sup>3</sup>							
	碎石			2.40		m <sup>3</sup>							
	アスファルト舗装			1.80		m <sup>3</sup>							
	舗装路盤			3.50		m <sup>3</sup>							
	開閉器		3P100AF/100AT	1.00		個							
	コンクリートカッター入れ		乾式	2.00		m							
	アスファルトカッター入れ		乾式	33.50		m							

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

水谷小学校

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
汚水枡	450角	1.00	個所			
雨水枡	600角	1.00	個所			
発生材運搬	解体系混合廃棄物	2.00	台			
	コンクリート類	2.00	台			
	アスファルト類	2.00	台			
発生材処分	解体系混合廃棄物	7.10	m <sup>3</sup>			
	コンクリート類	2.40	m <sup>3</sup>			
	アスファルト類	1.80	m <sup>3</sup>			
小計						



# 積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

水谷小学校

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	幹線設備工事					
	トリプ <sup>レ</sup> ックス形絶縁シースケーブル	EM-CET 38 管内	41.00	m		
		EM-CET 38 FEP内	70.30	m		
		EM-CET 38	4.80	m		
	600V絶縁シースケーブル	EM-CE 2-3C 管内	73.50	m		
		EM-CE 2-3C FEP内	9.30	m		
		EM-CE 2-3C	1.10	m		
		EM-CE 3.5-3C 管内	251.10	m		
		EM-CE 3.5-3C FEP内	9.30	m		
		EM-CE 5.5-4C 管内	2.40	m		
		EM-CE 5.5-4C FEP内	2.40	m		

# 積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

水谷小学校

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
制御用絶縁シースケーブル	EM-CEE 1.25-2C 管内	2.10	m			
	EM-CEE 1.25-2C FEP内	8.00	m			
600V絶縁電線	EM-IE 5.5 管内	5.30	m			
	EM-IE 5.5 FEP内	70.20	m			
	EM-IE 2.0 管内	2.10	m			
	E(51) 隠蔽	22.60	m			
ポリエチレンライニング鋼管	PE(16)	11.90	m			
	PE(22)	23.50	m			
	PE(28)	21.20	m			
	PE(36)	64.90	m			
	PE(42)	14.00	m			

# 積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

水谷小学校

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
波付硬質合成樹脂管	FEP(30)	30.70	m			
	FEP(40)	2.40	m			
硬質ビニル電線管	FEP(50)	66.20	m			
	VE(16) 露出	2.10	m			
プルボックス	露出形 (SUS) 防水 100角×100	1.00	個			
	露出形 (SUS) 防水 150角×100	2.00	個			
	露出形 (SUS) 防水 200角×100	1.00	個			
	露出形 (SUS) 防水 250角×200	5.00	個			
	露出形 (SUS) 防水 300角×200	5.00	個			
機械はつり	Φ25 RC t=140	8.00	個所			
	Φ50 RC t=140	2.00	個所			

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

水谷小学校

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
空調機盤	3PELB50AF×2	1.00	面			
接地工事	棒鋼打込み D10 L=1.0	1.00	個所			
開閉器	MCB 3P 50AF/30AT	1.00	個			
土工事	根切り 機械 0.13m <sup>3</sup>	22.70	m <sup>3</sup>			
	埋戻し 機械 0.13m <sup>3</sup>	22.70	m <sup>3</sup>			
土工機械運搬		1.00	式			
埋設標識シート	2倍長 W=150	63.10	m			
小計						

# 積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

水谷小学校

名	称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	電灯設備工事						
	600V絶縁電線	EM-IE 1.6 管内	174.70	m			
		EM-IE 2.0 管内	158.20	m			
		EM-IE 2.0 FEP内	25.10	m			
	着色識別ホリェチレンケーブル	EM-FPCEE0.9-1P 管内	48.10	m			
		EM-FPCEE0.9-2P 管内	14.50	m			
	ねじなし電線管	E(19) 露出 塗装有	100.10	m			
		E(25) 露出 塗装有	36.10	m			
	ホリェチレンライニング鋼管	PE(22)	28.40	m			
	波付硬質合成樹脂管	FEP(30)	6.30	m			

# 積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

水谷小学校

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
プルボックス	露出形 (SUS) 防水 150角×100	3.00	個			
ジャンクションボックス	E19 2方出 塗装共	2.00	個			
	E19 3方出 塗装共	2.00	個			
	E25 1方出 塗装共	1.00	個			
	E25 2方出 塗装共	1.00	個			
	E25 4方出 塗装共	2.00	個			
露出スイッチボックス	2個用 E(25) 塗装有	1.00	個			
調光スイッチ	スライド式×2 金属プレート	1.00	個			
LED照明器具	LSR2W-200 高天井用 400形相当 調光型	6.00	台			
パネル穴明け	Φ25	1.00	個所			
小計						

# 積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

水谷小学校

名	称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	コンセント設備工事						
	600V絶縁電線	EM-IE 2.0 管内	175.70	m			
		EM-IE 2.0 FEP内	25.10	m			
	600V絶縁耐燃性ケーブル	EM-EEF 2.0-2C MMA内	2.20	m			
	ねじなし電線管	E(19) 露出 塗装有	87.90	m			
		E(25) 露出 塗装有	0.70	m			
	波付硬質合成樹脂管	FEP(30)	6.30	m			
	メタルモールジング	MMA	2.20	m			
	プルボックス	露出形 (SUS) 防水 200角×100	1.00	個			
	ジャンクションボックス	E25 2方出 塗装共	2.00	個			

# 積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

水谷小学校

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
スイッチボックス	2個用 MMA	1.00	個			
埋込みコンセント+直列ユニット	2P15A×2 CS-7F-RWE					
	金属プレート	1.00	個			
露出コンセント	2P15A×1 ET付	1.00	個			
フロアーコンセント	2P15A×2	4.00	個			
機械はつり	Φ25 RC t=140	1.00	個所			
小計						

# 積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

水谷小学校

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4	弱電設備工事					
	同軸ケーブル	S-5C-FB 露出	5.50	m		
		S-5C-FB MMA内	8.80	m		
	メタルモールジング	MMA	42.90	m		
		MMB	43.60	m		
	ジャンクションボックス	MMA	1.00	個		
	UHFアンテナ	AU-1 20素子	1.00	組		
	アンテナマスト	H=2.0 壁	1.00	基		
	機器収納箱	TV-T1	1.00	個		
	増幅器		1.00	個		

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

水谷小学校

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
防雨入線カバー		1.00	個			
リモコン収納箱	鋼板製 露出形	1.00	個			
	500×800×100					
機械はつり	Φ25 RC t=160	1.00	個所			
小計						

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

水谷小学校

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
C	機械設備工事												
1	空調設備工事			1.00		式							
2	ガス設備工事			1.00		式							
	計												

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

水谷小学校

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
1	空調設備工事												
	冷媒用被覆銅管	ガス管	15.88	37.10		m							
		ガス管	22.22	20.30		m							
		ガス管	28.58	35.50		m							
		液管	9.52	57.40		m							
		液管	12.7	5.10		m							
		液管	15.88	30.50		m							
	保温	屋外	ガルバリウム	72.10		m							
		床下	アルミガラスクロス	20.80		m							
	防虫網	25A		8.00		個							

# 積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

水谷小学校

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
炭素鋼鋼管	SGP25 露出	27.30	m			
同上塗装工事	25A	27.30	m			
分岐配管セット		6.00	組			
室内外操作線	EM-CEE 2.0-2C	92.80	m			
リモコンケーブル	EM-CEE 1.25-2C	212.50	m			
室外機 GHP-1	冷房56.0kW 暖房63.0kW					
	床置き、電源自立型、防振ゴム、SUS7ヶ-	1.00	台			
同上施工費		1.00	台			
室外機 GHP-2	冷房56.0kW 暖房63.0kW					
	床置き、発電機搭載型、防振ゴム、SUS7ヶ-	1.00	台			
同上施工費		1.00	台			
室内機	冷房14.0kW 暖房16.0kW					
	天吊り形	8.00	台			
同上施工費		8.00	台			

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

水谷小学校

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
電源切替盤	2台用 トランス共	1.00	台			
同上施工費		1.00	台			
自立スイッチ		1.00	台			
同上施工費		1.00	台			
ワイヤードリモコン		8.00	個			
同上施工費		8.00	個			
室内機ガード	ブラケット共	8.00	個			
同上施工費		8.00	個			

# 積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

水谷小学校

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
機械はつり	Φ125 RC t=140	8.00	個所			
	Φ175 RC t=140	2.00	個所			
機器搬入費	揚重機含む					
	GHP-1, 2, 電源切替盤	1.00	式			
小計						

## 積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

水谷小学校

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	ガス設備工事					
	外面被覆鋼管					
	カー-SGP50A 架空	17.00	m			
	カー-SGP20A 架空	2.80	m			
	PE50A 土中	34.00	m			
	PE25A 土中	2.60	m			
	PE20A 土中	4.00	m			
	CDフレキシブル管					
	15A 隠蔽	23.70	m			
	25A 隠蔽	7.20	m			
	ガス強化ホース					
	20A L=700	2.00	個			

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

水谷小学校

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ボールバルブ	50A	1.00	個			
	25A	1.00	個			
ガスコンセント	20A	2.00	個			
	15A 床埋込 ボックス共	2.00	個			
配管分岐	50A	1.00	個所			
配管支持金具	SUS	1.00	式			
機械はつり	Φ50 RCt=140	1.00	個所			
土工事	根切り 人力	10.80	m <sup>3</sup>			
	埋戻し 人力	10.80	m <sup>3</sup>			
埋設標識	鉄	2.00	個			
	コンクリート	4.00	個			

# 積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

水谷小学校

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
バルク廻り改修						
温水循環式VP	50kg/h	1.00	個			
二段一次調整器		2.00	個			
二段二次調整器		1.00	個			
ガス放出防止器		1.00	個			
ボールバルブ	15A	1.00	個			
エンドバルブ	32A	1.00	個			
圧力計	0.4MPa	1.00	個			
気液切替弁		1.00	個			
流量カット弁		1.00	個			
液用ガス放出防止器		1.00	個			

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

水谷小学校

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
高圧ホース	15A	1.00	個			
ユニオンバルブ	32A	1.00	個			
配管ユニット部材		1.00	式			
システム組み換え費	取付及び撤去、処分	1.00	式			
小計						

# 単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原設計

水谷小学校

別紙明細1			1式当たり	
仮設材運搬				

当たり														
名	称	摘	要・規	格	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
	枠組本足場		建枠600		232.60		m <sup>2</sup>							
	簡易型移動式足場				541.50		m <sup>2</sup>							
	脚立足場				70.60		m <sup>2</sup>							
	計													

# 単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原設計

水谷小学校

別紙明細2			1式当たり	
残土処分				

当たり						
名 称	摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
処分場受入		0.40	m <sup>3</sup>			
発生土運搬	2t 人力積込 11km	0.40	m <sup>3</sup>			
計						

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

勝瀬小学校

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
工事共通仮設費						
準備費	予備調査、敷地整理、その他に要する費用	1.0	式			
	倉庫、下小屋、作業員施設等の費用	1.0	式			
工事施設費	場内通信設備等の工事用施設に要する費用	1.0	式			
	安全標識、消火設備等の施設の設置隣接物の養生等に要する費用	1.0	式			
動力用水光熱費	工事用電気設備及び工事用給排水設備とその料金に要する費用	支給				(共通仮設費率) + (積上げ)
	屋外跡片付け、屋外発生材の処分等の整理清掃に要する費用	1.0	式			
機械器具費	測量機器及び雑機械器具に要する費用	1.0	式			
	材料試験等に要する費用	1.0	式			
その他						
計						

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

勝瀬小学校

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
共通仮設積上げ						
仮囲い	ガードフェンス H=1800	91.20	m			
仮設材運搬		91.20	m			
仮設鉄板敷		220.40	㎡			
仮設鉄板運搬		220.40	㎡			
整地		220.40	㎡			
電気主任技術者立会費用		1.00	日			
計						

# 積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

勝瀬小学校

名	称	摘 要	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
	直接工事費						
A	建築工事		1.00	式			
B	電気設備工事		1.00	式			
C	機械設備工事		1.00	式			
	計						

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

勝瀬小学校

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
A	建築工事												
1	直接仮設工事			1.00		式							
2	土工事			1.00		式							
3	コンクリート工事			1.00		式							
4	鉄筋工事			1.00		式							
5	内装工事			1.00		式							
6	外構工事			1.00		式							
7	撤去工事			1.00		式							
	計												

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

勝瀬小学校

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
1	直接仮設工事												
	遣り方	小規模		16.50		m <sup>2</sup>							
	枠組本足場	建枠600		508.00		m <sup>2</sup>							
	簡易型移動式足場	H=9.5~9.7	600.00m <sup>2</sup>	600.00		m <sup>2</sup>							
	脚立足場			63.30		m <sup>2</sup>							
	落下防止ネット	防災1類		30.60		m <sup>2</sup>							
	養生	複合改修		645.80		m <sup>2</sup>							
	清掃片付け	複合改修		840.80		m <sup>2</sup>							
	仮設材運搬			1.00		式							別紙明細1
	墜落制止用器具費			1.00		式							
	小計												

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

勝瀬小学校

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
2	土工事												
	鋤取り	人力		0.90		m <sup>3</sup>							
	つぼ堀	人力		0.20		m <sup>3</sup>							
	埋戻し	人力		0.10		m <sup>3</sup>							
	残土処分	場外搬出	運搬共	1.00		式						別紙明細2	
	砕石			1.80		m <sup>3</sup>							
	松丸太杭	末口120	L=1200	8.00		本							
	杭打ち機械	バックホウ、	ブレーカー等	1.00		式						別紙明細3	
	小計												

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

勝瀬小学校

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
3	コンクリート工事												
	コンクリート	Fc=21		2.70		m <sup>3</sup>							
	コンクリート打設手間	基礎	人力 小型構造物	1.50		m <sup>3</sup>							
		土間	人力	1.20		m <sup>3</sup>							
	コンクリート金罫			17.50		m <sup>2</sup>							
	型枠	普通	小型構造物	4.10		m <sup>2</sup>							
	型枠運搬			4.10		m <sup>2</sup>							
	小計												

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

勝瀬小学校

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
4	鉄筋工事												
	異形鉄筋	SD295	D10	69.00		kg							
	鉄筋加工組立	小型	構造物	69.00		kg							
	鉄筋運搬	4	t	69.00		kg							
	溶接金網	Φ6-150	×150	12.20		m <sup>2</sup>							
	小計												

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

勝瀬小学校

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
5	内装工事												
	防護バット脱着	t=50	H=1800	4.00		個所							
	小計												

# 積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

勝瀬小学校

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
6 外構工事						
アスファルト舗装	A-5-10 密粒	37.80	㎡			
舗装直接仮設	養生、清掃等	37.80	㎡			
舗装機械運搬	4 t	1.00	式			
スチールメッシュフェンス	H=1500 施工共	9.70	m			
片開き門扉	H=1500	1.00	組			
同上施工費		1.00	個所			
小計						

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

勝瀬小学校

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
7	撤去工事												
	アスファルト舗装			2.80		m <sup>3</sup>							
	舗装路盤			5.60		m <sup>3</sup>							
	アスファルトカッター入れ	乾式		63.60		m							
	発生材運搬	解体系混合廃棄物		3.00		台							
		アスファルト類		2.00		台							
	発生材処分	解体系混合廃棄物		5.90		m <sup>3</sup>							
		アスファルト類		2.80		m <sup>3</sup>							
	小計												



# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

勝瀬小学校

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
1	幹線設備工事												
	トリプлекс形絶縁シースケーブル	EM-CET 22	管内	1.80		m							
		EM-CET 22	FEP内	39.50		m							
		EM-CET 22		3.30		m							
	600V絶縁シースケーブル	EM-CE 2-3C	管内	183.90		m							
		EM-CE 2-3C	FEP内	15.90		m							
		EM-CE 3.5-3C	管内	118.70		m							
		EM-CE 3.5-3C	FEP内	5.30		m							
		EM-CE 5.5-4C	管内	6.40		m							
		EM-CE 5.5-4C	FEP内	3.70		m							

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

勝瀬小学校

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
制御用絶縁シースケーブル	EM-CEE 1.25-2C 管内	4.30	m			
	EM-CEE 1.25-2C FEP内	4.80	m			
600V絶縁電線	EM-IE 5.5 管内	4.20	m			
	EM-IE 5.5 FEP内	9.40	m			
	EM-IE 2.0 管内	2.10	m			
ねじなし電線管	E(19) 露出 塗装有	12.70	m			
	E(25) 露出 塗装有	18.60	m			
	E(31) 露出 塗装有	16.00	m			
	E(39) 露出 塗装有	15.60	m			
	E(51) 隠蔽	33.60	m			

# 積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

勝瀬小学校

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ポリエチレンライニング鋼管	PE(22)	14.80	m			
	PE(28)	1.80	m			
	PE(36)	4.40	m			
	PE(42)	4.40	m			
波付硬質合成樹脂管	FEP(30)	20.50	m			
	FEP(50)	42.20	m			
硬質ビニル電線管	VE(16)	2.10	m			
プルボックス	露出形 (SUS) 防水 300角×200	1.00	個			
	露出形 (SS) 350角×200 塗装	2.00	個			

# 積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

勝瀬小学校

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ジャンクションボックス	E31 2方出 塗装共	2.00	個			
	E39 3方出 塗装共	1.00	個			
	E51 2方出 塗装共	4.00	個			
	E51 3方出 塗装共	4.00	個			
パネル穴明け	Φ25	1.00	個所			
空調機盤	3PELB50AF ×2	1.00	面			
接地工事	銅棒打込み D10 L=1.0	1.00	個所			
開閉器	MCB 3P 50AF/30AT	1.00	個			

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

勝瀬小学校

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土工事	根切り 機械 0.28m <sup>3</sup>	12.50	m <sup>3</sup>			
	根切り 人力	0.90	m <sup>3</sup>			
	埋戻し 機械 0.28m <sup>3</sup>	12.50	m <sup>3</sup>			
	埋戻し 人力	0.90	m <sup>3</sup>			
土工機械運搬		1.00	式			
埋設標識シート	2倍長 W=150	30.70	m			
小計						

# 積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

勝瀬小学校

名	称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	電灯設備工事						
	600V絶縁電線	EM-IE 1.6 管内	242.90	m			
		EM-IE 2.0 管内	46.20	m			
		EM-IE 2.0 FEP内	10.20	m			
	着色識別ホリエチレンケーブル	EM-FCPEE0.9-1P 管内	33.00	m			
		EM-FCPEE0.9-2P 管内	44.30	m			
	ねじなし電線管	E(19) 露出 塗装有	110.30	m			
		E(25) 露出 塗装有	51.40	m			
	ホリエチレンライニング鋼管	PE(22)	4.40	m			
	波付硬質合成樹脂管	FEP(30)	2.60	m			
	プルボックス	露出形 (SUS) 防水 150角×100	1.00	個			

# 積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

勝瀬小学校

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
プルボックス	露出形 (SUS) 防水 200角×100	1.00	個			
露出スイッチボックス	2個用 E(25) 塗装有	1.00	個			
調光スイッチ	ｽﾗｲﾄﾞ式×2 金属ﾌﾟﾚｰﾄ	1.00	個			
LED照明器具	LSR2W-200					
	高天井用 400形相当 調光型	6.00	台			
ジャンクションボックス	E19 2方出 塗装共	3.00	個			
	E25 1方出 塗装共	2.00	個			
	E25 2方出 塗装共	2.00	個			
	E25 3方出 塗装共	6.00	個			
パネル穴明け	Φ25	1.00	個所			
機械はつり	Φ25 CB t=100	1.00	個所			
小計						

## 積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

勝瀬小学校

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	コンセント設備工事					
	600V絶縁電線	EM-IE 2.0 管内	166.80	m		
		EM-IE 2.0 FEP内	8.00	m		
	600V絶縁耐燃性ケーブル	EM-EEF 2.0-2C MMA内	27.20	m		
	ねじなし電線管	E(19) 露出 塗装有	72.10	m		
		E(25) 露出 塗装有	1.30	m		
	ポリエチレンライニング鋼管	PE(22)	4.40	m		
	波付硬質合成樹脂管	FEP(30)	2.00	m		
	メタルモールジング	MMA	27.20	m		
	ジャンクションボックス	MMA	1.00	個		

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

勝瀬小学校

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
プルボックス	露出形 (SUS) 防水 150角×100	1.00	個			
プルボックス	露出形 (SUS) 防水 200角×100	1.00	個			
ジャンクションボックス	E19 2方出 塗装共	2.00	個			
	E19 3方出 塗装共	2.00	個			
	E25 3方出 塗装共	4.00	個			
露出スイッチボックス	1 個用 E(19) 塗装有	4.00	個			
	2 個用 MMA	1.00	個			
埋込みコンセント+直列ユニット	2P15A×2 CS-7F-RWE 金属プレート	1.00	個			
露出コンセント	2P15A×1 ET付	1.00	個			
パネル穴明け	Φ25	1.00	個所			
小計						

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

勝瀬小学校

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
4	弱電設備工事												
	同軸ケーブル	S-5C-FB	露出	3.30		m							
		S-5C-FB	MMA内	17.30		m							
	メタルモールジング	MMA		17.30		m							
		MMB		4.20		m							
	ジャンクションボックス	MMA		1.00		個							
		MMB		2.00		個							
	ねじなし電線管	E(19)	露出 塗装有	40.20		m							
		E(25)	露出 塗装有	47.30		m							

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

勝瀬小学校

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ジャンクションボックス	E19 1方出 塗装共	2.00	個			
	E19 3方出 塗装共	2.00	個			
	E25 2方出 塗装共	1.00	個			
	E25 3方出 塗装共	4.00	個			
UHFアンテナ	AU-1 20素子	1.00	組			
アンテナマスト	H=2.0 壁	1.00	基			
同上取付金物		1.00	個			
機器収納箱	TV-T1	1.00	個			
増幅器		1.00	個			
防雨入線カバー		1.00	個			
リモコン収納箱	鋼板製 露出形					
	500×800×100	1.00	個			

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

勝瀬小学校

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
	パネル穴明け	Φ25		1.00		個	所						
	機械はつり	Φ25	CB t=100	2.00		個	所						
	小計												

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

勝瀬小学校

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
C	機械設備工事												
1	空調設備工事			1.00		式							
2	ガス設備工事			1.00		式							
	計												

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

勝瀬小学校

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
1	空調設備工事												
	冷媒用被覆銅管	ガス管	15.88	34.10		m							
		ガス管	22.22	15.40		m							
		ガス管	28.58	69.00		m							
		液管	9.52	49.50		m							
		液管	12.7	16.50		m							
		液管	15.88	52.50		m							
	保温工事	屋外	ガルバリウム	118.50		m							
	炭素鋼鋼管	SGP25	露出	35.20		m							
	同上塗装工事	25A		35.20		m							

# 積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

勝瀬小学校

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
防虫網	25A	8.00	個			
分岐配管セット		6.00	組			
室内外操作線	EM-CEE 2.0-2C	118.40	m			
リモコンケーブル	EM-CEE 1.25-2C	245.90	m			
室外機 GHP-1	冷房56.0kW 暖房63.0kW					
	床置き、電源自立型、防振ゴム、SUSアンカー	1.00	台			
同上施工費		1.00	台			
室外機 GHP-2	冷房56.0kW 暖房63.0kW					
	床置き、発電機搭載型、防振ゴム、SUSアンカー	1.00	台			
同上施工費		1.00	台			
室内機	冷房14.0kW 暖房16.0kW					
	天吊り形	8.00	台			
同上施工費		8.00	台			

# 積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

勝瀬小学校

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
電源切替盤	2台用 トランス共	1.00	台			
同上施工費		1.00	台			
自立スイッチ		1.00	台			
同上施工費		1.00	台			
ワイヤードリモコン		8.00	個			
同上施工費		8.00	個			
室内機ガード	ブラケット共	8.00	個			
同上施工費		8.00	個			
機械はつり	Φ25 CB t=100	1.00	個所			
機器搬入費	揚重機含む GHP-1, 2, 電源切替盤	1.00	式			

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

勝瀬小学校

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
	パネル穴明け	Φ125		8.00		個	所						
		Φ50		8.00		個	所						
	形鋼支持	壁 W500×H500	亜鉛めっき	59.00		個							
	小計												

## 積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

勝瀬小学校

名	称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	ガス設備工事						
	外面被覆鋼管	カー-SGP50A 架空	32.20	m			
		カー-SGP20A 架空	2.50	m			
		カー-SGP15A 架空	24.60	m			
		PE50A 土中	2.40	m			
		PE20A 土中	3.10	m			
		PE15A 土中	5.00	m			
	ガス強化ホース	20A L=700	2.00	個			
	ボールバルブ	50A	1.00	個			
		20A	2.00	個			
		15A	1.00	個			

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

勝瀬小学校

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ガスコンセント	15A 壁 ホックス型	2.00	個			
配管分岐	50A	2.00	個所			
配管支持金具	SUS	1.00	式			
パネル穴明け	Φ25	2.00	個所			
土工事	根切り 人力	1.50	m <sup>3</sup>			
埋戻し 人力	埋戻し 人力	1.50	m <sup>3</sup>			
埋設標識	鉄	1.00	個			

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

勝瀬小学校

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
バルク廻り改修						
温水循環式VP	50kg/h	1.00	個			
二段一次調整器		2.00	個			
二段二次調整器		1.00	個			
ガス放出防止器		1.00	個			
ボールバルブ	15A	1.00	個			
エンドバルブ	32A	1.00	個			
圧力計	0.4MPa	1.00	個			
気液切替弁		1.00	個			
流量カット弁		1.00	個			
液用ガス放出防止器		1.00	個			

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

勝瀬小学校

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
高圧ホース	1 5 A	1.00	個			
ユニオンバルブ	3 2 A	1.00	個			
配管ユニット部材		1.00	式			
システム組み換え費	取付及び撤去、処分	1.00	式			
小計						

勝瀬小学校

単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原設計

別紙明細1			1式当たり	
仮設材運搬				

当たり														
名	称	摘	要・規	格	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
	枠組本足場		建枠600		508.00		m <sup>2</sup>							
	簡易型移動式足場				600.00		m <sup>2</sup>							
	脚立足場				63.30		m <sup>2</sup>							
	落下防止ネット				30.60		m <sup>2</sup>							
	計													

勝瀬小学校

### 単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原設計

別紙明細2			1式当たり	
残土処分				

当たり														
名	称	摘	要・規	格	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
	処分場受入				1.00		m <sup>3</sup>							
	発生土運搬	2t	人力積込	11km	1.00		m <sup>3</sup>							
	計													

勝瀬小学校

単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原 設計

別紙明細3			1 式当たり	
杭打ち機械				

当 たり						
名 称	摘 要・規 格	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
施工	普通作業員		人			
	その他		式			
機械	バックホウ 0.45m <sup>3</sup>		日			
	大型ブレーカー		日			
計	1 本当たり					
計	8 本	1	式			

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

富士見台中学校

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
工事共通仮設費						
準備費	予備調査、敷地整理、その他に要する費用	1.0	式			
	倉庫、下小屋、作業員施設等の費用	1.0	式			
工事施設費	場内通信設備等の工事用施設に要する費用	1.0	式			
	安全標識、消火設備等の施設の設置隣接物の養生等に要する費用	1.0	式			
動力用水光熱費	工事用電気設備及び工事用給排水設備とその料金に要する費用	支給				(共通仮設費率) + (積上げ)
	屋外跡片付け、屋外発生材の処分等の整理清掃に要する費用	1.0	式			
機械器具費	測量機器及び雑機械器具に要する費用	1.0	式			
	材料試験等に要する費用	1.0	式			
計						

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

富士見台中学校

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
共通仮設積上げ						
仮囲い	ガードフェンス H=1800	310.80	m			
仮設材運搬		310.80	m			
仮設鉄板敷		274.00	㎡			
仮設鉄板運搬		274.00	㎡			
整地		274.00	㎡			
高所作業車		1.00	台			
電気主任技術者立会費用		1.00	日			
計						

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

富士見台中学校

名	称	摘	要	数	量	单	位	单	価	金	額	備	考
	直接工事費												
A	建築工事			1.00		式							
B	電気設備工事			1.00		式							
C	機械設備工事			1.00		式							
	計												

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

富士見台中学校

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
A	建築工事												
1	直接仮設工事			1.00		式							
2	土工事			1.00		式							
3	コンクリート工事			1.00		式							
4	鉄筋工事			1.00		式							
5	内装工事			1.00		式							
6	外構工事			1.00		式							
7	撤去工事			1.00		式							
	計												

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

富士見台中学校

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
1	直接仮設工事												
	遣り方	小規模		25.80		m <sup>2</sup>							
	枠組本足場	建枠600		177.50		m <sup>2</sup>							
	簡易型移動式足場	H=7.8~8.9	660.00m <sup>2</sup>	660.00		m <sup>2</sup>							
	単管本足場			18.00		m <sup>2</sup>							
	脚立足場			88.00		m <sup>2</sup>							
	養生	複合改修		710.30		m <sup>2</sup>							
	清掃片付け	複合改修		837.30		m <sup>2</sup>							
	墜落制止用器具費			1.00		式							
	仮設材運搬費			1.00		式							別紙明細1
	小計												

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

富士見台中学校

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
2	土工事												
	布堀	人力		1.80		m <sup>3</sup>							
	つぼ堀	人力		0.10		m <sup>3</sup>							
	埋戻し	人力		0.60		m <sup>3</sup>							
	残土処分	場外処分	運搬共	1.00		式						別紙明細2	
	碎石			4.40		m <sup>3</sup>							
	小計												

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

富士見台中学校

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
3	コンクリート工事												
	コンクリート	Fc=21		5.50		m <sup>3</sup>							
	コンクリート打設手間	基礎	人力 小型構造物	2.50		m <sup>3</sup>							
		土間	人力	3.00		m <sup>3</sup>							
	コンクリート金罫			28.00		m <sup>2</sup>							
	型枠	普通	小型構造物	9.50		m <sup>2</sup>							
	型枠運搬			9.50		m <sup>2</sup>							
	小計												

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

富士見台中学校

名	称	摘	要	数	量	单	位	单	価	金	額	備	考
4	鉄筋工事												
	異形鉄筋	SD295	D10	108.00		kg							
	鉄筋加工組立	小型	構造物	108.00		kg							
	鉄筋運搬	4	t	108.00		kg							
	溶接金網	Φ6-150	×150	20.10		m <sup>2</sup>							
	小計												

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

富士見台中学校

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
5	内装工事												
	銘木合板	壁	t=18	54.60		m <sup>2</sup>							
	化粧石膏ボード脱着	天井	t=9.5	5.00		m <sup>2</sup>							
	小計												

# 積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

富士見台中学校

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
6	外構工事					
	スチールメッシュフェンス	H=1500 施工共	11.70	m		
	片開き門扉	H=1500	1.00	組		
	同上施工費		1.00	個所		
	小計					

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

富士見台中学校

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
7	撤去工事												
	銘木合板	壁	t=18	54.60		m <sup>2</sup>							
	銘木フローリング	床	t=15	0.20		m <sup>2</sup>							
	下地合板	床	t=15	0.20		m <sup>2</sup>							
	パーティクルボード	床	t=20	0.20		m <sup>2</sup>							
	コンクリート			2.40		m <sup>3</sup>							
	砕石			2.40		m <sup>3</sup>							
	コンクリートカッター入れ	乾式		2.20		m							
	開閉器	3P100AF/100AT		1.00		個							

# 積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

富士見台中学校

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
外面被覆鋼管	SGP80A	0.50	m			
	SGP50A	2.00	m			
	SGP40A	1.30	m			
ポリエチレンライニング鋼管	PE80	137.40	m			
ボールバルブ	80A	1.00	個			
	50A	1.00	個			
	40A	2.00	個			
バルブピット		1.00	個			

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

富士見台中学校

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
発生材運搬	解体系混合廃棄物	3.00	台			
	コンクリート類	2.00	台			
発生材処分	解体系混合廃棄物	4.20	m <sup>3</sup>			
	コンクリート類	2.40	m <sup>3</sup>			
家電リサイクル料金		1.00	台			
小計						



# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

富士見台中学校

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
1	幹線設備工事												
	トリプレックス形絶縁シースケーブル	EM-CET 100	管内	27.90		m							
		EM-CET 100	FEP内	188.40		m							
		EM-CET 100		6.00		m							
	600V絶縁シースケーブル	EM-CE 2-3C	管内	275.70		m							
		EM-CE 2-3C	FEP内	29.70		m							
		EM-CE 2-3C		4.00		m							
		EM-CE 3.5-3C	管内	105.70		m							
		EM-CE 3.5-3C	FEP内	6.60		m							
		EM-CE 3.5-3C		1.00		m							

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

富士見台中学校

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
600V絶縁シースケーブル	EM-CE 5.5-4C 管内	4.20	m			
	EM-CE 5.5-4C FEP内	10.40	m			
制御用絶縁シースケーブル	EM-CEE 1.25-2C 管内	3.50	m			
	EM-CEE 1.25-2C FEP内	4.10	m			
600V絶縁電線	EM-IE 5.5 管内	13.60	m			
	EM-IE 5.5 FEP内	78.00	m			
	EM-IE 2.0 管内	2.10	m			

# 積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

富士見台中学校

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ねじなし電線管	E(19) 露出 塗装有	3.20	m			
	E(25) 露出 塗装有	12.30	m			
	E(31) 露出 塗装有	9.40	m			
	E(39) 露出 塗装有	9.00	m			
	E(51) 隠蔽	25.70	m			
ポリエチレンライニング鋼管	PE(16)	34.60	m			
	PE(22)	18.90	m			
	PE(28)	46.70	m			
	PE(36)	8.50	m			
	PE(42)	2.90	m			
	PE(70)	27.90	m			

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

富士見台中学校

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
波付硬質合成樹脂管	FEP(30)	41.10	m			
	FEP(50)	6.60	m			
	FEP(80)	188.50	m			
硬質ビニル電線管	VE(16) 露出	2.10	m			
プルボックス	露出(SUS) 防水 100角×100	3.00	個			
	露出(SUS) 防水 150角×100	1.00	個			
	露出(SUS) 防水 200角×100	2.00	個			
	露出(SUS) 防水 250角×200	2.00	個			
	露出(SUS) 防水 300角×200	4.00	個			
ジャンクションボックス	E31 2方出 塗装共	1.00	個			
	E51 3方出 塗装共	2.00	個			

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

富士見台中学校

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
	機械はつり	Φ25	RC t=175	7.00		個	所						
		Φ50	RC t=175	2.00		個	所						
	空調機盤	3PELB50AF	×2	1.00		面							
	接地工事	銅棒打込み	D10 L=1.0	1.00		個	所						
	開閉器	MCB3P50AF/30AT		1.00		個							
	土工事	根切り	機械 0.28m <sup>3</sup>	57.20		m <sup>3</sup>							
		根切り	人力	5.90		m <sup>3</sup>							
		埋戻し	機械 0.28m <sup>3</sup>	57.20		m <sup>3</sup>							
		埋戻し	人力	5.90		m <sup>3</sup>							

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

富士見台中学校

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
土工機械運搬		1.00	式			
埋設標識シート	2倍長 W=150	159.30	m			
小計						

## 積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

富士見台中学校

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	電灯設備工事					
	600V絶縁電線					
	EM-IE 1.6 管内	109.40	m			
	EM-IE 2.0 管内	168.60	m			
	EM-IE 2.0 FEP内	27.30	m			
	着色識別ポリエチレンケーブル					
	EM-FPCEE0.9-1P 管内	72.60	m			
	EM-FPCEE0.9-2P 管内	12.50	m			
	ねじなし電線管					
	E(19) 露出 塗装有	114.80	m			
	E(25) 露出 塗装有	51.60	m			
	ポリエチレンライニング鋼管					
	PE(22)	3.10	m			
	波付硬質合成樹脂管					
	FEP(30)	6.90	m			
	プルボックス					
	露出形 (SUS) 防水 150角×100	1.00	個			

# 積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

富士見台中学校

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
プルボックス	露出 (SUS) 防水 200角×100	1.00	個			
ジャンクションボックス	E19 2方出 塗装共	3.00	個			
	E19 3方出 塗装共	1.00	個			
	E25 1方出 塗装共	1.00	個			
	E25 2方出 塗装共	2.00	個			
	E25 3方出 塗装共	4.00	個			
露出スイッチボックス	2個用 E(25) 塗装有	1.00	個			
調光スイッチ	スライド式×2 金属プレート	1.00	個			
LED照明器具	LSR2W-200 高天井用 400形相当 調光型	6.00	台			
機械はつり	Φ25 RC t=175	1.00	個所			
小計						

## 積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

富士見台中学校

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	コンセント設備工事					
	600V絶縁電線	EM-IE 2.0 管内	181.10	m		
		EM-IE 2.0 FEP内	12.40	m		
	600V絶縁耐燃性ケーブル	EM-EEF 2.0-2C MMA内	3.30	m		
	ねじなし電線管	E(19) 露出 塗装有	69.80	m		
		E(25) 露出 塗装有	1.70	m		
	ポリエチレンライニング鋼管	PE(16)	17.50	m		
	波付硬質合成樹脂管	FEP(30)	3.10	m		
	メタルモールジング	MMA	3.30	m		

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

富士見台中学校

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
プルボックス	露出 (SUS) 防水 200角×100	1.00	個			
スイッチボックス	2 個用 MMA	1.00	個			
	1 個用 MMA	1.00	個			
埋込みコンセント+直列ユニット	2P15A×2 CS-7F-RWE					
	金属プレート	1.00	個			
露出コンセント	2P15A×1 ET付	1.00	個			
フローコンセント	2P15A×2	4.00	個			
機械はつり	Φ25 RC t=175	2.00	個所			
小計						

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

富士見台中学校

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
4	弱電設備工事												
	同軸ケーブル	S-5C-FB	露出	2.80		m							
		S-5C-FB	MMA内	20.20		m							
	メタルモールジング	MMA		64.70		m							
		MMB		48.30		m							
	ジャンクションボックス	MMA		1.00		個							
	スイッチボックス	2個用	MMA	1.00		個							
	UHFアンテナ	AU-1		1.00		組							
	アンテナマスト	H=2.0	壁	1.00		基							
	機器収納箱	TV-T1		1.00		個							

# 積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

富士見台中学校

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
増幅器		1.00	個			
防雨入線カバー		1.00	個			
リモコン収納箱	鋼板製 露出形	1.00	個			
	500×1200×125					
機械はつり	Φ25 RC t=175	1.00	個所			
小計						

# 積算用紙

上段	変更設計
下段	原設計

富士見台中学校

名	称	摘	要	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
C	機械設備工事												
1	空調設備工事			1.00		式							
2	ガス設備工事			1.00		式							
	計												

# 積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

富士見台中学校

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	空調設備工事					
	冷媒用被覆銅管					
	ガス管 15.88	74.70	m			
	ガス管 22.22	23.50	m			
	ガス管 28.58	47.90	m			
	液管 9.52	98.20	m			
	液管 12.7	8.30	m			
	液管 15.88	39.60	m			
	保温工事					
	屋外 ガルバリウム	84.60	m			
	200×150					
	屋内 金属ダクト 塗装有	35.60	m			
	100×70					
	保温化粧ケース（樹脂製）	1.80	m			
	床下 アルカガラスクロス	24.10	m			

# 積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

富士見台中学校

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
炭素鋼鋼管	SGP20 露出	33.80	m			
	SGP25 露出	41.70	m			
同上塗装工事	20A	33.80	m			
	25A	41.70	m			
防虫網	25A	9.00	個			
分岐配管セット		8.00	組			
室内外操作線	EM-CEE 2.0-2C	146.10	m			
リモコンケーブル	EM-CEE 1.25-2C	267.10	m			
室外機 GHP-1	冷房56.0kW 暖房63.0kW					
	床置き、電源自立型、防振ゴム、SUSアンカー	1.00	台			
同上施工費		1.00	台			

# 積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

富士見台中学校

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
室外機 GHP-2	冷房56.0kW 暖房63.0kW					
	床置き、発電機搭載型、防振ゴム、SUS7ノコ	1.00	台			
同上施工費		1.00	台			
室外機 GHP-3	冷房56.0kW 暖房63.0kW					
	床置き、発電機搭載型、防振ゴム、SUS7ノコ	1.00	台			
同上施工費		1.00	台			
室内機	冷房14.0kW 暖房16.0kW					
	天吊り形	10.00	台			
同上施工費		10.00	台			
室内機	冷房16.0kW 暖房18.0kW					
	天吊り形	1.00	台			
同上施工費		1.00	台			
電源切替盤						
	3台用 トランス共	1.00	台			
同上施工費		1.00	台			

# 積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

富士見台中学校

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
自立スイッチ		1.00	台			
同上施工費		1.00	台			
ワイヤードリモコン		11.00	個			
同上施工費		11.00	個			
室内機ガード	ブラケット共	10.00	個			
同上施工費		8.00	個			
防雪フード		3.00	組			
同上施工費		3.00	組			
ルームエアコン	冷房2.8kW 暖房3.6kW 壁掛型 室内、室外機共	1.00	組			
同上施工費		1.00	組			

# 積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

富士見台中学校

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
冷媒被覆銅管	Φ9.52	3.30	m			
	Φ6.35	3.30	m			
室外機架台	樹脂製 L=450	1.00	組			
	樹脂化粧カバー	2.50	m			
機械はつり	Φ125 RC t=175	7.00	個所			
	Φ175 RC t=175	3.00	個所			
機器搬入費	Φ50 RC t=175	9.00	個所			
	揚重機含む GHP-1, 2, 3, 電源切替盤	1.00	式			
小計						

## 積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

富士見台中学校

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	ガス設備工事					
	外面被覆鋼管					
	カ̄-SGP25A 架空	3.70	m			
	カ̄-SGP32A 架空	1.00	m			
	カ̄-SGP50A 架空	1.40	m			
	カ̄-SGP80A 架空	2.80	m			
	ポリエチレンライニング鋼管					
	PE32A 土中	6.80	m			
	PE80A 土中	131.10	m			
	PE150A 土中	151.20	m			
	CDフレキシブル管					
	15A 隠蔽	1.60	m			
	25A 隠蔽	23.40	m			
	配管支持金具					
	SUS	1.00	式			

# 積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

富士見台中学校

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ガス強化ホース	25A L=700	3.00	個			
ボールバルブ	150A 埋設型	1.00	個			
	75A 埋設型	1.00	個			
	80A	2.00	個			
	50A	1.00	個			
	32A	1.00	個			
	25A	3.00	個			
鋼管分岐	80A	1.00	個所			
バルブピット	A形 Φ80	1.00	個			
	B形 Φ150	1.00	個			
ガスコンセント	15A 床埋込	2.00	個			

# 積 算 用 紙

上段	変更設計
下段	原 設計

富士見台中学校

名 称	摘 要	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
ガスメーター取付		1.00	台			
ガスメーター基礎		1.00	個所			
レンジメーター台		1.00	台			
機械はつり	Φ50 RCt=175	1.00	個所			
土工事	根切り 機械 0.28m <sup>3</sup>	108.50	m <sup>3</sup>			
	根切り 人力	7.00	m <sup>3</sup>			
	埋戻し 機械 0.28m <sup>3</sup>	108.50	m <sup>3</sup>			
	埋戻し 人力	7.00	m <sup>3</sup>			
埋設標識	コンクリート	10.00	個			
土工機械運搬		1.00	式			
小計						

# 単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原設計

富士見台中学校

別紙明細1			1式当たり	
仮設材運搬				

当たり														
名	称	摘	要・規	格	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
	枠組本足場		建枠600		177.50		m <sup>2</sup>							
	簡易型移動式足場				660.00		m <sup>2</sup>							
	単管本足場				18.00		m <sup>2</sup>							
	脚立足場				88.00		m <sup>2</sup>							
	計													

# 単価作成用紙

上段	変更設計
下段	原設計

富士見台中学校

別紙明細2			1式当たり	
残土処分				

当たり														
名	称	摘	要・規	格	数	量	単	位	単	価	金	額	備	考
	処分場受入				1.70	m <sup>3</sup>								
	発生土運搬	2t	人力積込	11km	1.70	m <sup>3</sup>								
	計													

# 市立小・中学校屋内運動場空調設備設置工事 その1(ゼロ債務)

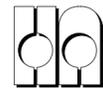


**ハナガタ建築設計事務所**

図 面 目 録								
水谷小学校			勝瀬小学校			富士見台中学校		
図面番号	図 面 名 称	縮 尺	図面番号	図 面 名 称	縮 尺	図面番号	図 面 名 称	縮 尺
A-1	改修建築工事特記仕様書（1）		A-1	改修建築工事特記仕様書（1）		A-1	改修建築工事特記仕様書（1）	
A-2	改修建築工事特記仕様書（2）		A-2	改修建築工事特記仕様書（2）		A-2	改修建築工事特記仕様書（2）	
A-3	改修建築工事特記仕様書（3）		A-3	改修建築工事特記仕様書（3）		A-3	改修建築工事特記仕様書（3）	
A-4	改修建築工事特記仕様書（4）		A-4	改修建築工事特記仕様書（4）		A-4	改修建築工事特記仕様書（4）	
A-5	改修建築工事特記仕様書（5）		A-5	改修建築工事特記仕様書（5）		A-5	改修建築工事特記仕様書（5）	
A-6	改修建築工事特記仕様書（6）		A-6	改修建築工事特記仕様書（6）		A-6	改修建築工事特記仕様書（6）	
A-7	配置図・案内図	S=1/500	A-7	配置図・案内図	S=1/500	A-7	配置図・案内図	S=1/600
A-8	1階平面図	S=1/100	A-8	1階平面図	S=1/100	A-8	1階平面図	S=1/100
A-9	2階平面図	S=1/100	A-9	2階平面図	S=1/100	A-9	2階平面図	S=1/100
A-10	屋根平面図	S=1/100	A-10	屋根平面図	S=1/100	A-10	屋根平面図	S=1/100
A-11	断面詳細図	S=1/30	A-11	断面詳細図	S=1/30	A-11	断面詳細図	S=1/30
A-12	空調室外機置場詳細図	S=1/30	A-12	空調室外機置場詳細図	S=1/30	A-12	空調室外機置場詳細図（1）	S=1/30
						A-13	空調室外機置場詳細図（2）	S=1/30
E-1	電気設備工事特記仕様書		E-1	電気設備工事特記仕様書				
E-2	電気設備 盤図・照明器具姿図		E-2	電気設備 盤図・照明器具姿図		E-1	電気設備工事特記仕様書	
E-3	電気設備 系統図		E-3	電気設備 系統図		E-2	電気設備 盤図・照明器具姿図	
E-4	電気設備（幹線）配置図	S=1/100	E-4	電気設備（幹線）配置図	S=1/100	E-3	電気設備 系統図	
E-5	電気設備（幹線）1階平面図	S=1/100	E-5	電気設備（幹線）1階平面図	S=1/100	E-4	電気設備（幹線）配置図	S=1/300
E-6	電気設備（幹線）2階平面図	S=1/100	E-6	電気設備（電灯・弱電）1階平面図	S=1/100	E-5	電気設備（幹線）1階平面図	S=1/100
E-7	電気設備（電灯・弱電）1階平面図	S=1/100	E-7	電気設備（電灯・弱電）2階平面図	S=1/100	E-6	電気設備（電灯・弱電）1階平面図	S=1/100
E-8	電気設備（電灯・弱電）2階平面図	S=1/100	E-8	電気設備（弱電）屋根平面図	S=1/100	E-7	電気設備（電灯・弱電）2階平面図	S=1/100
E-9	電気設備（弱電）屋根平面図	S=1/100				E-8	電気設備（弱電）屋根平面図	S=1/100
			M-1	機械設備工事特記仕様書（1）				
M-1	機械設備工事特記仕様書（1）		M-2	機械設備工事特記仕様書（2）		M-1	機械設備工事特記仕様書（1）	
M-2	機械設備工事特記仕様書（2）		M-3	機械設備工事特記仕様書（3）		M-2	機械設備工事特記仕様書（2）	
M-3	機械設備工事特記仕様書（3）		M-4	機械設備 機器表・室内機取付図	S=1/30	M-3	機械設備工事特記仕様書（3）	
M-4	機械設備 機器表・室内機取付図	S=1/30	M-5	機械設備 系統図		M-4	機械設備 機器表・室内機取付図	S=1/30
M-5	機械設備 系統図		M-6	機械設備（空調）1階平面図	S=1/100	M-5	機械設備 系統図	
M-6	機械設備（空調）1階平面図	S=1/100	M-7	機械設備（ガス）1階平面図	S=1/100	M-6	機械設備（空調）1階平面図	S=1/100
M-7	機械設備（ガス）配置図	S=1/100				M-7	機械設備（ガス）配置図	S=1/300
M-8	機械設備（ガス）1階平面図	S=1/100				M-8	機械設備（ガス）1階平面図	S=1/100

# 市立小・中学校屋内運動場空調設備設置工事 その1(ゼロ債務)

【市立水谷小学校】



**ハナガタ建築設計事務所**



<p>7 合成高分子系ルーフィングシート防水</p> <p>防水層の種類 [3.5.2~4] [表3.5.1~3]</p> <table border="1"><thead><tr><th>工法</th><th>種別</th><th>施工箇所</th><th>断熱材 [G]</th><th>仕上素材</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td>POS</td><td>S-F1</td><td></td><td></td><td>(種類・使用量)</td><td>(脱気装置)</td></tr><tr><td>S4S</td><td>S-F2</td><td></td><td></td><td>※ルーフィングシートの製造所の仕様</td><td>・設ける</td></tr><tr><td></td><td>S-M1</td><td></td><td></td><td>・設けない</td><td>(改修用D)の</td></tr><tr><td></td><td>S-M2</td><td></td><td></td><td>・設ける</td><td></td></tr><tr><td></td><td>S-M3</td><td></td><td></td><td>・設けない</td><td></td></tr><tr><td>S3S</td><td>S-F1</td><td>アライコンクリート下地</td><td></td><td>(種類・使用量)</td><td>(脱気装置)</td></tr><tr><td></td><td>S-F2</td><td>アライコンクリート下地</td><td></td><td>※ルーフィングシートの製造所の仕様</td><td>・設ける</td></tr><tr><td>M4S</td><td>S-M1</td><td></td><td></td><td>・設けない</td><td>(改修用D)の</td></tr><tr><td></td><td>S-M2</td><td></td><td></td><td>・設ける</td><td></td></tr><tr><td></td><td>S-M3</td><td></td><td></td><td>・設けない</td><td></td></tr><tr><td>POS1</td><td>SI-F1</td><td>アライコンクリート下地</td><td>(材質)</td><td>(種類・使用量)</td><td>(脱気装置)</td></tr><tr><td>S3S1</td><td>SI-F2</td><td></td><td>※JIS A 9521による発泡ポリエチレンシート</td><td>・設ける</td><td></td></tr><tr><td>S4S1</td><td>SI-M1</td><td></td><td>(厚さ)・25mm</td><td>・設けない</td><td>(改修用D)の</td></tr><tr><td>M4S1</td><td>SI-M2</td><td></td><td></td><td>・設ける</td><td></td></tr></tbody></table> <p>高反射率防水の適用 [G] ※適用する ・適用しない</p> <p>S-M2で立上り面を接着工法とする場合</p> <p>立上り面のシート厚 (※1.5mm)</p> <p>SI-M1及びSI-M2における防漏用フィルム ( ・設置する ・設置しない)</p> <p>屋内防水 防水層の種類</p> <table border="1"><thead><tr><th rowspan="2">種別</th><th rowspan="2">施工箇所</th><th colspan="2">保護層</th></tr><tr><th>平場のモルタル塗り</th><th>立上り部の保護モルタル塗り厚さ</th></tr></thead><tbody><tr><td>S-C1</td><td></td><td>・床塗り工法 ・下地モルタル塗り</td><td>※7mm以下</td></tr></tbody></table> <p>屋内防水で平場を保護コンクリート仕上げとする場合</p> <p>厚さ ( ) mm</p> <p>目地割り (※2m程度 最大目地間隔3m程度)</p> <p>目地の種類 (※押し目地)</p> <p>ルーフィングシートの種類及び厚さ</p> <p>※改修標準仕様書表3.5.1から表3.5.3による</p> <p>絶縁層シートの材質</p> <p>※発泡ポリエチレンシート</p> <p>固定金具の材質及び寸法形状</p> <p>※厚さ0.4mm以上の防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板及びそれらの鋼板の片面若しくは両面に樹脂を積層加工したもの</p> <p>脱気装置の種類及び設置数量</p> <p>※ルーフィングシートの製造所の指定による</p> <p>・種類 ( ) 個/㎡</p> <p>接着工法の目地処理</p> <p>・PCコンクリート下地の場合 ( )</p> <p>・PCコンクリート部材の入隅部の増張り (種別S-F1、SI-F1の場合)</p> <p>・行う ( ・図示 ) ・行わない</p> <p>機械的固定工法の場合の一部のルーフィングシートの張付け</p> <p>建築基準法に基づき定まる風圧力の ( ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法</p> <p>※特定化学物質障害予防規則の対象とならない材料とする [3.6.2, 3]</p> <p>ウレタンゴム系塗膜防水工法</p> <table border="1"><thead><tr><th>工法</th><th>種別</th><th>施工箇所</th><th>仕上素材</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td>POX</td><td>X-1 X-2</td><td></td><td>(種類・使用量) ※主材料の製造所の仕様</td><td>(脱気装置) ・設ける ・設けない</td></tr><tr><td>L4X</td><td>X-1 X-2</td><td></td><td>(種類・使用量) ※主材料の製造所の仕様</td><td>(脱気装置) ・設ける ・設けない</td></tr></tbody></table> <p>高反射率防水の適用 [G] ※適用する ・適用しない</p> <p>脱気装置の種類及び設置数量</p> <p>※主材料の製造所の指定による</p> <p>・種類 ( ) 個/㎡</p> <p>ゴムアスファルト系塗膜防水工法</p> <table border="1"><thead><tr><th>工法</th><th>種別</th><th>施工箇所</th><th>各工程数及び各工程の使用量</th><th>保護層</th></tr></thead><tbody><tr><td>P1Y</td><td>Y-2</td><td></td><td>※主材料の製造所の仕様</td><td>・設ける ・設けない</td></tr><tr><td>P2Y</td><td>Y-2</td><td></td><td>※主材料の製造所の仕様</td><td>・設ける ・設けない</td></tr></tbody></table> <p>9 シーリング</p> <p>シーリング改修工法の種類 [3.7.2, 3, 8]</p> <ul style="list-style-type: none"><li>シーリング充填工法</li><li>シーリング再充填工法</li><li>拡張シーリング再充填工法</li><li>ブリッジ工法</li><li>ポンドブレイカー張り ・適用する ・適用しない</li><li>エッジング材張り ・適用する ・適用しない</li></ul> <p>シーリング材の種類、施工箇所</p> <p>下表以外は、改修標準仕様書表3.7.1による。</p> <table border="1"><thead><tr><th>施工箇所</th><th>シーリング材の種類 (記号)</th></tr></thead><tbody><tr><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td></tr></tbody></table> <p>シーリング材の目地寸法</p> <p>※改修標準仕様書3.7.3(1)(7)~(9)による</p> <p>外部に面するシーリング材の接着性試験</p> <p>※簡易接着性試験 ・引張接着性試験</p> <p>注 練り混ぜた2成分形シーリング材は、1組の作業班が1日に行った施工箇所を1ロットとして、各ロットごとにサンプリングを行い、サンプリング試験を監督員に提出すること。</p> <p>10 とい</p> <p>といその他の材料種等 [3.8.2, 3]</p> <ul style="list-style-type: none"><li>※配管用鋼管 ・硬質ポリ塩化ビニル管 ・ルーフトレン</li></ul> <p>ルーフトレンの種類その他</p> <table border="1"><thead><tr><th>種別</th><th>張り掛け幅</th></tr></thead><tbody><tr><td>・ろく屋種用 ( ・縦型 ・横型)</td><td>・100mm以上 ・50mm以上</td></tr><tr><td>・バルコニー用</td><td>・100mm以上 ・50mm以上</td></tr><tr><td>・バルコニー中層用</td><td>・100mm以上 ・50mm以上</td></tr></tbody></table> <p>とい変金物及び足金物の材種、形状、取付け間隔</p> <p>※[表3.8.2]による</p> <p>・多量地域の場合の軒どいの取付間隔 ※0.5m以下</p> <p>ロックウール保温層及びフェノールフォーム保温層のホルムアルデヒド放散量</p> <p>※規制対象外</p> <p>既存のといその他の撤去及び降雨等に対する養生方法 ※図示</p> <p>鋼管製といの防露巻き ※[表3.8.4]による</p> <p>たてどい変金物の取付 ※図示</p> <p>ルーフトレンの取付 ※水はけがよく、床面より下げ、周囲の隙間にモルタルを充填</p>	工法	種別	施工箇所	断熱材 [G]	仕上素材	備考	POS	S-F1			(種類・使用量)	(脱気装置)	S4S	S-F2			※ルーフィングシートの製造所の仕様	・設ける		S-M1			・設けない	(改修用D)の		S-M2			・設ける			S-M3			・設けない		S3S	S-F1	アライコンクリート下地		(種類・使用量)	(脱気装置)		S-F2	アライコンクリート下地		※ルーフィングシートの製造所の仕様	・設ける	M4S	S-M1			・設けない	(改修用D)の		S-M2			・設ける			S-M3			・設けない		POS1	SI-F1	アライコンクリート下地	(材質)	(種類・使用量)	(脱気装置)	S3S1	SI-F2		※JIS A 9521による発泡ポリエチレンシート	・設ける		S4S1	SI-M1		(厚さ)・25mm	・設けない	(改修用D)の	M4S1	SI-M2			・設ける		種別	施工箇所	保護層		平場のモルタル塗り	立上り部の保護モルタル塗り厚さ	S-C1		・床塗り工法 ・下地モルタル塗り	※7mm以下	工法	種別	施工箇所	仕上素材	備考	POX	X-1 X-2		(種類・使用量) ※主材料の製造所の仕様	(脱気装置) ・設ける ・設けない	L4X	X-1 X-2		(種類・使用量) ※主材料の製造所の仕様	(脱気装置) ・設ける ・設けない	工法	種別	施工箇所	各工程数及び各工程の使用量	保護層	P1Y	Y-2		※主材料の製造所の仕様	・設ける ・設けない	P2Y	Y-2		※主材料の製造所の仕様	・設ける ・設けない	施工箇所	シーリング材の種類 (記号)							種別	張り掛け幅	・ろく屋種用 ( ・縦型 ・横型)	・100mm以上 ・50mm以上	・バルコニー用	・100mm以上 ・50mm以上	・バルコニー中層用	・100mm以上 ・50mm以上	<p>11 アルミニウム製空枠</p> <p>種類 ・オープン形式 ( ・押し250形 ・押し300形 ・押し350形 ) [3.8.2, 3]</p> <p>・板材折曲げ形 ( ・オープン形式 ・シーリング形式 )</p> <p>本体幅 ( ) mm、板厚 (※2.0mm ( mm))</p> <p>表面処理 種別 ・種別 ( ・アンバー ・ブロンズ ・ブラック系 ・ステンカラー ) ・特注色 ( ) ・行わない</p> <p>既存空枠等の撤去 ・行う (範囲 ・図示 ) ・行わない</p> <p>下地補修の工法 ※図示</p> <p>板材折曲げ形の空枠の取付方法 ※図示</p> <p>空枠の固定金具の工法等</p> <p>建築基準法に基づき定まる風圧力の ( ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法</p> <p>12 防水工断工断</p> <p>※設置する ( ヶ所) (施工年月日は防水工断工断完了日 (手直しは除く) を記入)</p> <p>・設置しない [2.1.2]</p> <p>4 外壁改修工事</p> <p>1 施工数量調査</p> <p>調査範囲 ・外壁改修範囲 ・ 図示の範囲</p> <p>調査時期 ・外壁仕上げ等除去前 ・ 外壁仕上げ等除去後</p> <p>調査方法</p> <p>ひび割れの幅及び長さ等を壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。</p> <p>モルタル塗仕上げ及びタイル張り仕上げについては浮き部分を表面に表示し、また欠損部の形状寸法等を調査する。</p> <p>コンクリート表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。</p> <p>塗りにけりについては、コンクリートまたはモルタル表面のはがれ及びはく落部を壁面に表示する。また、既存塗膜と新規仕上素材との適合性を確認する。</p> <p>既存部分の破壊を行った場合の補修方法 ・図示</p> <p>調査報告書の部数 ・2部 [4.2.2]</p> <table border="1"><thead><tr><th>広がり速度 (cm/s)</th><th>長さ変化率 (収縮)</th><th>引張強度 (材齢28日)</th><th>曲げ性能 (材齢28日)</th><th>吸水性 (7.2時間)</th><th>耐久性</th></tr></thead><tbody><tr><td>3以上</td><td>3%</td><td>0.5N/mm<sup>2</sup>以上</td><td>5.0N/mm<sup>2</sup>以上</td><td>15%以下</td><td>5.0N/mm<sup>2</sup>以上</td></tr></tbody></table> <p>保水係数 0.35~0.55</p> <p>粘弾係数 0.50~1.00</p> <p>3 既製適合モルタル</p> <p>モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を含む工場において所定の割合に配合した材料とする。 [4.2.2]</p> <p>4-1 ひび割れ部改修工法</p> <p>・樹脂注入工法 [4.1.4] [4.2.2] [4.3.4~6]</p> <table border="1"><thead><tr><th>工法の種類</th><th>ひび割れ幅 (mm)</th><th>注入口間隔 (mm)</th><th>注入量 (ml/m)</th></tr></thead><tbody><tr><td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.2以上~0.5未満 低</td><td>※200~300</td><td>・130</td></tr><tr><td>樹脂注入工法</td><td>0.5以上~1.0以下 中</td><td>※200~300</td><td>・130</td></tr><tr><td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.2以上~0.3未満 低</td><td>・50~100</td><td>・40</td></tr><tr><td>樹脂注入工法</td><td>0.3以上~0.5未満 低</td><td>・100~200</td><td>・70</td></tr><tr><td>・機械式エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.5以上~1.0以下 中</td><td>・150~250</td><td>・130</td></tr></tbody></table> <p>※エポキシ樹脂 低：低粘度形 中：中粘度形</p> <p>コア抜き検査 ・行う ・行わない</p> <p>抜き取り部数 ※長さ500mmごと及びその端数につき1個</p> <p>抜き取り部の補修方法 ※図示</p> <p>・Uカットシーリング材充填工法</p> <p>・シーリング材</p> <p>充填材料 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ・ポリマーセメントモルタルの充填 ・行う ・行わない</p> <p>・可とう性エポキシ樹脂</p> <p>・シール工法</p> <p>・パナスタエポキシ樹脂 ・可とう性エポキシ樹脂</p> <p>※充填工法</p> <p>・エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル [4.1.4] [4.2.2] [4.3.7]</p> <p>4-2 モルタル塗り改修工法</p> <p>1 既存モルタル塗りの撤去</p> <p>※全面 ・ 図示の範囲</p> <p>2 ひび割れ部改修工法</p> <p>・樹脂注入工法 [4.1.4] [4.2.2] [4.2.4, 5~7]</p> <table border="1"><thead><tr><th>工法の種類</th><th>ひび割れ幅 (mm)</th><th>注入口間隔 (mm)</th><th>注入量 (ml/m)</th></tr></thead><tbody><tr><td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.2以上~0.5未満 低</td><td>※200~300</td><td>・130</td></tr><tr><td>樹脂注入工法</td><td>0.5以上~1.0以下 中</td><td>※200~300</td><td>・130</td></tr><tr><td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.2以上~0.3未満 低</td><td>・50~100</td><td>・40</td></tr><tr><td>樹脂注入工法</td><td>0.3以上~0.5未満 低</td><td>・100~200</td><td>・70</td></tr><tr><td>・機械式エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.5以上~1.0以下 中</td><td>・150~250</td><td>・130</td></tr></tbody></table> <p>※エポキシ樹脂 低：低粘度形 中：中粘度形</p> <p>コア抜き検査 ・行う ・行わない</p> <p>抜き取り部数 ※長さ500mmごと及びその端数につき1個</p> <p>抜き取り部の補修方法 ※図示</p> <p>・Uカットシーリング材充填工法</p> <p>・シーリング材</p> <p>充填材料 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ・ポリマーセメントモルタルの充填 ・行う ・行わない</p> <p>・可とう性エポキシ樹脂</p> <p>・シール工法</p> <p>・パナスタエポキシ樹脂 ・可とう性エポキシ樹脂</p> <p>・充填工法</p> <p>・エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル [4.1.4] [4.2.2] [4.3.8, 9]</p> <p>3 欠損部改修工法</p> <p>・モルタル塗替え工法</p> <p>・現場調査材料</p> <p>セメントの種類 ※普通ポルランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメント</p> <p>・高炉セメントB種 [G]</p> <p>・フライアッシュセメントB種 [G]</p> <p>普通ポルランドセメントの品質は、JIS R 5210に示された規格の他、水収縮率が7日目で35%以下、かつ28日目で40%以下のものとする。</p> <p>・既製目地材 ( )</p> <p>仕上げ厚さは全塗層が25mmを超える場合の措置 ※図示</p>	広がり速度 (cm/s)	長さ変化率 (収縮)	引張強度 (材齢28日)	曲げ性能 (材齢28日)	吸水性 (7.2時間)	耐久性	3以上	3%	0.5N/mm <sup>2</sup> 以上	5.0N/mm <sup>2</sup> 以上	15%以下	5.0N/mm <sup>2</sup> 以上	工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (ml/m)	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.5未満 低	※200~300	・130	樹脂注入工法	0.5以上~1.0以下 中	※200~300	・130	・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満 低	・50~100	・40	樹脂注入工法	0.3以上~0.5未満 低	・100~200	・70	・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上~1.0以下 中	・150~250	・130	工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (ml/m)	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.5未満 低	※200~300	・130	樹脂注入工法	0.5以上~1.0以下 中	※200~300	・130	・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満 低	・50~100	・40	樹脂注入工法	0.3以上~0.5未満 低	・100~200	・70	・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上~1.0以下 中	・150~250	・130	<p>4 浮き部改修工法</p> <table border="1"><thead><tr><th rowspan="2">工法の種類</th><th colspan="2">アンカーピンの本数 (本/m)</th><th colspan="2">注入口の箇所数 (箇所/m)</th><th rowspan="2">注入量 (ml/箇所)</th></tr><tr><th>一般部</th><th>指定部</th><th>一般部</th><th>指定部</th></tr></thead><tbody><tr><td>・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法</td><td>※16</td><td>※25</td><td>—</td><td>—</td><td>※25</td></tr><tr><td>・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法</td><td>※13</td><td>※20</td><td>※12</td><td>※20</td><td>※25</td></tr><tr><td>・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>※50</td></tr><tr><td>・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法</td><td>※9</td><td>※16</td><td>—</td><td>—</td><td>※25</td></tr><tr><td>・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法</td><td>※9</td><td>※16</td><td>※9</td><td>※16</td><td>※25</td></tr><tr><td>・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法</td><td>※9</td><td>※16</td><td>※9</td><td>※16</td><td>※50</td></tr><tr><td>・充填工法</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>・モルタル塗替え工法</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr></tbody></table> <p>アンカーピン</p> <p>※ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの</p> <p>・注入口付アンカーピン</p> <p>※ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径外径6mm</p> <p>充填工法</p> <p>※3 欠損部改修方法の「充填工法」による</p> <p>モルタル塗替え工法</p> <p>※3 欠損部改修方法の「モルタル塗替え工法」による</p> <p>4-3 タイル張り仕上げ外壁</p> <p>1 既存タイル張りの撤去</p> <p>2 ひび割れ部改修工法</p> <p>改修箇所 ※既存タイル張裏面 [4.1.4] [4.2.2] [4.5.2, 5, 6]</p> <p>・既存タイル撤去面 ( ・コンクリート面 ・モルタル面)</p> <table border="1"><thead><tr><th>工法の種類</th><th>ひび割れ幅 (mm)</th><th>注入口間隔 (mm)</th><th>注入量 (ml/m)</th></tr></thead><tbody><tr><td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.2以上~0.5未満 低</td><td>※200~300</td><td>・130</td></tr><tr><td>樹脂注入工法</td><td>0.5以上~1.0以下 中</td><td>※200~300</td><td>・130</td></tr><tr><td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.2以上~0.3未満 低</td><td>・50~100</td><td>・40</td></tr><tr><td>樹脂注入工法</td><td>0.3以上~0.5未満 低</td><td>・100~200</td><td>・70</td></tr><tr><td>・機械式エポキシ樹脂注入工法</td><td>0.5以上~1.0以下 中</td><td>・150~250</td><td>・130</td></tr></tbody></table> <p>※エポキシ樹脂 低：低粘度形 中：中粘度形</p> <p>コア抜き検査 ・行う ・行わない</p> <p>抜き取り部数 ※長さ500mmごと及びその端数につき1個</p> <p>抜き取り部の補修方法 ・図示</p> <p>・Uカットシーリング材充填工法 (既存タイル張り撤去面)</p> <p>・シーリング材</p> <p>充填材料 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ・ポリマーセメントモルタルの充填 ・行う ・行わない</p> <p>・可とう性エポキシ樹脂</p> <p>2 欠損部改修工法</p> <p>・タイル張替え工法</p> <p>接着剤の種類</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ポリマーセメントモルタル</li><li>・JIS A 5557 による一液反応硬化形成シリコン樹脂系</li></ul> <p>接着剤の種類</p> <p>・樹脂系</p> <p>・シリコン系</p> <p>・タイル張替え工法</p> <p>接着剤の種類</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ポリマーセメントモルタル</li><li>・JIS A 5557 による一液反応硬化形成シリコン樹脂系</li></ul> <p>接着剤の種類</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・樹脂系</li><li>・シリコン系</li></ul> <p>・タイル張替え工法</p> <p>接着剤の種類</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ポリマーセメントモルタル</li><li>・JIS A 5557 による一液反応硬化形成シリコン樹脂系</li></ul> <p>接着剤の種類</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・樹脂系</li><li>・シリコン系</li></ul> <p>4 浮き部改修工法</p> <table border="1"><thead><tr><th rowspan="2">工法の種類</th><th colspan="2">アンカーピンの本数 (本/m)</th><th colspan="2">注入口の箇所数 (箇所/m)</th><th rowspan="2">注入量 (ml/箇所)</th></tr><tr><th>一般部</th><th>指定部</th><th>一般部</th><th>指定部</th></tr></thead><tbody><tr><td>・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法</td><td>※16</td><td>※25</td><td>—</td><td>—</td><td>※25</td></tr><tr><td>・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法</td><td>※13</td><td>※20</td><td>※12</td><td>※20</td><td>※25</td></tr><tr><td>・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>※50</td></tr><tr><td>・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法</td><td>※9</td><td>※16</td><td>—</td><td>—</td><td>※25</td></tr><tr><td>・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法</td><td>※9</td><td>※16</td><td>※9</td><td>※16</td><td>※25</td></tr><tr><td>・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法</td><td>※9</td><td>※16</td><td>※9</td><td>※16</td><td>※50</td></tr><tr><td>・充填工法</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>・モルタル塗替え工法</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr></tbody></table> <p>アンカーピン</p> <p>※ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの</p> <p>・注入口付アンカーピン</p> <p>※ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径外径6mm</p> <p>充填工法</p> <p>※3 欠損部改修方法の「充填工法」による</p> <p>モルタル塗替え工法</p> <p>※3 欠損部改修方法の「モルタル塗替え工法」による</p> <p>タイル張替え工法</p> <p>※3 欠損部改修方法の「タイル張替え工法」による</p>	工法の種類	アンカーピンの本数 (本/m)		注入口の箇所数 (箇所/m)		注入量 (ml/箇所)	一般部	指定部	一般部	指定部	・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※25	—	—	※25	・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25	・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	・	・	・	・	※50	・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	—	—	※25	・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25	・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16	※9	※16	※50	・充填工法	—	—	—	—	—	・モルタル塗替え工法	—	—	—	—	—	工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (ml/m)	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.5未満 低	※200~300	・130	樹脂注入工法	0.5以上~1.0以下 中	※200~300	・130	・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満 低	・50~100	・40	樹脂注入工法	0.3以上~0.5未満 低	・100~200	・70	・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上~1.0以下 中	・150~250	・130	工法の種類	アンカーピンの本数 (本/m)		注入口の箇所数 (箇所/m)		注入量 (ml/箇所)	一般部	指定部	一般部	指定部	・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※25	—	—	※25	・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25	・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	・	・	・	・	※50	・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	—	—	※25	・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25	・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16	※9	※16	※50	・充填工法	—	—	—	—	—	・モルタル塗替え工法	—	—	—	—	—	<p>5 目地改修工法</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・目地ひび割れ部改修工法 [4.1.4] [4.6, 16]</li><li>・伸縮調整目地改修工法</li><li>伸縮調整目地の位置及び寸法 ・図示</li></ul> <p>6 タイルの形状、寸法等 [4.2.2]</p> <table border="1"><thead><tr><th rowspan="2">施工箇所</th><th rowspan="2">形状寸法 (mm)</th><th colspan="2">洗面・浴室に用いるもの</th><th colspan="2">その他</th><th rowspan="2">備考</th></tr><tr><th>形状</th><th>色</th><th>再生材</th><th>耐水性</th></tr></thead><tbody><tr><td></td><td></td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td></td></tr></tbody></table> <p>標準的な曲がりの喰物は一体成形とする</p> <p>試験傷り ・行う ・行わない</p> <p>見本焼き ・行う ・行わない</p> <p>4-4 塗り仕上げ外壁等</p> <p>1 既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整</p> <p>新仕上り工法の種類</p> <table border="1"><thead><tr><th>新仕上り工法の種類</th><th>呼び名</th><th>防火材料</th><th>仕上げの形状及び工法等</th></tr></thead><tbody><tr><td>・薄付け仕上げ</td><td>・外装塗材S1</td><td>・</td><td>・砂壁状 ( ・吹付け ・ローラー塗り )</td></tr><tr><td>・厚付け仕上げ</td><td>・可とう形外装塗材S1</td><td>・</td><td>・ゆず肌状 ( ・吹付け ・ローラー塗り )</td></tr><tr><td></td><td>・外装塗材S1</td><td>・</td><td>・きざざ状 ・平たん状</td></tr><tr><td></td><td>・可とう形外装塗材E</td><td>・</td><td>・凹凸状 ( ・吹付け ( ・て塗り ) )</td></tr><tr><td></td><td>・防水形外装塗材E</td><td>・</td><td>・凹凸骨材砂壁状 ( ・吹付け ( ・て塗り ) )</td></tr><tr><td></td><td>・外装塗材S1</td><td>・</td><td>・砂壁状じゅらく ・変更壁じゅらく</td></tr><tr><td>・厚付け仕上げ</td><td>・外装塗材C</td><td>・</td><td>・吹付け ・凸凹処理 ・平たん状</td></tr><tr><td>・厚付け仕上げ</td><td>・外装塗材S1</td><td>・</td><td>・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし</td></tr><tr><td>・厚付け仕上げ</td><td>・外装塗材E</td><td>・</td><td>・上塗材 ・適用する ・適用しない</td></tr><tr><td>・薄層仕上げ</td><td>・薄層塗材C</td><td>・</td><td>・ゆず肌状 ・凸凹処理 ・凹凸模様</td></tr><tr><td>・薄層仕上げ</td><td>・薄層塗材E</td><td>・</td><td>・砂壁状</td></tr><tr><td>・薄層仕上げ</td><td>・薄層塗材S1</td><td>・</td><td>・耐水性 ※耐傷形3種</td></tr><tr><td>・薄層仕上げ</td><td>・薄層塗材E</td><td>・</td><td>・耐水性 ※耐傷形3種</td></tr><tr><td>・薄層仕上げ</td><td>・薄層塗材S1</td><td>・</td><td>・耐水性 ※耐傷形3種</td></tr><tr><td>・可とう形改修工法</td><td>・可とう形改修塗材E</td><td>・</td><td>・砂壁状 ・きざざ状 ・ゆず肌状</td></tr><tr><td>・可とう形改修工法</td><td>・可とう形改修塗材E</td><td>・</td><td>・砂壁状 ・きざざ状 ・ゆず肌状</td></tr><tr><td>・可とう形改修工法</td><td>・可とう形改修塗材C</td><td>・</td><td>・上塗材 ※耐傷形3種</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table> <p>2 仕上塗材仕上げ</p> <p>新仕上り工法の種類</p> <table border="1"><thead><tr><th>新仕上り工法の種類</th><th>呼び名</th><th>防火材料</th><th>仕上げの形状及び工法等</th></tr></thead><tbody><tr><td>・薄付け仕上げ</td><td>・外装塗材S1</td><td>・</td><td>・砂壁状 ( ・吹付け ・ローラー塗り )</td></tr><tr><td>・厚付け仕上げ</td><td>・可とう形外装塗材S1</td><td>・</td><td>・ゆず肌状 ( ・吹付け ・ローラー塗り )</td></tr><tr><td></td><td>・外装塗材S1</td><td>・</td><td>・きざざ状 ・平たん状</td></tr><tr><td></td><td>・可とう形外装塗材E</td><td>・</td><td>・凹凸状 ( ・吹付け ( ・て塗り ) )</td></tr><tr><td></td><td>・防水形外装塗材E</td><td>・</td><td>・凹凸骨材砂壁状 ( ・吹付け ( ・て塗り ) )</td></tr><tr><td></td><td>・外装塗材S1</td><td>・</td><td>・砂壁状じゅらく ・変更壁じゅらく</td></tr><tr><td>・厚付け仕上げ</td><td>・外装塗材C</td><td>・</td><td>・吹付け ・凸凹処理 ・平たん状</td></tr><tr><td>・厚付け仕上げ</td><td>・外装塗材S1</td><td>・</td><td>・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし</td></tr><tr><td>・厚付け仕上げ</td><td>・外装塗材E</td><td>・</td><td>・上塗材 ・適用する ・適用しない</td></tr><tr><td>・薄層仕上げ</td><td>・薄層塗材C</td><td>・</td><td>・ゆず肌状 ・凸凹処理 ・凹凸模様</td></tr><tr><td>・薄層仕上げ</td><td>・薄層塗材E</td><td>・</td><td>・砂壁状</td></tr><tr><td>・薄層仕上げ</td><td>・薄層塗材S1</td><td>・</td><td>・耐水性 ※耐傷形3種</td></tr><tr><td>・薄層仕上げ</td><td>・薄層塗材E</td><td>・</td><td>・耐水性 ※耐傷形3種</td></tr><tr><td>・薄層仕上げ</td><td>・薄層塗材S1</td><td>・</td><td>・耐水性 ※耐傷形3種</td></tr><tr><td>・可とう形改修工法</td><td>・可とう形改修塗材E</td><td>・</td><td>・砂壁状 ・きざざ状 ・ゆず肌状</td></tr><tr><td>・可とう形改修工法</td><td>・可とう形改修塗材E</td><td>・</td><td>・砂壁状 ・きざざ状 ・ゆず肌状</td></tr><tr><td>・可とう形改修工法</td><td>・可とう形改修塗材C</td><td>・</td><td>・上塗材 ※耐傷形3種</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table> <p>3 マステック塗材塗り</p> <table border="1"><thead><tr><th>種別</th><th>A種</th><th>B種</th></tr></thead><tbody><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table> <p>4-5 外壁用塗膜防水材塗り</p> <p>仕上げの形状 ( ) 工法 ( ) [4.1.5] [4.2.2] [4.8.2] [表4.2.6]</p> <p>外壁用仕上塗料の耐水性 ※JIS A 6909の耐傷形1種相当</p> <p>伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地位置</p> <p>※改修標準仕様書表4.5.1による</p> <p>外装タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整材塗りの接着力試験</p> <p>・行う ・行わない</p> <p>・セメントモルタルによるタイル張り</p> <p>・下地モルタル塗りをを行うコンクリート素地の処理 ( )</p> <p>タイルの種類及び工法</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・外装タイル ( ・磁器質系 ・改良磁器質系 ・改良種上げ磁器)</li><li>・ユニットタイル ( ・マスク張り ・モザイクタイル )</li></ul> <p>・有機系接着剤によるタイル張り</p> <p>シーリング材の種類</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地 (※ポリウレタン系 )</li><li>伸縮調整目地の他の他目地 (※シリコン系 )</li><li>・モルタル塗りをを行うコンクリート素地の処理 ( )</li></ul> <p>タイルの種類 ・外装タイル ・ユニットタイル</p> <p>5 改修工法</p> <table border="1"><thead><tr><th rowspan="2">工法の種類</th><th colspan="2">アンカーピンの本数 (本/m)</th><th colspan="2">注入口の箇所数 (箇所/m)</th><th rowspan="2">注入量 (ml/箇所)</th></tr><tr><th>一般部</th><th>指定部</th><th>一般部</th><th>指定部</th></tr></thead><tbody><tr><td>・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法</td><td>※16</td><td>※25</td><td>—</td><td>—</td><td>※25</td></tr><tr><td>・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法</td><td>※13</td><td>※20</td><td>※12</td><td>※20</td><td>※25</td></tr><tr><td>・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>・</td><td>※50</td></tr><tr><td>・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法</td><td>※9</td><td>※16</td><td>—</td><td>—</td><td>※25</td></tr><tr><td>・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法</td><td>※9</td><td>※16</td><td>※9</td><td>※16</td><td>※25</td></tr><tr><td>・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法</td><td>※9</td><td>※16</td><td>※9</td><td>※16</td><td>※50</td></tr><tr><td>・充填工法</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr><tr><td>・モルタル塗替え工法</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td><td>—</td></tr></tbody></table> <p>アンカーピン</p> <p>※ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの</p> <p>・注入口付アンカーピン</p> <p>※ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径外径6mm</p> <p>充填工法</p> <p>※3 欠損部改修方法の「充填工法」による</p> <p>モルタル塗替え工法</p> <p>※3 欠損部改修方法の「モルタル塗替え工法」による</p> <p>タイル張替え工法</p> <p>※3 欠損部改修方法の「タイル張替え工法」による</p> <p>1 改修工法</p> <table border="1"><thead><tr><th rowspan="2">建具の種類</th><th rowspan="2">かぶせ工法</th><th rowspan="2">撤去工法</th><th colspan="2">適用箇所</th></tr><tr><th>・建具表による</th><th>・建具裏による</th></tr></thead><tbody><tr><td>・アルミ合金製建具</td><td>—</td><td>—</td><td>・建具表による</td><td>・建具裏による</td></tr><tr><td>・樹脂製建具</td><td>—</td><td>—</td><td>・建具表による</td><td>・建具裏による</td></tr><tr><td>・金属製建具</td><td>・外部</td><td>・内部</td><td>・建具表による</td><td>・建具裏による</td></tr><tr><td>・樹脂製建具</td><td>—</td><td>—</td><td>・建具表による</td><td>・建具裏による</td></tr><tr><td>・ステンレス製建具</td><td>—</td><td>—</td><td>・建具表による</td><td>・建具裏による</td></tr></tbody></table> <p>新規に建具を設ける場合</p> <p>壁部分の開口の閉け方 ※図示</p> <p>新規建具周囲の補修工法及び範囲</p> <p>2 防火戸</p> <p>適用箇所 ※建具表による [5.1.4]</p> <p>防火戸の自閉機構及びヒューズ装置等との連携</p> <p>・行う (※建具表による) ・行わない</p> <p>3 見本の製作等</p> <p>建具見本の製作 ・行う (建具番号： ) ・行わない</p> <p>建具見本の程度 ・工事に使用するものとして、あらかじめ製作する</p> <p>・納まり等がわかる程度のもの</p> <p>特殊な建具の仮組 ・行う (建具番号： ) ・行わない</p> <p>4 防犯建物部品</p> <p>適用箇所 ( ・建具表による ) [5.1.7]</p>	施工箇所	形状寸法 (mm)	洗面・浴室に用いるもの		その他		備考	形状	色	再生材	耐水性			・	・	・	・				・	・	・	・				・	・	・	・		新仕上り工法の種類	呼び名	防火材料	仕上げの形状及び工法等	・薄付け仕上げ	・外装塗材S1	・	・砂壁状 ( ・吹付け ・ローラー塗り )	・厚付け仕上げ	・可とう形外装塗材S1	・	・ゆず肌状 ( ・吹付け ・ローラー塗り )		・外装塗材S1	・	・きざざ状 ・平たん状		・可とう形外装塗材E	・	・凹凸状 ( ・吹付け ( ・て塗り ) )		・防水形外装塗材E	・	・凹凸骨材砂壁状 ( ・吹付け ( ・て塗り ) )		・外装塗材S1	・	・砂壁状じゅらく ・変更壁じゅらく	・厚付け仕上げ	・外装塗材C	・	・吹付け ・凸凹処理 ・平たん状	・厚付け仕上げ	・外装塗材S1	・	・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし	・厚付け仕上げ	・外装塗材E	・	・上塗材 ・適用する ・適用しない	・薄層仕上げ	・薄層塗材C	・	・ゆず肌状 ・凸凹処理 ・凹凸模様	・薄層仕上げ	・薄層塗材E	・	・砂壁状	・薄層仕上げ	・薄層塗材S1	・	・耐水性 ※耐傷形3種	・薄層仕上げ	・薄層塗材E	・	・耐水性 ※耐傷形3種	・薄層仕上げ	・薄層塗材S1	・	・耐水性 ※耐傷形3種	・可とう形改修工法	・可とう形改修塗材E	・	・砂壁状 ・きざざ状 ・ゆず肌状	・可とう形改修工法	・可とう形改修塗材E	・	・砂壁状 ・きざざ状 ・ゆず肌状	・可とう形改修工法	・可とう形改修塗材C	・	・上塗材 ※耐傷形3種																	新仕上り工法の種類	呼び名	防火材料	仕上げの形状及び工法等	・薄付け仕上げ	・外装塗材S1	・	・砂壁状 ( ・吹付け ・ローラー塗り )	・厚付け仕上げ	・可とう形外装塗材S1	・	・ゆず肌状 ( ・吹付け ・ローラー塗り )		・外装塗材S1	・	・きざざ状 ・平たん状		・可とう形外装塗材E	・	・凹凸状 ( ・吹付け ( ・て塗り ) )		・防水形外装塗材E	・	・凹凸骨材砂壁状 ( ・吹付け ( ・て塗り ) )		・外装塗材S1	・	・砂壁状じゅらく ・変更壁じゅらく	・厚付け仕上げ	・外装塗材C	・	・吹付け ・凸凹処理 ・平たん状	・厚付け仕上げ	・外装塗材S1	・	・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし	・厚付け仕上げ	・外装塗材E	・	・上塗材 ・適用する ・適用しない	・薄層仕上げ	・薄層塗材C	・	・ゆず肌状 ・凸凹処理 ・凹凸模様	・薄層仕上げ	・薄層塗材E	・	・砂壁状	・薄層仕上げ	・薄層塗材S1	・	・耐水性 ※耐傷形3種	・薄層仕上げ	・薄層塗材E	・	・耐水性 ※耐傷形3種	・薄層仕上げ	・薄層塗材S1	・	・耐水性 ※耐傷形3種	・可とう形改修工法	・可とう形改修塗材E	・	・砂壁状 ・きざざ状 ・ゆず肌状	・可とう形改修工法	・可とう形改修塗材E	・	・砂壁状 ・きざざ状 ・ゆず肌状	・可とう形改修工法	・可とう形改修塗材C	・	・上塗材 ※耐傷形3種																	種別	A種	B種										工法の種類	アンカーピンの本数 (本/m)		注入口の箇所数 (箇所/m)		注入量 (ml/箇所)	一般部	指定部	一般部	指定部	・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※25	—	—	※25	・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25	・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	・	・	・	・	※50	・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	—	—	※25	・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25	・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16	※9	※16	※50	・充填工法	—	—	—	—	—	・モルタル塗替え工法	—	—	—	—	—	建具の種類	かぶせ工法	撤去工法	適用箇所		・建具表による	・建具裏による	・アルミ合金製建具	—	—	・建具表による	・建具裏による	・樹脂製建具	—	—	・建具表による	・建具裏による	・金属製建具	・外部	・内部	・建具表による	・建具裏による	・樹脂製建具	—	—	・建具表による	・建具裏による	・ステンレス製建具	—	—	・建具表による	・建具裏による	<p>水谷小学校</p> <p>図面番号 A-2</p>
工法	種別	施工箇所	断熱材 [G]	仕上素材	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
POS	S-F1			(種類・使用量)	(脱気装置)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
S4S	S-F2			※ルーフィングシートの製造所の仕様	・設ける																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	S-M1			・設けない	(改修用D)の																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	S-M2			・設ける																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	S-M3			・設けない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
S3S	S-F1	アライコンクリート下地		(種類・使用量)	(脱気装置)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	S-F2	アライコンクリート下地		※ルーフィングシートの製造所の仕様	・設ける																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
M4S	S-M1			・設けない	(改修用D)の																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	S-M2			・設ける																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
	S-M3			・設けない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
POS1	SI-F1	アライコンクリート下地	(材質)	(種類・使用量)	(脱気装置)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
S3S1	SI-F2		※JIS A 9521による発泡ポリエチレンシート	・設ける																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
S4S1	SI-M1		(厚さ)・25mm	・設けない	(改修用D)の																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
M4S1	SI-M2			・設ける																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
種別	施工箇所	保護層																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
		平場のモルタル塗り	立上り部の保護モルタル塗り厚さ																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
S-C1		・床塗り工法 ・下地モルタル塗り	※7mm以下																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
工法	種別	施工箇所	仕上素材	備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
POX	X-1 X-2		(種類・使用量) ※主材料の製造所の仕様	(脱気装置) ・設ける ・設けない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
L4X	X-1 X-2		(種類・使用量) ※主材料の製造所の仕様	(脱気装置) ・設ける ・設けない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
工法	種別	施工箇所	各工程数及び各工程の使用量	保護層																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
P1Y	Y-2		※主材料の製造所の仕様	・設ける ・設けない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
P2Y	Y-2		※主材料の製造所の仕様	・設ける ・設けない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
施工箇所	シーリング材の種類 (記号)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
種別	張り掛け幅																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・ろく屋種用 ( ・縦型 ・横型)	・100mm以上 ・50mm以上																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・バルコニー用	・100mm以上 ・50mm以上																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
・バルコニー中層用	・100mm以上 ・50mm以上																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																			
広がり速度 (cm/s)	長さ変化率 (収縮)	引張強度 (材齢28日)	曲げ性能 (材齢28日)	吸水性 (7.2時間)	耐久性																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
3以上	3%	0.5N/mm <sup>2</sup> 以上	5.0N/mm <sup>2</sup> 以上	15%以下	5.0N/mm <sup>2</sup> 以上																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (ml/m)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.5未満 低	※200~300	・130																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
樹脂注入工法	0.5以上~1.0以下 中	※200~300	・130																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満 低	・50~100	・40																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
樹脂注入工法	0.3以上~0.5未満 低	・100~200	・70																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上~1.0以下 中	・150~250	・130																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (ml/m)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.5未満 低	※200~300	・130																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
樹脂注入工法	0.5以上~1.0以下 中	※200~300	・130																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満 低	・50~100	・40																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
樹脂注入工法	0.3以上~0.5未満 低	・100~200	・70																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上~1.0以下 中	・150~250	・130																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
工法の種類	アンカーピンの本数 (本/m)		注入口の箇所数 (箇所/m)		注入量 (ml/箇所)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	一般部	指定部	一般部	指定部																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※25	—	—	※25																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	・	・	・	・	※50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	—	—	※25																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16	※9	※16	※50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
・充填工法	—	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
・モルタル塗替え工法	—	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (ml/m)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.5未満 低	※200~300	・130																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
樹脂注入工法	0.5以上~1.0以下 中	※200~300	・130																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満 低	・50~100	・40																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
樹脂注入工法	0.3以上~0.5未満 低	・100~200	・70																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上~1.0以下 中	・150~250	・130																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
工法の種類	アンカーピンの本数 (本/m)		注入口の箇所数 (箇所/m)		注入量 (ml/箇所)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	一般部	指定部	一般部	指定部																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※25	—	—	※25																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	・	・	・	・	※50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	—	—	※25																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16	※9	※16	※50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
・充填工法	—	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
・モルタル塗替え工法	—	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
施工箇所	形状寸法 (mm)	洗面・浴室に用いるもの		その他		備考																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																														
		形状	色	再生材	耐水性																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
		・	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
		・	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
		・	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
新仕上り工法の種類	呼び名	防火材料	仕上げの形状及び工法等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・薄付け仕上げ	・外装塗材S1	・	・砂壁状 ( ・吹付け ・ローラー塗り )																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・厚付け仕上げ	・可とう形外装塗材S1	・	・ゆず肌状 ( ・吹付け ・ローラー塗り )																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	・外装塗材S1	・	・きざざ状 ・平たん状																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	・可とう形外装塗材E	・	・凹凸状 ( ・吹付け ( ・て塗り ) )																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	・防水形外装塗材E	・	・凹凸骨材砂壁状 ( ・吹付け ( ・て塗り ) )																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	・外装塗材S1	・	・砂壁状じゅらく ・変更壁じゅらく																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・厚付け仕上げ	・外装塗材C	・	・吹付け ・凸凹処理 ・平たん状																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・厚付け仕上げ	・外装塗材S1	・	・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・厚付け仕上げ	・外装塗材E	・	・上塗材 ・適用する ・適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・薄層仕上げ	・薄層塗材C	・	・ゆず肌状 ・凸凹処理 ・凹凸模様																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・薄層仕上げ	・薄層塗材E	・	・砂壁状																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・薄層仕上げ	・薄層塗材S1	・	・耐水性 ※耐傷形3種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・薄層仕上げ	・薄層塗材E	・	・耐水性 ※耐傷形3種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・薄層仕上げ	・薄層塗材S1	・	・耐水性 ※耐傷形3種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・可とう形改修工法	・可とう形改修塗材E	・	・砂壁状 ・きざざ状 ・ゆず肌状																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・可とう形改修工法	・可とう形改修塗材E	・	・砂壁状 ・きざざ状 ・ゆず肌状																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・可とう形改修工法	・可とう形改修塗材C	・	・上塗材 ※耐傷形3種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
新仕上り工法の種類	呼び名	防火材料	仕上げの形状及び工法等																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・薄付け仕上げ	・外装塗材S1	・	・砂壁状 ( ・吹付け ・ローラー塗り )																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・厚付け仕上げ	・可とう形外装塗材S1	・	・ゆず肌状 ( ・吹付け ・ローラー塗り )																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	・外装塗材S1	・	・きざざ状 ・平たん状																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	・可とう形外装塗材E	・	・凹凸状 ( ・吹付け ( ・て塗り ) )																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	・防水形外装塗材E	・	・凹凸骨材砂壁状 ( ・吹付け ( ・て塗り ) )																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
	・外装塗材S1	・	・砂壁状じゅらく ・変更壁じゅらく																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・厚付け仕上げ	・外装塗材C	・	・吹付け ・凸凹処理 ・平たん状																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・厚付け仕上げ	・外装塗材S1	・	・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・厚付け仕上げ	・外装塗材E	・	・上塗材 ・適用する ・適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・薄層仕上げ	・薄層塗材C	・	・ゆず肌状 ・凸凹処理 ・凹凸模様																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・薄層仕上げ	・薄層塗材E	・	・砂壁状																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・薄層仕上げ	・薄層塗材S1	・	・耐水性 ※耐傷形3種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・薄層仕上げ	・薄層塗材E	・	・耐水性 ※耐傷形3種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・薄層仕上げ	・薄層塗材S1	・	・耐水性 ※耐傷形3種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・可とう形改修工法	・可とう形改修塗材E	・	・砂壁状 ・きざざ状 ・ゆず肌状																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・可とう形改修工法	・可とう形改修塗材E	・	・砂壁状 ・きざざ状 ・ゆず肌状																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
・可とう形改修工法	・可とう形改修塗材C	・	・上塗材 ※耐傷形3種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
種別	A種	B種																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																		
工法の種類	アンカーピンの本数 (本/m)		注入口の箇所数 (箇所/m)		注入量 (ml/箇所)																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
	一般部	指定部	一般部	指定部																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※25	—	—	※25																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	・	・	・	・	※50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	—	—	※25																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16	※9	※16	※50																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
・充填工法	—	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
・モルタル塗替え工法	—	—	—	—	—																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																															
建具の種類	かぶせ工法	撤去工法	適用箇所																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																	
			・建具表による	・建具裏による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
・アルミ合金製建具	—	—	・建具表による	・建具裏による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
・樹脂製建具	—	—	・建具表による	・建具裏による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
・金属製建具	・外部	・内部	・建具表による	・建具裏による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
・樹脂製建具	—	—	・建具表による	・建具裏による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
・ステンレス製建具	—	—	・建具表による	・建具裏による																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																
<p>概要</p>								<p>設計年月日 2021/11/15</p> <p>承認担当製図 承認者 N.S. T.S. T.S.</p> <p>変更年月日</p> <p>工事名称 市立小・中学校屋内運動場空調設備設置工事 その1 (ゼロ債務)</p> <p>図面名称 改修建築工事 特記仕様書 (2)</p> <p>縮尺</p>			<p>図面番号 A-2</p>																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																									

5 アルミニウム製建具	性能値等 耐風圧性、気密性及び水密性の等級、枠の見込み寸法 外部に面する建具の種類 ・A種 ・B種 ・C種 (適用する建具 ※建具表による) 上記以外の建具 (※建具表による ・図示) 防音ドア、防音サッシとする場合 遮音性の等級 ( ) (適用する建具 ※建具表による) 断熱ドア、断熱サッシ ( ) とする場合 断熱性の等級 ( ) (適用する建具 ※建具表による) 耐震ドアとする場合 面内変形追随性の等級 ( ) (適用する建具 ※建具表による)	5.2.2~5 [表5.2.1、2]
6 樹脂製建具	性能値等 耐風圧性、気密性及び水密性の等級、枠の見込み寸法 外部に面する建具の種類 ・A種 ・B種 ・C種 (適用する建具 ※建具表による) 上記以外の建具 (※建具表による ・図示) 防音ドア、防音サッシとする場合の遮音性の等級 外部に面する建具の種類 ・H種 ・I種 (適用する建具 ※建具表による) 上記以外の建具 (※建具表による ・図示) 断熱ドア、断熱サッシ ( ) とする場合の断熱性の等級 外部に面する建具の種類 ・H-A種 ・H-B種 ・H-C種 (適用する建具 ※建具表による) 上記以外の建具 (※建具表による ・図示)	5.2.2 [5.3.2~5]
7 鋼製建具	性能値等 簡易気密型ドアセットの気密性及び水密性の等級 ・適用する (※建具表による) ・適用しない 外部に面する鋼製建具の耐風圧性の等級 ・S-4 ・S-5 ・S-6 (適用する建具 ※建具表による) 防音ドア、防音サッシとする場合 遮音性の等級 ( ) (適用する建具 ※建具表による) 断熱ドア、断熱サッシ ( ) とする場合 断熱性の等級 ( ) (適用する建具 ※建具表による) 耐震ドアとする場合 面内変形追随性の等級 ( ) (適用する建具 ※建具表による)	5.2.2 [5.4.2、4] [表5.4.2]
8 鋼製軽量建具	性能値等 簡易気密型ドアセットの気密性の等級 ・適用する (※建具表による) ・適用しない 防音ドア、防音サッシとする場合 遮音性の等級 ( ) (適用する建具 ※建具表による) 断熱ドア、断熱サッシ ( ) とする場合 断熱性の等級 ( ) (適用する建具 ※建具表による) 耐震ドアとする場合 面内変形追随性の等級 ( ) (適用する建具 ※建具表による)	5.2.2 [5.5.2~4]
9 ステンレス製建具	性能値等 簡易気密型ドアセットの気密性及び水密性の等級 ・適用する (※建具表による) ・適用しない 外部に面するステンレス製建具の耐風圧性の等級 ・S-4 ・S-5 ・S-6 (適用する建具 ※建具表による) 防音ドア、防音サッシとする場合 遮音性の等級 ( ) (適用する建具 ※建具表による) 断熱ドア、断熱サッシ ( ) とする場合 断熱性の等級 ( ) (適用する建具 ※建具表による) 耐震ドアとする場合 面内変形追随性の等級 ( ) (適用する建具 ※建具表による)	5.2.2 [5.4.2] [5.6.2~5]
10 木製建具	性能値等 簡易気密型ドアセットの気密性及び水密性の等級 ・適用する (※建具表による) ・適用しない 外部に面する木製建具の耐風圧性の等級 ・S-4 ・S-5 ・S-6 (適用する建具 ※建具表による) 防音ドア、防音サッシとする場合 遮音性の等級 ( ) (適用する建具 ※建具表による) 断熱ドア、断熱サッシ ( ) とする場合 断熱性の等級 ( ) (適用する建具 ※建具表による) 耐震ドアとする場合 面内変形追随性の等級 ( ) (適用する建具 ※建具表による)	16.7.2~4

11 建具用金物	・ふすま 張りの種類 ( ・I型 ・II型) 上張り (押入等の裏側以外) ・鳥の子 ・新鳥の子又はビニル紙程度 ・鳥の子 ・新鳥の子又はビニル紙程度 ・生地織 (奥地) ・生地織 (クレタックリヤー塗装) 見込み寸法 ※19.5mm ・建具表による	[5.7.1~3]
12 鍵	・戸ふすま 見込み寸法 ※30mm ・建具表による	[5.7.4]
13 自動ドア開閉装置	・紙張り障子 見込み寸法 ※30mm ・建具表による	[5.8.2、3]
14 閉鎖式上吊り戸装置	金物の種類及び見え掛り部の材質等 ※[表5.7.1]及び適用は建具表による 金属製建具に使用する丁寧の枚数及び大きさ ※[表5.7.2]による ・建具表による 樹脂製建具に使用する丁寧の枚数及び大きさ ※[表5.7.3]による ・建具表による 握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセント等の取付位置 ・建具表による ・図示 木製建具に使用する戸車及びレール ※標準仕様書 表16.8.5による ・建具表による	[5.9.3]
15 重量シャッター	引き戸用駆動装置及び検出装置の種類 自動ドア 性能値 耐電圧、温度上昇、 耐久性(サイクル) 防錆 検出装置(センサー) の種類 凍結防止措置	[5.10.2、3]
16 軽量シャッター	多機能トイレ出入口に設置される引き戸 出入口引き戸用駆動装置の性能値 ※[表5.8.2]による (防錆の適用 ・する ※しない) 上記によらない場合 ( ) 検出装置(センサー)の種類 ・建具表による ・上記表と同じ 凍結防止措置 ・行う (適用箇所は建具表による) ・行わない	[5.11.2~4]
17 オーバーヘッドドア	引き戸用検出装置の性能値 ※[表5.8.3]による ・上記によらない場合 ( ) 戸の開閉方式 ※建具表による ・図示	[5.12.2、3]
18 ガラス	性能 ※[表5.9.1]による シャッターの種類 耐風圧強度 一般重量シャッター 耐風圧強度 ( ) N/m <sup>2</sup> 外装用防炎シャッター 耐風圧強度 ( ) N/m <sup>2</sup> 屋内用防炎シャッター 屋内用防煙シャッター 開閉方式の種類 ※上部電動式 (手動併用) ・上部手動式 ・二重チェーン、急降下制動装置、急降下停止装置等を設けた電動シャッターの設置箇所 ※図示 ・障害物感知装置を設けた電動式シャッターの設置箇所 ※図示 ・屋内用防火シャッター(若しくは防煙シャッター)の危険防止機構 ※[5.10.2、4] (a)①(2)に適合するもので、以下のいずれかの機構を有するものとする ※(a)障害物感知装置(自動閉鎖型) ・(b)可動床板式 設置箇所 ※図示 ・管理用シャッターのシャッターケースの設置箇所 ※図示	[3.7] [5.13.2~4]

19 ガラスブロック	複層ガラス 種類 断熱性 日射取得性、 日射遮蔽性	[5.13.5]
20 ガラス用フィルム	種類 記号 その他性能等	[5.13.5]
① 改修範囲	既存切妻の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲 ※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲 ※壁面より前面600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示 既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修 ※既存のまま ・図示	[6.1.3]
② 既存床の撤去及び下地補修	ビニル床シートの除去 ※仕上げ材のみ (接着剤とも) 下地モルタルも ( ・図示の範囲 ・除去範囲全て) 合成樹脂面床材の除去工法 ・機械的除去工法 ・目張り工法 コンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及び エポキシ樹脂モルタルは、「4章 外壁改修工事」による。 改修後の床の清掃範囲 ※改修箇所の室内	[6.2.2]
③ 既存壁の撤去及び下地補修	間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 ※[4.4.9]によるモルタル塗り (塗り厚25mmを超える場合の処理 ※図示) ○図示	[6.3.2]
4 木下地等の表面仕上げ	表面仕上げの種類 適用箇所	[6.5.1]
5 製材 (G)	「製材の日本農林規格」による下地用針葉樹製材 「製材の日本農林規格」による造作用針葉樹製材 「製材の日本農林規格」による造作用広葉樹製材	[6.5.2]

6 造作用集成材 (G)	「製材の日本農林規格」による広葉樹製材 「製材の日本農林規格」以外の製材 ホルムアルデヒド放数量 ※規制対象外	[6.5.2]
7 造作用単板精層材 (G)	「単板精層材の日本農林規格」による造作用単板精層材 「単板精層材の日本農林規格」以外の造作用単板精層材 ホルムアルデヒド放数量 ※規制対象外	[6.5.2]
⑧ 合板等	「合板の日本農林規格」による普通合板 (G) 「合板の日本農林規格」による構造用合板 (G) 「合板の日本農林規格」による化粧化粧用合板 (G) ホルムアルデヒド放数量 ※規制対象外	[6.5.2]

摘要	
----	--

 **ハナガタ建築設計事務所**  
一級建築士事務所 一級建築士NO.183598号 菅谷 隆

設計年月日	2021/11/15	承認	担当	製図	工事名称	図面名称
変更年月日		N.S	T.S	T.S	市立小・中学校屋内運動場空調設備設置工事 その1 (ゼロ債務)	縮尺
					改修建築工事 特記仕様書 (3)	

図面番号	A-3
------	-----

	<p>①「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板 <b>G</b></p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>接着の程度</th> <th>化粧板に使用する 単板の樹種名</th> <th>防虫処理 の適用</th> <th>間伐材等 の適用</th> </tr> <tr> <td>アリーナ床点検口</td> <td>t=16</td> <td>1類・2類</td> <td>既存に合わせる</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 <b>G</b></p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>接着の程度</th> <th>単板の 樹種名</th> <th>化粧加工 の方法</th> <th>防虫処理 の適用</th> <th>間伐材等 の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>1類・2類</td> <td></td> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>・パーティクルボード <b>G</b></p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>表裏面の状態 による区分</th> <th>曲げ強さ による区分</th> <th>耐水性 による区分</th> <th>難燃性 による区分</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>間伐材等 の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>※13タイプ</td> <td>・</td> <td>※P又はM</td> <td>※15</td> <td>・</td> </tr> </table> <p>・構造用パネル</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>等級</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>1級・2級・3級・4級</td> </tr> </table> <p>・MDF <b>G</b></p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>表裏面の状態 による区分</th> <th>曲げ強さ による区分</th> <th>接着剤 による区分</th> <th>難燃性 による区分</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>間伐材等 の適用</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>9 接合具等 (6.5.3、4)</p> <p>諸金物の形状、寸法及び材質 ※かすがい、産金、箱金物及び短冊金物は、[6.5.3](2)(7)による</p> <p>接着剤は可塑剤(難揮発性の可塑剤を除く)が添付されていないものとする。 ホルムアルデヒドの放放量 ※規制対象外</p> <p>10 防塵・防蟻・防虫処理 (6.5.5)</p> <p>・防塵、防蟻処理を省略できる樹種による場合 適用部位:( )</p> <p>・薬剤の加圧注入による防塵、防蟻処理</p> <table border="1"> <tr> <th>適用部材</th> <th>保存処理性能区分</th> </tr> <tr> <td></td> <td>K2・K3・K4</td> </tr> </table> <p>・薬剤の塗布等による防塵、防蟻処理</p> <table border="1"> <tr> <th>適用部材</th> <th>処理の方法</th> <th>薬剤の種類</th> </tr> <tr> <td></td> <td>※[6.5.5](1)(b)による</td> <td></td> </tr> </table> <p>・薬剤の接着剤への混入による防塵、防蟻処理 適用部位( )</p> <p>・合板等の加圧注入による防塵、防蟻処理 ( )</p> <p>防虫処理 ・適用する ・適用しない</p> <p>11 内部間仕切り、窓、床 等の木材 (6.5.6~9)</p> <p>R3造等の内部間仕切り壁 ※杉又は松 床組 ※杉又は松</p> <p>窓、出入口その他 吊元枠、水掛かりの下枠及び敷居 ※ひのき その他 ※松又は杉</p> <p>縁甲板及び上がりがまち ※ひのき 壁及び天井下地 ※杉又は松</p> <p>12 軽量鉄骨天井下地 (6.6.2~4)</p> <p>野縁等の種類 屋外(※25形・19形) 屋内(※19形・25形) 屋外の軒天等、ピロティ天井等</p> <p>建築基準法に基づき定まる風圧力の(1.1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法 野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔 図示 周辺部の端からの間隔 図示 野縁の間隔 図示</p> <p>既存の埋込みインサート ・使用する ・使用しない 既存の埋込みインサート及びあも施工アンカーの確認試験 行う(記録簿記載) ・確認済 取り付ルトの間隔が300mmを超える場合の補強方法 図示 ・天井のふところ幅1.5m以上3.0m以下の場合の補強方法 ※[6.6.4](8)(7)(4)による ・天井のふところ幅3.0mを超える場合の補強方法 図示 ・天井下地材における耐震性を考慮した補強 補強箇所 図示 補強方法 図示</p> <p>13 軽量鉄骨天井下地 (6.7.3、4)</p> <p>スタッド、ランナーの種類 ※[表6.7.1]により「スタッドの高さによる区分」に応じた種類 スタッドの高さが5mを超える場合 図示 出入口及びこれに準じる開口部の補強 ※[6.7.4](5)(7)(4)による</p> <p>14 ビニル床シート <b>G</b> (6.8.2)</p> <p>接着剤 ホルムアルデヒドの放放量 ※規制対象外 セメント系及び木質系下地以外の場合 ( )</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種類の記号</th> <th>色柄</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td>※FS(接層ビニル床シート)</td> <td>・無地</td> <td>※2.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・モフ4柄</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・柄物</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>目地処理する場合の工法 ※熱溶接工法</p> <p>15 ビニル床タイル <b>G</b> (6.8.2)</p> <p>接着剤 ホルムアルデヒドの放放量 ※規制対象外 セメント系及び木質系下地以外の場合 ( )</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種類の記号</th> <th>色柄</th> <th>寸法</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td>※KT(ホトリックビニル床タイル)</td> <td>・無地</td> <td>・300×300</td> <td>※2.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・IT(単層ビニル床タイル)</td> <td>・柄物</td> <td>・450×450</td> <td>・2.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・FT(複層ビニル床タイル)</td> <td></td> <td>・500×500</td> <td>・3.0</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・FOA(置敷きビニル床タイル)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・FOB(薄型置敷きビニル床タイル)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>16 特殊機能床材 (6.8.2)</p> <table border="1"> <tr> <th></th> <th>厚さ、寸法、形状</th> <th>性能</th> <th>種類</th> </tr> <tr> <td>・帯電防止床シート</td> <td>(mm)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・帯電防止床タイル</td> <td>×(mm)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・視覚障害者用床タイル</td> <td>(mm)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・耐動向磁性床シート</td> <td>(mm)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・防滑性床シート</td> <td>(mm)</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・防滑性床タイル</td> <td>×(mm)</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>視覚障害者用床タイル 突起の形状、寸法及びその配列は JIS T 9521 による</p> <p>17 ビニル幅木 (6.8.2)</p> <p>材質 ・軟質 ・硬質 ・床シート巻上げ(端部の処理は図示による)</p> <p>高さ(mm) ※60 ・75 ・100</p> <p>厚さ(mm) ※1.5以上</p> <p>18 ゴム床タイル (6.8.2)</p> <p>接着剤のホルムアルデヒドの放放量 ※規制対象外 セメント系及び木質系下地以外の場合 ( )</p> <p>種類 ( ) 色柄 ( )</p> <p>厚さ(mm) ( ) 寸法(mm) ( )</p>	施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	化粧板に使用する 単板の樹種名	防虫処理 の適用	間伐材等 の適用	アリーナ床点検口	t=16	1類・2類	既存に合わせる	・	・	施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	単板の 樹種名	化粧加工 の方法	防虫処理 の適用	間伐材等 の適用			1類・2類			・	・	施工箇所	表裏面の状態 による区分	曲げ強さ による区分	耐水性 による区分	難燃性 による区分	厚さ (mm)	間伐材等 の適用			※13タイプ	・	※P又はM	※15	・	施工箇所	厚さ(mm)	等級			1級・2級・3級・4級	施工箇所	表裏面の状態 による区分	曲げ強さ による区分	接着剤 による区分	難燃性 による区分	厚さ (mm)	間伐材等 の適用								適用部材	保存処理性能区分		K2・K3・K4	適用部材	処理の方法	薬剤の種類		※[6.5.5](1)(b)による		施工箇所	種類の記号	色柄	厚さ(mm)	備考		※FS(接層ビニル床シート)	・無地	※2.0				・モフ4柄					・柄物			施工箇所	種類の記号	色柄	寸法	厚さ(mm)	備考		※KT(ホトリックビニル床タイル)	・無地	・300×300	※2.0			・IT(単層ビニル床タイル)	・柄物	・450×450	・2.5			・FT(複層ビニル床タイル)		・500×500	・3.0			・FOA(置敷きビニル床タイル)						・FOB(薄型置敷きビニル床タイル)						厚さ、寸法、形状	性能	種類	・帯電防止床シート	(mm)			・帯電防止床タイル	×(mm)			・視覚障害者用床タイル	(mm)			・耐動向磁性床シート	(mm)			・防滑性床シート	(mm)			・防滑性床タイル	×(mm)																																																																																																															
施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	化粧板に使用する 単板の樹種名	防虫処理 の適用	間伐材等 の適用																																																																																																																																																																																																																																																																			
アリーナ床点検口	t=16	1類・2類	既存に合わせる	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																			
施工箇所	厚さ (mm)	接着の程度	単板の 樹種名	化粧加工 の方法	防虫処理 の適用	間伐材等 の適用																																																																																																																																																																																																																																																																		
		1類・2類			・	・																																																																																																																																																																																																																																																																		
施工箇所	表裏面の状態 による区分	曲げ強さ による区分	耐水性 による区分	難燃性 による区分	厚さ (mm)	間伐材等 の適用																																																																																																																																																																																																																																																																		
		※13タイプ	・	※P又はM	※15	・																																																																																																																																																																																																																																																																		
施工箇所	厚さ(mm)	等級																																																																																																																																																																																																																																																																						
		1級・2級・3級・4級																																																																																																																																																																																																																																																																						
施工箇所	表裏面の状態 による区分	曲げ強さ による区分	接着剤 による区分	難燃性 による区分	厚さ (mm)	間伐材等 の適用																																																																																																																																																																																																																																																																		
適用部材	保存処理性能区分																																																																																																																																																																																																																																																																							
	K2・K3・K4																																																																																																																																																																																																																																																																							
適用部材	処理の方法	薬剤の種類																																																																																																																																																																																																																																																																						
	※[6.5.5](1)(b)による																																																																																																																																																																																																																																																																							
施工箇所	種類の記号	色柄	厚さ(mm)	備考																																																																																																																																																																																																																																																																				
	※FS(接層ビニル床シート)	・無地	※2.0																																																																																																																																																																																																																																																																					
		・モフ4柄																																																																																																																																																																																																																																																																						
		・柄物																																																																																																																																																																																																																																																																						
施工箇所	種類の記号	色柄	寸法	厚さ(mm)	備考																																																																																																																																																																																																																																																																			
	※KT(ホトリックビニル床タイル)	・無地	・300×300	※2.0																																																																																																																																																																																																																																																																				
	・IT(単層ビニル床タイル)	・柄物	・450×450	・2.5																																																																																																																																																																																																																																																																				
	・FT(複層ビニル床タイル)		・500×500	・3.0																																																																																																																																																																																																																																																																				
	・FOA(置敷きビニル床タイル)																																																																																																																																																																																																																																																																							
	・FOB(薄型置敷きビニル床タイル)																																																																																																																																																																																																																																																																							
	厚さ、寸法、形状	性能	種類																																																																																																																																																																																																																																																																					
・帯電防止床シート	(mm)																																																																																																																																																																																																																																																																							
・帯電防止床タイル	×(mm)																																																																																																																																																																																																																																																																							
・視覚障害者用床タイル	(mm)																																																																																																																																																																																																																																																																							
・耐動向磁性床シート	(mm)																																																																																																																																																																																																																																																																							
・防滑性床シート	(mm)																																																																																																																																																																																																																																																																							
・防滑性床タイル	×(mm)																																																																																																																																																																																																																																																																							
19 カーペット敷き (6.9.2、3) <p>・織じゅうたん 品質 織り方及びバレル形状 ( ) 色柄、バレル糸の種類 ( ) 種別 ・A類 ・B類 ・C類 帯電性 ・適用する ・適用しない 織じゅうたんの接合方法 ※ヒートボンド工法 下敷き材 ※反毛フェルト(JIS L 3204)の第2種2号 呼び厚さ8mm</p> <p>・タフแดดカーペット</p> <table border="1"> <tr> <th>バレル形状</th> <th>バレル長さ(mm)</th> <th>工法</th> <th>帯電性</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・カットバレル</td> <td>・</td> <td>※全面接着工法</td> <td>・適用する( )</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・ループバレル</td> <td>・</td> <td>・グリッパー工法</td> <td>・適用しない</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・カット、ループ併用</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td></td> </tr> </table> <p>下敷き材(グリッパー工法の場合) ※反毛フェルト(JIS L 3204)の第2種2号 呼び厚さ8mm</p> <p>・ニードルパンチカーペット 厚さ(mm) ( ) 帯電性 ・適用する(性能:※人体帯電3kV以下) ・適用しない 備考 ( )</p> <p>・タイルカーペット</p> <table border="1"> <tr> <th>バレル形状</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>寸法</th> <th>総厚さ(mm)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>※ループバレル</td> <td>※第一種 ・第二種</td> <td></td> <td>※500×500</td> <td>※6.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・カットバレル</td> <td>・第一種 ・第二種</td> <td></td> <td>※500×500</td> <td>※6.5</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・カット、ループ併用</td> <td>・第一種 ・第二種</td> <td></td> <td>※500×500</td> <td>※6.5</td> <td></td> </tr> </table> <p>タイルカーペットの敷き方 平場 ※糸松敷き ・縁種返し ・ 階段部分 ※根柢流し ・市松敷き 見切り、押え金物 ・適用する(材質、形状等 図示) ・適用しない</p> <p>20 合成樹脂塗床 (6.10.2、3)</p> <p>塗料のホルムアルデヒド放放量 ※規制対象外</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>施工箇所</th> <th>工法</th> <th>仕上りの種類</th> </tr> <tr> <td>・厚膜型塗床材 (弾性/シロ樹脂系塗床)</td> <td></td> <td></td> <td>※平滑仕上げ ・防汚仕上げ ・つや消し仕上げ</td> </tr> <tr> <td>・厚膜型塗床材 (非シロ樹脂系塗床)</td> <td>・薄膜流しの工法 ・薄膜流しの工法 ・樹脂移り工法</td> <td></td> <td>・平滑仕上げ ・防汚仕上げ</td> </tr> <tr> <td>・薄膜型塗床材 (非シロ樹脂系塗床)</td> <td></td> <td></td> <td>※平滑仕上げ</td> </tr> <tr> <td>・77μ樹脂塗床 (JIS K 5970 (防腐塗料塗布))</td> <td>※製造所の指定による</td> <td></td> <td>表面仕上げ ※平滑 溶剤 ※水性</td> </tr> </table> <p>21 フローリング張り (6.11.2~6)</p> <p>フローリング及び接着剤のホルムアルデヒド放放量 ※規制対象外</p> <p>単層フローリング <b>G</b></p> <p>・フローリングボード1等 工法 ・釘止め工法(ノ根太張り・直張り) ・接着工法 樹種 ※なら 厚さ、大きさ ※[表6.11.1]による 仕上塗装 ・塗装品 ・無塗装品 間伐材等の適用 ・する ・しない</p> <p>・フローリングブロック1等 工法 ※接着工法 樹種 ※図示 厚さ、大きさ ※図示 仕上塗装 ・塗装品 ・無塗装品 間伐材等の適用 ・する ・しない</p> <p>複合フローリング <b>G</b></p> <p>・天然化粧複合フローリング 工法 ・釘止め工法(ノ根太張り・直張り) ・接着工法 樹種 ※なら 種別[表6.11.2、A、G] ・A種 ・B種 ・C種 仕上塗装 ・塗装品 ・無塗装品 間伐材等の適用 ・する ・しない</p> <p>接着工法の場合の裏面接着材 ※合成樹脂発泡シート ・現場塗装仕上げ ※ウレタン樹脂ワニス塗り ・オイルステインの上、ワックス塗り ・生地のままワックス塗り</p> <p>22 畳敷き (6.12.2)</p> <p>種別 ・A種 ・B種 ・C種 ・D種(畳床:・KT-I・KT-II・KT-III・KT-K・KT-N) 下地の種類 ・標準仕様書表12.6.1による床組 ・ポリスチレンフォーム床下地(ノンフロム <b>G</b>)</p> <p>畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、 発散量が極めて少ない材料を使用したものとする。</p> <p>23 せっこうボード その他ボード及び 合板張り (6.13.2、3)</p> <p>適用は以下による(図示による)</p> <p>合板類、MDF、パーティクルボード及び接着剤のホルムアルデヒド放放量 ※規制対象外</p> <p>木質系セメント板</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>規格等</th> </tr> <tr> <td>・硬質毛セメント板 <b>G</b></td> <td>・15</td> <td>・20</td> <td>・25</td> </tr> <tr> <td>・中質毛セメント板 <b>G</b></td> <td>・15</td> <td>・20</td> <td>・25</td> </tr> <tr> <td>・普通毛セメント板 <b>G</b></td> <td>・15</td> <td>・20</td> <td>・25</td> </tr> <tr> <td>・硬質木片セメント板 <b>G</b></td> <td>・12</td> <td>・15</td> <td>・18</td> <td>・21</td> </tr> <tr> <td>・普通木片セメント板 <b>G</b></td> <td>・30</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>合板、化粧板</p> <p>・普通合板 <b>G</b></p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>表板の材種</th> </tr> <tr> <td></td> <td>生地、透明塗料塗り (※90°程度)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>不透明塗料塗り (※15°程度)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>板面の品質 ( )</td> </tr> <tr> <td></td> <td>厚さ(mm) ( )</td> </tr> <tr> <td></td> <td>接着の程度(1類・2類)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・防虫処理</td> </tr> </table> <p>・天然化粧合板 <b>G</b></p> <table border="1"> <tr> <th>化粧板の樹種名( )</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>接着の程度(1類・2類)</th> <th>防虫処理</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>・特殊加工化粧合板 <b>G</b></p> <table border="1"> <tr> <th>化粧加工の方法(・イボイ・フリティ・塗装)</th> <th>表面性能( )タイプ</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>接着の程度(1類・2類)</th> <th>防虫処理</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>24 壁紙張り (6.14.2、3)</p> <p>壁紙のホルムアルデヒド放放量 ※規制対象外</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>壁紙の種類</th> <th>紙</th> <th>織物</th> <th>強化繊維</th> <th>繊維</th> <th>無機質</th> <th>その他</th> <th>防火種別</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・不燃・準不燃</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・不燃・準不燃</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・不燃・準不燃</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・不燃・準不燃</td> <td></td> </tr> </table> <p>モルタル・プラスチック面の下地調整 ※図示 コンクリート面の下地調整 ※図示 せっこうボード面の下地調整 ※図示</p> <p>モルタル・現場調査材料 ・既調査材料 ( ) [6.15.3、5、6] 既製目地材 施工箇所( )形状(※図示) ・壁面の仕上げ厚又は全張り厚が25mmを超える場合の下地処理 ( ) ・床目地 目地割リ ※2m程度(最大目地間隔3m程度) 種類 ※目地</p> <p>26 タイル張り (6.16.2~4)</p> <p>伸縮調整目地の位置 床タイル (※縦、横とも4m以内ごと) 図示 床タイル以外 ( )図示</p> <p>セメントモルタルによるタイル張り タイルの形状、寸法等</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th colspan="2">形状/寸法</th> <th rowspan="2">吸水率による区分</th> <th rowspan="2">滑り性</th> <th rowspan="2">役物</th> <th rowspan="2">色</th> <th rowspan="2">再生材</th> <th rowspan="2">耐凍害性</th> <th rowspan="2">耐汚</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>1種</th> <th>2種</th> <th>3種</th> <th>無ゆう</th> <th>ゆう</th> <th>有</th> <th>無</th> <th>標準</th> <th>特注</th> <th>適用</th> <th>有</th> <th>無</th> <th>り</th> <th>性</th> </tr> <tr> <td></td> </tr> </table> <p>標準的な曲がりの役物は一様成形とする 試験経リ ・行う ・行わない 見本規き ・行う ・行わない モルタル塗りのコンクリート素地面の処理 ・MOR工法 ・目視し工法(高圧水洗処理)</p> <p>壁タイル張りの工法 外壁タイル ・密着張り ・改良積上げ張り ・改良圧着張り 内壁タイル以外のユニットタイル ・マスク張り ・モザイクタイル張り</p> <p>・既調査モルタル モルタル下地としたタイル工事に使用する既付け用モルタルとして、セメント、 細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。</p> <p>接着剤による陶磁器質タイル張り タイルの形状、寸法等</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">施工箇所</th> <th colspan="2">形状/寸法</th> <th rowspan="2">吸水率による区分</th> <th rowspan="2">滑り性</th> <th rowspan="2">役物</th> <th rowspan="2">色</th> <th rowspan="2">再生材</th> <th rowspan="2">耐凍害性</th> <th rowspan="2">耐汚</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>1種</th> <th>2種</th> <th>3種</th> <th>無ゆう</th> <th>ゆう</th> <th>有</th> <th>無</th> <th>標準</th> <th>特注</th> <th>適用</th> <th>有</th> <th>無</th> <th>り</th> <th>性</th> </tr> <tr> <td></td> </tr> </table> <p>標準的な曲がりの役物は一様成形とする 試験経リ ・行う ・行わない 見本規き ・行う ・行わない 接着剤のホルムアルデヒド放放量 ※規制対象外 モルタル塗りをコンクリート素地面の処理 ・MOR工法 ・目視し工法(高圧水洗処理)</p> <p>目地のシーリング材 打継ぎ目地 ※ポリウレタン系シーリング材 ひび割れ誘発目地 ※ポリウレタン系シーリング材 伸縮調整目地 ※変成シリコン系シーリング材 その他の目地 ※変成シリコン系シーリング材</p> <p>27 セルフレベリング材 塗リ (6.17.2、3)</p> <p>種類及び品質 ・せっこう系 ・セメント系 標準厚(mm)</p>	バレル形状	バレル長さ(mm)	工法	帯電性	備考	・カットバレル	・	※全面接着工法	・適用する( )		・ループバレル	・	・グリッパー工法	・適用しない		・カット、ループ併用	・	・	・		バレル形状	種別	施工箇所	寸法	総厚さ(mm)	備考	※ループバレル	※第一種 ・第二種		※500×500	※6.5		・カットバレル	・第一種 ・第二種		※500×500	※6.5		・カット、ループ併用	・第一種 ・第二種		※500×500	※6.5		種類	施工箇所	工法	仕上りの種類	・厚膜型塗床材 (弾性/シロ樹脂系塗床)			※平滑仕上げ ・防汚仕上げ ・つや消し仕上げ	・厚膜型塗床材 (非シロ樹脂系塗床)	・薄膜流しの工法 ・薄膜流しの工法 ・樹脂移り工法		・平滑仕上げ ・防汚仕上げ	・薄膜型塗床材 (非シロ樹脂系塗床)			※平滑仕上げ	・77μ樹脂塗床 (JIS K 5970 (防腐塗料塗布))	※製造所の指定による		表面仕上げ ※平滑 溶剤 ※水性	種類	厚さ(mm)	規格等	・硬質毛セメント板 <b>G</b>	・15	・20	・25	・中質毛セメント板 <b>G</b>	・15	・20	・25	・普通毛セメント板 <b>G</b>	・15	・20	・25	・硬質木片セメント板 <b>G</b>	・12	・15	・18	・21	・普通木片セメント板 <b>G</b>	・30				種類	表板の材種		生地、透明塗料塗り (※90°程度)		不透明塗料塗り (※15°程度)		板面の品質 ( )		厚さ(mm) ( )		接着の程度(1類・2類)		・防虫処理	化粧板の樹種名( )	厚さ(mm)	接着の程度(1類・2類)	防虫処理					化粧加工の方法(・イボイ・フリティ・塗装)	表面性能( )タイプ	厚さ(mm)	接着の程度(1類・2類)	防虫処理						施工箇所	壁紙の種類	紙	織物	強化繊維	繊維	無機質	その他	防火種別	備考			・	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃				・	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃				・	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃				・	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃		施工箇所	形状/寸法		吸水率による区分	滑り性	役物	色	再生材	耐凍害性	耐汚	備考	1種	2種	3種	無ゆう	ゆう	有	無	標準	特注	適用	有	無	り	性																							施工箇所	形状/寸法		吸水率による区分	滑り性	役物	色	再生材	耐凍害性	耐汚	備考	1種	2種	3種	無ゆう	ゆう	有	無	標準	特注	適用	有	無	り	性																					
バレル形状	バレル長さ(mm)	工法	帯電性	備考																																																																																																																																																																																																																																																																				
・カットバレル	・	※全面接着工法	・適用する( )																																																																																																																																																																																																																																																																					
・ループバレル	・	・グリッパー工法	・適用しない																																																																																																																																																																																																																																																																					
・カット、ループ併用	・	・	・																																																																																																																																																																																																																																																																					
バレル形状	種別	施工箇所	寸法	総厚さ(mm)	備考																																																																																																																																																																																																																																																																			
※ループバレル	※第一種 ・第二種		※500×500	※6.5																																																																																																																																																																																																																																																																				
・カットバレル	・第一種 ・第二種		※500×500	※6.5																																																																																																																																																																																																																																																																				
・カット、ループ併用	・第一種 ・第二種		※500×500	※6.5																																																																																																																																																																																																																																																																				
種類	施工箇所	工法	仕上りの種類																																																																																																																																																																																																																																																																					
・厚膜型塗床材 (弾性/シロ樹脂系塗床)			※平滑仕上げ ・防汚仕上げ ・つや消し仕上げ																																																																																																																																																																																																																																																																					
・厚膜型塗床材 (非シロ樹脂系塗床)	・薄膜流しの工法 ・薄膜流しの工法 ・樹脂移り工法		・平滑仕上げ ・防汚仕上げ																																																																																																																																																																																																																																																																					
・薄膜型塗床材 (非シロ樹脂系塗床)			※平滑仕上げ																																																																																																																																																																																																																																																																					
・77μ樹脂塗床 (JIS K 5970 (防腐塗料塗布))	※製造所の指定による		表面仕上げ ※平滑 溶剤 ※水性																																																																																																																																																																																																																																																																					
種類	厚さ(mm)	規格等																																																																																																																																																																																																																																																																						
・硬質毛セメント板 <b>G</b>	・15	・20	・25																																																																																																																																																																																																																																																																					
・中質毛セメント板 <b>G</b>	・15	・20	・25																																																																																																																																																																																																																																																																					
・普通毛セメント板 <b>G</b>	・15	・20	・25																																																																																																																																																																																																																																																																					
・硬質木片セメント板 <b>G</b>	・12	・15	・18	・21																																																																																																																																																																																																																																																																				
・普通木片セメント板 <b>G</b>	・30																																																																																																																																																																																																																																																																							
種類	表板の材種																																																																																																																																																																																																																																																																							
	生地、透明塗料塗り (※90°程度)																																																																																																																																																																																																																																																																							
	不透明塗料塗り (※15°程度)																																																																																																																																																																																																																																																																							
	板面の品質 ( )																																																																																																																																																																																																																																																																							
	厚さ(mm) ( )																																																																																																																																																																																																																																																																							
	接着の程度(1類・2類)																																																																																																																																																																																																																																																																							
	・防虫処理																																																																																																																																																																																																																																																																							
化粧板の樹種名( )	厚さ(mm)	接着の程度(1類・2類)	防虫処理																																																																																																																																																																																																																																																																					
化粧加工の方法(・イボイ・フリティ・塗装)	表面性能( )タイプ	厚さ(mm)	接着の程度(1類・2類)	防虫処理																																																																																																																																																																																																																																																																				
施工箇所	壁紙の種類	紙	織物	強化繊維	繊維	無機質	その他	防火種別	備考																																																																																																																																																																																																																																																															
		・	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃																																																																																																																																																																																																																																																																
		・	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃																																																																																																																																																																																																																																																																
		・	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃																																																																																																																																																																																																																																																																
		・	・	・	・	・	・	・不燃・準不燃																																																																																																																																																																																																																																																																
施工箇所	形状/寸法		吸水率による区分	滑り性	役物	色	再生材	耐凍害性	耐汚	備考																																																																																																																																																																																																																																																														
	1種	2種									3種	無ゆう	ゆう	有	無	標準	特注	適用	有	無	り	性																																																																																																																																																																																																																																																		
施工箇所	形状/寸法		吸水率による区分	滑り性	役物	色	再生材	耐凍害性	耐汚	備考																																																																																																																																																																																																																																																														
	1種	2種									3種	無ゆう	ゆう	有	無	標準	特注	適用	有	無	り	性																																																																																																																																																																																																																																																		
28 フリーアクセス フロア (20.2.2) <p>フリーアクセスフロア及び表面上部材</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>構法</th> <th>寸法 (mm)</th> <th>高さ (mm)</th> <th>耐震性能</th> <th>所定荷重 (N)</th> <th>表面上げ材</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・壁板式 ・支柱 調整式</td> <td>・500×500</td> <td>・</td> <td>・1.0G ・0.6G</td> <td>・3.000 ・5.000</td> <td>・帯電防止床タイル (4種タイプ) ・</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>・壁板式 ・支柱 調整式</td> <td>・500×500</td> <td>・</td> <td>・1.0G ・0.6G</td> <td>・3.000 ・5.000</td> <td>・帯電防止床タイル (4種タイプ) ・</td> <td></td> </tr> </table> <p>フリーアクセスフロアの試験方法 ※標準仕様書20.2.2(2)(4)(a)~(d)による 寸法精度 ※標準仕様書20.2.2(2)(4)(a)~(c)による</p> <p>※工法及び上記以外フリーアクセスフロアの製造所の仕様による</p> <p>29 移動間仕切り (20.2.3)</p> <p>パネル材のホルムアルデヒド放放量 ※規制対象外</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">構造形式</th> <th rowspan="2">構成基材の種類</th> <th rowspan="2">総厚さ (mm)</th> <th colspan="2">表面仕上げ材</th> <th rowspan="2">透音性 (dB/500Hz)</th> <th rowspan="2">防火性能</th> </tr> <tr> <th>材質</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <td>・スタッ式(内蔵) ・スタッ式(露出) ・パネル式 ・スタッ式パネル式</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・鋼板 ・0.6 ・0.8</td> <td>・F3級樹脂 ・焼付又は 77μ樹脂 ・焼付 ・壁紙張り</td> <td>・0 ・12 ・20 ・28 ・36</td> <td>・不燃</td> </tr> </table> <p>パネル内に取付ける建具 ・あり(※図示) ・なし ドアクローザー、丁番、錠前、上げ落としは、標準仕様書16章8節の建具用金物に 対応する材質とする。 表面上部材を壁紙張りとする場合の品質、性能は標準仕様書19章による。</p> <p>30 移動間仕切り (20.2.4)</p> <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">構造形式</th> <th rowspan="2">操作方法</th> <th colspan="2">圧着装置の 操作方法</th> <th rowspan="2">総厚さ (mm)</th> <th colspan="2">パネル表面材</th> <th rowspan="2">透音性 (dB/500Hz)</th> </tr> <tr> <th>材質</th> <th>仕上がり</th> </tr> <tr> <td>・平行方向移動式 ・二方向移動式</td> <td>・手動式 ・電動式</td> <td>・プッシュ式 ・ハンドル式</td> <td>・</td> <td>・鋼板</td> <td>・焼付塗装 ・壁紙張り</td> <td>・36未満 ・36以上</td> <td></td> </tr> </table> <p>パネル表面上部の壁紙張りの品質、性能は、標準仕様書19章による。 透音性能は、JIS A 6512に準拠し、中心周波数500Hzの音についての透過損失とする。 ハンガーレールの取付け下地の補強 ※取付け全量の5倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び変形量と なるように補強する。 ・図示</p> <p>31 トイレブース (20.2.5)</p> <p>パネル材料のホルムアルデヒド放放量 ※規制対象外</p> <table border="1"> <tr> <th>表面材の種類</th> <th>端部形状</th> <th>ドアエッジの材質</th> </tr> <tr> <td>・メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板</td> <td>※端木タイプ</td> <td>・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・表面材と同材 ・製造所の標準仕様</td> </tr> </table> <p>32 階段滑り止め (20.2.6)</p> <p>材種 ・ステンレス製 ・黄銅製押出型材 ・アルミニウム製押出型材 滑り止め材 形状 ・ひも型 ・タイヤ型 材質 ・ゴム ・合成樹脂 取付け方法 ※接着工法 ・埋め込み工法 幅 mm 端部ブラケットエンド ・あり ・なし</p> <p>33 手すり</p> <table border="1"> <tr> <th>材種</th> <th>表面上げ</th> <th>直径(mm)</th> <th>取付箇所</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・集成材 ・ステンレスパイプ ・鋼製パイプ ・ビニルハンドルレール</td> <td>・リッパカ ・HL ・EP-G・SOP</td> <td>・35 ・45</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>34 黒板及び ホワイトボード <b>G</b> (20.2.8)</p> <p>・黒板 区分 ※接着付け 種類 ・ほうろろ ・鋼製 色 ※緑 ・ホワイトボード ( )</p> <p>35 表示 (20.2.10)</p> <p>・衝突防止表示 形状(※図示) 図示 寸法(※図示) 図示 材質(ステンレス製) 図示 ・誘導標識、非常用進入口等の表示 ※消防法に適合する市販品</p> <p>案内用図記号はJIS Z 8210による。 色、書体、印刷等の種別、取付け形式等は図示による。 その他の表示 ※図示</p> <p>36 ブラインド (20.2.12)</p> <table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>操作方法</th> <th>種類</th> <th>スラットの材種</th> <th>片幅 (mm)</th> <th>骨材 の材質</th> <th>寸法、 取付箇所</th> </tr> <tr> <td>・模様 ・電動</td> <td>・手動 ※ギヤ式 ・操作棒式</td> <td></td> <td>※アルミニウム 合金製</td> <td>※25</td> <td>※鋼製</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td>・縦形 ・電動</td> <td></td> <td></td> <td>※2本操作棒 ・1本操作棒</td> <td>・80 ・100</td> <td>7&amp;#246;合金製</td> <td>・図示</td> </tr> </table> <p>スラットの材質 アルミスラット 焼付塗装仕上げ クロススラット 消防法で定める防災性能の表示がある特殊樹脂加工 ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合 <b>G</b> とする</p> <p>37 ロールスクリーン (20.2.13)</p> <p>操作方法 ・スプリング式 ・コード式 ・電動式</p> <p>幅、高さ ・図示 材質 ・ガラス繊維製 ・合成天然繊維製 ・木製 金具等</p> <p>その他の材料 ※ロールスクリーンの製造所の仕様による</p> <p>38 カーテン (20.2.14)</p> <table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>開閉操作</th> <th>ひだの種類</th> <th>きれ地の種別、 品質、特殊加工等</th> <th>取付箇所</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・シングル ・ダブル</td> <td>・片引き ・引分け</td> <td>・フランスひだ ・箱ひだ、つまひだ ・アレンひだ、片ひだ</td> <td></td> <td></td> <td>・図示</td> </tr> </table> <p>ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用する場合は、<b>G</b> とする 幅幅カーテンの両端、上部及び召合せ重なり ※300mm以上</p> <p>39 カーテンレール (20.2.14)</p> <p>材料による区分 ※アルミニウム及びアルミニウム合金の押出し成型材 ・ステンレス製 強度による区分 ※10-90 仕上げ ※アルマイト 形状 ※角形</p>	施工箇所	構法	寸法 (mm)	高さ (mm)	耐震性能	所定荷重 (N)	表面上げ材	備考		・壁板式 ・支柱 調整式	・500×500	・	・1.0G ・0.6G	・3.000 ・5.000	・帯電防止床タイル (4種タイプ) ・			・壁板式 ・支柱 調整式	・500×500	・	・1.0G ・0.6G	・3.000 ・5.000	・帯電防止床タイル (4種タイプ) ・		構造形式	構成基材の種類	総厚さ (mm)	表面仕上げ材		透音性 (dB/500Hz)	防火性能	材質	厚さ(mm)	・スタッ式(内蔵) ・スタッ式(露出) ・パネル式 ・スタッ式パネル式	・	・	・鋼板 ・0.6 ・0.8	・F3級樹脂 ・焼付又は 77μ樹脂 ・焼付 ・壁紙張り	・0 ・12 ・20 ・28 ・36	・不燃	構造形式	操作方法	圧着装置の 操作方法		総厚さ (mm)	パネル表面材		透音性 (dB/500Hz)	材質	仕上がり	・平行方向移動式 ・二方向移動式	・手動式 ・電動式	・プッシュ式 ・ハンドル式	・	・鋼板	・焼付塗装 ・壁紙張り	・36未満 ・36以上		表面材の種類	端部形状	ドアエッジの材質	・メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板	※端木タイプ	・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・表面材と同材 ・製造所の標準仕様	材種	表面上げ	直径(mm)	取付箇所	備考	・集成材 ・ステンレスパイプ ・鋼製パイプ ・ビニルハンドルレール	・リッパカ ・HL ・EP-G・SOP	・35 ・45			形式	操作方法	種類	スラットの材種	片幅 (mm)	骨材 の材質	寸法、 取付箇所	・模様 ・電動	・手動 ※ギヤ式 ・操作棒式		※アルミニウム 合金製	※25	※鋼製	・図示	・縦形 ・電動			※2本操作棒 ・1本操作棒	・80 ・100	7&#246;合金製	・図示	形式	開閉操作	ひだの種類	きれ地の種別、 品質、特殊加工等	取付箇所	備考	・シングル ・ダブル	・片引き ・引分け	・フランスひだ ・箱ひだ、つまひだ ・アレンひだ、片ひだ			・図示																																																																																																																																																													
施工箇所	構法	寸法 (mm)	高さ (mm)	耐震性能	所定荷重 (N)	表面上げ材	備考																																																																																																																																																																																																																																																																	
	・壁板式 ・支柱 調整式	・500×500	・	・1.0G ・0.6G	・3.000 ・5.000	・帯電防止床タイル (4種タイプ) ・																																																																																																																																																																																																																																																																		
	・壁板式 ・支柱 調整式	・500×500	・	・1.0G ・0.6G	・3.000 ・5.000	・帯電防止床タイル (4種タイプ) ・																																																																																																																																																																																																																																																																		
構造形式	構成基材の種類	総厚さ (mm)	表面仕上げ材		透音性 (dB/500Hz)	防火性能																																																																																																																																																																																																																																																																		
			材質	厚さ(mm)																																																																																																																																																																																																																																																																				
・スタッ式(内蔵) ・スタッ式(露出) ・パネル式 ・スタッ式パネル式	・	・	・鋼板 ・0.6 ・0.8	・F3級樹脂 ・焼付又は 77μ樹脂 ・焼付 ・壁紙張り	・0 ・12 ・20 ・28 ・36	・不燃																																																																																																																																																																																																																																																																		
構造形式	操作方法	圧着装置の 操作方法		総厚さ (mm)	パネル表面材		透音性 (dB/500Hz)																																																																																																																																																																																																																																																																	
		材質	仕上がり																																																																																																																																																																																																																																																																					
・平行方向移動式 ・二方向移動式	・手動式 ・電動式	・プッシュ式 ・ハンドル式	・	・鋼板	・焼付塗装 ・壁紙張り	・36未満 ・36以上																																																																																																																																																																																																																																																																		
表面材の種類	端部形状	ドアエッジの材質																																																																																																																																																																																																																																																																						
・メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板	※端木タイプ	・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・表面材と同材 ・製造所の標準仕様																																																																																																																																																																																																																																																																						
材種	表面上げ	直径(mm)	取付箇所	備考																																																																																																																																																																																																																																																																				
・集成材 ・ステンレスパイプ ・鋼製パイプ ・ビニルハンドルレール	・リッパカ ・HL ・EP-G・SOP	・35 ・45																																																																																																																																																																																																																																																																						
形式	操作方法	種類	スラットの材種	片幅 (mm)	骨材 の材質	寸法、 取付箇所																																																																																																																																																																																																																																																																		
・模様 ・電動	・手動 ※ギヤ式 ・操作棒式		※アルミニウム 合金製	※25	※鋼製	・図示																																																																																																																																																																																																																																																																		
・縦形 ・電動			※2本操作棒 ・1本操作棒	・80 ・100	7&#246;合金製	・図示																																																																																																																																																																																																																																																																		
形式	開閉操作	ひだの種類	きれ地の種別、 品質、特殊加工等	取付箇所	備考																																																																																																																																																																																																																																																																			
・シングル ・ダブル	・片引き ・引分け	・フランスひだ ・箱ひだ、つまひだ ・アレンひだ、片ひだ			・図示																																																																																																																																																																																																																																																																			

水谷小学校

概要

設計年月日	2021/11/15	承認	担当	製図	工事名称 市立小・中学校屋内運動場空調設備設置工事 その1(ゼロ債務)	図面番号 A-4
変更年月日		N.S	T.S	T.S		

図面名称	改修建築工事 特記仕様書(4)	縮尺

ハナガタ建築設計事務所  
一級建築士事務所 一級建築士No.183598号 菅谷 隆

40	ブラインドボックス 及びカーテンボックス	溝型×深さ(mm) ・90×150 ・120×80 ・120×150 ・150×80 ・図示 材質 ・集成材(仕上げ: ・アルミニウム製 押出し型材(市販品) 種別(標準仕様書表14.2.1) ・BC-1種 ・BC-2種 色合い ・標準色( ) ・特注色( ) ・鋼製(仕上げ: ( ))																												
41	天井点検口	<table border="1"> <thead> <tr> <th>材種</th> <th>寸法</th> <th>形式</th> <th>外枠</th> <th>内枠</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※アルミニウム製</td> <td>・450×450 ・600×600</td> <td>・一般形 ・気密形</td> <td>・屋内外用 ・屋内用</td> <td>・額縁タイプ ・目地タイプ</td> </tr> </tbody> </table>	材種	寸法	形式	外枠	内枠	※アルミニウム製	・450×450 ・600×600	・一般形 ・気密形	・屋内外用 ・屋内用	・額縁タイプ ・目地タイプ																		
材種	寸法	形式	外枠	内枠																										
※アルミニウム製	・450×450 ・600×600	・一般形 ・気密形	・屋内外用 ・屋内用	・額縁タイプ ・目地タイプ																										
42	床点検口	<table border="1"> <thead> <tr> <th>材種</th> <th>寸法</th> <th>形式</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製</td> <td>・450×450 ・600×600</td> <td>○一般形 ○密閉形</td> <td>・屋内外用 ・屋内用 ・鍵付き</td> </tr> </tbody> </table> <p>密閉型とは、ボルト、ナット等メカニカル構造にパッキンを装着したものとす。</p>	材種	寸法	形式	備考	○アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製	・450×450 ・600×600	○一般形 ○密閉形	・屋内外用 ・屋内用 ・鍵付き																				
材種	寸法	形式	備考																											
○アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製	・450×450 ・600×600	○一般形 ○密閉形	・屋内外用 ・屋内用 ・鍵付き																											
43	くつみきマット	<table border="1"> <thead> <tr> <th>材種</th> <th colspan="3">受け枠</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・塩化ビニル又はゴム製 ・硬質アルミニウム合金製 ・ステンレス鋼(SUS304)製</td> <td colspan="3">・ステンレス製(SUS304) ・硬質アルミニウム合金</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	材種	受け枠			備考	・塩化ビニル又はゴム製 ・硬質アルミニウム合金製 ・ステンレス鋼(SUS304)製	・ステンレス製(SUS304) ・硬質アルミニウム合金																					
材種	受け枠			備考																										
・塩化ビニル又はゴム製 ・硬質アルミニウム合金製 ・ステンレス鋼(SUS304)製	・ステンレス製(SUS304) ・硬質アルミニウム合金																													
44	洗し台ユニット	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">材種</th> <th colspan="3">寸法(mm)</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>W</th> <th>D</th> <th>H</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・洗し台</td> <td>・1200 ・1500 ・1800</td> <td>・550 ・600 ・650</td> <td>・800 ・850</td> <td>市販品 トラップ付き 天板ステンレス製</td> </tr> <tr> <td>・コンロ台</td> <td>・600</td> <td>・550 ・600 ・650</td> <td>・620 ・670</td> <td>市販品 バックガード有り 天板ステンレス製</td> </tr> <tr> <td>・つり戸棚</td> <td>・1200 ・900</td> <td>・450</td> <td>・500 ・700</td> <td>市販品</td> </tr> <tr> <td>・水切り</td> <td>・1200 ・900 ・600</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>市販品 ステンレス製 ・1段式</td> </tr> </tbody> </table> <p>品質・性能 JIS A 4420による。 形状 ※図示</p>	材種	寸法(mm)			備考	W	D	H	・洗し台	・1200 ・1500 ・1800	・550 ・600 ・650	・800 ・850	市販品 トラップ付き 天板ステンレス製	・コンロ台	・600	・550 ・600 ・650	・620 ・670	市販品 バックガード有り 天板ステンレス製	・つり戸棚	・1200 ・900	・450	・500 ・700	市販品	・水切り	・1200 ・900 ・600	—	—	市販品 ステンレス製 ・1段式
材種	寸法(mm)			備考																										
	W	D	H																											
・洗し台	・1200 ・1500 ・1800	・550 ・600 ・650	・800 ・850	市販品 トラップ付き 天板ステンレス製																										
・コンロ台	・600	・550 ・600 ・650	・620 ・670	市販品 バックガード有り 天板ステンレス製																										
・つり戸棚	・1200 ・900	・450	・500 ・700	市販品																										
・水切り	・1200 ・900 ・600	—	—	市販品 ステンレス製 ・1段式																										
45	鋼製書架及び物品棚	<table border="1"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>規 格 等</th> <th>JIS による種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・鋼製書架</td> <td>JIS S 1039の規格による</td> <td>・1種 ・2種 ・3種</td> </tr> <tr> <td>・鋼製物品棚</td> <td></td> <td>・4種 ・5種 ・6種</td> </tr> </tbody> </table>	種 類	規 格 等	JIS による種類	・鋼製書架	JIS S 1039の規格による	・1種 ・2種 ・3種	・鋼製物品棚		・4種 ・5種 ・6種																			
種 類	規 格 等	JIS による種類																												
・鋼製書架	JIS S 1039の規格による	・1種 ・2種 ・3種																												
・鋼製物品棚		・4種 ・5種 ・6種																												
46	屋内掲示板	枠の材質 ※アルミニウム製 表面の材質 ※塩化ビニルシート張り																												
47	洗面カウンター	材質 ・メラミン樹脂化粧板張り(芯材:集成材) ・人工大理石 良行き(mm) ・約450 ・約600																												
48	防煙垂れ壁	・固定式 <table border="1"> <thead> <tr> <th>材 質</th> <th>厚 さ (mm)</th> <th>高 さ (mm)</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>※網入り磨板ガラス ・網入り磨板ガラス</td> <td>※6.8</td> <td>※500</td> <td>アルミ製枠付き</td> </tr> </tbody> </table>	材 質	厚 さ (mm)	高 さ (mm)	備 考	※網入り磨板ガラス ・網入り磨板ガラス	※6.8	※500	アルミ製枠付き																				
材 質	厚 さ (mm)	高 さ (mm)	備 考																											
※網入り磨板ガラス ・網入り磨板ガラス	※6.8	※500	アルミ製枠付き																											
49	収納家具	材質、形状、寸法 ※図示 合板類、MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外																												
7	塗装改修工事	<p>① 材料 [7.1.3]</p> <p>② 下地調整 [7.2.1~7]</p> <p>③ 錆止め塗料塗り [7.3.2、3]</p>																												

④ 塗装	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">塗装の種類</th> <th rowspan="2">塗装面</th> <th colspan="2">工 程</th> </tr> <tr> <th>塗替え</th> <th>新規</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">○合成樹脂調合ベント塗り(SOP)</td> <td>木部屋外</td> <td>※B種</td> <td>※A種</td> </tr> <tr> <td>木部屋内</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">塗料の種類 ※1種 ・2種</td> <td>鉄鋼面</td> <td>※B種</td> <td>※B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td>屋根めっき鋼面(鋼製建具以外)</td> <td>※A種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・クリヤラッカー塗り(L)</td> <td>コンクリート面及び押出成形セメント板面</td> <td>※B種</td> <td>※B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td>・フル樹脂樹脂エマルシオン塗り(FE)</td> <td>※B種</td> <td>※B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・アクリル樹脂系非水分散型塗料塗り(NAD)</td> <td>鉄鋼面 上塗り等級( ) 級</td> <td>※B種 ・ A種</td> <td>※B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td>・耐候性塗料塗り(DP)</td> <td>鉄鋼面 上塗り等級( ) 級</td> <td>※B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">つや有合成樹脂エマルシオンペイント塗り(EP-G)</td> <td>面めっき鋼面</td> <td>※B種</td> <td>A種</td> </tr> <tr> <td>上塗り等級( ) 級</td> <td>※B種</td> <td>A種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・つや有合成樹脂エマルシオンペイント塗り(EP-G)</td> <td>コンクリート面等</td> <td>※B種</td> <td>※B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td>・コンクリート面等</td> <td>※B種</td> <td>※B種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・合成樹脂エマルシオンペイント塗り(EP)</td> <td>屋内の木部</td> <td>※B種</td> <td>※B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td>・合成樹脂エマルシオンペイント塗り(EP-T)</td> <td>屋内の鉄鋼面</td> <td>※B種</td> <td>※B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・ウレタン樹脂ニス塗り(U)</td> <td>・ウレタン樹脂ニス塗り(U)</td> <td>※B種</td> <td>※B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td>・ラッカーエマルシオン塗り(L)</td> <td>※B種</td> <td>※B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">・オイルステイン塗り(OS)</td> <td>・オイルステイン塗り(OS)</td> <td>※B種</td> <td>※B種 ・ A種</td> </tr> <tr> <td>・木材保護塗料塗り(WP)</td> <td>※B種</td> <td>※B種 ・ A種</td> </tr> </tbody> </table> <p>つや有合成樹脂エマルシオンペイント塗り(コンクリート面、鉄鋼面、ガラス面、セッコウボード面、その他「D」面)の塗替えの時のしり止め ※[表7.9.1]の工程1の下塗りをしり止めシーラーとする</p> <p>合成樹脂エマルシオンペイント塗りの塗替えの場合のしり止め ※[表7.10.1]の工程1の下塗りをしり止めシーラーとする</p> <p>注) DP以外からDPへの塗替えは、下地調整の種類に注意すること。</p> <p>・高日射反射塗料塗り [G] 下地調整 [7.2.2] ・ RA種 ・ RB種 ・ RC種</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">工 程</th> <th rowspan="2">規格番号</th> <th colspan="2">塗料その他</th> <th rowspan="2">塗付量(kg/m<sup>2</sup>)</th> </tr> <tr> <th>規格名称</th> <th>種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>塗料塗り</td> <td>JIS K 5675</td> <td>耐候性 屋根用塗料</td> <td>2種</td> <td>※1級 ・ 2級 ※3級</td> </tr> </tbody> </table> <p>特記仕様書(改修工事の7~8)による</p>	塗装の種類	塗装面	工 程		塗替え	新規	○合成樹脂調合ベント塗り(SOP)	木部屋外	※B種	※A種	木部屋内	※B種	※B種	塗料の種類 ※1種 ・2種	鉄鋼面	※B種	※B種 ・ A種	屋根めっき鋼面(鋼製建具以外)	※A種	※B種	・クリヤラッカー塗り(L)	コンクリート面及び押出成形セメント板面	※B種	※B種 ・ A種	・フル樹脂樹脂エマルシオン塗り(FE)	※B種	※B種 ・ A種	・アクリル樹脂系非水分散型塗料塗り(NAD)	鉄鋼面 上塗り等級( ) 級	※B種 ・ A種	※B種 ・ A種	・耐候性塗料塗り(DP)	鉄鋼面 上塗り等級( ) 級	※B種 ・ A種	つや有合成樹脂エマルシオンペイント塗り(EP-G)	面めっき鋼面	※B種	A種	上塗り等級( ) 級	※B種	A種	・つや有合成樹脂エマルシオンペイント塗り(EP-G)	コンクリート面等	※B種	※B種 ・ A種	・コンクリート面等	※B種	※B種	・合成樹脂エマルシオンペイント塗り(EP)	屋内の木部	※B種	※B種 ・ A種	・合成樹脂エマルシオンペイント塗り(EP-T)	屋内の鉄鋼面	※B種	※B種 ・ A種	・ウレタン樹脂ニス塗り(U)	・ウレタン樹脂ニス塗り(U)	※B種	※B種 ・ A種	・ラッカーエマルシオン塗り(L)	※B種	※B種 ・ A種	・オイルステイン塗り(OS)	・オイルステイン塗り(OS)	※B種	※B種 ・ A種	・木材保護塗料塗り(WP)	※B種	※B種 ・ A種	工 程	規格番号	塗料その他		塗付量(kg/m <sup>2</sup> )	規格名称	種類	塗料塗り	JIS K 5675	耐候性 屋根用塗料	2種	※1級 ・ 2級 ※3級
塗装の種類	塗装面			工 程																																																																															
		塗替え	新規																																																																																
○合成樹脂調合ベント塗り(SOP)	木部屋外	※B種	※A種																																																																																
	木部屋内	※B種	※B種																																																																																
塗料の種類 ※1種 ・2種	鉄鋼面	※B種	※B種 ・ A種																																																																																
	屋根めっき鋼面(鋼製建具以外)	※A種	※B種																																																																																
・クリヤラッカー塗り(L)	コンクリート面及び押出成形セメント板面	※B種	※B種 ・ A種																																																																																
	・フル樹脂樹脂エマルシオン塗り(FE)	※B種	※B種 ・ A種																																																																																
・アクリル樹脂系非水分散型塗料塗り(NAD)	鉄鋼面 上塗り等級( ) 級	※B種 ・ A種	※B種 ・ A種																																																																																
	・耐候性塗料塗り(DP)	鉄鋼面 上塗り等級( ) 級	※B種 ・ A種																																																																																
つや有合成樹脂エマルシオンペイント塗り(EP-G)	面めっき鋼面	※B種	A種																																																																																
	上塗り等級( ) 級	※B種	A種																																																																																
・つや有合成樹脂エマルシオンペイント塗り(EP-G)	コンクリート面等	※B種	※B種 ・ A種																																																																																
	・コンクリート面等	※B種	※B種																																																																																
・合成樹脂エマルシオンペイント塗り(EP)	屋内の木部	※B種	※B種 ・ A種																																																																																
	・合成樹脂エマルシオンペイント塗り(EP-T)	屋内の鉄鋼面	※B種	※B種 ・ A種																																																																															
・ウレタン樹脂ニス塗り(U)	・ウレタン樹脂ニス塗り(U)	※B種	※B種 ・ A種																																																																																
	・ラッカーエマルシオン塗り(L)	※B種	※B種 ・ A種																																																																																
・オイルステイン塗り(OS)	・オイルステイン塗り(OS)	※B種	※B種 ・ A種																																																																																
	・木材保護塗料塗り(WP)	※B種	※B種 ・ A種																																																																																
工 程	規格番号	塗料その他		塗付量(kg/m <sup>2</sup> )																																																																															
		規格名称	種類																																																																																
塗料塗り	JIS K 5675	耐候性 屋根用塗料	2種	※1級 ・ 2級 ※3級																																																																															
8 新築改修工事	<p>① 石綿含有建材の事前調査 [9.1.1]</p> <p>2 石綿含有建材分析調査 [9.1.1]</p> <p>3 石綿粉じん濃度測定 [9.1.1]</p>																																																																																		
9 環境配慮改修工事	<p>① 石綿含有建材の事前調査 [9.1.1]</p> <p>2 石綿含有建材分析調査 [9.1.1]</p> <p>3 石綿粉じん濃度測定 [9.1.1]</p>																																																																																		

7 石綿含有建築用仕上 部材の除去	除去対象範囲 ・図示 着工前の試験確認 ・行う ・行わない 除去工法 ( ) 除去した石綿含有建築用仕上材等の飛散防止 ※密封処理 ※湿潤化 ※固形化 除去した石綿含有建築用仕上材等の処分 ・埋立処分(管理型最終処分場) ・中間処理(溶融施設または無害化処理施設)																		
8 リフト・エレベーターの の処理	除去処理対象物 ・ (特化則) 除去対象範囲 ・図示 除去方法 ・図示 処分 ・埋立処分(安定型最終処分場)																		
9 新築アスファルト 防水改修工事	工法の種類 [9.2.3] ・PIB工法 ・PAI工法 ・POD工法 ・TIB工法 ・MOD工法 ・MAD工法																		
10 外断熱改修工事 [G]	断熱材( )厚さ( mm) 施工箇所( ・図示 ) ホルムアルデヒド放射量 ※規制対象外( ) 外装材の種類 ( )防火性能( ) 既存外装の措置 既存外装仕上げ材の撤去 ・あり ・なし 下地の清掃 ・行う ・行わない 外装部の改修工法 [4.1.4]による 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1 ・1.15 ・1.3)倍の風圧力に対応した工法 不陸の下地調整 ※断熱材の製造所の仕様による 断熱材の施工 ※断熱材の製造所の仕様による 通気層の有無 ・あり( mm) 外装材の外壁への取付け及び外装材の施工 ・外装材の製造所の仕様による																		
11 ガラス改修工事	5 建具改修工事、18 ガラス の「復原ガラス」による [9.4.2]																		
12 断熱・防露改修工事[G]	フェノールフォーム断熱材又は保温材、接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 [9.5.2~4] ・断熱材打込み工法 断熱材 JIS A 9521 に基づく発泡プラスチック断熱材 種類 ・ 厚さ(mm) ・ 施工箇所 ・ ・断熱材現場発泡工法 断熱材の種類 ※A種1 ・A種IH 厚さ(mm) ・25 ・30 施工箇所 ・図示 ・断熱材後張り工法 断熱材 JIS A 9521 に基づく発泡プラスチック断熱材 ・セッコウボード等を取り付けたパネルを使用 厚さ(mm) ・																		
13 屋上緑化改修工事 [G]	植栽基盤及び材料 屋上緑化軽量システム ・適用する ・適用しない 芝及び地被類の樹根並びに種類等 ※図示 見切り材、舗装材、水抜き管、マルチング材等 ※図示 工法 建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1 ・1.15 ・1.3)倍の風圧力に対応した工法 かん水装置 ・設置する(種類 既存保根層の撤去 ・行う ・行わない 新植した芝及び地被類の植根期間 ※引き渡しの日から1年																		
14 透水性アスファルト 舗装改修工事	適用範囲:歩道 既存舗装の撤去及び再利用 ※図示 [9.7.2~5、9] 路床の材料 <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>材 料</th> <th>厚 さ (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・盛土</td> <td>・A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td>・凍上抑制層</td> <td>・建設汚泥から再生した処理土[G] ・再生クラッシュラン[G] ・クラッシュラン ・川砂、海砂又は良質な天然砂(75µmふるい通過量6%以下)</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td>・フィルター層</td> <td>・川砂、海砂又は良質な天然砂(75µmふるい通過量6%以下)</td> <td>・図示</td> </tr> </tbody> </table> <p>・路床安定処理(添加材料による安定処理) 種類 ・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 [G] ・アラッシュセメントB種 ・生石灰(・特号 ・1号) ・消石灰(・特号 ・1号) 添加量 ( ) kg/m<sup>3</sup>(目標CRR ・3以上 ・特号) 目標CRRを満足する添加量の確認方法 ・安定処理士のCRD試験</p> <p>試験 砂の粒度試験 ・行う ・行わない 路床土の支持力比(CBR)試験 ・行う(箇所) ・行わない 現場CBR試験 ・行う(箇所) ・行わない 路床締め固めの試験 ・行う ・行わない 六価クロム溶出試験 ・行う ・行わない</p> <p>路盤 路盤の構成及び厚さ ・図示 路盤材料  <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">種 別</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>砕石</td> <td>・クラッシュラン ・粒度調整砕石</td> </tr> <tr> <td>再生材</td> <td>・クラッシュラン [G] ・粒度調整砕石 [G] ・水硬性粒度調整砕石 [G]</td> </tr> </tbody> </table> <p>舗装の構成 種類 採取する部位・箇所数 備 考 ・PCB含有シーリング 部 位 ・図示 分析調査(第一次判定) 箇所数・箇所 ・PCB含有シーリング 部 位 ・図示 分析調査(第二次判定) 箇所数・箇所 詳細は監督員との協議による</p> </p>	種別	材 料	厚 さ (mm)	・盛土	・A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種	・図示	・凍上抑制層	・建設汚泥から再生した処理土[G] ・再生クラッシュラン[G] ・クラッシュラン ・川砂、海砂又は良質な天然砂(75µmふるい通過量6%以下)	・図示	・フィルター層	・川砂、海砂又は良質な天然砂(75µmふるい通過量6%以下)	・図示	種 別		砕石	・クラッシュラン ・粒度調整砕石	再生材	・クラッシュラン [G] ・粒度調整砕石 [G] ・水硬性粒度調整砕石 [G]
種別	材 料	厚 さ (mm)																	
・盛土	・A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種	・図示																	
・凍上抑制層	・建設汚泥から再生した処理土[G] ・再生クラッシュラン[G] ・クラッシュラン ・川砂、海砂又は良質な天然砂(75µmふるい通過量6%以下)	・図示																	
・フィルター層	・川砂、海砂又は良質な天然砂(75µmふるい通過量6%以下)	・図示																	
種 別																			
砕石	・クラッシュラン ・粒度調整砕石																		
再生材	・クラッシュラン [G] ・粒度調整砕石 [G] ・水硬性粒度調整砕石 [G]																		

16 舗装版切断時に 発生する濁水の処理 (舗装版切断時に発生す る濁水の処理に係る特 記仕様書)	濁水の処理 1) 受注者は、回収した濁水を次のとおり処理するものとする。 種類及び処理量 種類・図示による 処理方法 ・中間処理後、最終処分場へ搬入(処理に焼却せず) ・中間処理後、最終処分場又はセメント工場へ搬入(処理に焼却せず) 2) 受注者は、別の中間処理施設を選定する場合、事前に監督員と協議するものとする。 共通事項 1) 受注者は、舗装版切断作業を行ながら濁水を可能な限り回収し、作業後速やかに回収した濁水を産業廃棄物の汚泥(油分を含む汚泥)として中間処理施設へ搬送及び処理するものとする。 2) 受注者は、汚泥の中間処理場の許可を受けている業者と産業廃棄物処分委託契約を締結しなければならないものとする。 3) 受注者は、自ら運搬を行う場合を除き、汚泥の収集運搬業者の許可を受けている業者と産業廃棄物収集運搬委託契約を締結しなければならないものとする。 4) 受注者は、濁水の処理に関する履行について、廃棄物の処理及び清掃に関する法律において定める産業廃棄物管理票(以下「マニフェスト」という。)により管理するものとする。 提出書類等 1) 受注者は、施工計画書において、濁水の回収、運搬及び処理に関する方法を定めなければならないものとする。また、中間処理業者及び収集運搬業者と締結した委託契約書の写し及び許可証の写しを添付すること。 2) 受注者は、工事完成後速やかにマニフェストの写しを監督員に提出しなければならないものとする。 その他 1) 濁水処理量については、舗装版の切断延長や切断厚が変わった場合を除き、原図として設計要項の対象としないものとする。 2) 受注者は、舗装版切断時に濁水を生じない工法を使用する場合においては、事前に監督員と協議するものとする。 3) 疑義等が生じた場合については、別途監督員と協議するものとする。															
10 ① 鉄筋	鉄筋の種類 (5.2.1) <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類の記号</th> <th>呼び径(mm)</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○SD295A ・SD345</td> <td>※ D16以下 ※ D19以上</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	種類の記号	呼び径(mm)	備 考	○SD295A ・SD345	※ D16以下 ※ D19以上										
種類の記号	呼び径(mm)	備 考														
○SD295A ・SD345	※ D16以下 ※ D19以上															
② 溶接金網	形状等 (5.2.2) <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th>種類の記号</th> <th>網目の形状、寸法、鉄線の径(mm)</th> <th>使用 部 位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>○溶接金網 ・鉄筋格子</td> <td>④</td> <td>6-150×150</td> <td>土間</td> </tr> </tbody> </table>	種 類	種類の記号	網目の形状、寸法、鉄線の径(mm)	使用 部 位	○溶接金網 ・鉄筋格子	④	6-150×150	土間							
種 類	種類の記号	網目の形状、寸法、鉄線の径(mm)	使用 部 位													
○溶接金網 ・鉄筋格子	④	6-150×150	土間													
③ 継手及び定着	鉄筋の継手方法等 (5.3.4) <table border="1"> <thead> <tr> <th>部 位</th> <th>継 手 方 法</th> <th>呼 び 径 (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>柱、梁の主筋</td> <td>・ガス圧接 ・機械式継手 ・溶接継手</td> <td>※ D19以上</td> </tr> <tr> <td>耐力壁の鉄筋</td> <td>・重ね継手</td> <td></td> </tr> <tr> <td>基礎、新築スラブ、土留壁</td> <td>○重ね継手 ・ガス圧接</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他の鉄筋( )</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>継手位置 ○図示による(構造関係共通図(配筋標準図)5.1、6.1、7.1、7.3、8.1) 基礎主筋の継手位置 ※図5.2 ・図5.3 ・図5.4 ・図示による( ) 柱及び梁の重ね継手の長さ ・図示による( ) 耐力壁の鉄筋の重ね継手の長さ ※図示による(構造関係共通図(配筋標準図)3(1)(9)) ・図示による( ) 柱及び梁の主筋の接合部を同一箇所に入れる部分の位置及び施工方法等 ・図示による( )</p> <p>鉄筋の定着長さ ※図示による(構造関係共通図(配筋標準図)3(2)) ・図示による( )</p> <p>鉄筋の全長の長さ 構造関係共通図(配筋標準図)による。これによらない箇所は図示による。</p>	部 位	継 手 方 法	呼 び 径 (mm)	柱、梁の主筋	・ガス圧接 ・機械式継手 ・溶接継手	※ D19以上	耐力壁の鉄筋	・重ね継手		基礎、新築スラブ、土留壁	○重ね継手 ・ガス圧接		その他の鉄筋( )		
部 位	継 手 方 法	呼 び 径 (mm)														
柱、梁の主筋	・ガス圧接 ・機械式継手 ・溶接継手	※ D19以上														
耐力壁の鉄筋	・重ね継手															
基礎、新築スラブ、土留壁	○重ね継手 ・ガス圧接															
その他の鉄筋( )																
5 鉄筋のかぶり厚さ 及び間隔 (溶接金網含む)	最小かぶり厚さ(目地底から算出を行う) ※図示による(構造関係共通図(配筋標準図)4(1)表4.1) ・図示による( ) 柱及び梁の主筋にD29以上の使用 ・あり 適用箇所 主筋のかぶり厚さを径の1.5倍以上確保する 耐久上不利な部分(塩害等を受けるおそれのある部分等) ・あり 適用箇所( ) ・最小かぶり厚さに加える厚さ( )mm															
6 各部配筋	※図示による (5.3.7)															
7 ガス圧接	圧接完了後の圧接部の試験 (5.4.10) 外観試験 ※行う(全ての圧接部) 抜取試験 ※超音波探傷試験(試験方法 標準仕様書5.4.10(1)(a)による) ・引張試験 試験方法 ※標準仕様書5.4.10(1)(b)による															
8 機械式継手	適用箇所 ・図示による( ) H12建告第1463号に適合する性能 ・A級 機械式継手の種類 ・図示による( ) 鉄筋相互のあき ・図示による( ) 施工完了後の継手部の試験 ・図示による( ) 不合格となった継手部への措置 ・図示による( )															
9 溶接継手	適用箇所 ・図示による( ) H12建告第1463号に適合する性能 ・A級 機械式継手の種類 ・図示による( ) 鉄筋相互のあき ・図示による( ) 施工完了後の継手部の試験 ・図示による( ) 不合格となった継手部への措置 ・図示による( )															

概要	



# ハナガタ建築設計事務所

一級建築士事務所

一級建築士NO.183598号 菅谷 隆

設計年月日	2021/11/15	承認	担当	製 図	工 事 名 称	図面番号
変更年月日		N.S	T.S	T.S	市立小・中学校屋内運動場空調設備設置工事 その1(ゼロ債務)	A-5
					図 面 名 称	縮尺
					改修建築工事 特記仕様書(5)	

コンクリート工事	11 ① コンクリートの種類等	<p>類別 (6.2.1)          ※Ⅰ類 (JIS A 5308 への適合を認証されたコンクリート)          ・Ⅱ類 (JIS A 5308 に適合したコンクリート)</p> <p>普通コンクリート (6.2.1～6.2.4)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設計基準強度 (N/mm<sup>2</sup>)</th> <th>気乾単位容積質量 (t/m<sup>3</sup>)</th> <th>スラブ</th> <th>適用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>24</td> <td>2.3程度</td> <td>15又は18・18</td> <td>空調室外機基礎</td> </tr> <tr> <td>21</td> <td>2.3程度</td> <td>18</td> <td>土間</td> </tr> <tr> <td>21</td> <td>2.3程度</td> <td>18</td> <td>土間</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> <td>・</td> </tr> </tbody> </table> <p>構造体強度補正値(S) (6.3.2)          ※標準仕様書 表6.3.2による          補正値 S = 3 ( 月 日～ 月 日、 月 日～ 月 日 )          S = 6 ( 月 日～ 月 日、 月 日～ 月 日 )</p>	設計基準強度 (N/mm <sup>2</sup> )	気乾単位容積質量 (t/m <sup>3</sup> )	スラブ	適用箇所	24	2.3程度	15又は18・18	空調室外機基礎	21	2.3程度	18	土間	21	2.3程度	18	土間	・	・	・	・	・	・	・	・	14 無筋コンクリート	<p>コンクリートの種類 (6.14.1)          ※普通コンクリート          セメントの種類          ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種          ・高炉セメントB種 [G]          ・フライアッシュセメントB種 [G]          設計基準強度 ※18 (N/mm<sup>2</sup>)          スラブ ※15cm又は18cm          適用箇所          ※標準仕様書6.14.1(4)による箇所 ・図示による ( )</p>					
	設計基準強度 (N/mm <sup>2</sup> )	気乾単位容積質量 (t/m <sup>3</sup> )	スラブ	適用箇所																													
	24	2.3程度	15又は18・18	空調室外機基礎																													
	21	2.3程度	18	土間																													
	21	2.3程度	18	土間																													
	・	・	・	・																													
	・	・	・	・																													
	2 セメント	<p>種類 (6.3.1)          ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種          適用箇所 (※下記以外全て )          普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210 に示された規定の他、水和熱が7日目で 352J/g以下、かつ28日目で 402J/g以下のもとする。          ・高炉セメントB種 [G]          適用箇所 (・IFLより下部 (立上り部を含む) )          ・フライアッシュセメントB種 [G]          適用箇所(・ )</p>	15 コンクリートの単位水量測定	<p>実施要領          (1)単位水量の測定は、150㎡に1回以上及び荷下し時に品質の異常が認められた時に実施する。          (2)単位水量の上限値は、標準仕様書6.3.2(f)(g)による。          (3)単位水量の管理目標値は次の通りとして、施工する。          1)測定した単位水量が、計画適合書の設計値(以下、「設計値」という。)±15kg/m<sup>3</sup>の範囲にある場合はそのまま施工する。          2)測定した単位水量が、設計値±15を超え±20kg/m<sup>3</sup>の範囲にある場合は、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示し、その運搬車の生コンは打設する。その後、設計値±15kg/m<sup>3</sup>以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。          3)設計値±20kg/m<sup>3</sup>を超える場合は、生コンを打込まずに持ち帰らせ、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示しなければならない。その後の全運搬車の測定を行い設計値±20kg/m<sup>3</sup>以内であることを確認する。更に、設計値±15kg以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。          4)3)の不合格生コンを確実に持ち帰ったことを確認する。          (4)単位水量管理についての記録を計画(計画適合書、製造管理記録、打込み時の外気温、コンクリート温度等)と写真により提出する。          (5)単位水量の測定方法は、高周波誘電加熱乾燥法(電子レンジ法)、17f-法又は静電容量測定法による。また、試験機関は該当コンクリート製造所以外の機関とする。</p>																													
	3 骨材	アルカリシリカ反応性による区分 (6.3.1) ※A ・ B (コンクリート中のアルカリ総量が 3.0 kg/m <sup>3</sup> 以下)	12 ① フェンス	<p>材質 <input type="radio"/> スチール          種類 <input type="radio"/> メッシュフェンス          高さ <input type="radio"/> 500</p>																													
	4 混和材料	<p>・混和剤          混和剤の種類          ※標準仕様書6.3.1(4)(a)による ・          ・混和材          混和材の種類          ※標準仕様書6.3.1(4)(b)による ・</p>	② 門 扉	<p>材質 <input type="radio"/> スチール          種類 <input type="radio"/> メッシュフェンス          形式 <input type="radio"/> 片開き ・ 両開き          高さ <input type="radio"/> 500</p>																													
5 打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継ぎ目地	<p>打継ぎの位置          梁及びスラブ          ※スラブの中央又は端から1/4の付近          ・図示による ( ) ・          柱及び壁          ※スラブ、壁梁又は基礎の上端          ・図示による ( ) ・</p> <p>目地の寸法 (6.6.4)(6.8.1)(9.7.3)          ・標準仕様書 9.7.3(1)(7)～(9)による ・          ※ひび割れ誘発目地、打継目地の深さ寸法は、躯体外側の打増し部で処理する          ・図示による ( ) ・</p>																																
6 湿潤養生	<p>ひび割れ誘発目地の位置、形状、寸法 (6.8.1)          ・図示による ( ) ・</p> <p>湿潤養生の期間 (6.7.2)          ・セメントの種類が普通エコセメントの場合 ( ) 日</p>																																
7 コンクリートの仕上り	<p>合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ (6.2.5)(6.8.2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>適用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ A種</td> <td>※図示による ( )</td> </tr> <tr> <td>・ B種</td> <td>※図示による ( )</td> </tr> <tr> <td>・ C種</td> <td>※図示による ( )</td> </tr> </tbody> </table> <p>コンクリートの仕上りの平たんさ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 別</th> <th>適用箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ A種</td> <td>※図示による ( )</td> </tr> <tr> <td>・ B種</td> <td>※図示による ( )</td> </tr> <tr> <td>・ C種</td> <td>※図示による ( )</td> </tr> </tbody> </table>	種 別	適用箇所	・ A種	※図示による ( )	・ B種	※図示による ( )	・ C種	※図示による ( )	種 別	適用箇所	・ A種	※図示による ( )	・ B種	※図示による ( )	・ C種	※図示による ( )																
種 別	適用箇所																																
・ A種	※図示による ( )																																
・ B種	※図示による ( )																																
・ C種	※図示による ( )																																
種 別	適用箇所																																
・ A種	※図示による ( )																																
・ B種	※図示による ( )																																
・ C種	※図示による ( )																																
8 打増し厚さ (打放し仕上げ部)	<p>打増し厚さ (6.8.1)          ・打放し仕上げの打増し厚さ(外部に面する部分に限る)          ・20mm ・          ・打放し仕上げの打増し厚さ(内部に面する部分に限る)          ・10mm ・20mm ・          ・外装タイル後張り面の打増し処理          20mm ・          打増し範囲          ・図示による( ) ・</p>																																
⑨ 型枠	<p>せき板の材料及び厚さ (6.8.2)  <input type="radio"/> 合板 (※12mm ・ ) [G]          コンクリート打設時の充填性の確認のため、型枠の一部に透明型枠等を使用する場合は、強度、変形等について、事前に監督員と協議する。          ・断熱材を兼用した型枠の使用          適用箇所 ・図示による ( ) ・          ・M C R工法用シートの使用          適用箇所 ・図示による ( ) ・          打増し厚さ ・20mm ・          打増し範囲 ・図示による ( ) ・          スリーの材種・規格等          ・図示による ( ) ・</p>																																
10 軽量コンクリート	<p>存置期間及び取外し (6.8.4)          ※標準仕様書6.8.4による          ・普通エコセメントの場合 (※図示による ( ) ・ )</p> <p>適用箇所 (6.10.1、2)          ・図示による ( ) ・          種類          ・1種 ・2種          気乾単位容積質量          ・標準仕様書 表6.10.1による ・          スラブ          ※21cm ・</p>																																
11 寒中コンクリート	<p>適用期間 ( 月 日～ 月 日 ) (6.11.1、2)          構造体強度補正値(S)を積算温度を基に定める場合          ・図示による ( ) ・ S = ( ) ・</p>																																
12 暑中コンクリート	<p>適用期間 ( 月 日～ 月 日 ) (6.12.2)          構造体強度補正値(S)          ※6N/mm<sup>2</sup> ・図示による ( ) ・ S = ( ) ・</p>																																
13 マスコンクリート	<p>適用箇所 (6.13.1、2)          ・図示による ( ) ・          セメントの種類          ・普通ポルトランドセメント ・中熱ポルトランドセメント ・低熱ポルトランドセメント          ・高炉セメントB種 [G] ・フライアッシュセメントB種 [G] ・シリカセメント</p> <p>混和材料の適用          ・あり (・標準仕様書6.13.2(2)(7)による ・標準仕様書6.13.2(2)(4)による )          ・</p> <p>スラブ          ※15cm ・          構造体強度補正値(S)          ※標準仕様書 表6.13.1による ・</p>																																

水谷小学校

摘要

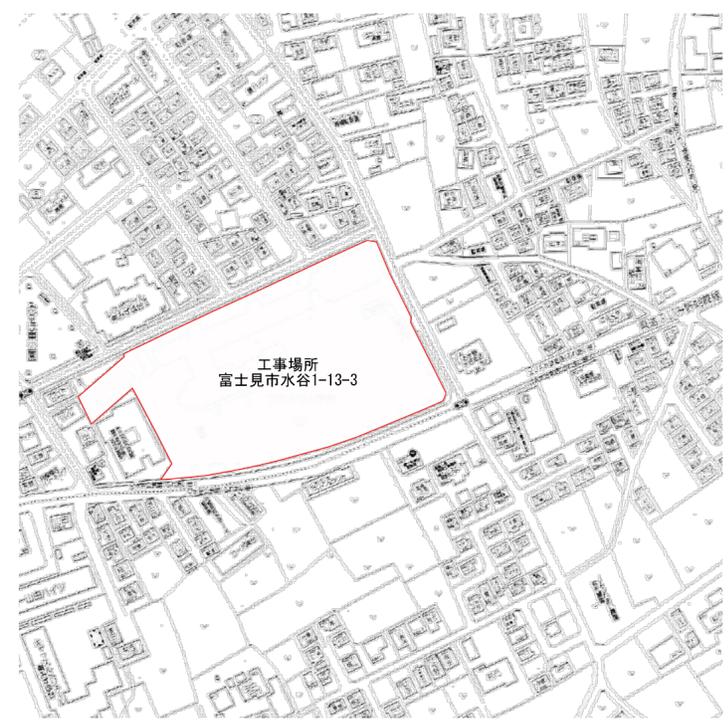
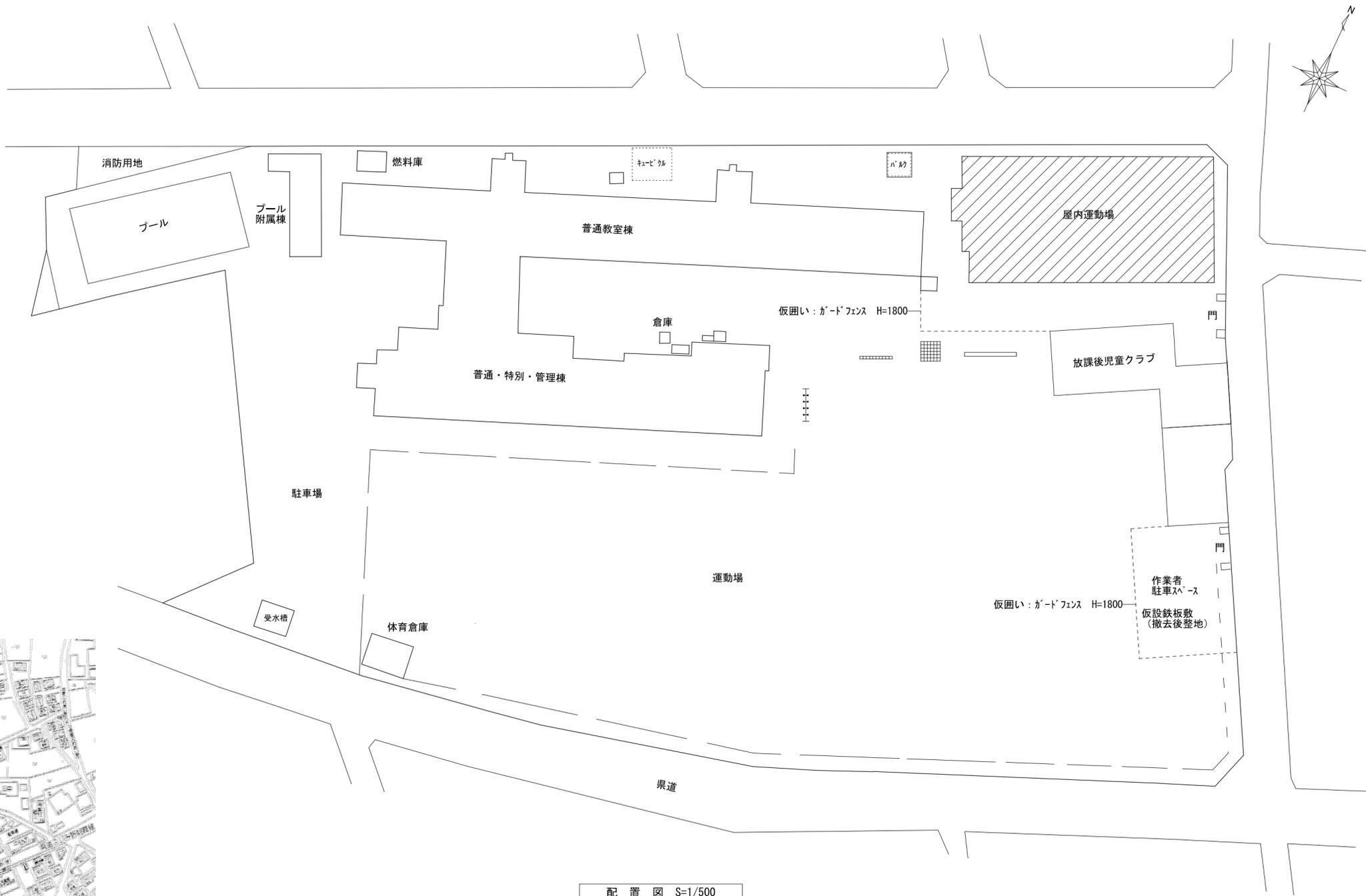
ハナガタ建築設計事務所

一級建築士事務所      一級建築士NO.183598号   菅谷 隆

設計年月日	2021/11/15	承認	担当	製図
変更年月日		N.S	T.S	T.S

工 事 名 称	市立小・中学校屋内運動場空調設備設置工事 その1 (ゼロ債務)
図 面 名 称	改修建築工事 特記仕様書 (6)
縮尺	

図面番号	A-6
------	-----



案内図

配置図 S=1/500

※ガードフェンス・仮設鉄板敷は、施設・施設関係者と協議の上決定する。

水谷小学校

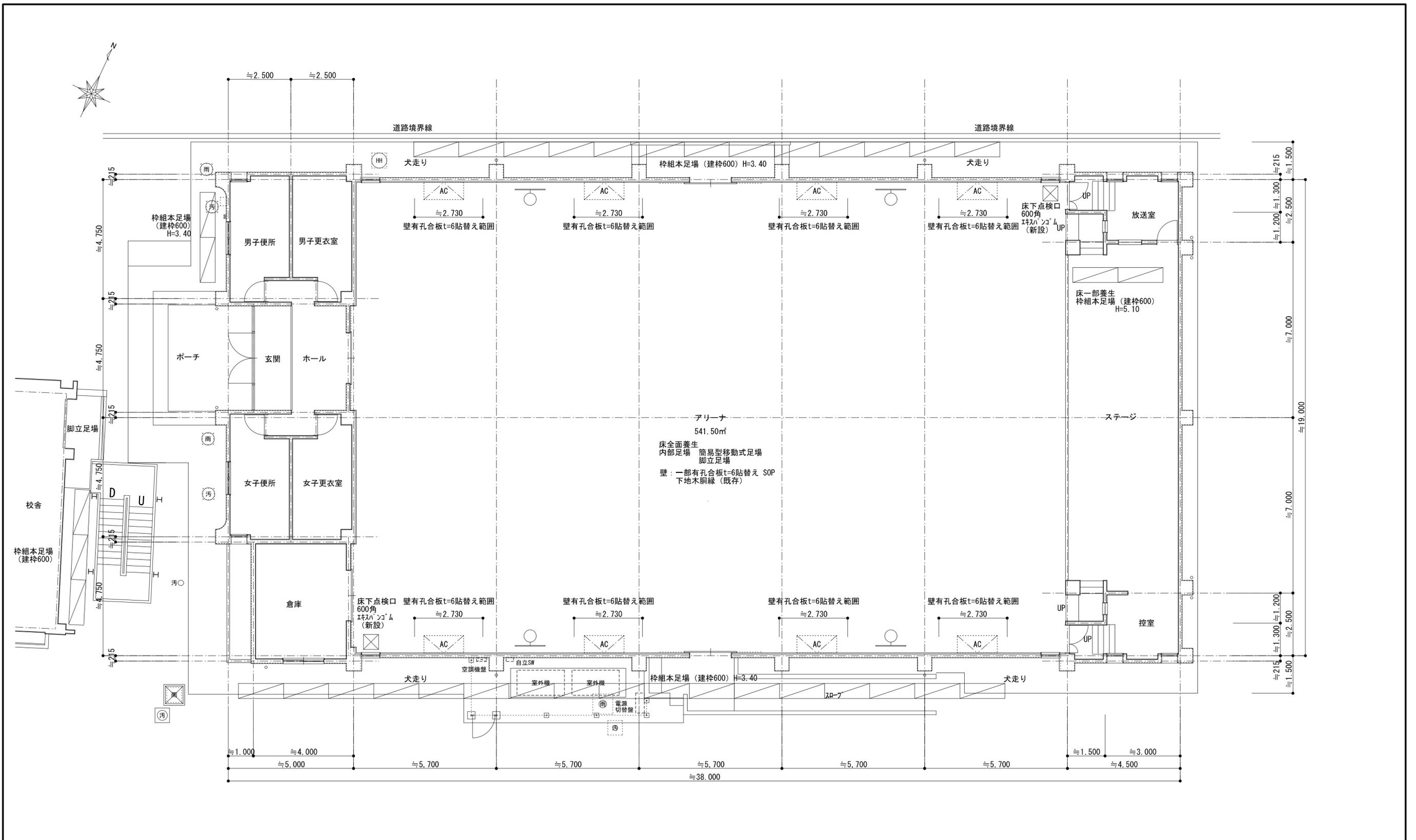
摘要

**ハナガタ建築設計事務所**  
 一級建築士事務所 一級建築士no.183598号 菅谷 隆

設計年月日	2021/11/15	承認	担当	製図
変更年月日		N.S	T.S	T.S

工事名称	市立小・中学校屋内運動場空調設備設置工事 その1 (ゼロ債務)
図面名称	配置図・案内図
縮尺	S=1/500

図面番号	A-7 /
------	-------



1階平面図 S=1/100

水谷小学校

摘要	

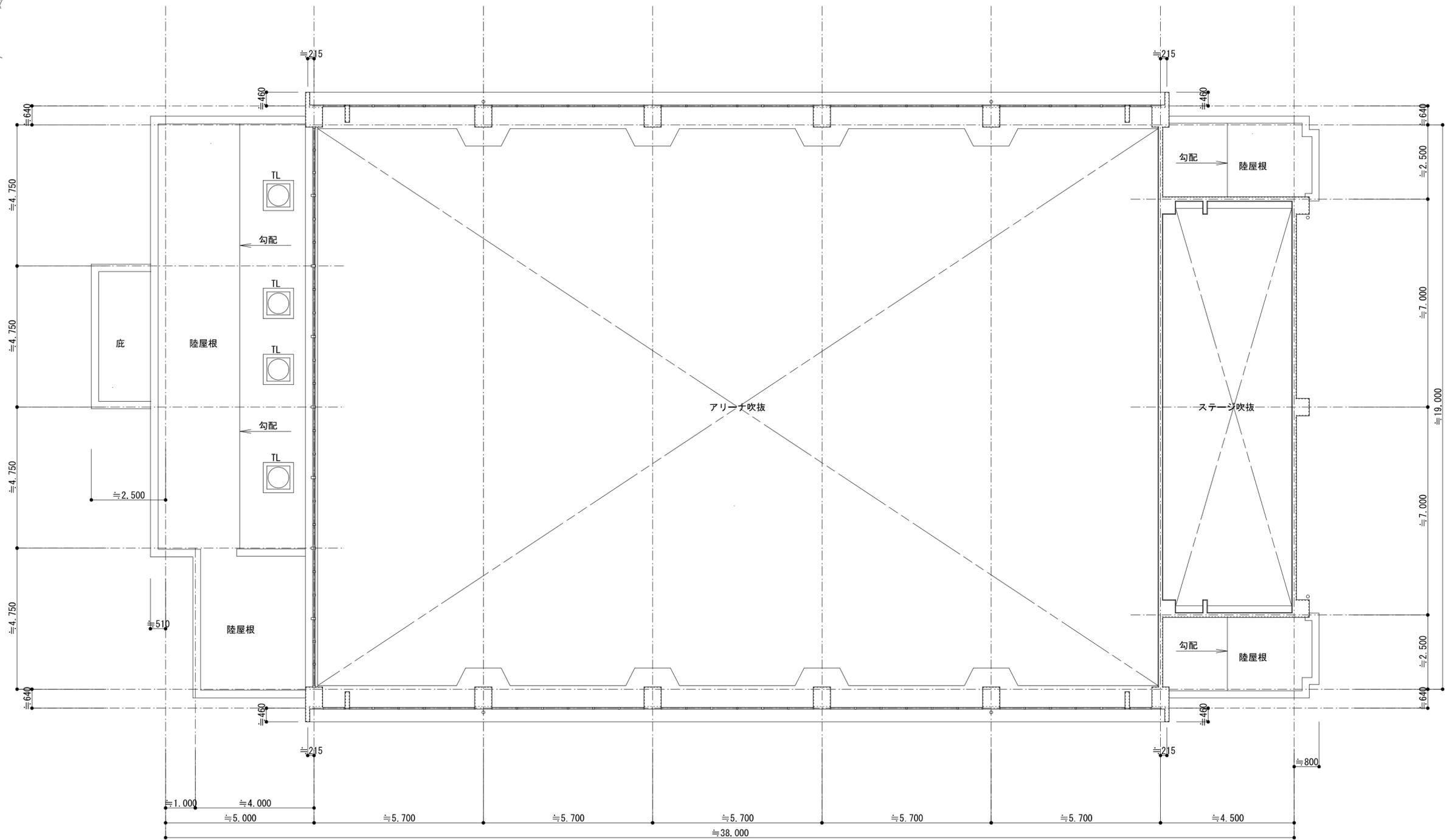
**ハナガタ建築設計事務所**  
 一級建築士事務所  
 一級建築士 No.183598号 菅谷 隆

設計年月日	2021.11.15
変更年月日	

承認	担当	製図
N.S	T.S	T.S

工事名称	市立小・中学校屋内運動場空調設備設置工事 その1 (ゼロ債務)
図面名称	1階平面図
縮尺	S=1/100

図面番号	A-8
------	-----



2階平面図 S=1/100

水谷小学校

摘要



**ハナガタ建築設計事務所**

一級建築士事務所

一級建築士No.183598号 菅谷 隆

設計年月日 2021.11.15

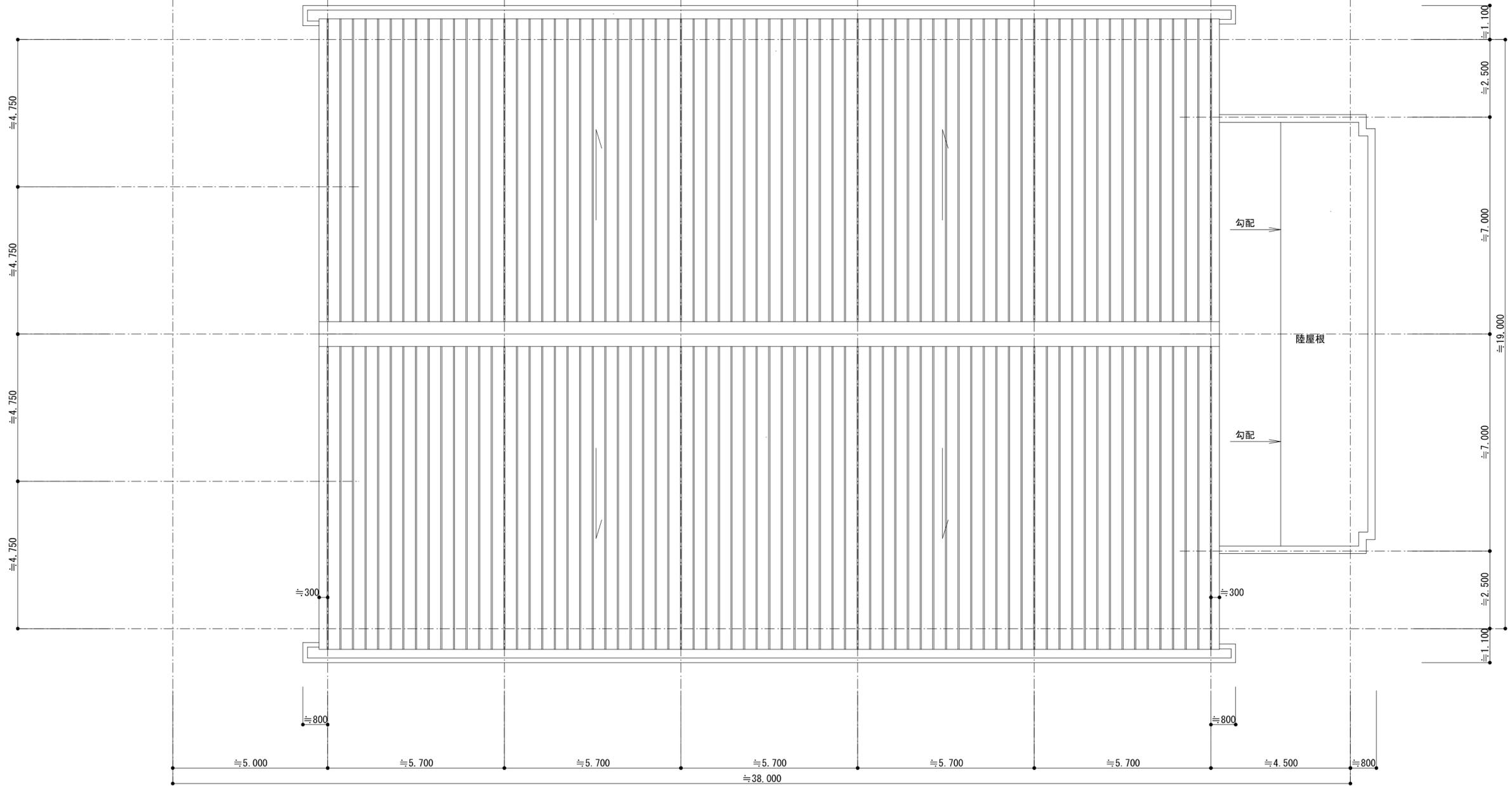
変更年月日

承認	担当	製図
N.S	T.S	T.S

工事名称	市立小・中学校屋内運動場空調設備設置工事 その1 (ゼロ債務)
図面名称	2階平面図
縮尺	S=1/100

図面番号

A-9 /



屋根平面図 S=1/100

水谷小学校

摘要



**ハナガタ建築設計事務所**

一級建築士事務所

一級建築士 No. 183598号 菅谷 隆

設計年月日 2021. 11. 15

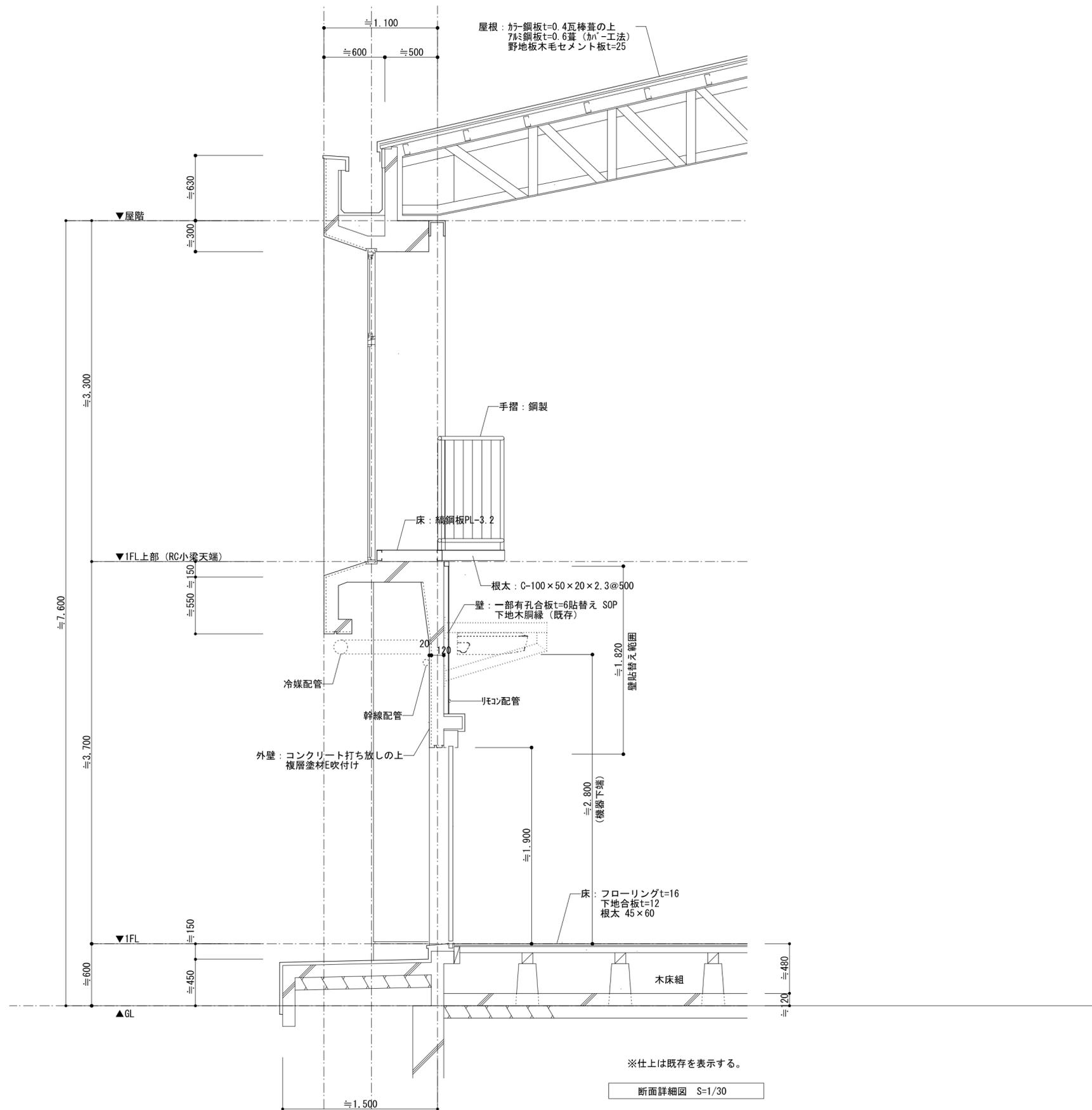
変更年月日

承認	担当	製図
N.S	T.S	T.S

工事名称	市立小・中学校屋内運動場空調設備設置工事 その1 (ゼロ債務)
図面名称	屋根平面図
縮尺	S=1/100

図面番号

A-10/



水谷小学校

摘要



ハナガタ建築設計事務所

一級建築士事務所

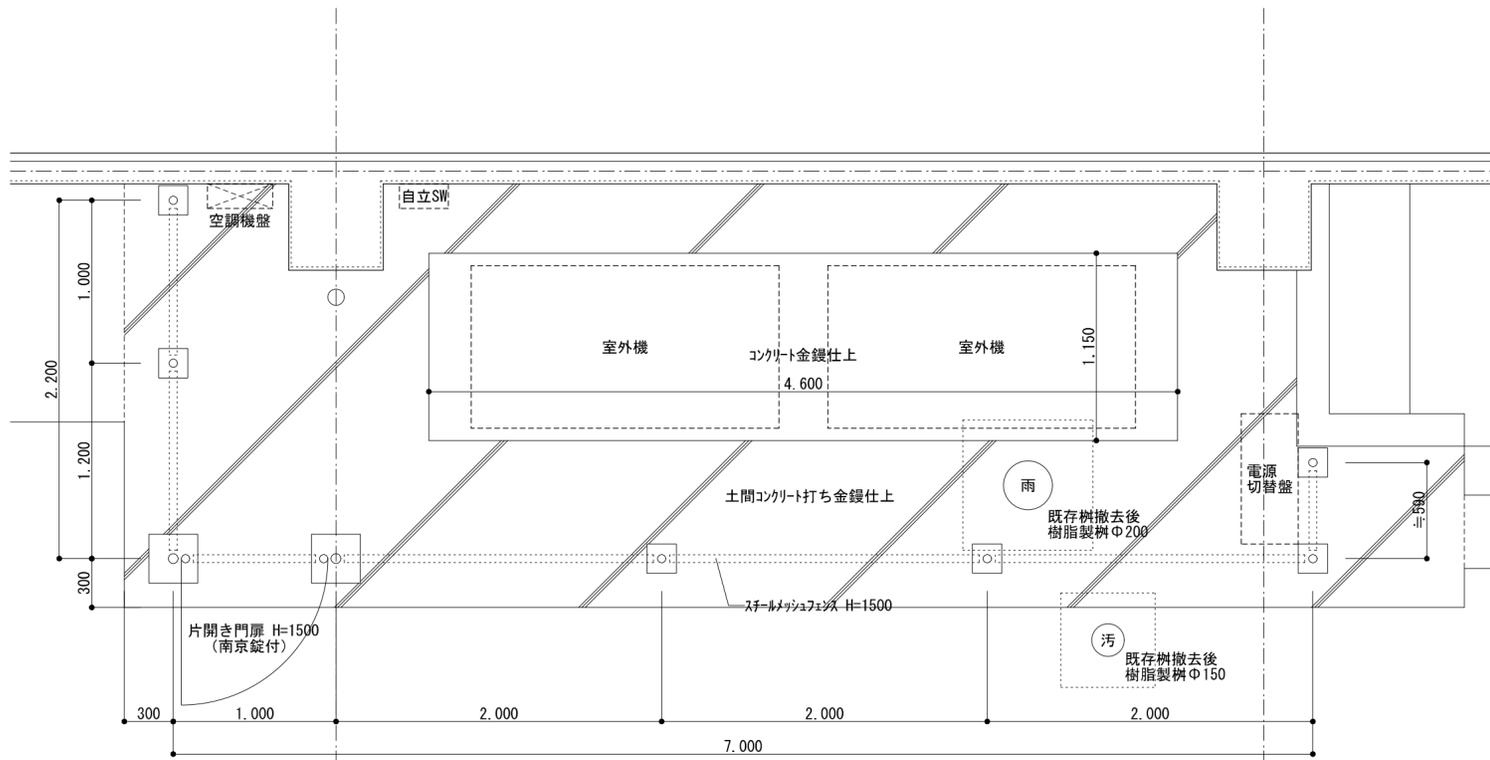
一級建築士no.183598号 菅谷 隆

設計年月日	2021/11/15
変更年月日	

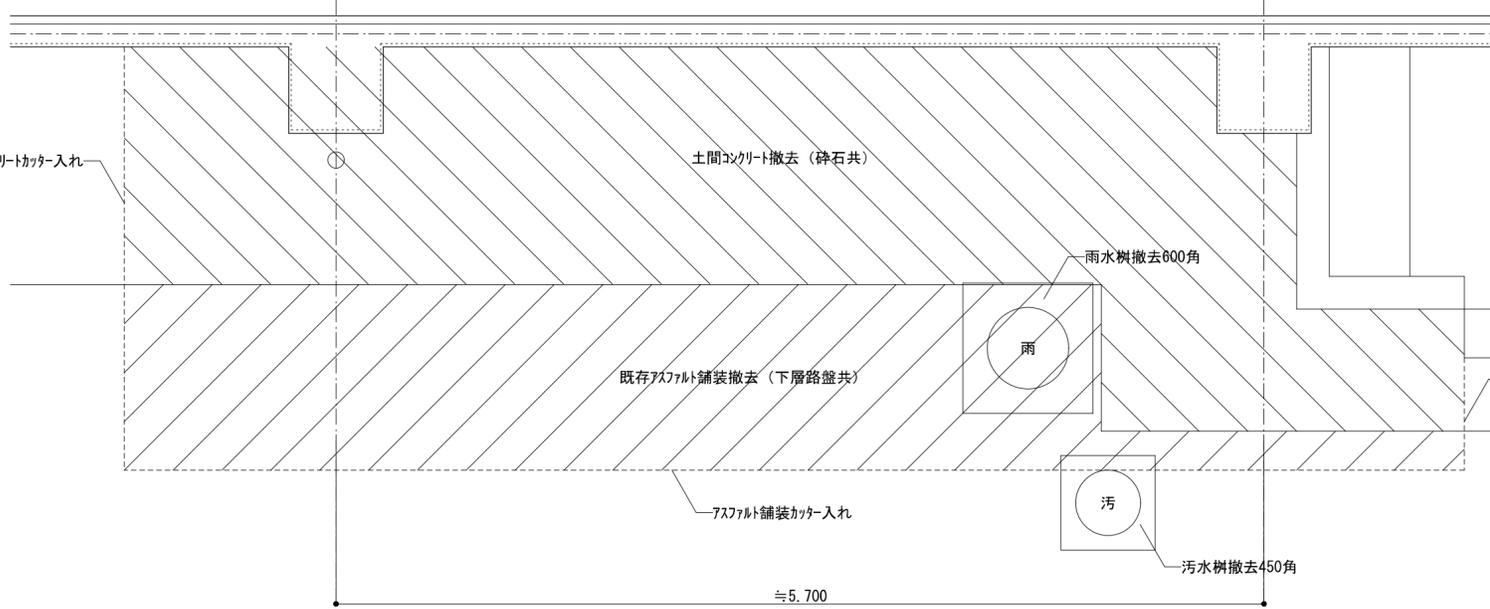
承認	担当	製図
N.S	T.S	T.S

工事名称	市立小・中学校屋内運動場空調設備設置工事 その1 (ゼロ債務)
図面名称	断面詳細図
縮尺	S=1/30

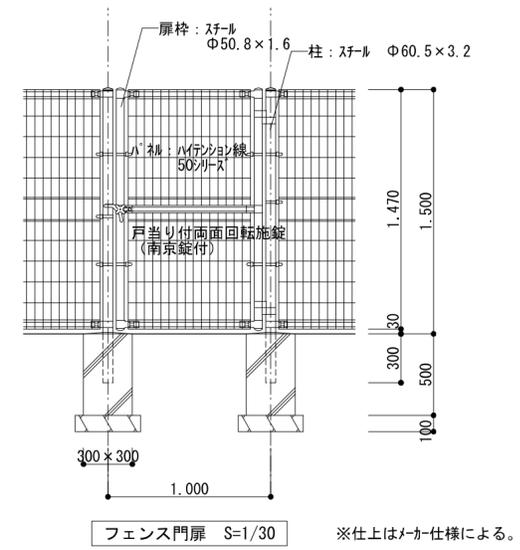
図面番号	A-11
------	------



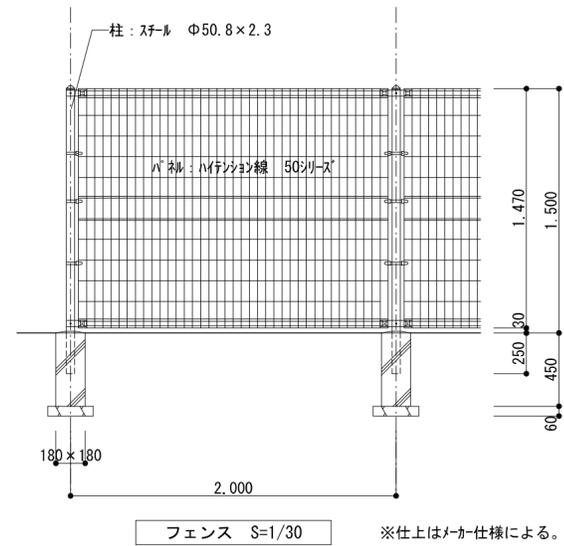
平面詳細図 S=1/30 (改修)



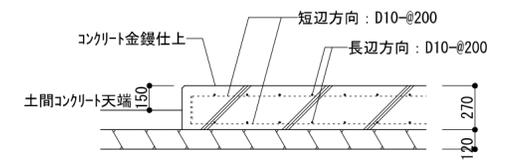
平面詳細図 S=1/30 (既存)



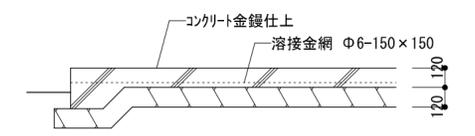
フェンス門扉 S=1/30 ※仕上はメーカー仕様による。



フェンス S=1/30 ※仕上はメーカー仕様による。



空調室外機基礎 S=1/30



土間コンクリート S=1/30

摘要	

**ハナガタ建築設計事務所**  
 一級建築士事務所 一級建築士 No. 183598号 菅谷 隆

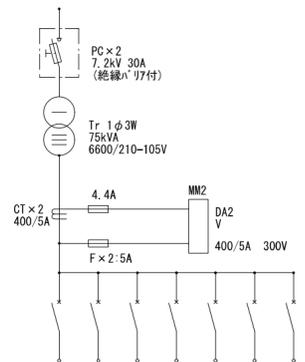
設計年月日	2021/11/15
変更年月日	

承認	担当	製図
N.S	T.S	T.S

工事名称	市立小・中学校屋内運動場空調設備設置工事 その1 (ゼロ債務)
図面名称	空調室外機置場詳細図
縮尺	S=1/30

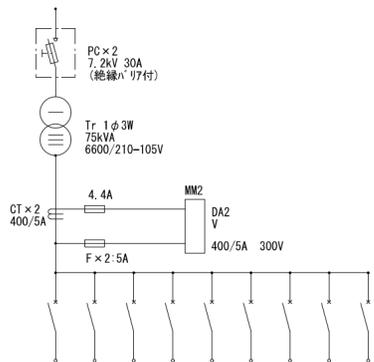
図面番号	A-12
------	------





負荷番号	負荷名称	開閉器容量
L1-1	LB-1A LB-2A	3P225AF/225AT
L1-2	LB-3A	3P225AF/200AT
L1-3	LB-1B~LB-3B	3P225AF/200AT
L1-4	LB-3C	3P225AF/125AT
L1-5	予備	3P100AF/75AT
L1-6	ブール	3P50AF/50AT

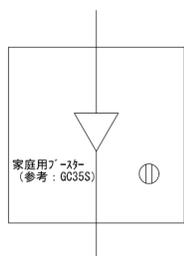
低圧電灯盤No.1



負荷番号	負荷名称	開閉器容量
L2-1	屋内運動場	3P225AF/225AT
L2-2	LA-1A~LA-3A	3P225AF/200AT
L2-3	LA-1B~LA-3B	3P225AF/200AT
L2-4	予備	3P225AF/225AT
L2-5	予備 (空調機盤)	3P100AF/100AT 3P50AF/50ATに交換
L2-6	ELR・警報電源	2P50AF/15AT
L2-7	コナン引外し電源	2P50AF/15AT
L2-8	所内用電源	2P50AF/20AT

改修  
低圧電灯盤No.2

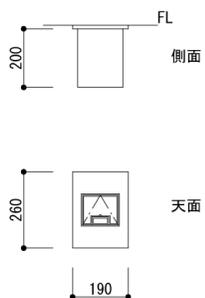
キュービクル単線結線図



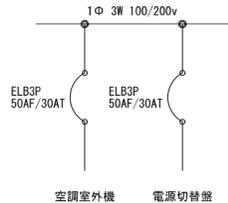
TV-T1

機器収納箱

※鋼板製  
露出形 (屋内用)  
300 x 300 x 120

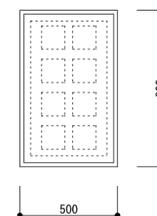


707-コンセント図



空調機盤

※鋼板製  
露出形 (屋外用)  
400 x 330 x 150



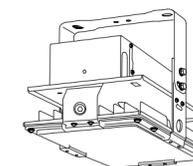
リモコン収納箱

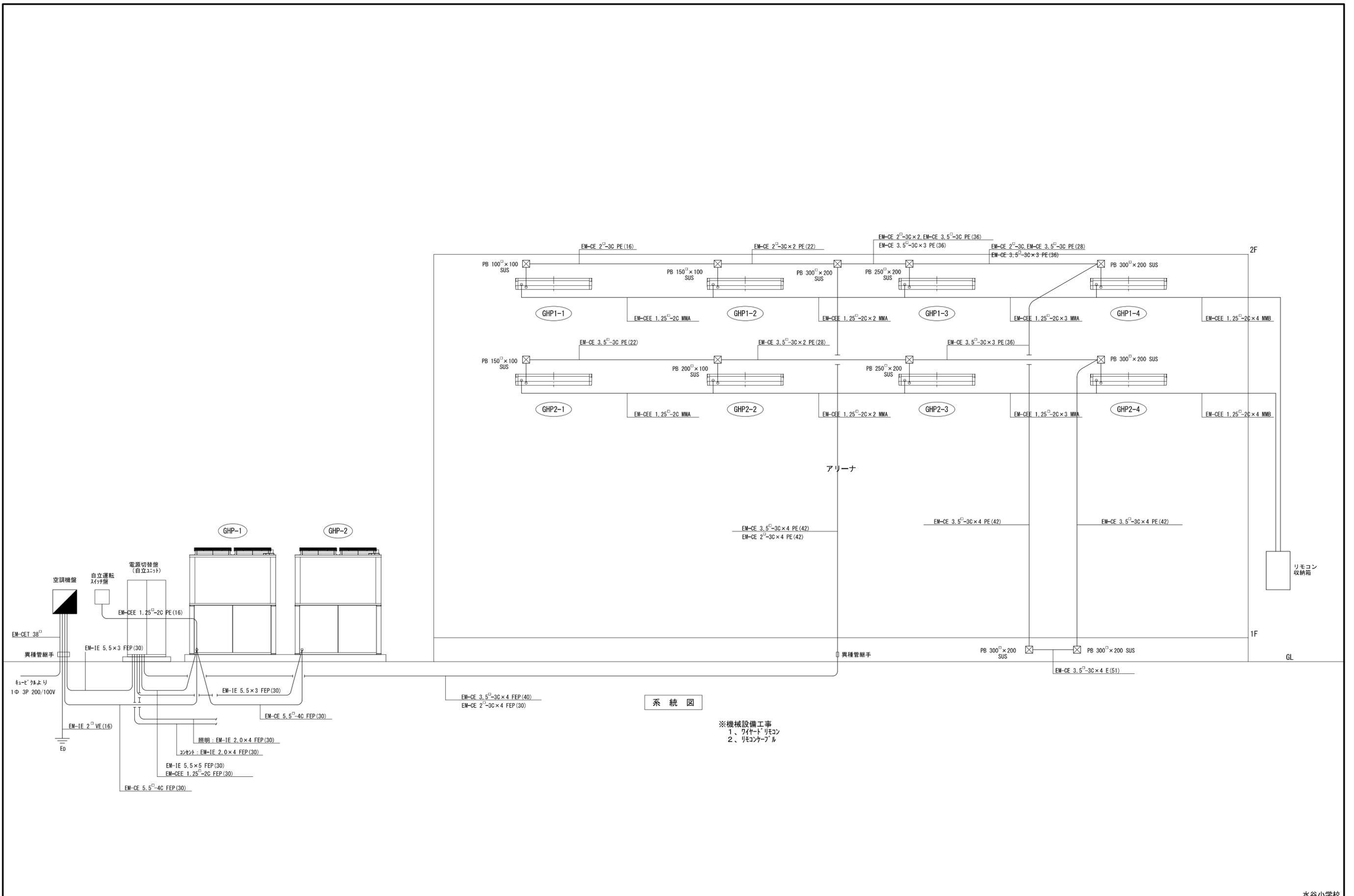
※鋼板製  
露出形 (屋内用)  
500 x 800 x 100  
参考: BUN5810VK

照明器具姿図

名称	高天井用LED照明 (マルチLED灯400形相当)		
形式	昼白色 広角タイプ	直付型	電源内蔵型
電圧	単相200V	光束	21300 lm
備考	落下防止ワイヤー付き 調光式		

LSR2W-200





水谷小学校

摘要

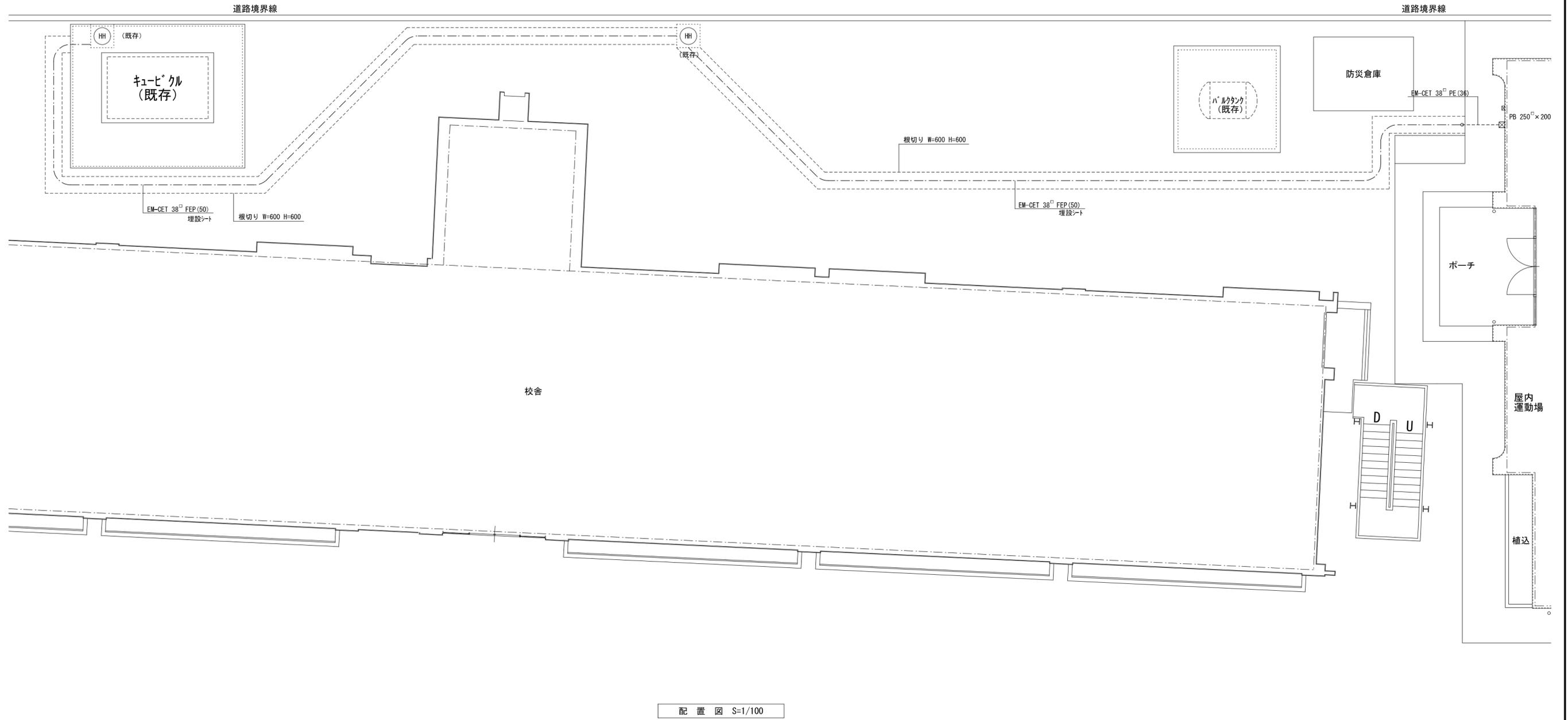

**ハナガタ建築設計事務所**  
 一級建築士事務所      一級建築士no.183598号   菅谷 隆

設計年月日	2021/11/15
変更年月日	

承認	担当	製図
N.S	T.S	T.S

工事名称	市立小・中学校屋内運動場空調設備設置工事 その1 (ゼロ債務)
図面名称	電気設備 系統図

図面番号	E-3
縮尺	



摘要	

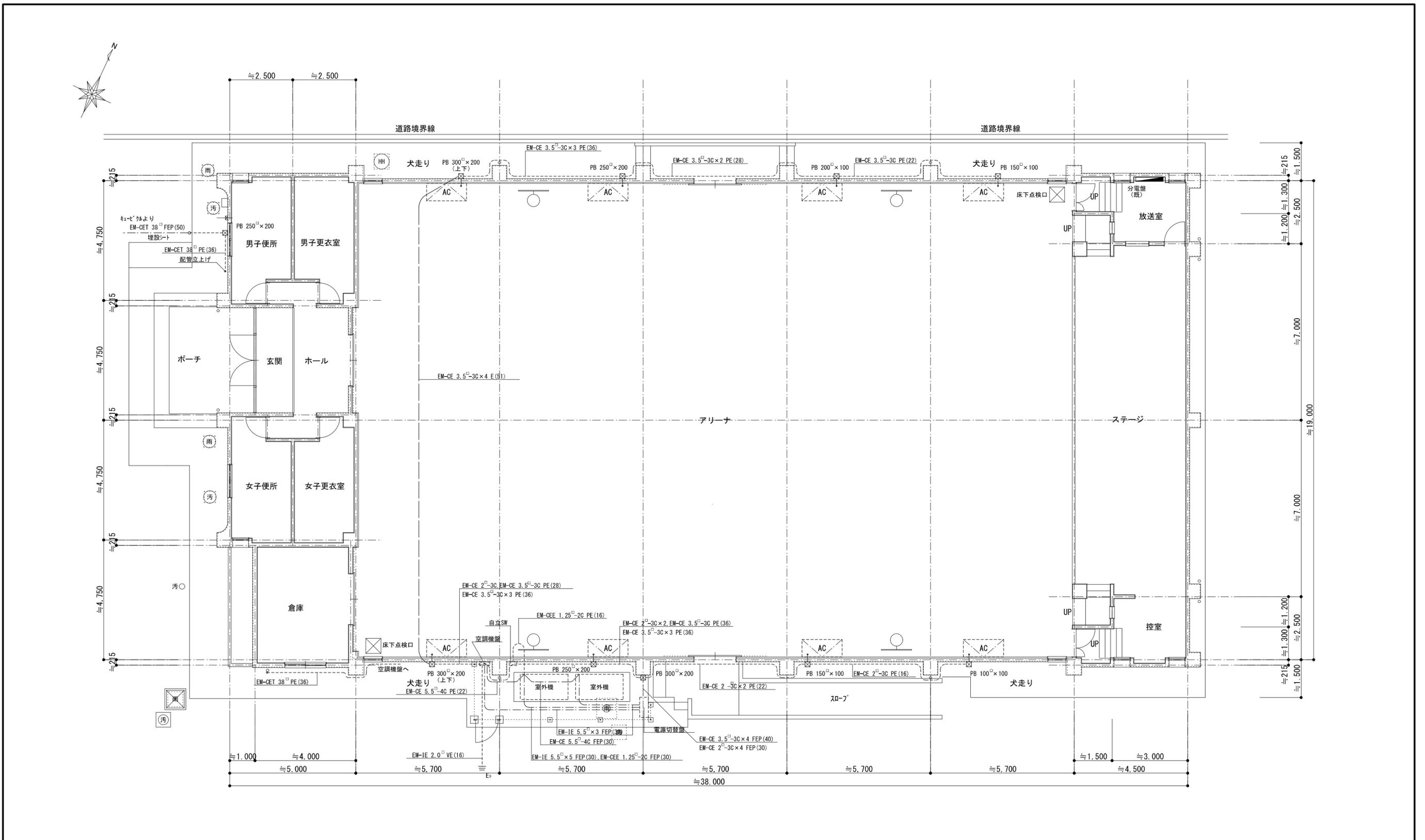

**ハナガタ建築設計事務所**  
 一級建築士事務所 一級建築士 No. 183598号 菅谷 隆

設計年月日	2021/11/15
変更年月日	

承認	担当	製図
N.S	T.S	T.S

工事名称	市立小・中学校屋内運動場空調設備設置工事 その1 (ゼロ債務)
図面名称	電気設備 (幹線) 配置図
縮尺	S=1/100

図面番号	E-4 /
------	-------



1 階平面図 S=1/100 ※外部のブルボックスは全てステンレス製とする。

水谷小学校

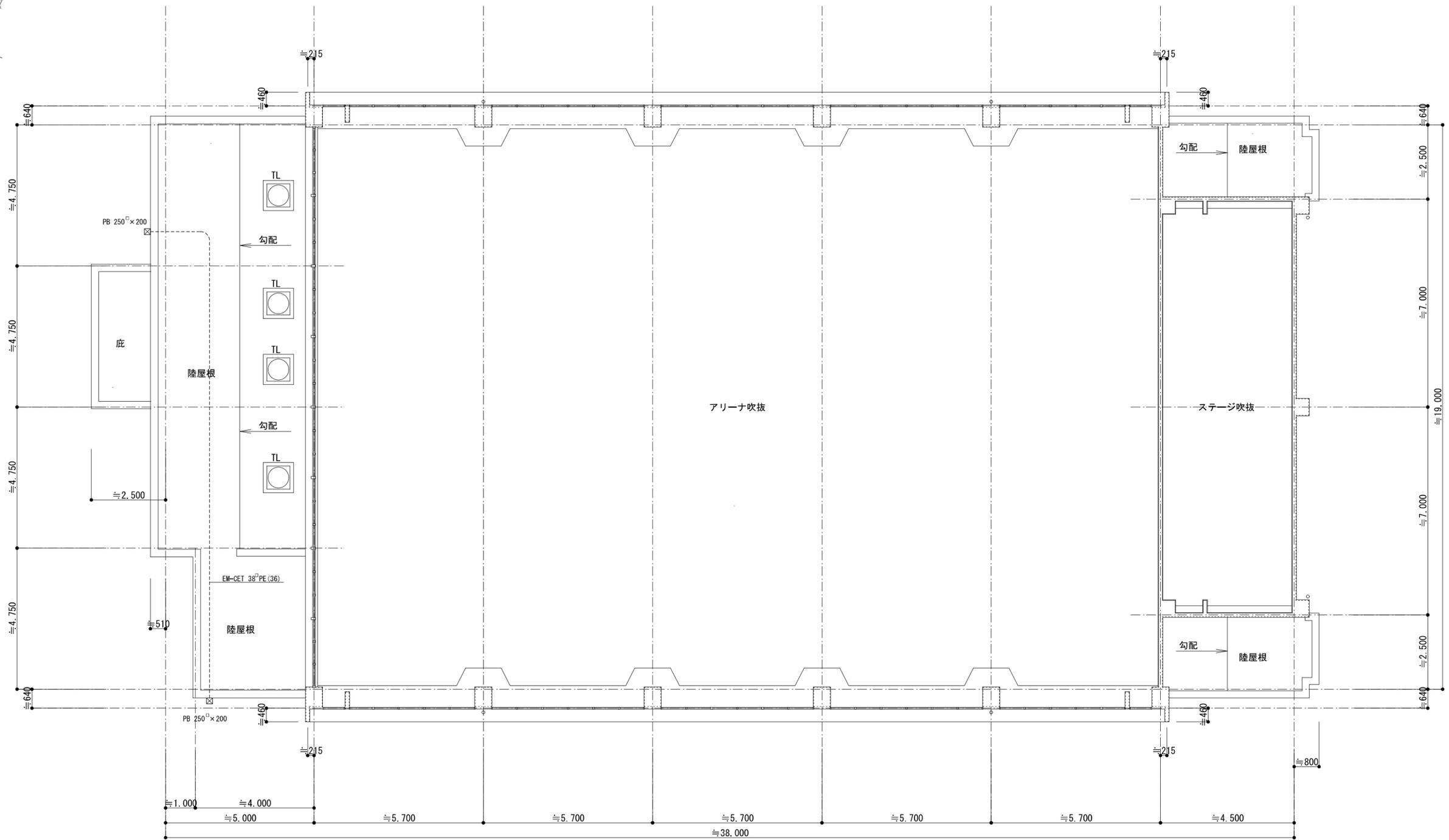
摘要	

**ハナガタ建築設計事務所**  
 一級建築士事務所  
 一級建築士 No. 183598号 菅谷 隆

設計年月日	2021.11.15	承認	担当	製図
変更年月日		N.S	T.S	T.S

工事名称	市立小・中学校屋内運動場空調設備設置工事 その1 (ゼロ債務)
図面名称	電気設備 (幹線) 1階平面図

図面番号	E-5
縮尺	S=1/100



2 階平面図 S=1/100

水谷小学校

摘要

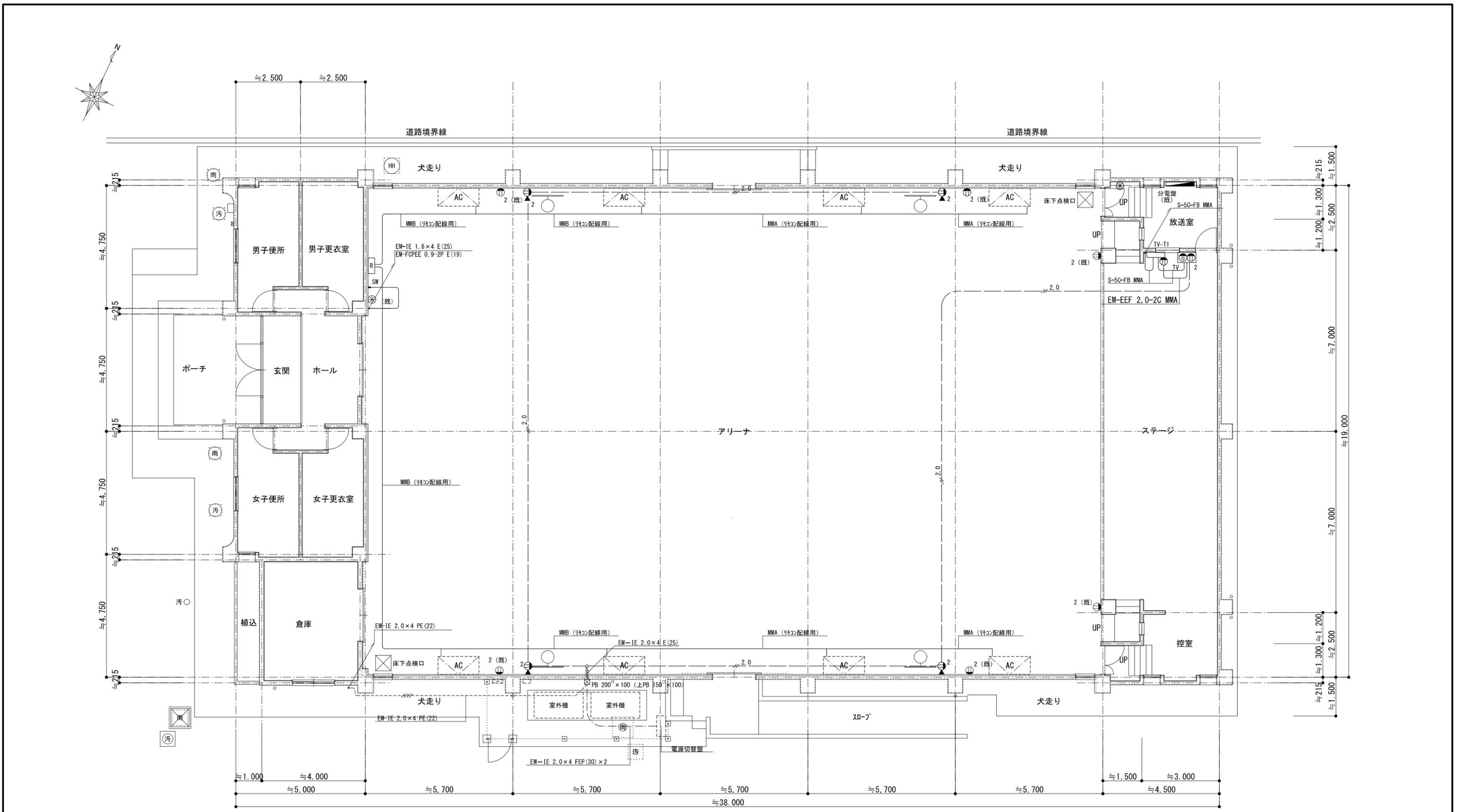

**ハナガタ建築設計事務所**  
 一級建築士事務所 一級建築士no.183598号 菅谷 隆

設計年月日	2021.11.15
変更年月日	

承認	担当	製図
N.S	T.S	T.S

工事名称	市立小・中学校屋内運動場空調設備設置工事 その1 (ゼロ債務)
図面名称	電気設備 (幹線) 2階平面図
縮尺	S=1/100

図面番号	E-6
------	-----



1 階平面図 S=1/100

※特記事項  
 1、新設高天井LED照明器具は常時使用可能とし、停電時に発電機回路に切り替わり使用出来るものとする。  
 2、新設コンセントは常時使用可能とし、停電時に発電機回路に切り替わり使用出来るものとする。  
 3、外部のプルボックスは全てステンレス製とする。

- 凡例
- 2.0 EM-IE 2.0×2 E(19)
  - EM-IE 1.6×2
  - EM-IE 1.6×3
  - ・ 片切りスイッチ (調光スライド式)
  - ⊗ (既) 照明レレクタースイッチ (既)
  - ⊕ フォアコンセント
  - ⊖ コンセント
  - ⊖ (既) コンセント (既)
  - ⊖ 20A (既) 20Aコンセント (既存)
  - ⊖ TV TV直列ユニット

水谷小学校

摘要	

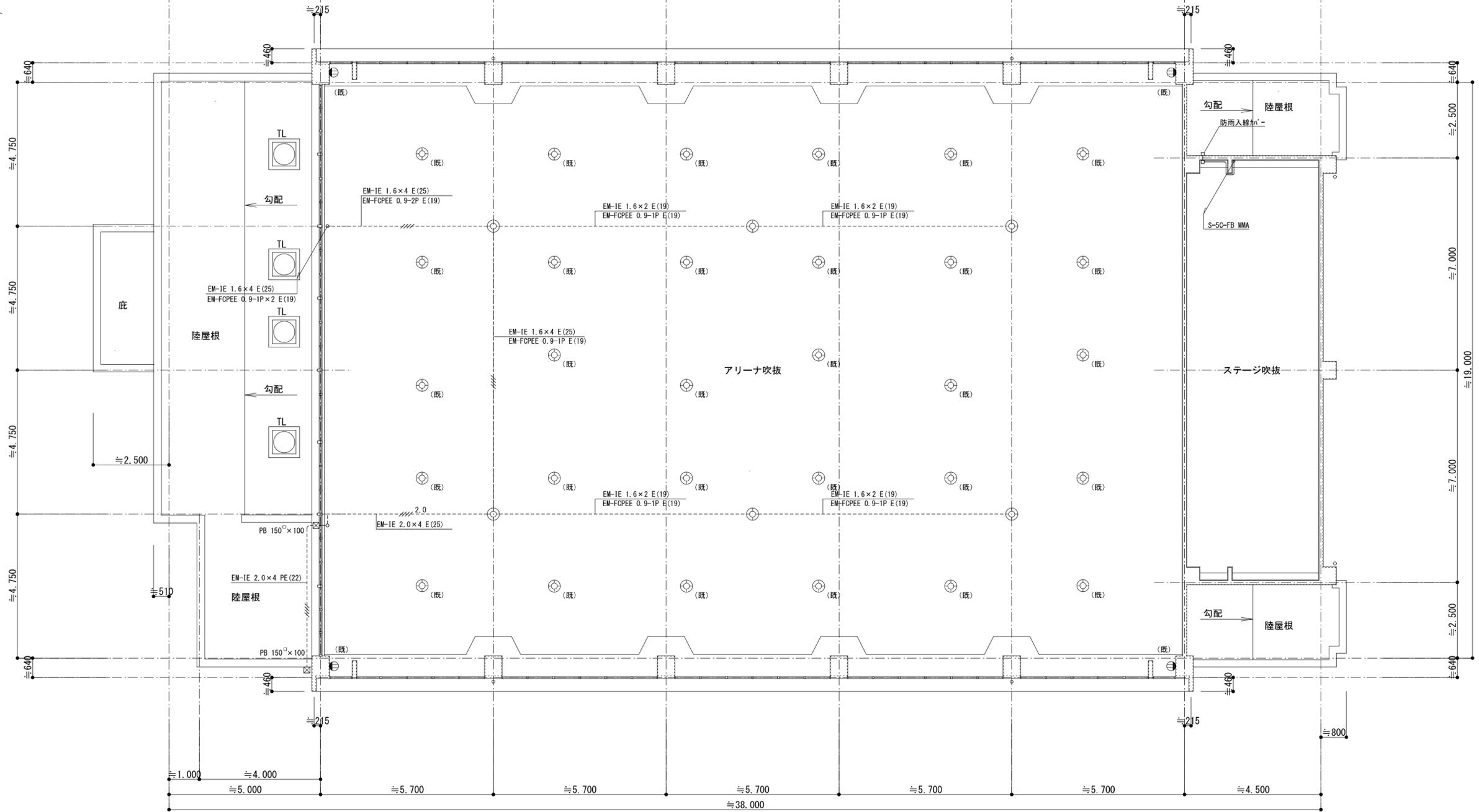
**ハナガタ建築設計事務所**  
 一級建築士事務所  
 一級建築士 No.183598号 菅谷 隆

設計年月日	2021.11.15
変更年月日	

承認	担当	製図
N.S	T.S	T.S

工事名称	市立小・中学校屋内運動場空調設備設置工事 その1 (ゼロ債務)
図面名称	電気設備 (電灯・弱電) 1階平面図
縮尺	S=1/100

図面番号	E-7
------	-----



※特記事項  
 1. 新設高天井用LED照明器具は常時使用可能とし、停電時に発電機回路に切り替わり使用出来るものとする。  
 2. 新設コンセントは常時使用可能とし、停電時に発電機回路に切り替わり使用出来るものとする。

2 階 平 面 図 S=1/100

凡 例

- 2.0 EM-IE 2.0×2 E(19)
- EM-IE 1.6×2 E(19)
- EM-IE 1.6×3 E(19)
- MMA, MMB マルモルゾング A型、B型
- ジャンクションボックス
- ⊙ 高天井用LED照明
- ⊙ (既) 既存照明器具

水谷小学校

摘要	

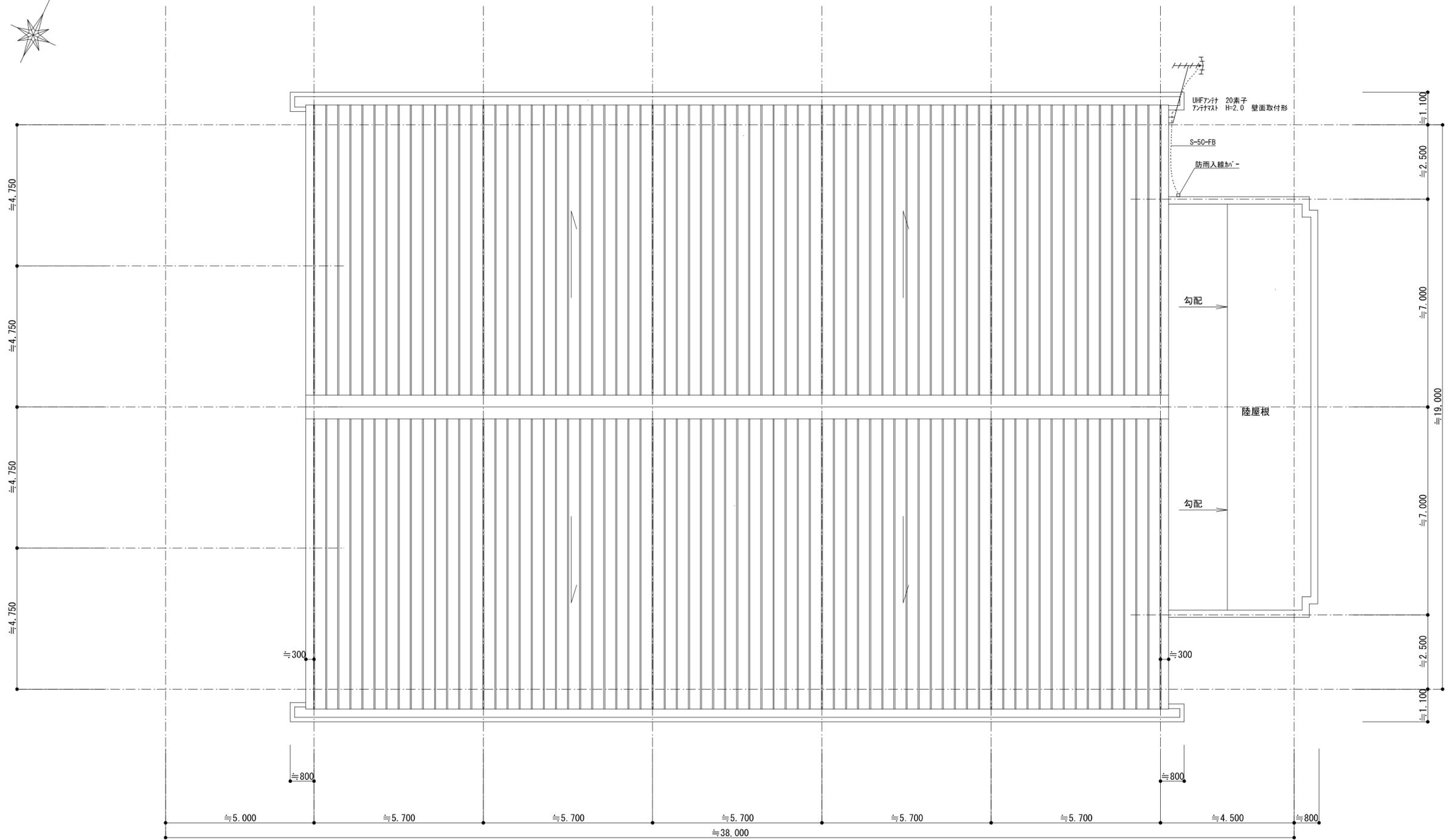
**ハナガタ建築設計事務所**  
 一級建築士事務所 一級建築士no.183598号 菅谷 隆

設計年月日	2021.11.15
変更年月日	

承認	担当	製図
N.S	T.S	T.S

工事名称	市立小・中学校屋内運動場空調設備設置工事 その1 (ゼロ債務)
図面名称	電気設備 (電灯・弱电) 2階平面図
縮尺	S=1/100

図面番号	E-8
------	-----



屋根平面図 S=1/100

水谷小学校

摘要



**ハナガタ建築設計事務所**

一級建築士事務所

一級建築士 No. 183598号 菅谷 隆

設計年月日	2021. 11. 15
変更年月日	

承認	担当	製図
N.S	T.S	T.S

工事名称	市立小・中学校屋内運動場空調設備設置工事 その1 (ゼロ債務)
図面名称	電気設備 (弱電) 屋根平面図
縮尺	S=1/100

図面番号

E-9 /

機械設備工事特記仕様書																																																																																																																																																																																																		
<p>I 工事概要</p> <table><tr><td>1 工事名称</td><td>市立小・中学校屋内運動場空調設備設置工事 その1（ゼロ債務）</td></tr><tr><td>2 工事場所</td><td>富士見市水谷1丁目 地内（水谷小学校）</td></tr><tr><td>3 工期</td><td>契約日から令和4年12月28日</td></tr><tr><td>現場施工期間</td><td>令和4年5月20日から令和4年11月30日</td></tr><tr><td>現場施工期間</td><td>現場施工期間は、施設管理者との調整により変更することができる。</td></tr></table> <p>4 建物概要</p> <table><thead><tr><th>建物名称</th><th>構造</th><th>階数</th><th>延面積 (㎡)</th><th>消防法施行令別表第一</th><th>備考</th></tr></thead><tbody><tr><td>① 屋内運動場</td><td>RC造一部S造</td><td>2階</td><td></td><td>(7)</td><td></td></tr><tr><td>②</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>③</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>④</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>⑤</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table> <p>5 工事種目（●印を付いたものを適用する。）</p> <table><thead><tr><th rowspan="2">建物別及び屋外 工事種目</th><th colspan="5">工事種別</th><th rowspan="2">屋外</th></tr><tr><th>①</th><th>②</th><th>③</th><th>④</th><th>⑤</th></tr></thead><tbody><tr><td>●空気調和設備</td><td>一式</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>○換気設備</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>○排煙設備</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>○自動制御設備</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>○衛生器具設備</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>○給水設備</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>○排水設備</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>○給湯設備</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>○消火設備</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>○厨房機器設備</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>●ガス設備</td><td>一式</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table> <p>6 指定部分 ※無 ・有 対象部分： 工期：令和 年 月 日</p> <p>7 主任技術者又は監理技術者の専任期間（建設法により必要になった場合）</p> <ol style="list-style-type: none"><li>専任期間の始期 請負契約締結の日から、<b>○</b>現場施工に着手するまで（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等開始されるまで）の期間 ・令和 年 月 日までの期間については、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。</li><li>専任期間の終期 工事完成后、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合は除く。）、事務手続き、後片付けのみが残っている場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。</li><li>専任期間の中断 自然災害の発生又は歴史的建造物調査等により発注者からの通知により、工事を全面的に一時中止にしている場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。</li></ol> <p>8 工事範囲 図示のとおり</p> <p>9 機械設備工事概要 発電機搭載型のガスヒートポンプエアコン設置 ガス設備工事</p> <table><tbody><tr><td>埼玉県環境配慮方針の適用項目（12） （該当項目数： ）</td><td>・長寿命機材の選定（2-3-3） ・設備更新を踏まえた計画（2-3-4） ・再生品の優先使用（2-3-6） ・有害物質の放少量が少ない材料の使用（2-4-2） ・発生材の再資源化を推進（3-1-6） ・フロン等の回収、破壊を行う（4-1-1） ・代替フロンの使用抑制（4-1-2） ・新冷媒の採用（4-1-3） ・太陽熱利用システムの導入（5-1-2） ・高効率機器の採用（5-2-2） ・ゾーニングの工夫（5-3-1） ・外気冷却制御の導入（5-3-2） ・搬送動力の低減（5-3-3） ・ヒートポンプの採用（5-3-4） ・熱回収システムの導入（5-3-5） ・コージェネレーションの導入（5-4-1） ・節水機器の採用（6-1-1） ・雨水利用（6-1-3） ・排水再利用（6-1-4） ・アスコン廃材の再利用（6-3-2） ・再生塩化塩の採用（6-3-3）</td></tr></tbody></table> <p>10 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事は、それぞれの工事仕様を適用し、下記の工事仕様は適用しない。なお、それぞれの工事仕様について特記されていない事項は、電気設備工事は埼玉県電気設備工事特別共通仕様書により、建築工事は埼玉県建築工事特別共通仕様書による。</p> <p>11 同時期発注の関連工事 ・建築工事 ・電気設備工事</p> <p>II 工事仕様</p> <p>1 共通仕様</p> <ol style="list-style-type: none"><li>(1) この工事は特記仕様書、図面によるほか、埼玉県機械設備工事特別共通仕様書（以下「特別共通仕様書」という。）、国土交通省大臣官庁官庁管轄部局修繕公建築工事標準仕様書（機械設備工事項）、公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事項）、公共建築設備工事標準（機械設備工事項）（以下「標準仕様書等」という。）及び監督員の指示に従い施工する。 なお、県営住宅の場合は、公共住宅建設工事共通仕様書、機材の品質・性能等を最優先とする。</li><li>(2) 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、それぞれの特別共通仕様書及び標準仕様書等を適用する。</li><li>(3) 法令・基準・仕様書等は、原則として施工時において最新のものを適用する。</li></ol> <p>2 特記仕様</p> <ol style="list-style-type: none"><li>(1) 章は●印の付いたもの、項目は○印の付いたものを適用する。</li><li>(2) 特記事項のうち選択する事項は、○印の付いたものがなければ、※印を適用し、●印のものは適用しない。 ○印と※印の付いた場合は、共に適用する。</li></ol>	1 工事名称	市立小・中学校屋内運動場空調設備設置工事 その1（ゼロ債務）	2 工事場所	富士見市水谷1丁目 地内（水谷小学校）	3 工期	契約日から令和4年12月28日	現場施工期間	令和4年5月20日から令和4年11月30日	現場施工期間	現場施工期間は、施設管理者との調整により変更することができる。	建物名称	構造	階数	延面積 (㎡)	消防法施行令別表第一	備考	① 屋内運動場	RC造一部S造	2階		(7)		②						③						④						⑤						建物別及び屋外 工事種目	工事種別					屋外	①	②	③	④	⑤	●空気調和設備	一式						○換気設備							○排煙設備							○自動制御設備							○衛生器具設備							○給水設備							○排水設備							○給湯設備							○消火設備							○厨房機器設備							●ガス設備	一式																				埼玉県環境配慮方針の適用項目（12） （該当項目数： ）	・長寿命機材の選定（2-3-3） ・設備更新を踏まえた計画（2-3-4） ・再生品の優先使用（2-3-6） ・有害物質の放少量が少ない材料の使用（2-4-2） ・発生材の再資源化を推進（3-1-6） ・フロン等の回収、破壊を行う（4-1-1） ・代替フロンの使用抑制（4-1-2） ・新冷媒の採用（4-1-3） ・太陽熱利用システムの導入（5-1-2） ・高効率機器の採用（5-2-2） ・ゾーニングの工夫（5-3-1） ・外気冷却制御の導入（5-3-2） ・搬送動力の低減（5-3-3） ・ヒートポンプの採用（5-3-4） ・熱回収システムの導入（5-3-5） ・コージェネレーションの導入（5-4-1） ・節水機器の採用（6-1-1） ・雨水利用（6-1-3） ・排水再利用（6-1-4） ・アスコン廃材の再利用（6-3-2） ・再生塩化塩の採用（6-3-3）	<p>項目</p> <ol style="list-style-type: none"><li>機材等</li><li>電気保安技術者</li><li>施工条件</li><li>技能士の適用</li><li>機材の検査及び試験、施工の検査及び試験</li><li>監督員事務所</li><li>官公署その他への届出手続等</li><li>工事用電力・水等</li><li>工事用仮設物</li><li>足場・さんばし類</li><li>残土処分</li><li>埋め戻し土・盛土</li><li>再生砂、再生碎石、再生アスコン使用</li><li>発生材の処理等</li><li>容量等の表示</li><li>配管</li><li>耐震施工</li><li>あとと施工アンカー</li></ol>	<p>特記事項</p> <p>本工事に使用する設備機材等は、設計図面に規定するもの又は、これらと同等のものとする。なお、資材名、製造所名及び発注先を記載した報告書を監督員に提出すること。使用機材等については、7%以上含有の有無を確認し、7%以上を含む機材は、使用しないこと。「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律」（グリーン購入法）に規定される特定調達品目該当する機材は、その判断基準、配慮事項を満たすこととする。</p> <p>●置く ※置かない</p> <p>施工時間 ※行政機関の休日にに関する法律（563第91号）に定める行政機関の休日以外。 ・上記以外の時間に施工する場合は事前に監督員と協議すること。 ・配管施工（配管工事） ・建築板金施工（風通し作及び取付け） ・熱絶縁施工（保温工事） ・冷凍空気調和機器施工（冷凍空調機器の取付け） 検査及び試験を行うべき機材等は、標準仕様書及び特別仕様書によるほか下記による。 ※飲用に供する設備機器の取付け及び取付け完了後、水質試験を行う。水質試験は、水道法による「水質基準に関する省令」に基づく化学的、物理的及び生物化学的試験とし、公立の保健所、試験所又は認定の試験所（事前に監督員の承諾を得る）に依頼して行うものとし、その結果は、監督員に提出するものとする。 ただし、検査項目は①一般細菌、②大腸菌、③亜硝酸態窒素、④硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素、⑤塩化イオン、⑥有機物、⑦pH値、⑧臭、⑨臭気、⑩色度、⑪濁度および残留塩素の12項目とする。 ※雨水利用システム及び排水再利用システムを設置したときは、工事完成後定常の使用状態に入った後速やかに（概ね3ヶ月以内）流入水・処理水の品質試験を行う。 試験は上記の飲用に供する場合の方法に従うものとする。 ただし、検査項目は残留塩素、pH値、臭気、外観、大腸菌、濁度、BOD、CODとする。</p> <p>本工事で ●設ける（規模 ） ※設けない</p> <p>工事の着手、施工、完成に当り、関係官公署などへの必要な届出手続等は受注者が代行し滞滞なく行う。また、届出に係る費用等は、受注者の負担とする。</p> <p>本工事に必要な工事用電力及び水は、使用できるものとしその仮設にかかる費用は、受注者の負担とする。 すべて受注者の負担とし、構内につくることが ●できる ・できない</p> <p>※別契約の関連工事の受注者が定着したものは無償で使用できる。 ・本工事とする。</p> <p>埋め戻し後の建設残土は、●監督員が指示する構内の場所に敷きならす。 ○構外搬出処分処理する。</p> <p>※根切土の中の良質土（但しコンクリート管以外の管の周囲は山砂の類） ・山砂の類</p> <p>契約図書中の山砂の類、砂利、砕石及びアスコンに代替し、監督員の了解を得た上で、使用できる。 ※使用できない。</p> <p>再生砂の使用に先立ち、1購入あたり1機体の六面クロム溶出試験を行う土壌の汚染に係る環境基準に適合することを確認すること。</p> <p>※引渡しを要するもの以外は構外に搬出し、適切処理する。 （構外搬出処理費は ※本工事 ・別途。） (1) 引渡しを要するもの（ ） (2) 買取処分するもの（ ） (3) 再生資源化を図るもの（ ・硬質塩化ビニル管 ・ ） (4) 特別管理産業廃棄物（ サブライチャンバー ） ※処理に先立ち計画書を提出し、処理後は調査を提出すること。</p> <p>(1) 機器等の能力、容量等は表示された数値以上とする。 (2) 電動機出力、燃料消費量及び圧力損失は、原則として表示された数値以下とする。</p> <p>(1) 地中埋設配管（排水管を除く） 1) 地中埋設機（コンクリート製） ※要（図示の箇所） ・不要 2) 地中埋設機（キャットアイ） ※要（舗装部の分岐、曲部） ・不要 3) 埋設表示テープ（2倍折込み） ※要 ・不要</p> <p>設備機器の固定等は、すべて「国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修の建築設備耐震設計 ・施工指針2014年版」により行う。 ただし、設計用地震力（水平及び鉛直）は次の設計用水平震度K及び設計用鉛直震度K（<math>V/K \cdot H \cdot Z</math>）を用いて計算する。 設計用水平地震力と設計用鉛直地震力は同時に作用するものとする。</p> <table><thead><tr><th rowspan="2">設置場所</th><th colspan="4">耐震安全性の分類</th></tr><tr><th colspan="2">特定の施設</th><th colspan="2">一般の施設</th></tr><tr><th rowspan="2">上層階 屋上及び塔屋</th><th>重要機器</th><th>一般機器</th><th>重要機器</th><th>一般機器</th></tr></thead><tbody><tr><td rowspan="2">&lt;2.0&gt;</td><td>2.0</td><td>1.5</td><td>1.5</td><td>1.0</td></tr><tr><td>(2.0)</td><td>(2.0)</td><td>(2.0)</td><td>(1.5)</td></tr><tr><td rowspan="2">中間階</td><td>&lt;1.5&gt;</td><td>&lt;1.0&gt;</td><td>&lt;1.5&gt;</td><td>1.0</td></tr><tr><td>(1.5)</td><td>(1.0)</td><td>(1.5)</td><td>(1.0)</td></tr><tr><td rowspan="2">1階及び地下階</td><td>1.5</td><td>1.0</td><td>1.0</td><td>0.6</td></tr><tr><td>(1.5)</td><td>(1.0)</td><td>(1.0)</td><td>(0.6)</td></tr></tbody></table> <p>（注）（ ）内の数値は防振支持の機器の場合に適用する。 &lt; &gt;内の数値は水槽類に適用する。 ※上層階とは2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階 中間階とは地下階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの（平屋建の場合は無し） 重要機器は次のものを示す。 給水装置 排水装置 換気機器 空調機器 熱源機器 防災設備 監視制御設備 危険物貯蔵装置 火を使用する設備 避難経路上に設置する機器</p> <p>機器・配管等の取付けにおけるあと施工アンカーの使用については、監督員の承諾を受けるものとする。 重量100kgを超える機器の耐震支持については、耐震計算書を添付し、アンカーボルトを添付すること。 施工は、（一社）日本建築あと施工アンカー協会の資格を有するもの、又は十分な技能及び経験を有した者が行うこと。 金属拡張系アンカーの場合は、所定の穿孔深さ、拡張の完了がわかる記録を添付すること。 接着系アンカーの場合は、所定の穿孔深さ、清掃状況、マーキング、カプセル挿入、埋込みの完了が分かる記録を添付すること。 （原則として、接着系アンカーは吊り支持に使用しないものとする。） あと施工アンカーの試験は、アンカーの種類毎に1か所引張試験を実施すること。</p>	設置場所	耐震安全性の分類				特定の施設		一般の施設		上層階 屋上及び塔屋	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器	<2.0>	2.0	1.5	1.5	1.0	(2.0)	(2.0)	(2.0)	(1.5)	中間階	<1.5>	<1.0>	<1.5>	1.0	(1.5)	(1.0)	(1.5)	(1.0)	1階及び地下階	1.5	1.0	1.0	0.6	(1.5)	(1.0)	(1.0)	(0.6)
1 工事名称	市立小・中学校屋内運動場空調設備設置工事 その1（ゼロ債務）																																																																																																																																																																																																	
2 工事場所	富士見市水谷1丁目 地内（水谷小学校）																																																																																																																																																																																																	
3 工期	契約日から令和4年12月28日																																																																																																																																																																																																	
現場施工期間	令和4年5月20日から令和4年11月30日																																																																																																																																																																																																	
現場施工期間	現場施工期間は、施設管理者との調整により変更することができる。																																																																																																																																																																																																	
建物名称	構造	階数	延面積 (㎡)	消防法施行令別表第一	備考																																																																																																																																																																																													
① 屋内運動場	RC造一部S造	2階		(7)																																																																																																																																																																																														
②																																																																																																																																																																																																		
③																																																																																																																																																																																																		
④																																																																																																																																																																																																		
⑤																																																																																																																																																																																																		
建物別及び屋外 工事種目	工事種別					屋外																																																																																																																																																																																												
	①	②	③	④	⑤																																																																																																																																																																																													
●空気調和設備	一式																																																																																																																																																																																																	
○換気設備																																																																																																																																																																																																		
○排煙設備																																																																																																																																																																																																		
○自動制御設備																																																																																																																																																																																																		
○衛生器具設備																																																																																																																																																																																																		
○給水設備																																																																																																																																																																																																		
○排水設備																																																																																																																																																																																																		
○給湯設備																																																																																																																																																																																																		
○消火設備																																																																																																																																																																																																		
○厨房機器設備																																																																																																																																																																																																		
●ガス設備	一式																																																																																																																																																																																																	
埼玉県環境配慮方針の適用項目（12） （該当項目数： ）	・長寿命機材の選定（2-3-3） ・設備更新を踏まえた計画（2-3-4） ・再生品の優先使用（2-3-6） ・有害物質の放少量が少ない材料の使用（2-4-2） ・発生材の再資源化を推進（3-1-6） ・フロン等の回収、破壊を行う（4-1-1） ・代替フロンの使用抑制（4-1-2） ・新冷媒の採用（4-1-3） ・太陽熱利用システムの導入（5-1-2） ・高効率機器の採用（5-2-2） ・ゾーニングの工夫（5-3-1） ・外気冷却制御の導入（5-3-2） ・搬送動力の低減（5-3-3） ・ヒートポンプの採用（5-3-4） ・熱回収システムの導入（5-3-5） ・コージェネレーションの導入（5-4-1） ・節水機器の採用（6-1-1） ・雨水利用（6-1-3） ・排水再利用（6-1-4） ・アスコン廃材の再利用（6-3-2） ・再生塩化塩の採用（6-3-3）																																																																																																																																																																																																	
設置場所	耐震安全性の分類																																																																																																																																																																																																	
	特定の施設		一般の施設																																																																																																																																																																																															
上層階 屋上及び塔屋	重要機器	一般機器	重要機器	一般機器																																																																																																																																																																																														
	<2.0>	2.0	1.5	1.5	1.0																																																																																																																																																																																													
(2.0)		(2.0)	(2.0)	(1.5)																																																																																																																																																																																														
中間階	<1.5>	<1.0>	<1.5>	1.0																																																																																																																																																																																														
	(1.5)	(1.0)	(1.5)	(1.0)																																																																																																																																																																																														
1階及び地下階	1.5	1.0	1.0	0.6																																																																																																																																																																																														
	(1.5)	(1.0)	(1.0)	(0.6)																																																																																																																																																																																														

	<p>18 防露保温工事</p> <p>標準仕様書第2編によるほか下記による。</p> <table><thead><tr><th>区分</th><th>施工箇所</th><th>保温種別</th></tr></thead><tbody><tr><td rowspan="4">ドレン管</td><td>屋内露出（一般居室、廊下）</td><td>a1・(ハ)・VII</td></tr><tr><td>機械室、書庫、倉庫</td><td>b・(ハ)・VII</td></tr><tr><td>天井内、P S内及び空間壁中</td><td>c2・(ロ)・VII</td></tr><tr><td>浴室、厨房等の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）</td><td>e3・(ハ)・VII</td></tr><tr><td rowspan="5">蒸気管</td><td>屋内露出（一般居室、廊下）</td><td>A1・(イ)・II</td></tr><tr><td>機械室、書庫、倉庫</td><td>B・(イ)・II</td></tr><tr><td>天井内、P S内及び空間壁中</td><td>C2・(ロ)・II</td></tr><tr><td>床下、暗渠内（ビツト内、共同溝を含む。）</td><td>D・(ロ)・II</td></tr><tr><td>屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む。） 及び浴室、厨房等の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）</td><td>E3・(イ)・II</td></tr><tr><td rowspan="4">冷水・冷温水管 （膨張管、空気接管、膨脹タンクからボイラー等への補給水管を含む。）</td><td>屋内露出（一般居室、廊下）</td><td>A1・(ハ)・III</td></tr><tr><td>機械室、書庫、倉庫</td><td>B・(ハ)・III</td></tr><tr><td>天井内、P S内及び空間壁中</td><td>C1・(イ)・III</td></tr><tr><td>床下、暗渠内（ビツト内、共同溝を含む。）</td><td>D・(ハ)・III</td></tr><tr><td rowspan="4">温水管 （膨張管を含む。）</td><td>屋内露出（一般居室、廊下）</td><td>A1・(イ)・I</td></tr><tr><td>機械室、書庫、倉庫</td><td>B・(イ)・I</td></tr><tr><td>天井内、P S内及び空間壁中</td><td>C2・(ロ)・I</td></tr><tr><td>床下、暗渠内（ビツト内、共同溝を含む。） 及び浴室、厨房等の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）</td><td>E3・(イ)・I</td></tr></tbody></table> <p>（注）1. 冷媒管は、断熱材被覆銅管を使用し、外装は下記による。 屋内露出部 ※保温化絶熱カバー（※図施） ○金属製ダクト ・重鉛メッキ鋼板製 ・SUS製 屋外露出部 ※溶融アルミニウム亜鉛めっきラックング ・SUSラックキング ○保温化絶熱カバー（※樹脂製） ・重鉛メッキ鋼板製 ・SUS製</p> <p>2. 施工種別Bの材料及び施工順序3、4に替え、アルミガラス化断熱紙を使用する。 3. 機器類の保温材の種類別は、（※グラスウール保温材 ・ロックウール保温材）とする。</p> <p>ダクトの保温の種類別</p> <table><thead><tr><th>区分</th><th>施工箇所</th><th>保温種別</th></tr></thead><tbody><tr><td rowspan="4">長方形ダクト</td><td>屋内露出（一般居室、廊下）</td><td>J1・(イ)・XI</td></tr><tr><td>屋内露出（機械室、書庫、倉庫）</td><td>I・(イ)・XI</td></tr><tr><td>屋内隠ぺい、D S内</td><td>1・(ロ)・XI</td></tr><tr><td>屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む。） 及び浴室、厨房等の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）</td><td>K3・(イ)・XI</td></tr><tr><td rowspan="3">円形ダクト</td><td>屋内露出（一般居室、廊下）</td><td>O1・(イ)・XI</td></tr><tr><td>屋内露出（機械室、書庫、倉庫）</td><td>N・(イ)・XI</td></tr><tr><td>屋内隠ぺい、D S内</td><td>N・(ロ)・XI</td></tr><tr><td rowspan="4">消音内貼り</td><td>屋内露出（バルコニー、開放廊下を含む。） 及び浴室、厨房等の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）</td><td>P3・(イ)・XI</td></tr><tr><td>サブライチャンバー</td><td>M・(ロ)・IX</td></tr><tr><td>消音チャンバー・消音エルボ</td><td>L・(ロ)・VII</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table> <p>給排水衛生設備工事の保温の種類別</p> <table><thead><tr><th>区分</th><th>施工箇所</th><th>保温種別</th></tr></thead><tbody><tr><td rowspan="5">給水管</td><td>屋内露出（一般居室、廊下）</td><td>a1・(ハ)・VII</td></tr><tr><td>機械室、書庫、倉庫</td><td>b・(ハ)・VII</td></tr><tr><td>天井内</td><td>c2・(ロ)・VII</td></tr><tr><td>P S内及び空間壁中</td><td>—</td></tr><tr><td>県営住宅P S内</td><td>c2・(ハ)・VII</td></tr><tr><td rowspan="5">排水及び通気管</td><td>床下、暗渠内（ビツト内、共同溝を含む。）</td><td>—</td></tr><tr><td>屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む。） 及び浴室、厨房等の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）</td><td>e3・(ハ)・VII</td></tr><tr><td>屋内露出（一般居室、廊下）</td><td>—</td></tr><tr><td>機械室、書庫、倉庫</td><td>—</td></tr><tr><td>天井内</td><td>c2・(ロ)・VII</td></tr><tr><td rowspan="5">給湯管 （膨張管、空気接管、膨脹タンクからボイラー等への補給水管を含む。）</td><td>屋内露出（一般居室、廊下）</td><td>a1・(イ)・I</td></tr><tr><td>機械室、書庫、倉庫</td><td>b・(イ)・I</td></tr><tr><td>天井内</td><td>c2・(ロ)・I</td></tr><tr><td>P S内及び空間壁中</td><td>d・(ロ)・I</td></tr><tr><td>屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む。） 及び浴室、厨房等の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）</td><td>e3・(イ)・I</td></tr></tbody></table> <p>（注）1. 消火、排水及び通気管のうち見えかき部は塗装を施す。 2. 排水管の管種が耐火2層管、耐火V Pの場合は、保温を要しない。 3. 施工種別Bの材料及び施工順序3、4に替え、アルミガラス化断熱紙を使用する。 4. 機器類の保温材の種類別は、（※グラスウール ・ロックウール）とする。 5. 消火管屋外露出部保温仕様は、e3・(ハ)・VIIとする。 6. 便所内露出SUS管及び泉し内露出SUS管は保温を要しない。 7. 空調設備を要する便所（特別支援学校等）以外の便所で高密度ポリエチレン管を使用する場合は、施工箇所により保温を要しない。 ※ロックウール・グラスウールのホルムアルデヒド放散量による区分は、原則としてF☆☆☆☆とする。 19 防凍保温 ※屋外露出給水管（呼び径20以下のみ）は、保温厚50mmの防凍保温を行うこと。 ・図示の屋外露出部（給水管、消火管、給湯管、膨張管、弁類を含む。）は下記仕様により防凍保温を行う。 ・保温仕様は保温厚さと呼び径32以下は50mm、呼び径40以上は40mmとする。 ※保温仕様をガラスウールとし、凍結防止ヒーターを設置。</p> <p>20 塗装 下記の亜鉛メッキを施したダクト及び配管は、塗装を行わない。 ●機械室、書庫、倉庫 ・ 下記の金属電線管は塗装を行う。 ※屋外露出 ※多湿箇所 屋内露出（※見えかき部） ・ ( )</p> <p>21 電線 特記なき電線・ケーブルは、原則としてエコマテリアル電線・ケーブルとし、露出部分に使用する場合は耐紫外線性能を有するものとする。 ただし、自動制御設備に関わる配線は標準仕様書の自動制御設備の項による。</p> <p>22 はつり及びあと施工アンカー打設 既存コンクリート床、壁等の配管貫通部の穴明け及びあと施工アンカー打設前、図面に明示する箇所についてX線撮影調査を実施すること。</p>	区分	施工箇所	保温種別	ドレン管	屋内露出（一般居室、廊下）	a1・(ハ)・VII	機械室、書庫、倉庫	b・(ハ)・VII	天井内、P S内及び空間壁中	c2・(ロ)・VII	浴室、厨房等の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）	e3・(ハ)・VII	蒸気管	屋内露出（一般居室、廊下）	A1・(イ)・II	機械室、書庫、倉庫	B・(イ)・II	天井内、P S内及び空間壁中	C2・(ロ)・II	床下、暗渠内（ビツト内、共同溝を含む。）	D・(ロ)・II	屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む。） 及び浴室、厨房等の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）	E3・(イ)・II	冷水・冷温水管 （膨張管、空気接管、膨脹タンクからボイラー等への補給水管を含む。）	屋内露出（一般居室、廊下）	A1・(ハ)・III	機械室、書庫、倉庫	B・(ハ)・III	天井内、P S内及び空間壁中	C1・(イ)・III	床下、暗渠内（ビツト内、共同溝を含む。）	D・(ハ)・III	温水管 （膨張管を含む。）	屋内露出（一般居室、廊下）	A1・(イ)・I	機械室、書庫、倉庫	B・(イ)・I	天井内、P S内及び空間壁中	C2・(ロ)・I	床下、暗渠内（ビツト内、共同溝を含む。） 及び浴室、厨房等の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）	E3・(イ)・I	区分	施工箇所	保温種別	長方形ダクト	屋内露出（一般居室、廊下）	J1・(イ)・XI	屋内露出（機械室、書庫、倉庫）	I・(イ)・XI	屋内隠ぺい、D S内	1・(ロ)・XI	屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む。） 及び浴室、厨房等の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）	K3・(イ)・XI	円形ダクト	屋内露出（一般居室、廊下）	O1・(イ)・XI	屋内露出（機械室、書庫、倉庫）	N・(イ)・XI	屋内隠ぺい、D S内	N・(ロ)・XI	消音内貼り	屋内露出（バルコニー、開放廊下を含む。） 及び浴室、厨房等の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）	P3・(イ)・XI	サブライチャンバー	M・(ロ)・IX	消音チャンバー・消音エルボ	L・(ロ)・VII				区分	施工箇所	保温種別	給水管	屋内露出（一般居室、廊下）	a1・(ハ)・VII	機械室、書庫、倉庫	b・(ハ)・VII	天井内	c2・(ロ)・VII	P S内及び空間壁中	—	県営住宅P S内	c2・(ハ)・VII	排水及び通気管	床下、暗渠内（ビツト内、共同溝を含む。）	—	屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む。） 及び浴室、厨房等の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）	e3・(ハ)・VII	屋内露出（一般居室、廊下）	—	機械室、書庫、倉庫	—	天井内	c2・(ロ)・VII	給湯管 （膨張管、空気接管、膨脹タンクからボイラー等への補給水管を含む。）	屋内露出（一般居室、廊下）	a1・(イ)・I	機械室、書庫、倉庫	b・(イ)・I	天井内	c2・(ロ)・I	P S内及び空間壁中	d・(ロ)・I	屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む。） 及び浴室、厨房等の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）	e3・(イ)・I
区分	施工箇所	保温種別																																																																																																									
ドレン管	屋内露出（一般居室、廊下）	a1・(ハ)・VII																																																																																																									
	機械室、書庫、倉庫	b・(ハ)・VII																																																																																																									
	天井内、P S内及び空間壁中	c2・(ロ)・VII																																																																																																									
	浴室、厨房等の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）	e3・(ハ)・VII																																																																																																									
蒸気管	屋内露出（一般居室、廊下）	A1・(イ)・II																																																																																																									
	機械室、書庫、倉庫	B・(イ)・II																																																																																																									
	天井内、P S内及び空間壁中	C2・(ロ)・II																																																																																																									
	床下、暗渠内（ビツト内、共同溝を含む。）	D・(ロ)・II																																																																																																									
	屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む。） 及び浴室、厨房等の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）	E3・(イ)・II																																																																																																									
冷水・冷温水管 （膨張管、空気接管、膨脹タンクからボイラー等への補給水管を含む。）	屋内露出（一般居室、廊下）	A1・(ハ)・III																																																																																																									
	機械室、書庫、倉庫	B・(ハ)・III																																																																																																									
	天井内、P S内及び空間壁中	C1・(イ)・III																																																																																																									
	床下、暗渠内（ビツト内、共同溝を含む。）	D・(ハ)・III																																																																																																									
温水管 （膨張管を含む。）	屋内露出（一般居室、廊下）	A1・(イ)・I																																																																																																									
	機械室、書庫、倉庫	B・(イ)・I																																																																																																									
	天井内、P S内及び空間壁中	C2・(ロ)・I																																																																																																									
	床下、暗渠内（ビツト内、共同溝を含む。） 及び浴室、厨房等の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）	E3・(イ)・I																																																																																																									
区分	施工箇所	保温種別																																																																																																									
長方形ダクト	屋内露出（一般居室、廊下）	J1・(イ)・XI																																																																																																									
	屋内露出（機械室、書庫、倉庫）	I・(イ)・XI																																																																																																									
	屋内隠ぺい、D S内	1・(ロ)・XI																																																																																																									
	屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む。） 及び浴室、厨房等の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）	K3・(イ)・XI																																																																																																									
円形ダクト	屋内露出（一般居室、廊下）	O1・(イ)・XI																																																																																																									
	屋内露出（機械室、書庫、倉庫）	N・(イ)・XI																																																																																																									
	屋内隠ぺい、D S内	N・(ロ)・XI																																																																																																									
消音内貼り	屋内露出（バルコニー、開放廊下を含む。） 及び浴室、厨房等の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）	P3・(イ)・XI																																																																																																									
	サブライチャンバー	M・(ロ)・IX																																																																																																									
	消音チャンバー・消音エルボ	L・(ロ)・VII																																																																																																									
区分	施工箇所	保温種別																																																																																																									
給水管	屋内露出（一般居室、廊下）	a1・(ハ)・VII																																																																																																									
	機械室、書庫、倉庫	b・(ハ)・VII																																																																																																									
	天井内	c2・(ロ)・VII																																																																																																									
	P S内及び空間壁中	—																																																																																																									
	県営住宅P S内	c2・(ハ)・VII																																																																																																									
排水及び通気管	床下、暗渠内（ビツト内、共同溝を含む。）	—																																																																																																									
	屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む。） 及び浴室、厨房等の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）	e3・(ハ)・VII																																																																																																									
	屋内露出（一般居室、廊下）	—																																																																																																									
	機械室、書庫、倉庫	—																																																																																																									
	天井内	c2・(ロ)・VII																																																																																																									
給湯管 （膨張管、空気接管、膨脹タンクからボイラー等への補給水管を含む。）	屋内露出（一般居室、廊下）	a1・(イ)・I																																																																																																									
	機械室、書庫、倉庫	b・(イ)・I																																																																																																									
	天井内	c2・(ロ)・I																																																																																																									
	P S内及び空間壁中	d・(ロ)・I																																																																																																									
	屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む。） 及び浴室、厨房等の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）	e3・(イ)・I																																																																																																									

	<p>19 防凍保温</p> <p>標準仕様書第2編によるほか下記による。</p> <table><thead><tr><th>区分</th><th>施工箇所</th><th>保温種別</th></tr></thead><tbody><tr><td rowspan="4">ドレン管</td><td>屋内露出（一般居室、廊下）</td><td>a1・(ハ)・VII</td></tr><tr><td>機械室、書庫、倉庫</td><td>b・(ハ)・VII</td></tr><tr><td>天井内、P S内及び空間壁中</td><td>c2・(ロ)・VII</td></tr><tr><td>浴室、厨房等の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）</td><td>e3・(ハ)・VII</td></tr><tr><td rowspan="5">蒸気管</td><td>屋内露出（一般居室、廊下）</td><td>A1・(イ)・II</td></tr><tr><td>機械室、書庫、倉庫</td><td>B・(イ)・II</td></tr><tr><td>天井内、P S内及び空間壁中</td><td>C2・(ロ)・II</td></tr><tr><td>床下、暗渠内（ビツト内、共同溝を含む。）</td><td>D・(ロ)・II</td></tr><tr><td>屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む。） 及び浴室、厨房等の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）</td><td>E3・(イ)・II</td></tr><tr><td rowspan="4">冷水・冷温水管 （膨張管、空気接管、膨脹タンクからボイラー等への補給水管を含む。）</td><td>屋内露出（一般居室、廊下）</td><td>A1・(ハ)・III</td></tr><tr><td>機械室、書庫、倉庫</td><td>B・(ハ)・III</td></tr><tr><td>天井内、P S内及び空間壁中</td><td>C1・(イ)・III</td></tr><tr><td>床下、暗渠内（ビツト内、共同溝を含む。）</td><td>D・(ハ)・III</td></tr><tr><td rowspan="4">温水管 （膨張管を含む。）</td><td>屋内露出（一般居室、廊下）</td><td>A1・(イ)・I</td></tr><tr><td>機械室、書庫、倉庫</td><td>B・(イ)・I</td></tr><tr><td>天井内、P S内及び空間壁中</td><td>C2・(ロ)・I</td></tr><tr><td>床下、暗渠内（ビツト内、共同溝を含む。） 及び浴室、厨房等の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）</td><td>E3・(イ)・I</td></tr></tbody></table> <p>（注）1. 冷媒管は、断熱材被覆銅管を使用し、外装は下記による。 屋内露出部 ※保温化絶熱カバー（※図施） ○金属製ダクト ・重鉛メッキ鋼板製 ・SUS製 屋外露出部 ※溶融アルミニウム亜鉛めっきラックング ・SUSラックキング ○保温化絶熱カバー（※樹脂製） ・重鉛メッキ鋼板製 ・SUS製</p> <p>2. 施工種別Bの材料及び施工順序3、4に替え、アルミガラス化断熱紙を使用する。 3. 機器類の保温材の種類別は、（※グラスウール保温材 ・ロックウール保温材）とする。</p> <p>ダクトの保温の種類別</p> <table><thead><tr><th>区分</th><th>施工箇所</th><th>保温種別</th></tr></thead><tbody><tr><td rowspan="4">長方形ダクト</td><td>屋内露出（一般居室、廊下）</td><td>J1・(イ)・XI</td></tr><tr><td>屋内露出（機械室、書庫、倉庫）</td><td>I・(イ)・XI</td></tr><tr><td>屋内隠ぺい、D S内</td><td>1・(ロ)・XI</td></tr><tr><td>屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む。） 及び浴室、厨房等の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）</td><td>K3・(イ)・XI</td></tr><tr><td rowspan="3">円形ダクト</td><td>屋内露出（一般居室、廊下）</td><td>O1・(イ)・XI</td></tr><tr><td>屋内露出（機械室、書庫、倉庫）</td><td>N・(イ)・XI</td></tr><tr><td>屋内隠ぺい、D S内</td><td>N・(ロ)・XI</td></tr><tr><td rowspan="4">消音内貼り</td><td>屋内露出（バルコニー、開放廊下を含む。） 及び浴室、厨房等の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）</td><td>P3・(イ)・XI</td></tr><tr><td>サブライチャンバー</td><td>M・(ロ)・IX</td></tr><tr><td>消音チャンバー・消音エルボ</td><td>L・(ロ)・VII</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td></tr></tbody></table> <p>給排水衛生設備工事の保温の種類別</p> <table><thead><tr><th>区分</th><th>施工箇所</th><th>保温種別</th></tr></thead><tbody><tr><td rowspan="5">給水管</td><td>屋内露出（一般居室、廊下）</td><td>a1・(ハ)・VII</td></tr><tr><td>機械室、書庫、倉庫</td><td>b・(ハ)・VII</td></tr><tr><td>天井内</td><td>c2・(ロ)・VII</td></tr><tr><td>P S内及び空間壁中</td><td>—</td></tr><tr><td>県営住宅P S内</td><td>c2・(ハ)・VII</td></tr><tr><td rowspan="5">排水及び通気管</td><td>床下、暗渠内（ビツト内、共同溝を含む。）</td><td>—</td></tr><tr><td>屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む。） 及び浴室、厨房等の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）</td><td>e3・(ハ)・VII</td></tr><tr><td>屋内露出（一般居室、廊下）</td><td>—</td></tr><tr><td>機械室、書庫、倉庫</td><td>—</td></tr><tr><td>天井内</td><td>c2・(ロ)・VII</td></tr><tr><td rowspan="5">給湯管 （膨張管、空気接管、膨脹タンクからボイラー等への補給水管を含む。）</td><td>屋内露出（一般居室、廊下）</td><td>a1・(イ)・I</td></tr><tr><td>機械室、書庫、倉庫</td><td>b・(イ)・I</td></tr><tr><td>天井内</td><td>c2・(ロ)・I</td></tr><tr><td>P S内及び空間壁中</td><td>d・(ロ)・I</td></tr><tr><td>屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む。） 及び浴室、厨房等の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）</td><td>e3・(イ)・I</td></tr></tbody></table> <p>（注）1. 消火、排水及び通気管のうち見えかき部は塗装を施す。 2. 排水管の管種が耐火2層管、耐火V Pの場合は、保温を要しない。 3. 施工種別Bの材料及び施工順序3、4に替え、アルミガラス化断熱紙を使用する。 4. 機器類の保温材の種類別は、（※グラスウール ・ロックウール）とする。 5. 消火管屋外露出部保温仕様は、e3・(ハ)・VIIとする。 6. 便所内露出SUS管及び泉し内露出SUS管は保温を要しない。 7. 空調設備を要する便所（特別支援学校等）以外の便所で高密度ポリエチレン管を使用する場合は、施工箇所により保温を要しない。 ※ロックウール・グラスウールのホルムアルデヒド放散量による区分は、原則としてF☆☆☆☆とする。 19 防凍保温 ※屋外露出給水管（呼び径20以下のみ）は、保温厚50mmの防凍保温を行うこと。 ・図示の屋外露出部（給水管、消火管、給湯管、膨張管、弁類を含む。）は下記仕様により防凍保温を行う。 ・保温仕様は保温厚さと呼び径32以下は50mm、呼び径40以上は40mmとする。 ※保温仕様をガラスウールとし、凍結防止ヒーターを設置。</p> <p>20 塗装 下記の亜鉛メッキを施したダクト及び配管は、塗装を行わない。 ●機械室、書庫、倉庫 ・ 下記の金属電線管は塗装を行う。 ※屋外露出 ※多湿箇所 屋内露出（※見えかき部） ・ ( )</p> <p>21 電線 特記なき電線・ケーブルは、原則としてエコマテリアル電線・ケーブルとし、露出部分に使用する場合は耐紫外線性能を有するものとする。 ただし、自動制御設備に関わる配線は標準仕様書の自動制御設備の項による。</p> <p>22 はつり及びあと施工アンカー打設 既存コンクリート床、壁等の配管貫通部の穴明け及びあと施工アンカー打設前、図面に明示する箇所についてX線撮影調査を実施すること。</p>	区分	施工箇所	保温種別	ドレン管	屋内露出（一般居室、廊下）	a1・(ハ)・VII	機械室、書庫、倉庫	b・(ハ)・VII	天井内、P S内及び空間壁中	c2・(ロ)・VII	浴室、厨房等の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）	e3・(ハ)・VII	蒸気管	屋内露出（一般居室、廊下）	A1・(イ)・II	機械室、書庫、倉庫	B・(イ)・II	天井内、P S内及び空間壁中	C2・(ロ)・II	床下、暗渠内（ビツト内、共同溝を含む。）	D・(ロ)・II	屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む。） 及び浴室、厨房等の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）	E3・(イ)・II	冷水・冷温水管 （膨張管、空気接管、膨脹タンクからボイラー等への補給水管を含む。）	屋内露出（一般居室、廊下）	A1・(ハ)・III	機械室、書庫、倉庫	B・(ハ)・III	天井内、P S内及び空間壁中	C1・(イ)・III	床下、暗渠内（ビツト内、共同溝を含む。）	D・(ハ)・III	温水管 （膨張管を含む。）	屋内露出（一般居室、廊下）	A1・(イ)・I	機械室、書庫、倉庫	B・(イ)・I	天井内、P S内及び空間壁中	C2・(ロ)・I	床下、暗渠内（ビツト内、共同溝を含む。） 及び浴室、厨房等の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）	E3・(イ)・I	区分	施工箇所	保温種別	長方形ダクト	屋内露出（一般居室、廊下）	J1・(イ)・XI	屋内露出（機械室、書庫、倉庫）	I・(イ)・XI	屋内隠ぺい、D S内	1・(ロ)・XI	屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む。） 及び浴室、厨房等の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）	K3・(イ)・XI	円形ダクト	屋内露出（一般居室、廊下）	O1・(イ)・XI	屋内露出（機械室、書庫、倉庫）	N・(イ)・XI	屋内隠ぺい、D S内	N・(ロ)・XI	消音内貼り	屋内露出（バルコニー、開放廊下を含む。） 及び浴室、厨房等の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）	P3・(イ)・XI	サブライチャンバー	M・(ロ)・IX	消音チャンバー・消音エルボ	L・(ロ)・VII				区分	施工箇所	保温種別	給水管	屋内露出（一般居室、廊下）	a1・(ハ)・VII	機械室、書庫、倉庫	b・(ハ)・VII	天井内	c2・(ロ)・VII	P S内及び空間壁中	—	県営住宅P S内	c2・(ハ)・VII	排水及び通気管	床下、暗渠内（ビツト内、共同溝を含む。）	—	屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む。） 及び浴室、厨房等の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）	e3・(ハ)・VII	屋内露出（一般居室、廊下）	—	機械室、書庫、倉庫	—	天井内	c2・(ロ)・VII	給湯管 （膨張管、空気接管、膨脹タンクからボイラー等への補給水管を含む。）	屋内露出（一般居室、廊下）	a1・(イ)・I	機械室、書庫、倉庫	b・(イ)・I	天井内	c2・(ロ)・I	P S内及び空間壁中	d・(ロ)・I	屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む。） 及び浴室、厨房等の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）	e3・(イ)・I
区分	施工箇所	保温種別																																																																																																									
ドレン管	屋内露出（一般居室、廊下）	a1・(ハ)・VII																																																																																																									
	機械室、書庫、倉庫	b・(ハ)・VII																																																																																																									
	天井内、P S内及び空間壁中	c2・(ロ)・VII																																																																																																									
	浴室、厨房等の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）	e3・(ハ)・VII																																																																																																									
蒸気管	屋内露出（一般居室、廊下）	A1・(イ)・II																																																																																																									
	機械室、書庫、倉庫	B・(イ)・II																																																																																																									
	天井内、P S内及び空間壁中	C2・(ロ)・II																																																																																																									
	床下、暗渠内（ビツト内、共同溝を含む。）	D・(ロ)・II																																																																																																									
	屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む。） 及び浴室、厨房等の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）	E3・(イ)・II																																																																																																									
冷水・冷温水管 （膨張管、空気接管、膨脹タンクからボイラー等への補給水管を含む。）	屋内露出（一般居室、廊下）	A1・(ハ)・III																																																																																																									
	機械室、書庫、倉庫	B・(ハ)・III																																																																																																									
	天井内、P S内及び空間壁中	C1・(イ)・III																																																																																																									
	床下、暗渠内（ビツト内、共同溝を含む。）	D・(ハ)・III																																																																																																									
温水管 （膨張管を含む。）	屋内露出（一般居室、廊下）	A1・(イ)・I																																																																																																									
	機械室、書庫、倉庫	B・(イ)・I																																																																																																									
	天井内、P S内及び空間壁中	C2・(ロ)・I																																																																																																									
	床下、暗渠内（ビツト内、共同溝を含む。） 及び浴室、厨房等の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）	E3・(イ)・I																																																																																																									
区分	施工箇所	保温種別																																																																																																									
長方形ダクト	屋内露出（一般居室、廊下）	J1・(イ)・XI																																																																																																									
	屋内露出（機械室、書庫、倉庫）	I・(イ)・XI																																																																																																									
	屋内隠ぺい、D S内	1・(ロ)・XI																																																																																																									
	屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む。） 及び浴室、厨房等の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）	K3・(イ)・XI																																																																																																									
円形ダクト	屋内露出（一般居室、廊下）	O1・(イ)・XI																																																																																																									
	屋内露出（機械室、書庫、倉庫）	N・(イ)・XI																																																																																																									
	屋内隠ぺい、D S内	N・(ロ)・XI																																																																																																									
消音内貼り	屋内露出（バルコニー、開放廊下を含む。） 及び浴室、厨房等の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）	P3・(イ)・XI																																																																																																									
	サブライチャンバー	M・(ロ)・IX																																																																																																									
	消音チャンバー・消音エルボ	L・(ロ)・VII																																																																																																									
区分	施工箇所	保温種別																																																																																																									
給水管	屋内露出（一般居室、廊下）	a1・(ハ)・VII																																																																																																									
	機械室、書庫、倉庫	b・(ハ)・VII																																																																																																									
	天井内	c2・(ロ)・VII																																																																																																									
	P S内及び空間壁中	—																																																																																																									
	県営住宅P S内	c2・(ハ)・VII																																																																																																									
排水及び通気管	床下、暗渠内（ビツト内、共同溝を含む。）	—																																																																																																									
	屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む。） 及び浴室、厨房等の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）	e3・(ハ)・VII																																																																																																									
	屋内露出（一般居室、廊下）	—																																																																																																									
	機械室、書庫、倉庫	—																																																																																																									
	天井内	c2・(ロ)・VII																																																																																																									
給湯管 （膨張管、空気接管、膨脹タンクからボイラー等への補給水管を含む。）	屋内露出（一般居室、廊下）	a1・(イ)・I																																																																																																									
	機械室、書庫、倉庫	b・(イ)・I																																																																																																									
	天井内	c2・(ロ)・I																																																																																																									
	P S内及び空間壁中	d・(ロ)・I																																																																																																									
	屋外露出（バルコニー、開放廊下を含む。） 及び浴室、厨房等の多湿箇所 （厨房の天井内は含まない。）	e3・(イ)・I																																																																																																									

	<p>23 管の埋設深さ</p> <ol style="list-style-type: none"><li>(1) 公道上は、道路管理者の指定する深さとする。</li><li>(2) 構内車両通路では、路盤材下面から管の上端まで600mmとする。</li><li>(3) その他の場所では、地表面（舗装する部分では路盤材下面）から管の上端まで300mmとする。</li></ol>
	<p>24 既設管分岐・接続</p> <p>既設管に接続・分岐する場合は、原則として新設時の接合方法として標準仕様書に規定された工法による。 やむを得ずそれ以外の工法を採用する場合は監督員の承諾を受ける。</p>
● 一般共通事項特記事項（続き）	<p>25 絶縁継手の設置 ・種別 ※コンクリートの建築物に出入りする箇所の付近の露出部配管 ※鋼管と鋼管及びこれに繋がる部分 ※鋼管とステンレス管及びこれに繋がる部分 ※50A以下は絶縁ユニオンとし、それ以上は絶縁フランジ ・全て絶縁フランジ ( ) 書きの室名は直天井を示し、その他は二重天井を示す。</p> <p>26 天井上げ区分 スリーブ、箱入れその他工事との取合いは、工事区分表によるものとし、施工に支障を来さない時期までに、必要な位置、大きさを明示し、監督員と打合わせする。</p> <p>27 他工事との取合区分 施工図等の著作権に係る当該建築物に關する使用権は、発注者に帰属するものとする。</p> <p>28 保 険 受注者は工事目的物及び工事材料について工事完成期日後14日まで、これを火災が保障対象になっている組立保険等にかけて、証書の写しを監督員に提出する。 受注者は法定外の労災保険に対し、証書の写しを監督員に提出する。</p> <p>30 配管識別 配管等の識別は、その方法等について監督員と協議のうえ行うこと。 ※使用を要する 塗落禁止用器具の安全使用に関するガイドライン（平成30年6月22日付け基発0622第2号）による ・使用を要しない</p> <p>31 配管識別 完成図書の電子納品適用ガイドライン ※適用する ・適用しない 完成図書の表紙及び背表紙には、工事名、受・発注者名、完成年月日を記載すること。 また、完成図の中に主要機器一覧表（名称、製造者名、形式、容量又は出力、数量等）を記載すること。 県営住宅の完成図書の提出部数は、A1二つ折り1部及びA3二つ折り3部とする。 三相誘導電動機はJIS C 4213（IE3）トフラランナーモーターとする。 工事に先立ち、監督員と打合せの上、住民及び関係自治会等に対して工事説明を実施すること、工事に先立ち、「工事のお知らせ」等を配布し、周知する。</p>
● 改修一般事項（付加事項）	<p>1 共通事項 改修工事で特別に付加すべき事項について指定するものとし、それ以外は本特記仕様書の一般共通事項による。</p> <p>2 改修部分の足場 本工事で単独に必要な足場は、下記より設ける。 (1) 内部足場 ※ 組立足場 ・種相足場 ・ (2) 外部足場 ※A種（特相足場） ・B種 ・C種 ・D種 ・E種 ・F種 ※足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン」について（厚生労働省 基発案042401号平成21年4月24日）の「手すり先行工法に関するガイドライン」により、「働きやすさ安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり設置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うものとする。</p>
● 改修一般事項（付加事項）	<p>3 既存部分養生・既存家具等養生 (1) 関係受注業者と共有部分 ※別契約の関係受注業者が定着したものは無償で使用できる。 ・本工事で負担とする。（種別は（2）による。） (2) 本工事で単独で必要となる養生は、下記による。 ※ビニールシート ・合板 ・ ・別途工事 ・本工事 ※接続配管等の取外し、接続は本工事</p>
4 備品等の移動	<p>5 仮設間仕切り (1) 関係請負業者と共有部分 ※別契約の関係受注業者が定着したものは無償で使用できる。 ・本工事で負担とする。（種別は（2）による。） (2) 本工事で単独で必要となる仮設間仕切りは、下記による。 ※A種 単管地下全面シート張り ・</p>
6 撤去後機材の扱い	<p>(1) 改修部分の機材は原則として撤去後新品に取替えるものとし、再使用する場合は図示区分による。 (2) 撤去後再使用の指定がない機材のうち、撤去後使用価値を有するものは、現場発物品として監督員に報告する。 それ以外の機材は種類別に産業廃棄物として分別処し、マニフェストを監督員に提出する。</p>
7 支持金物の再使用	<p>(1) インサート金物 ・インサートの種毎に引張試験を行った場合は、再使用できる ※新品 (2) 形鋼支持金物等 ・再使用できる ※新品</p>
8 あと施工アンカーの種類	<p>金属拡張アンカー又は接着系アンカーを使用するものとし、その使用については、監督員の承諾を受けるものとする。</p>
9 フロンの回収	<p>冷媒管の撤去に当たっては、すべてのフロングスを回収し下記の方法で処理する。 ※破壊プラント搬入 ・フロン再生後引き渡し ・未再生引き渡し 「特定製品に係るフロン類の回収及び破壊の実施の確保等に関する法律」に基づき処理すること。</p>
10 総合調整	<p>・全体再調整 ※改修部及び影響部のみ調整</p>
11 既設基礎類の解体はつり	<p>建設機械は、原則として、排気ガス対策型、低騒音型、低振動型を使用すること。 現場内で使用する重機等は、解体建築物の位置及び規模に応じた機種及び規格のものを選定すること。 粉じんの飛散等により周辺環境に影響を及ぼさないよう適宜散水や粉じん発生源を覆うなど環境対策に配慮すること。</p>
12 その他	<ol style="list-style-type: none"><li>(1) 図面上の縮尺は、JIS A1版とした縮尺とする。</li><li>(2) 受注者は、施工にあたって施設運営に支障のないよう十分に締結に打合せを行うこと。</li><li>(3) 特に騒音振動など周辺に大きな影響のある工事については、原則として学校では学校運営に支障を与えない期間、その他の施設では施設管理者と打合せして設定すること。</li><li>(4) F F式温風暖房機の撤去・再取付、新規設置について F F式温風暖房機の一時的取り、再取付、新規設置及び動作確認は、製造者又は製造者認定の代理店等に所属する「石油機器技術管理士」の登録を受けたもの（一般財団法人石油機器機器保守協会）が行い、記録を整備すること。なお、動作確認は、一時取り前・再取付け後の双方で行うこと。新規設置の場合は設置後に行うこと。</li></ol>
	水谷小学校

概要

 <b>ハナガタ建築設計事務所</b> 一級建築士事務所	<b>承認 担当 製 図</b> N.S T.S T.S
一級建築士NO. 183598号 菅谷 隆	工事名称 市立小・中学校屋内運動場空調設備設置工事 その1（ゼロ債務）
	図面名称 機械設備工事 特記仕様書（1）
	図番番号 M-1

承認 担当 製 図	N.S T.S T.S
設計年月日	2021/11/15
変更年月日	

工事名称	市立小・中学校屋内運動場空調設備設置工事 その1（ゼロ債務）
図面名称	機械設備工事 特記仕様書（1）
縮尺	
図番番号	M-1

● 空気調和設備	① 設計室温度	<table border="1"><tr><th rowspan="2">外 気</th><th colspan="4">一 般 系 統</th><th colspan="4">屋 内</th></tr><tr><th>温度 (DB)</th><th>湿度 (RH)</th><th>温度 (DB)</th><th>湿度 (RH)</th><th>温度 (DB)</th><th>湿度 (RH)</th><th>温度 (DB)</th><th>湿度 (RH)</th></tr><tr><td>夏 期</td><td>36.9℃</td><td>46.1%</td><td>28℃</td><td>9%</td><td>℃</td><td>9%</td><td>℃</td><td>9%</td></tr><tr><td>冬 期</td><td>0.6℃</td><td>50.7%</td><td>20℃</td><td>9%</td><td>℃</td><td>9%</td><td>℃</td><td>9%</td></tr></table> <p>※外気処理用エアコンの屋内設定値は、夏期室温50%とする。</p>	外 気	一 般 系 統				屋 内				温度 (DB)	湿度 (RH)	夏 期	36.9℃	46.1%	28℃	9%	℃	9%	℃	9%	冬 期	0.6℃	50.7%	20℃	9%	℃	9%	℃	9%	1 長方形ダクト	※低圧ダクト（亜鉛鉄板製） 長辺の長さ1500mm以下 ※共板工法 ・スライドオンフランジ工法 ・アングルフランジ工法 それ以外の部分 ・高圧ダクト（亜鉛鉄板製） ・高圧2ダクト（亜鉛鉄板製） ・ステンレス製ダクト（・A区分 ※B区分） ・塩ビ製ダクト（・A区分 ※B区分）	○ 給 水 設 備	1 配管材料 配管材料は ※下記 ・ 図面指示（図面指示が不足する箇所は下記） による。 <table border="1"><thead><tr><th rowspan="2">配管箇所</th><th colspan="2">管 種 別</th></tr><tr><th>上 水 配 管</th><th>中 水 配 管</th></tr></thead><tbody><tr><td>床下、暗渠内（ピット内、共同溝を含む。）</td><td>※SUS ・SGP-PPD ・ポリプレン管</td><td>※SUS ・SGP-PPD ・H1VP ・ポリプレン管</td></tr><tr><td>ウエット厨房、浴室等の濡潤シンダー内配管</td><td>※SUS ・SGP-PPD ・H1VP ・ポリプレン管</td><td>※H1VP ・水道用ステンレス鋼管 ・水道配水用ポリエチレン管（PE）</td></tr><tr><td>保温をしない屋外露出部</td><td>※SUS ・SGP-PPD</td><td>※H1VP ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管（PE）</td></tr><tr><td>地中埋設部（水道直結部分）</td><td>※H1VP ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管（PE）</td><td>※H1VP ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管（PE）</td></tr><tr><td>地中埋設部（一般部分）</td><td>※H1VP ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管（PE）</td><td>※SUS ・SGP-PPD</td></tr><tr><td>飲食住宅 住戸内</td><td>※ポリプレン管（さや管ヘッダー工法）</td><td>※SUS ・SGP-PPD ・H1VP ・ポリプレン管</td></tr><tr><td>便所天井内、P.S内（注5）</td><td>※高密度ポリエチレン管（32A以上）</td><td>※高密度ポリエチレン管（32A以上）</td></tr><tr><td>便所天井内</td><td>※ポリプレン管（10mm保温付）</td><td>※ポリプレン管（10mm保温付）</td></tr><tr><td>便所空腔壁内又は衛生器具等接続管</td><td>※ポリプレン管</td><td>※ポリプレン管</td></tr><tr><td>その他の部分</td><td>※SUS ・SGP-PPD ・H1VP ・ポリプレン管</td><td>※SUS ・SGP-PPD ・H1VP ・ポリプレン管</td></tr></tbody></table> <p>（注）1. SUSとは、JIS G 3448 またはJIS G 1115に規定するステンレス鋼とし、継手は一般部（・圧縮 ※ダブル ・ 縮管）使用 ・ 廊下流し廻り露出配管（※縮管）とする。 2. ステンレス管に取付ける弁は、JV8-11による。 3. 飲料水以外の給水管は、系統別に管外部に配管種別テープを巻く。また、接続管がないことを確認するため衛生器具の取付完了後、系統毎に着色水を用いた通水試験を行う。 4. 建物導入部において、ポリエチレン管と異種管を接合する場合は、接合部が容易に点検できるように点検用樹を設ける。 5. 口径25Aにて大便器等に接続する場合は、施工状況に応じて高密度ポリエチレン管の使用も可とする。 6. 高密度ポリエチレン管とは、主材料に高密度ポリエチレン樹脂（PE100）を採用し、管と継手を電気融着にて接合するものをいう。</p>	配管箇所	管 種 別		上 水 配 管	中 水 配 管	床下、暗渠内（ピット内、共同溝を含む。）	※SUS ・SGP-PPD ・ポリプレン管	※SUS ・SGP-PPD ・H1VP ・ポリプレン管	ウエット厨房、浴室等の濡潤シンダー内配管	※SUS ・SGP-PPD ・H1VP ・ポリプレン管	※H1VP ・水道用ステンレス鋼管 ・水道配水用ポリエチレン管（PE）	保温をしない屋外露出部	※SUS ・SGP-PPD	※H1VP ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管（PE）	地中埋設部（水道直結部分）	※H1VP ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管（PE）	※H1VP ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管（PE）	地中埋設部（一般部分）	※H1VP ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管（PE）	※SUS ・SGP-PPD	飲食住宅 住戸内	※ポリプレン管（さや管ヘッダー工法）	※SUS ・SGP-PPD ・H1VP ・ポリプレン管	便所天井内、P.S内（注5）	※高密度ポリエチレン管（32A以上）	※高密度ポリエチレン管（32A以上）	便所天井内	※ポリプレン管（10mm保温付）	※ポリプレン管（10mm保温付）	便所空腔壁内又は衛生器具等接続管	※ポリプレン管	※ポリプレン管	その他の部分	※SUS ・SGP-PPD ・H1VP ・ポリプレン管	※SUS ・SGP-PPD ・H1VP ・ポリプレン管	1 配管材料	・露出部 M鋼管 その他 保温付被覆鋼管（M鋼管） ・一般配管用ステンレス鋼管 ・ポリプレン管（さや管ヘッダー工法） 取付部は下記による。 ※鋼管と鋼管及びこれに類する部分 ※鋼管とステンレス管及びこれに類する部分 （1）規格はJIS又はJVとし、指定なきものは5K、それ以外は図示による。 （2）ステンレス管に取付ける弁は、JV8-11による。						
	外 気	一 般 系 統				屋 内																																																																								
		温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)																																																																					
	夏 期	36.9℃	46.1%	28℃	9%	℃	9%	℃	9%																																																																					
	冬 期	0.6℃	50.7%	20℃	9%	℃	9%	℃	9%																																																																					
	配管箇所	管 種 別																																																																												
		上 水 配 管	中 水 配 管																																																																											
	床下、暗渠内（ピット内、共同溝を含む。）	※SUS ・SGP-PPD ・ポリプレン管	※SUS ・SGP-PPD ・H1VP ・ポリプレン管																																																																											
	ウエット厨房、浴室等の濡潤シンダー内配管	※SUS ・SGP-PPD ・H1VP ・ポリプレン管	※H1VP ・水道用ステンレス鋼管 ・水道配水用ポリエチレン管（PE）																																																																											
	保温をしない屋外露出部	※SUS ・SGP-PPD	※H1VP ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管（PE）																																																																											
地中埋設部（水道直結部分）	※H1VP ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管（PE）	※H1VP ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管（PE）																																																																												
地中埋設部（一般部分）	※H1VP ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管（PE）	※SUS ・SGP-PPD																																																																												
飲食住宅 住戸内	※ポリプレン管（さや管ヘッダー工法）	※SUS ・SGP-PPD ・H1VP ・ポリプレン管																																																																												
便所天井内、P.S内（注5）	※高密度ポリエチレン管（32A以上）	※高密度ポリエチレン管（32A以上）																																																																												
便所天井内	※ポリプレン管（10mm保温付）	※ポリプレン管（10mm保温付）																																																																												
便所空腔壁内又は衛生器具等接続管	※ポリプレン管	※ポリプレン管																																																																												
その他の部分	※SUS ・SGP-PPD ・H1VP ・ポリプレン管	※SUS ・SGP-PPD ・H1VP ・ポリプレン管																																																																												
② 総合試運転調整	※本工事 ・ 別途 風量調整 ※する ・しない 水量調整 ※する ・しない 騒音の測定 ※する ・しない 室内外空気の温湿度の測定 ※する ・しない 室内気流及びじんあいの測定 ・する ※しない 初期運転状態の記録 ※する ・しない 工事対象範囲の既設機器運転状態の記録 ※する ・しない	2 円形ダクト	○ 換 気 設 備	○ 消 火 設 備	1 配管材料	屋内消火栓用 一般配管※SGP（白） ・STPG370（白）Sch40 地中埋設※SGP-VS ・H1VP 消火用 一般配管※SGP（白） ・STPG370（白）Sch40 地中埋設※SGP-VS ・H1VP 不活性ガス消火用 ※STPG370（白）Sch40 ・STPG370（白）Sch80																																																																								
3 煙 道	（1）鉄板厚 ※3.2mm ・4.5mm） （2）ばい煙濃度計 ※設ける ・設けない （3）ばいじん量測定口 ※設ける（測定口は80φとする） ・設けない	3 風量測定口	取付け箇所は、図示した箇所及び下記の箇所とする。 送風機吐出ダクト又は吸込ダクト、外気取入ダクト、空調機出风口チャンパーの分岐ダクト	2 建物導入部配管	図示部分について下記の通り施工する。 ※埋設用フレキシブルジョイント2本をL字状に設ける。 ・標準図施工4（ ・（a） ・（b） ・（c））																																																																									
4 煙 突	※別途 ・本工事	4 チャンパー	（1）内貼りを施すチャンパーの表示寸法は外法を示す。 （2）ダクト接続形の空気調和機等に取り付けるサブライチャンパー、レタンチャンパ 及びダクト系で消音内貼りしたチャンパーには、点検口を設けるものとし点検口の 大きさは下記のとおりとする。 ・300×300 ・300×500 ※400×600 ・550×750 （3）外壁に面するガラリに直接取り付けるチャンパー及びホッパーは雨水が滞留し ないようにする。	① 配管材料	・都市ガス ガス事業者の供給規定による。埋設配管はPE管を原則とする。 ○液化石油ガス 一般配管 ※合成樹脂被覆鋼管 ・SGP（白） 地中埋設 ※PE管 湯浅検査装置は、流量検知式圧力監視型とする。 ガス設備工事の施工者にガスの供給権は付帯しない。																																																																									
5 長方形ダクト	※低圧ダクト（亜鉛鉄板製） 長辺の長さ1500mm以下 ※共板工法 ・スライドオンフランジ工法 ・アングルフランジ工法 それ以外の部分 ※アングルフランジ工法 ・高圧1ダクト（亜鉛鉄板製） ・高圧2ダクト（亜鉛鉄板製） ・ステンレス製ダクト（・A区分 ※B区分） ・塩ビ製ダクト（・A区分 ※B区分）	5 ダンパー	（1）防煙ダンパー 復帰方式（※遠隔 ・ ） 定格入力DC24V、0.7A以下 （2）ピストンダンパー 復帰方式（※遠隔 ・ ）	2 ガス設備	2 ガス漏れ警報 遮断装置 湯浅検査装置は、流量検知式圧力監視型とする。 ガス設備工事の施工者にガスの供給権は付帯しない。																																																																									
6 円形ダクト	※スパイラルダクト（※亜鉛鉄板製 ・ステンレス製） ・硬質塩化ビニル管（VU） ・換気用耐火二層管（大臣認定品） ※フレキシブルダクト（ ・保温付 ・保温無） （注）1 使用区分は図示による。	6 多湿箇所の排気ダクト	（1）排気ダクトのうち下記箇所は硬質塩化ビニル管（VU） （防火区画貫通箇所は換気用耐火二層管又は耐火V.P）を使用できる。 ・浴室（シャワールーム、脱衣室を含む） （2）水抜き管は ※扉前、浴室 ※結露水が滞留する部分 （ ）の排気ダクトには設ける	③ 液化石油ガスの供給権	ガス設備工事の施工者にガスの供給権は付帯しない。																																																																									
7 風量測定口	取付け箇所は、図示した箇所及び下記の箇所とする。 送風機吐出ダクト又は吸込ダクト、外気取入ダクト、空調機出风口チャンパーの分岐ダクト	7 保 温	下記ダクトの保温を行う。 ※全熱交換器用の隠ぺい部ダクト 仕様はN ・（ロ） ・X1とする。 保温施工範囲は、給気用OAダクトは全て、また、排気用EAダクトは外壁より 1mの部分とする。 ※（※扉前 ・ 湯浅室 ・ ） 用の隠蔽ぺい部ダクト（仕様はh ・（イ） ・Xと 範囲（図面指示による）	○ 排 煙 設 備	1 厨房機器の固定	原則として、移動を前提とする厨房機器を除き地震時に転倒及び位置ずれを起こさないよう、床又は壁に堅固に取り付ける。																																																																								
8 チャンパー	（1）内貼りを施すチャンパーの表示寸法は外法を示す。 （2）ダクト接続形の空気調和機等に取り付けるサブライチャンパー、レタンチャンパ 及びダクト系で消音内貼りしたチャンパーには、点検口を設けるものとし点検口の 大きさは下記のとおりとする。 ・300×300 ・300×500 ※400×600 ・550×750 （3）外壁に面するガラリに直接取り付けるチャンパー及びホッパーは雨水が滞留し ないようにする。	8 試運転調整	風量調整 ※する ・しない 風量測定 ※する ・しない 騒音の測定 ※する ・しない	○ 自動制御	2 シンク用水栓	※レバー式泡沫水栓 ・自動水栓																																																																								
9 吹出口及び吸込口ボックス	※亜鉛鉄板製 ・ガラスウール製	1 ダクト	※亜鉛鉄板 ・	3 電気計装用機材	3 安全装置の機能の運用	標準仕様書第5編1.6・1の表5.1.7安全装置の表中の△の項目はすべて適用とする。																																																																								
10 ダンパー	（1）防煙ダンパー 復帰方式（※遠隔 ・ ） 定格入力DC24V、0.7A以下 （2）ピストンダンパー 復帰方式（※遠隔 ・ ）	2 排煙口の形式	※天井取付（・スリット形 ※スイング形） ・壁取付（・スリット形 ・スイング形）	使用する電線及びケーブルは、原則としてEM電線またはEMケーブルとする。 屋外・屋内露出の電線は、図面に特記のない限り金属管配線とする。 天井内隠ぺい電線は、図面に特記のない限りケーブル配線とする。	編製版切断時に発生する濁水の処理に係る特記仕様書																																																																									
⑪ 配管材料	（1）冷温水管 ※配管用炭素鋼鋼管（白） ・ （2）冷却水管 ※配管用炭素鋼鋼管（白） ・ （3）フライング管 ※配管用炭素鋼鋼管（黒） ・ （4）冷媒管 ※断熱材被覆鋼管 （保温厚mm ガス管 ※20以上 ・10以上 液管 ・20以上 ※10以上） ただし、液管の呼び径が9.52mm以下の断熱厚さは、8mmとしてもよい。 （5）ドレン管（屋外） ※配管用炭素鋼鋼管（白） ・硬質塩化ビニル管V.P ドレン管（屋内） ※保温機能付空調用ドレン管（210AG <sup>1</sup> /V <sup>2</sup> イ <sup>3</sup> 相当品） ・耐火二層管V.P（FDPS-1） ・配管用炭素鋼鋼管（白） ・硬質塩化ビニル管V.P （消防協議事項： ただし、保温機能付空調用ドレン管は、水圧1mを超える配管には使用しない。 （6）油管 ※配管用炭素鋼鋼管（黒） ・ （7）高気管 給気管 ※配管用炭素鋼鋼管（黒） ・ 選 管 ※圧力配管用炭素鋼鋼管（黒）Sch40 ・ステンレス鋼管 （8）膨張管、空気抜き管及び膨脹タンクよりボイラー等への補給水管 ※配管用炭素鋼鋼管（白） ・	3 排煙口手動開放装置	開放及び復帰方式 ※ワイヤース ・電気式（遠隔操作 ・不要 ・要）	（1）小便器用節水装置 （2）パリアフリー対応	第1条 この特記仕様書は、埼玉県機械設備工事特別共通仕様書に定めるもののほか、アスファルト 舗装版切断時に発生する濁水（以下「濁水」という。）の処理に関し必要な事項を定めるものである。 第2条 受注者は、回収した濁水を次のとおり処理するものとする。 ・種類及び処理量 汚泥（湿分を含む汚泥） m3 ・中間処理施設 市 地内、（株） ・処理方法 ・中間処理後、最終処分場へ搬入（処理に焼却又は溶融含まず） ・中間処理後、最終処分場又は再資源化（処理に焼却又は溶融を含む） 2 受注者は、別の中間処理施設を選定する場合には、事前に監督員と協議するものとする。 第3条 受注者は、舗装版切断作業を行いながら濁水を可能な限り回収し、作業後速やかに回収 した濁水を産業廃棄物の汚泥（湿分を含む汚泥）として中間処理施設に運搬及び処理するものとする。 第4条 受注者は、汚泥の中間処理業の許可を受けている業者と産業廃棄物処分委託契約を締結し なければならぬものとする。 3 受注者は、自ら運搬を行う場合を除き、汚泥の収集運搬業の許可を受けている業者と産業 廃棄物収集運搬委託契約を締結しなければならないものとする。 4 受注者は、濁水の処理に関する履行について、廃棄物の処理及び清掃に関する法律におい て定める産業廃棄物管理業（以下「マニフェスト」という。）により管理するものとする。 第5条 受注者は、施工計画書において、濁水の回収、運搬及び処理に関する方法を定められ なければならないものとする。また、中間処理業者及び収集運搬業者と第3条第3項及び第4項に基づき 締結した委託契約書の写し及び許可証の写しを添付すること。 2 受注者は、工事検査時にマニフェスト原本を提示する。 第6条 濁水処理量については、舗装版の切断延長や切断厚が変わった場合を除き、原則として 設計変更の対象としないものとする。 2 受注者は、舗装版切断時に濁水を生じない工法を使用する場合においては、事前に監督員 と協議するものとする。 3 この特記仕様書に疑義等が生じた場合については、別途監督員と協議するものとする。																																																																									
12 弁 類	規格はJIS又はJVとし、指定なきものは5K、それ以外は図示及び共通仕様書による。 また、鋼管用伸縮管継手の種類は図示による。	4 排煙風量測定	建築設備定期検査業務基準書（一財）日本建築設備・昇降機センター）の排煙風量の 検査方法に準ずる。	4 量水器																																																																										
13 温 度 計	取付部は下記による。 ※熱源機器の冷温水管（出入口共）、冷却水管（出入口共） ※空気調和機の冷温水管（出入口共） ※ダクト接続形空気調和機のサブライチャンパー、レタンダクト、 外気取入ダクト及びレタンチャンパー ※冷温水ヘッダー（住）及び各連り管 ※熱交換器の温水管（出入口） ・	1 中央監視制御装置	・有り ※無し	5 量水器																																																																										
14 圧 力 計	取付部は下記による。 ※熱源機器の冷温水管（出入口共）、冷却水管（出入口共） ※空気調和機の冷温水管（出入口共） ※冷温水ヘッダー（住）及び各連り管 ※熱交換器の温水管（出入口） ・	2 構成・機能	図示による	6 弁 類	規格はJIS又はJVとし、水道直結部分は10Kとし、指定なきものは5K、 それ以外は図示及び標準仕様書による。																																																																									
15 瞬間流量計	瞬間流量計はビトー管方式によるもので止水コック付とし、型式及び取付部は下記 による。なお、着脱部の指示部は（※1個 ・ 個）付属とする。 ・熱源機器の冷温水管、冷却水管の出入口どちらかに（※固定形 ・着脱形）を設ける。 ・空気調和機の冷温水管の出入口どちらかに（※固定形 ・着脱形）を設ける。	3 電気計装用機材	使用する電線及びケーブルは、原則としてEM電線またはEMケーブルとする。 屋外・屋内露出の電線は、図面に特記のない限り金属管配線とする。 天井内隠ぺい電線は、図面に特記のない限りケーブル配線とする。	6 弁 類																																																																										
16 油面制御装置	※住又は選どちらかの冷温水ヘッダーの各接続管へ（※固定形 ・着脱形）を設ける。 制御盤には（※給油ポンプ制御 ※減速油溜管 ※遠隔監視 ・電磁弁制御 ・返油ポンプ制御 ）の端子を設ける。 なお、フロートスイッチ部と制御装置の配管・配線は製造者標準仕様とする。	4 排煙風量測定	建築設備定期検査業務基準書（一財）日本建築設備・昇降機センター）の排煙風量の 検査方法に準ずる。	7 水 栓 柱	※防寒コンクリート水栓柱（1200L） ・不凍給水栓																																																																									
17 冷却塔	※直交流式 ・向流型 ※レジオネラ属菌殺菌剤等の自動薬剤注入装置 ※自動ブロー装置 ・ 補給水は、水道水とし、補給水接続管部分に清掃用の水栓を分岐して設ける。	1 衛生器具付属水栓	（1）器具付属止水栓は ※ドライバー式 ・ハンドル式 （2）水抜き栓を使用する場合は、水栓は固定コマ式とする。	8 建物導入部配管	図示部分について下記の通り施工する。 ※埋設用フレキシブルジョイント2本をL字状に設ける。 ・標準図施工4（ ・（a） ・（b） ・（c））																																																																									
⑫ 空気熱源ヒートポンプ空調機	標準仕様書によるほか下記による。 （1）圧縮機駆動機の制御方式 ※回転数制御 ・オンオフ制御 ・ （2）冷媒 HFC（R410A、R32又はR407C） （注1）R410Aを採用した場合、冷媒配管は機器の設計圧力を満足するものを 使用すること。 （注2）R32を採用した場合、冷媒配管の断熱材被覆鋼管は難燃性のものを使用 すること。 （3）埼玉県グリーン調達推進方針に掲げる成績係数を満たす機器とする。	2 暖房用電源	※AC100V ・乾電池等 ・自己発電	9 検計方法	水道事業者の集宅住宅に関する戸別検計規程に適合するように関連工事業者と調整の うえ実施すること。																																																																									
概要		3 衛生器具付属水栓	（1）器具付属止水栓は ※ドライバー式 ・ハンドル式 （2）水抜き栓を使用する場合は、水栓は固定コマ式とする。	10 水道利用加入金	水道利用加入金は、別途とする。ただし、水道事業者との調整は本工事に含む。																																																																									



# ハナガタ建築設計事務所

一級建築士事務所 一級建築士no.183598号 菅谷 隆

設計年月日	2021/11/15	承認	担当	製図
変更年月日		N.S	T.S	T.S

工事名称	市立小・中学校屋内運動場空調設備設置工事 その1（ゼロ債務）	図面名称	機械設備工事 特記仕様書（2）	縮尺	M-2
------	--------------------------------	------	-----------------	----	-----

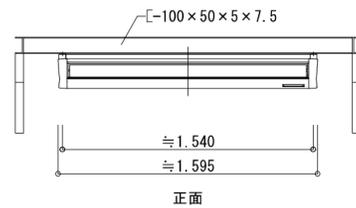
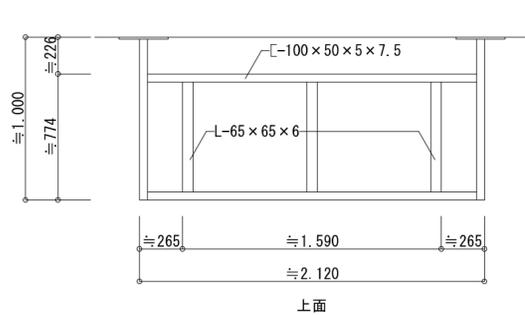


機器表

符号	名称	型式	台数	冷房能力 kW	暖房能力 kW	電源相・V・Hz	発電能力 kW	消費電力 kW		ガス消費量 kW		送風機	備考
								冷房	暖房	冷房	暖房		
GHP-1	ガスヒートポンプエアコン 室外ユニット	電源自立型 床置型 20馬力 (親機)	1	56.0	63.0		2.5~3.5	1.02~1.22	0.95~1.05	44.8~65.3	42.6~53.2	プロペラファン×2	電源切替盤、自立スイッチ、防振ゴム、SUS70カーボルト 参考：U-GB560S3SD
GHP1-1	ガスヒートポンプエアコン 室内ユニット	天井吊形 5馬力	1	14.0	16.0	1・200・50		0.084~0.253	0.084~0.253			シロッコファン	ワイヤードリモン、器具ガード、取付ブラケット 参考：S-G140TS1
GHP1-2	ガスヒートポンプエアコン 室内ユニット	天井吊形 5馬力	1	14.0	16.0	1・200・50		0.084~0.253	0.084~0.253			シロッコファン	ワイヤードリモン、器具ガード、取付ブラケット 参考：S-G140TS1
GHP1-3	ガスヒートポンプエアコン 室内ユニット	天井吊形 5馬力	1	14.0	16.0	1・200・50		0.084~0.253	0.084~0.253			シロッコファン	ワイヤードリモン、器具ガード、取付ブラケット 参考：S-G140TS1
GHP1-4	ガスヒートポンプエアコン 室内ユニット	天井吊形 5馬力	1	14.0	16.0	1・200・50		0.084~0.253	0.084~0.253			シロッコファン	ワイヤードリモン、器具ガード、取付ブラケット 参考：S-G140TS1
GHP-2	ガスヒートポンプエアコン 室外ユニット	発電機搭載型 床置型 20馬力 (子機)	1	56.0	63.0	1・200・50	2.5~3.5	1.02~1.22	0.95~1.05	44.8~65.3	42.6~53.2	プロペラファン×2	防振ゴム、SUS70カーボルト 参考：U-GWX560S3SD
GHP2-1	ガスヒートポンプエアコン 室内ユニット	天井吊形 5馬力	1	14.0	16.0	1・200・50		0.084~0.253	0.084~0.253			シロッコファン	ワイヤードリモン、器具ガード、取付ブラケット 参考：S-G140TS1
GHP2-2	ガスヒートポンプエアコン 室内ユニット	天井吊形 5馬力	1	14.0	16.0	1・200・50		0.084~0.253	0.084~0.253			シロッコファン	ワイヤードリモン、器具ガード、取付ブラケット 参考：S-G140TS1
GHP2-3	ガスヒートポンプエアコン 室内ユニット	天井吊形 5馬力	1	14.0	16.0	1・200・50		0.084~0.253	0.084~0.253			シロッコファン	ワイヤードリモン、器具ガード、取付ブラケット 参考：S-G140TS1
GHP2-4	ガスヒートポンプエアコン 室内ユニット	天井吊形 5馬力	1	14.0	16.0	1・200・50		0.084~0.253	0.084~0.253			シロッコファン	ワイヤードリモン、器具ガード、取付ブラケット 参考：S-G140TS1

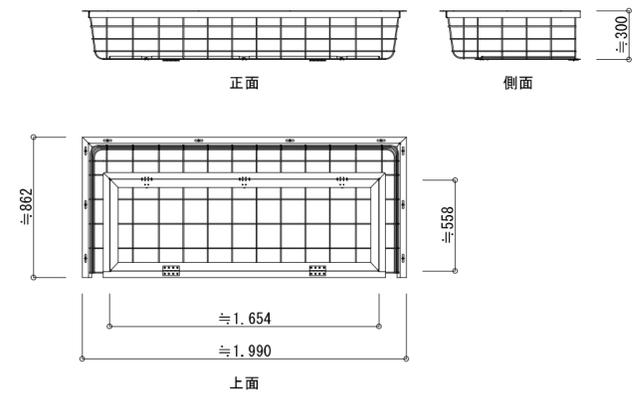
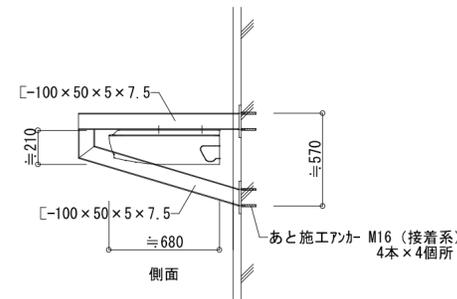
※特記事項  
 1、新設高天井用LED照明器具は常時使用可能とし、停電時に発電機回路に切り替わり使用出来るものとする。  
 2、新設コンセントは常時使用可能とし、停電時に発電機回路に切り替わり使用出来るものとする。

※発電能力、消費電力、ガス消費量は参考数値とする。



室内機取付図 S=1/30

防球ガード取付用ブラケット (参考図)



防球ガード姿図 S=1/30

(参考図)

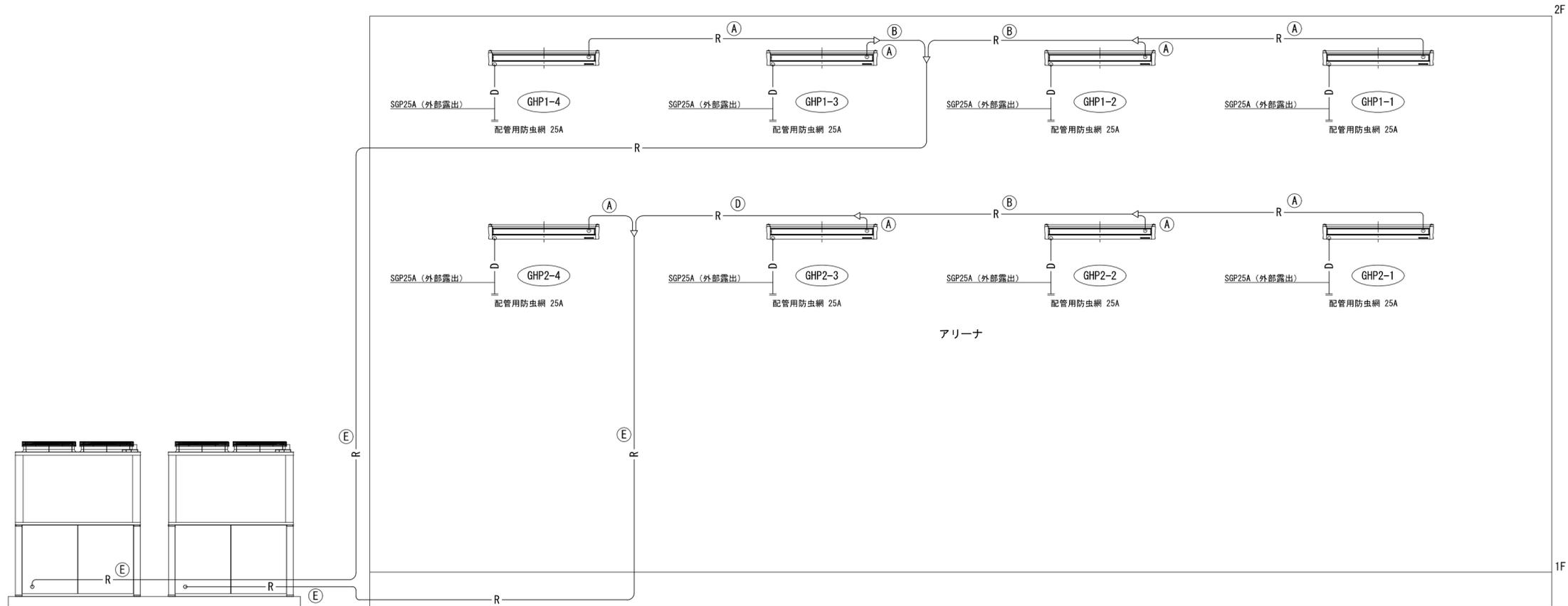
摘要

**ハナガタ建築設計事務所**  
 一級建築士事務所 一級建築士No.183598号 菅谷 隆

設計年月日	2021/11/15	承認	担当	製図
変更年月日		N.S	T.S	T.S

工事名称	市立小・中学校屋内運動場空調設備設置工事 その1 (ゼロ債務)
図面名称	機械設備 機器表・室内機取付図
縮尺	S=1/30

図面番号	M-4
------	-----



GHP-1      GHP-2  
 ※室外機据付用アンカーボルト  
 M12×4本 2組

系 統 図

凡 例

- R — 冷媒配管 冷媒用被覆銅管
- D — ドレン配管 炭素鋼鋼管 SGP
- ⊞ R ⊞ リモコン収納箱

冷媒配管一覧		
符号	冷媒配管	室内外操作線
A	Φ15.88/Φ9.52	EM-CEE 2.0 <sup>□</sup> -2C ※冷媒配管に共巻き
B	Φ22.22/Φ9.52	
C	Φ25.4/Φ12.7	
D	Φ28.58/Φ12.7	
E	Φ28.58/Φ15.88	

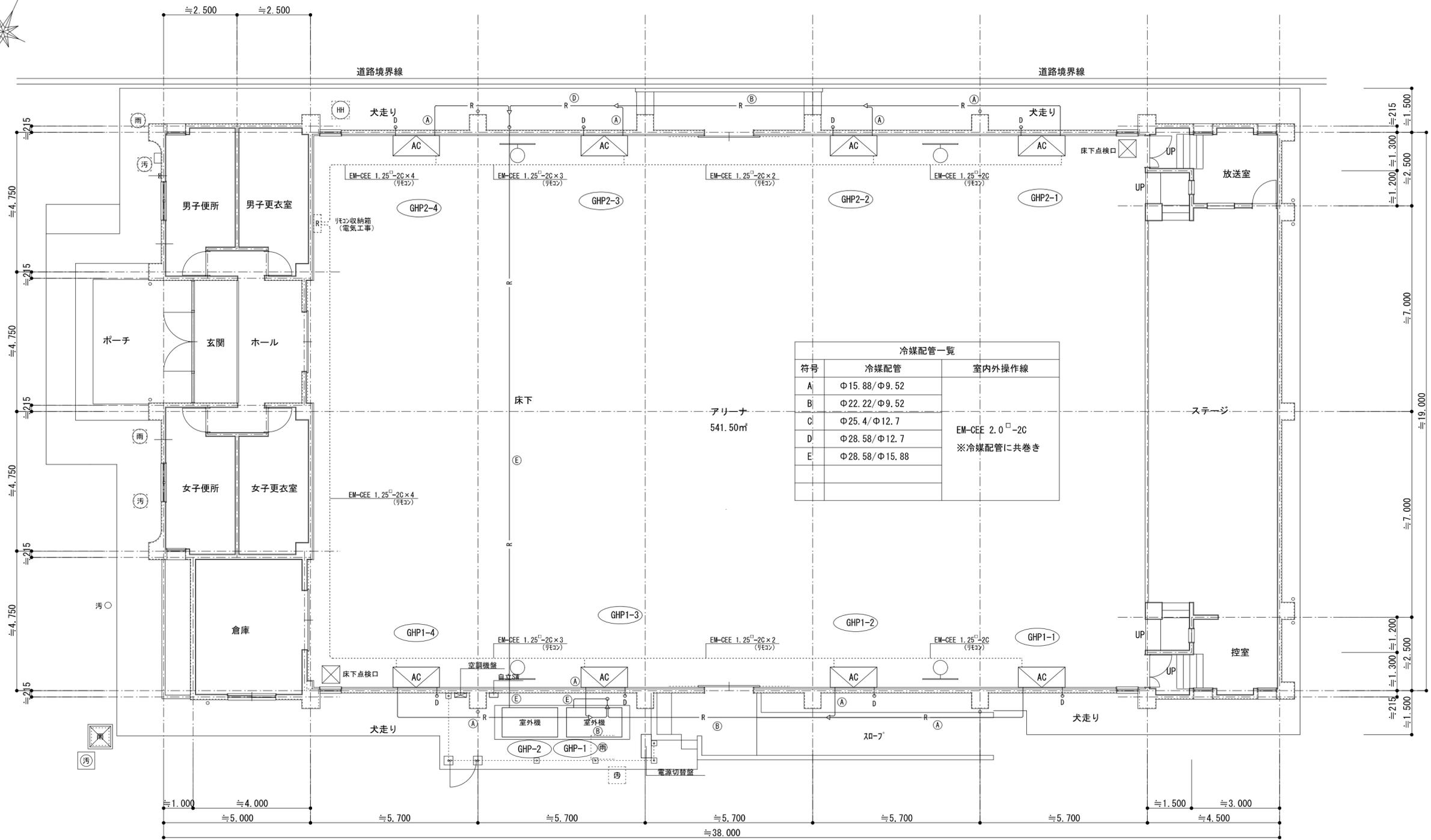
摘要	

**ハナガタ建築設計事務所**  
 一級建築士事務所      一級建築士no.183598号      菅谷 隆

設計年月日	2021/11/15	承認	担当	製図
変更年月日		N.S	T.S	T.S

工事名称	市立小・中学校屋内運動場空調設備設置工事 その1 (ゼロ債務)
図面名称	機械設備 系統図

図面番号	M-5
縮尺	



冷媒配管一覧		
符号	冷媒配管	室内外操作線
A	Φ15.88/Φ9.52	EM-CEE 2.0 <sup>□</sup> -2C ※冷媒配管に共巻き
B	Φ22.22/Φ9.52	
C	Φ25.4/Φ12.7	
D	Φ28.58/Φ12.7	
E	Φ28.58/Φ15.88	

1階平面図 S=1/100

凡例

- R — 冷媒配管 冷媒用被覆銅管
- D — ドレン配管 炭素鋼鋼管 SGP
- Ⓜ リモコン収納箱

摘要

**ハナガタ建築設計事務所**  
 一級建築士事務所 一級建築士 No.183598号 菅谷 隆

設計年月日 2021.11.15  
 変更年月日

承認 担当 製図  
 N.S T.S T.S

工事名称 市立小・中学校屋内運動場空調設備設置工事 その1 (ゼロ債務)  
 図面名称 機械設備 (空調) 1階平面図  
 縮尺 S=1/100

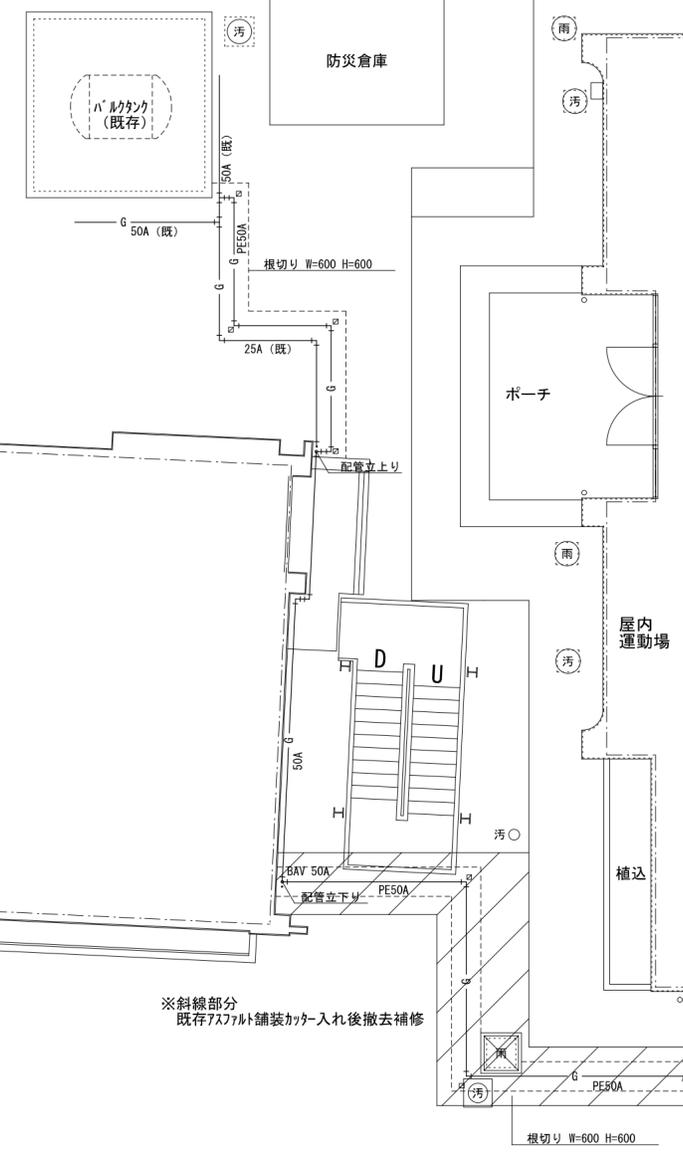
図面番号 M-6



道路境界線

道路境界線

- ※ハナガタ通り改修
- 温水循環式蒸発器交換
- 二段一次調整器交換
- 二段二次調整器交換
- ガス放出防止器交換
- ガスバルブ交換
- エドメバルブ交換
- 圧力計交換 0.4MPa
- 気液切替弁交換
- 流量計弁交換
- 液用ガス放出防止器交換
- 高圧ホース交換 15A
- エドメバルブ交換 32A
- 配管ユニット一式

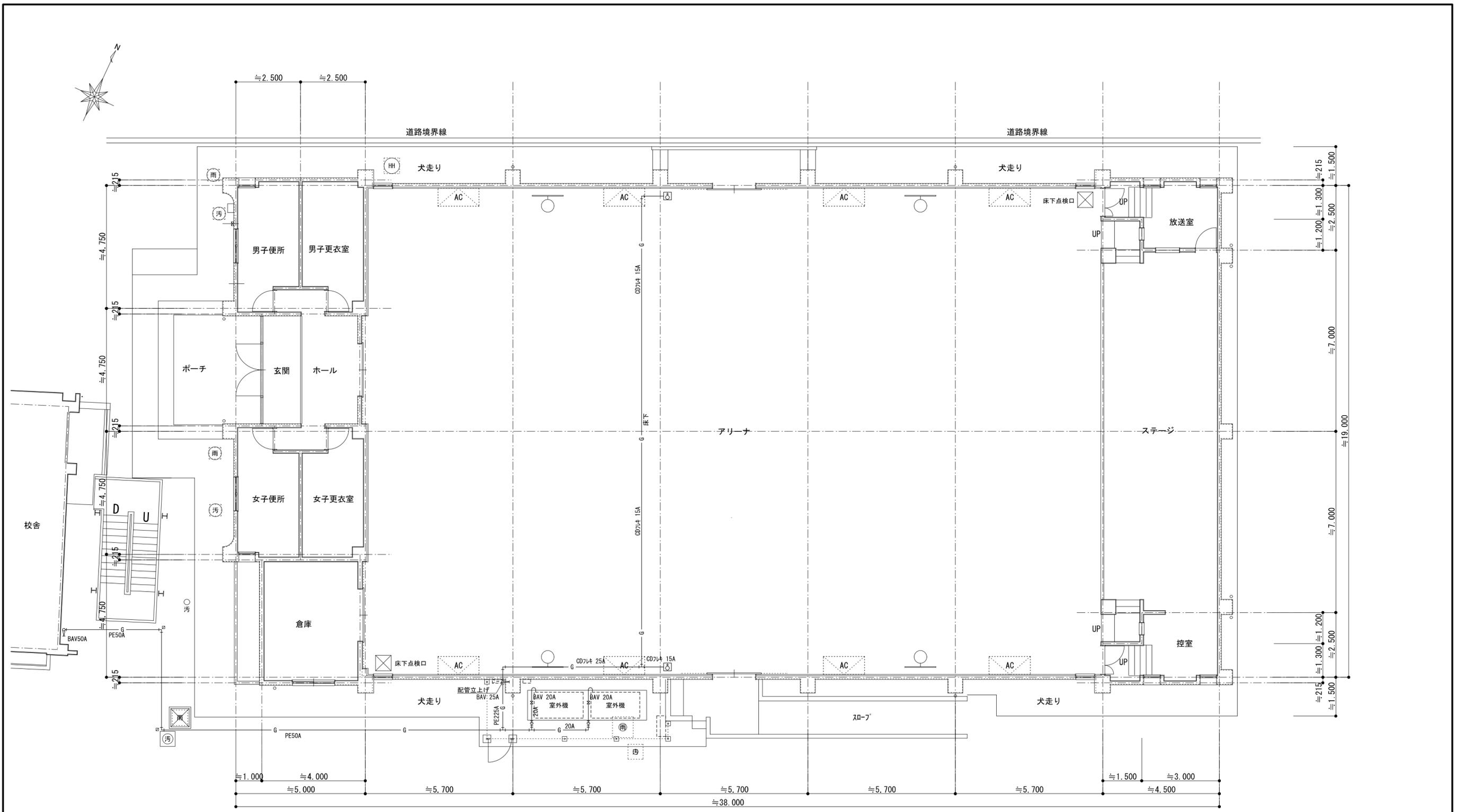


校舎

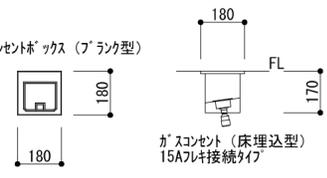
配置図 S=1/100

水谷小学校

摘要	 <b>ハナガタ建築設計事務所</b> 一級建築士事務所 一級建築士no.183598号 菅谷 隆	設計年月日	2021/11/15	承認	担当	製図	工事名称	図面番号
		変更年月日		N.S	T.S	T.S	市立小・中学校屋内運動場空調設備設置工事 その1 (ゼロ債務)	M-7 /
							図面名称	縮尺
							機械設備 (ガス) 配置図	S=1/100



1階平面図 S=1/100



凡例

- G — ホリフレッド被覆鋼管
- ☐ ガスコンセント (床埋込)

水谷小学校

摘要	

**ハナガタ建築設計事務所**  
 一級建築士事務所  
 一級建築士 No. 183598号 菅谷 隆

設計年月日	2021. 11. 15
変更年月日	

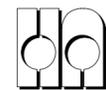
承認	担当	製図
N.S	T.S	T.S

工事名称	市立小・中学校屋内運動場空調設備設置工事 その1 (ゼロ債務)
図面名称	機械設備 (ガス) 1階平面図

図面番号	M-8
縮尺	S=1/100

# 市立小・中学校屋内運動場空調設備設置工事 その1(ゼロ債務)

【市立勝瀬小学校】



**ハナガタ建築設計事務所**



7 合成高分子系ルーフィングシート防水

工法	種別	施工箇所	断熱材 [G]	仕上材料	備考
・POS	・S-F1			(種類・使用量) ※ルーフィングシートの製造所の仕様	(脱気装置) ・設ける ・設けない(改修用D)の
・S4S	・S-F2				
	・S-M1				
	・S-M2				
	・S-M3				
・SSS	・S-F1	・ブレイクコンクリート下地		(種類・使用量) ※ルーフィングシートの製造所の仕様	(脱気装置) ・設ける ・設けない
	・S-F2	・ブレイクコンクリート下地			
・MAS	・S-M1			(種類・使用量) ※ルーフィングシートの製造所の仕様	(脱気装置) ・設ける ・設けない
	・S-M2				
	・S-M3				
・POS1	・SI-F1	・ブレイクコンクリート下地	(材質) ※JIS A 9521による発泡ポリイソプレタン	(種類・使用量) ※ルーフィングシートの製造所の仕様	(脱気装置) ・設ける ・設けない(改修用D)の
・SS1	・SI-F2				
・S4S1	・SI-M1				
・M4S1	・SI-M2				
			(厚さ)・25mm		

高日射反射率防水の適用 [G] ※適用する ・適用しない  
 ・S-M2で立上り面を接着工法とする場合  
 立上り面のシート厚 (※1.5mm)  
 ・SI-M1及びSI-M2における防漏用フィルム (・設置する ・設置しない)

屋内防水 防水層の種類

種別	施工箇所	保護層	
		平場のモルタル塗り	立上り部の保護モルタル塗り厚さ
・S-C1		・塗り厚さ(mm) ・床塗り工法 ・下地モルタル塗り	・7mm以下

屋内防水で平場を保護コンクリート仕上げとする場合  
 厚さ ( ) mm  
 目地割り (※2m程度 最大目地間隔3m程度)  
 目地の種類 (※押し目地)  
 ルーフィングシートの種類及び厚さ  
 ※改修標準仕様書表3.5.1から表3.5.3による  
 絶縁シートの場合  
 ※発泡ポリエチレンシート  
 固定金具の材質及び寸法形状  
 ※厚さ0.4mm以上の防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板及びそれらの鋼板の片面  
 若しくは両面に樹脂を積層加工したもの

脱気装置の種類及び設置数量  
 ※ルーフィングシートの製造所の指定による  
 ・種類 ( ) 個/㎡

接着工法の現地処理  
 ・PCコンクリート下地の場合 ( )  
 PCコンクリート部材の入隅部の増張り (種別S-F1、SI-F1の場合)  
 ・行う (・図示) ・行わない  
 機械的固定工法の場合の一部のルーフィングシートの張付け  
 建築基準法に基づき定まる風圧力(・1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法

※特定化学物質障害予防規則の対象とならない材とする [3.6.2, 3]

8 塗膜防水

ウレタンゴム系塗膜防水工法

工法	種別	施工箇所	仕上材料	備考
・POX	※X-1 ・X-2		(種類・使用量) ※主材料の製造所の仕様	(脱気装置) ・設ける ・設けない(改修用D)の
	・X-1			
・L4X	※X-1 ※X-2		(種類・使用量) ※主材料の製造所の仕様	(脱気装置) ・設ける ・設けない

高日射反射率防水の適用 [G] ※適用する ・適用しない  
 脱気装置の種類及び設置数量  
 ※主材料の製造所の指定による  
 ・種類 ( ) 個/㎡

ゴムアスファルト系塗膜防水工法

工法	種別	施工箇所	各工程数及び各工程の使用量	保護層
・P1Y	※Y-2		※主材料の製造所の仕様	・設ける ・設けない
・P2Y	※Y-2			

9 シーリング

シーリング改修工法の種類  
 ・シーリング充填工法  
 ・シーリング再充填工法  
 ・拡張シーリング再充填工法  
 ・ブリッジ工法  
 ボンドブレーカー張り ・適用する ・適用しない  
 エッジング材張り ・適用する ・適用しない  
 シーリング材の種類、施工箇所  
 下表以外は、改修標準仕様書表3.7.1による。

施工箇所	シーリング材の種類(記号)

シーリング材の目地寸法  
 ※改修標準仕様書3.7.3(1)(7)～(9)による  
 外部に面するシーリング材の接着性試験  
 ※簡易接着性試験 ・引張接着性試験

注 継り混ぜた2成分形シーリング材は、1組の作業班が1日に行った施工箇所を1ロットとして、各ロットごとにサンプリングを行い、サンプリング試料を監督員に提出すること。

10 とい

といその他の材種等 [3.8.2, 3]  
 ※配管用鋼管 ・硬質ポリ塩化ビニル管 ・ルーフレッド

ルーフレッドの種類その他

種別	張り掛け幅
・あく層構造 (・縦型 ・横型)	・100mm以上 ・50mm以上
・バルコニー用	・100mm以上 ・50mm以上
・バルコニー中層用	・100mm以上 ・50mm以上

とい塗合物及び足金物の材種、形状、取付け間隔  
 ※[表3.8.2]による  
 ・多雲地域の場合の軒どいの取付間隔 ※0.5m以下  
 ロックウール保温層及びフェノールフォーム保温層のホルムアルデヒド放散量  
 ※規制対象外  
 既存のといその他の撤去及び降雨等に対する養生方法 ※図示  
 鋼管製といの防露巻き ※[表3.8.4]による  
 たてどい塗合物の取付 ※図示  
 ルーフレッドの取付 ※水はけがよく、床面より下け、周囲の隙間にモルタルを充填

11 アルミニウム製空枠

種類  
 ・オープン形式 (・押出250形 ・押出300形 ・押出350形 ) [3.8.2, 3]  
 ・板材折曲げ形 (・オープン形式 ・シール形式 )  
 本体積 ( ) mm、板厚 (※2.0mm ・ mm)

表面処理 種類  
 ・種塗色 (・アンバー ・ブロンズ ・ブラッス系 ・ステンカラー)  
 ・特注色 ( )  
 既存空木等の撤去 ・行う (範囲 ・図示) ・行わない  
 下地補修の工法 ※図示  
 板材折曲げ形の空木の取付方法 ※図示  
 空木の固定金具の工法等  
 建築基準法に基づき定まる風圧力(・1・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法

※設置する (ヶ所) (施工年月日は防水工事施工完了日(手直しは除く)を記入)  
 ・設置しない [2.1.2]

12 防水工事施工票 [2.1.2]

4 外壁改修工事

1 施工数量調査 [1.5, 2, 3]  
 調査範囲 ・外壁改修範囲 ・図示の範囲  
 調査時期 ・外壁仕上げ等除去前 ・外壁仕上げ等除去後  
 調査方法  
 ひび割れの幅及び長さ等を壁面に表示する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。  
 モルタル塗仕上げ及びタイル張り仕上げについては浮き部分を表面に表示し、また欠損部の形状寸法等を調査する。  
 コンクリート表面のはがれ及びひびく部を壁面に表示する。  
 塗り性仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面のはがれ及びひびく部を壁面に表示する。また、既存塗膜と新規塗材との適合性を確認する。  
 既存部分の破壊を行った場合の修繕方法 ・図示  
 調査報告書の部数 ・2部 [4.2.2]

2 ポリマーセメントスラリー [4.2.2]  
 広がり速度 (cm/s)  
 長さ変化率 (収縮)  
 引張強度 (材齢28日)  
 曲げ性能 (材齢28日)  
 吸水性 (7.2時間)  
 耐久性 (5.0N/mm<sup>2</sup>以上)  
 3 以上 3% 0.5N/mm<sup>2</sup>以上 以上 15%以下 5.0N/mm<sup>2</sup>以上

3 既製珪合モルタル [4.2.2]  
 モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。

4-1 ひび割れ部改修工法 [4.1.4][4.2.2][4.3.4~6]  
 ・樹脂注入工法  

工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入の間隔(mm)	注入量(ml/m)
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.5未満 低	※200～300	・130
樹脂注入工法	0.5以上～1.0以下 中	※200～300	・130
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満 低	・50～100	・40
樹脂注入工法	0.3以上～0.5未満 低	・100～200	・70
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0以下 中	・150～250	・130

 ※エポキシ樹脂 低：低粘度形 中：中粘度形

コア抜き検査 ・行う ・行わない  
 抜き回数 ※長さ500mmごと及びその端数につき1個  
 抜き部の修繕方法 ※図示

・Uカットシール材充填工法  
 ・シーリング材  
 充填材料 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ・ポリマーセメントモルタルの充填 ・行う ・行わない  
 ・可とう性エポキシ樹脂

・シール工法  
 ・パテ状エポキシ樹脂 ・可とう性エポキシ樹脂

※充填工法 ・エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル [4.1.4][4.2.2][4.3.7]

4-2 モルタル塗り仕上げ外壁

1 既存モルタル塗りの撤去 ※全面 ・図示の範囲

2 ひび割れ部改修工法 [4.1.4][4.2.2][4.4.2, 5~7]  

工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入の間隔(mm)	注入量(ml/m)
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.5未満 低	※200～300	・130
樹脂注入工法	0.5以上～1.0以下 中	※200～300	・130
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満 低	・50～100	・40
樹脂注入工法	0.3以上～0.5未満 低	・100～200	・70
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0以下 中	・150～250	・130

 ※エポキシ樹脂 低：低粘度形 中：中粘度形

コア抜き検査 ・行う ・行わない  
 抜き回数 ※長さ500mmごと及びその端数につき1個  
 抜き部の修繕方法 ※図示

・Uカットシール材充填工法  
 ・シーリング材  
 充填材料 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ・ポリマーセメントモルタルの充填 ・行う ・行わない  
 ・可とう性エポキシ樹脂

・シール工法  
 ・パテ状エポキシ樹脂 ・可とう性エポキシ樹脂

3 欠損部改修工法 [4.1.4][4.2.2][4.4.3, 8, 9]  
 ・充填工法  
 ・エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル

モルタル塗替え工法  
 ・現場調査材料  
 セメントの種類 ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種  
 ・高炉セメントB種 [G]  
 ・フライアッシュセメントB種 [G]  
 普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210 に示された規定の他、水収縮が7日目で352/g以下、かつ28日目で402/g以下のものとする。

・既製目地材 ( )  
 仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置 ※図示

4 浮き部改修工法

工法の種類	アンカーピンの本数(本/m)		注入口の箇所数(箇所/m)		注入量(ml/箇所)
	一般部	指定部	一般部	指定部	
・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※25	—	—	※25
・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25
・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	・	・	※12	※20	※50
・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	—	—	※25
・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25
・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16	※9	※16	※50
・充填工法	—	—	—	—	—
・モルタル塗替え工法	—	—	—	—	—

アンカーピン ※ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mm丸棒で全ネジ切り加工をしたもの

注入口付アンカーピン ※ステンレス鋼(SUS304)呼び径外径6mm

充填工法 ※3 欠損部改修方法の「充填工法」による

モルタル塗替え工法 ※3 欠損部改修方法の「モルタル塗替え工法」による

4-3 タイル張り仕上げ外壁

1 既存タイル張りの撤去  
 2 ひび割れ部改修工法

改修箇所 ※既存タイル張上面 [4.1.4][4.2.2][4.5.2, 5, 6]  
 ・既存タイル張上面 (・コンクリート面 ・モルタル面)  
 ・樹脂注入工法  

工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入の間隔(mm)	注入量(ml/m)
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.5未満 低	※200～300	・130
樹脂注入工法	0.5以上～1.0以下 中	※200～300	・130
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満 低	・50～100	・40
樹脂注入工法	0.3以上～0.5未満 低	・100～200	・70
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0以下 中	・150～250	・130

 ※エポキシ樹脂 低：低粘度形 中：中粘度形

コア抜き検査 ・行う ・行わない  
 抜き回数 ※長さ500mmごと及びその端数につき1個  
 抜き部の修繕方法 ・図示

・Uカットシール材充填工法 (既存タイル張り撤去面)  
 ・シーリング材  
 充填材料 ※1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ・ポリマーセメントモルタルの充填 ・行う ・行わない  
 ・可とう性エポキシ樹脂

3 欠損部改修工法 [4.1.4][4.2.2][4.5.3, 7, 8]  
 ・タイル部分修繕工法  
 接着剤の種類  
 ・ポリマーセメントモルタル  
 ・JIS A 5557 による一液反応硬化形成シリコン樹脂系  
 伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地位置 ※改修標準仕様書表4.5.1による  
 外装タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整材塗りの接着力試験 ・行う ・行わない

・セメントモルタルによるタイル張り  
 ・下地モルタル塗りをを行うコンクリート素地の処理 ( )  
 タイルの種類及び工法  
 ・外装タイル (・密着張り ・改良接着張り ・改良種上げ張り)  
 ・ユニットタイル (・マスク張り ・モザイクタイル)

・有機系接着剤によるタイル張り  
 シーリング材の種類  
 打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地 (※ポリウレタン系)  
 伸縮調整目地の他の他 (※変形シリコン系)  
 ・モルタル塗りをを行うコンクリート素地の処理 ( )  
 タイルの種類 ・外装タイル ・ユニットタイル

4 浮き部改修工法 [4.1.4][4.2.2][4.5.4, 9~15]  

工法の種類	アンカーピンの本数(本/m)		注入口の箇所数(箇所/m)		注入量(ml/箇所)
	一般部	指定部	一般部	指定部	
・アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※16	※25	—	—	※25
・アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※13	※20	※12	※20	※25
・アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	・	・	・	・	・
・注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	—	—	※25
・注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法	※9	※16	※9	※16	※25
・注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法	※9	※16	※9	※16	※50
・充填工法	—	—	—	—	—
・モルタル塗替え工法	—	—	—	—	—

アンカーピン ※ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mm丸棒で全ネジ切り加工をしたもの

注入口付アンカーピン ※ステンレス鋼(SUS304)呼び径外径6mm

タイル部分修繕工法 ※3 欠損部改修方法の「タイル部分修繕工法」による

タイル修繕工法 ※3 欠損部改修方法の「タイル修繕工法」による

5 目地改修工法  
 ・目地ひび割れ部改修工法 [4.1.4][4.8,16]  
 ・伸縮調整目地改修工法  
 伸縮調整目地の位置及び寸法 ・図示

6 タイルの形状、寸法等 [4.2.2]

施工箇所	形状寸法(mm)	吸水率(%)				吸水率(%)				吸水率(%)			
		1級	2級	3級	4級	1級	2級	3級	4級	1級	2級	3級	4級
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・

標準的な曲がりの段物は一体成形とする  
 試験張り ・行う ・行わない  
 見本張き ・行う ・行わない

4-4 塗り仕上げ外壁等

1 既存塗膜等の除去・下地処理及び下地調整 [4.8,3]  

工法	既着範囲	下地面の修繕
・サンダー工法	※図示 ・既存仕上げ面全体 (既存塗膜の除去範囲は処理面積の30%とす)	・ひび割れ部改修工法 ・浮き部改修工法 ・欠損部改修工法
・高圧水洗工法	※図示 ・既存仕上げ面全体	
・加圧力 ※30MPa程度以上	(既存塗膜の除去範囲は既存塗膜の変化部とす)	
・塗膜はく離法	※図示 ・既存仕上げ面全体	
・水洗い工法	※図示 ・上記以外の既存仕上げ面全体	

 下地調整 ※下地調整塗料 ・ポリマーセメントモルタル  
 ・その他特殊な工法等 (既存塗膜等に含有する石粉の除去を行う場合など。下地調整含む。)  
 ※図示による [4.1.5][4.2.2][4.6.5][表4.2.4]

2 仕上塗材仕上げ [4.1.5][4.2.2][4.6.5][表4.2.4]

新規仕上塗材の種類	呼び名	防火材料	仕上げの形状及び工法等
・薄付け仕上塗材	・外装塗材S1 ・可とう形外装塗材S1	・砂壁状 ・ゆず肌状 (・吹付け・ローラー塗り)	・外装塗材S1 ・可とう形外装塗材S1 ・凹凸状 (・吹付け・こて塗り) ・凹凸状分装塗材S1 ・砂壁状じゅらく ・重層壁じゅらく
・厚付け仕上塗材	・外装塗材C ・外装塗材S1 ・外装塗材C	・吹吹き ・凹凸状 ・凹凸状 ・凹凸状	・平たん状 ・平たん状 ・ひき起こし・かき落とし ・適用しない
・覆層仕上塗材	・覆層塗材C ・可とう形覆層塗材C	・吹吹き ・凹凸状	・凹凸状 ・凹凸状 ・凹凸状
・可とう形改修塗材E	・可とう形改修塗材E	・耐水性 ※耐換形3種	・砂壁状 ・砂壁状 ・砂壁状
・可とう形改修塗材C	・可とう形改修塗材C	・耐水性 ※耐換形3種 ・上塗り	・砂壁状 ・砂壁状 ・砂壁状
・可とう形改修塗材R	・可とう形改修塗材R	・耐水性 ※耐換形3種 ・上塗り	・砂壁状 ・砂壁状 ・砂壁状
・可とう形改修塗材RS	・可とう形改修塗材RS	・耐水性 ※耐換形3種 ・上塗り	・砂壁状 ・砂壁状 ・砂壁状
・可とう形改修塗材RE	・可とう形改修塗材RE	・耐水性 ※耐換形3種 ・上塗り	・砂壁状 ・砂壁状 ・砂壁状
・可とう形改修塗材CE	・可とう形改修塗材CE	・耐水性 ※耐換形3種 ・上塗り	・砂壁状 ・砂壁状 ・砂壁状

3 マスチック塗材塗り [4.7.2][表4.7.1]

4-5 外壁用塗膜防水材塗り

1 外壁用塗膜防水材塗り [4.1.5][4.2.2][4.8.2][表4.2.6]  
 仕上げの形状 ( ) 工法 ( )  
 外壁用仕上塗料の耐水性 ※JIS A 6909 の耐水性 1種相当  
 下地準備塗材の適用 ・する ・しない  
 ・模様材の種類 ( ) 所要量 ( ) kg/m<sup>2</sup>  
 ・外壁用仕上塗料の種類 ( ) 所要量 ( ) kg/m<sup>2</sup>  
 コンクリート面のひび割れ部及び欠損部の処理  
 ※「4-1 コンクリート打直し仕上げ外壁」の改修工法による  
 なお、下地準備塗材を適用する場合のひび割れ部の処理は下地準備塗材による。  
 モルタル面のひび割れ部、欠損部及び浮き部の処理  
 ※「4-2 モルタル塗り仕上げ外壁」の改修工法による  
 なお、下地準備塗材を適用する場合のひび割れ部の処理は下地準備塗材による。  
 既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整 ※「4-4 塗り仕上げ外壁等」の 1 既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整 による

5 1 改修工法 [5.1,3]

建具の種類	かぶせ工法	撤去工法	適用箇所
・アルミ複合建具	・	・	・建具表による
・樹脂製建具	・	・	・建具表による
・鋼製建具	・外部 ・内部	・	・建具表による ・建具表による
・鋼製軽量建具	・	・	・建具表による
・ステンレス製建具	・	・	・建具表による

新規に建具を設ける場合  
 壁部分の開口の閉け方 ※図示  
 新規建具周囲の修繕工法及び範囲 ※図示

2 防火戸  
 適用箇所 ※建具表による [5.1,4]  
 防火戸の自動機構及びヒューズ装置等との連動  
 ・行う (※建具表による) ・行わない

3 見本の製作等 [5.1,5]  
 建具見本の製作 ・行う (建具番号: ) ・行わない  
 建具見本の程度 ・工事に使用するものとして、あらかじめ製作する  
 ・納まり等がわかる程度のもの  
 特殊な建具の仮組 ・行う (建具番号: ) ・行わない

4 防犯建物部品 [5.1,7]  
 適用箇所 (・建具表による)

5 アルミニウム製建具
性能値等
耐風圧性、気密性及び水密性の等級、枠の見込み寸法
外部に面する建具の種類
・A種 ・B種 ・C種 (適用する建具 ※建具表による)

11 建具用金属
・ふすま
張りの種別 ( ・I型 ・II型)
上張り (押入等の裏側以外) ・鳥の子
上張り (押入等の裏側以外) ・鳥の子

19 ガラスブロック
表面形状
呼び寸法 厚さ
色調
目地幅(mm)
伸縮調整目地(mm)
防火性能

6 造作用集成材
「製材の日本農林規格」による広葉樹製材
施工箇所 樹種 寸法(mm) 等級 含水率 保存処理 材面の品質 間伐材等の適用

10 木製建具
性能値等
耐風圧性、気密性及び水密性の等級、枠の見込み寸法
外部に面する建具の種類

17 オーバーヘッドドア
セクション材料
耐風圧区分(Pa)
開閉方式
収納形式
ガイドレールの材質

6 内装改修工事
① 改修範囲
既存間仕切り壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲

7 造作用単板精層材
「単板精層材の日本農林規格」による造作用単板精層材
施工箇所 寸法(mm) 表面の品質 (化粧加工の有無) 含水率 防虫処理 間伐材等の適用

ハナガタ建築設計事務所
一級建築士事務所
一級建築士NO.183598号 菅谷 隆

設計年月日 2021/11/15
承認 担当 製図
N.S T.S T.S

工事名称
市立小・中学校屋内運動場空調設備設置工事 その1 (ゼロ債務)
図面名称
改修建築工事 特記仕様書 (3) 縮尺
A-3

Table with 4 columns: 施工箇所, 厚さ(mm), 接着の程度, 化粧板に使用する単板の樹種名, 防虫処理の適用, 間伐材等の適用. Includes sections for 9 接合具等, 10 防蟻・防蟻・防虫処理, 11 内部間仕切り、窓、床等の木材, 12 軽量鉄骨天井下地, 13 軽量鉄骨壁下地, 14 ビニル床シート, 15 ビニル床タイル, 16 特殊機能床材, 17 ビニル幅木, 18 ゴム床タイル.

Table with 4 columns: バイル形状, バイ長さ(mm), 工法, 帯電性, 備考. Includes sections for 19 カーペット敷き, 20 合成樹脂塗床, 21 フローリング張り, 22 畳敷き, 23 セッコウボード. Includes tables for 化粧板の仕様 and 化粧板の仕様.

Table with 4 columns: 施工箇所, 紙, 織物, 強化繊維, 無機質, その他, 防火種別, 備考. Includes sections for 24 壁紙張り, 25 モルタル塗り, 26 タイル張り, 27 セルフレベリング材塗り.

Table with 4 columns: 施工箇所, 構法, 寸法(mm), 高さ(mm), 耐震性能, 所定荷重(N), 表面仕上げ材, 備考. Includes sections for 28 フリーアクセスフロア, 29 可動間仕切り, 30 移動間仕切り, 31 トイレブース, 32 階段滑り止め, 33 手すり, 34 黒板及びホワイトボード, 35 表示, 36 ブライント, 37 ロールスクリーン, 38 カーテン, 39 カーテンレール.

Table with 2 columns: 概要, 内容.

ハナガタ建築設計事務所
一級建築士事務所
一級建築士no.183598号 菅谷 隆

Table with 2 columns: 設計年月日 (2021/11/15), 承認担当製図 (N.S, T.S, T.S), 変更年月日.

Table with 2 columns: 工事名称 (市立小・中学校屋内運動場空調設備設置工事 その1 (ゼロ債務)), 図面番号 (A-4), 図面名称 (改修建築工事 特記仕様書 (4)), 縮尺.

40 ブラインドボックス及びカーテンボックス
41 天井点検口
42 床点検口
43 くつみきマット
44 洗し台ユニット
45 鋼製書架及び物品棚
46 屋内掲示板
47 洗面カウンター
48 防煙垂れ壁
49 収納家具
7 塗装改修工事

4 塗装
8 新設改修工事
9 環境配慮改修工事
10 鉄筋
11 石綿含有建材の事前調査
12 石綿含有建材分析調査
13 石綿粉じん濃度測定
14 石綿含有吹付け材の除去(レベル1)
15 石綿含有吹付け材の除去(レベル2)
16 石綿含有成形板の除去(レベル3)

7 石綿含有建築用仕上塗材等の除去
8 リフト・ベニワリッパ等の処理
9 新設アスファルト防水改修工事
10 外断熱改修工事
11 ガラス改修工事
12 断熱・防露改修工事
13 屋上緑化改修工事
14 透水性アスファルト舗装改修工事
15 PCB含有シーリング材処分

16 舗装版切断時に発生する濁水の処理
17 鉄筋工事
18 溶接金網
19 鉄筋の継手及び定着
20 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔(溶接金網含む)
21 各部配筋
22 ガス圧接
23 機械式継手
24 溶接継手

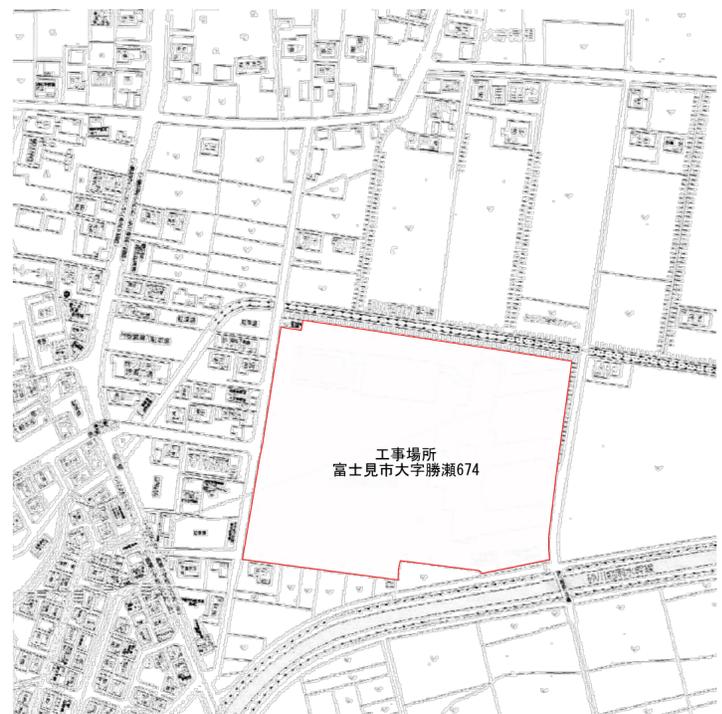
概要
設計年月日
2021/11/15
承認 担当 製図
N.S T.S T.S
工事名称
市立小・中学校屋内運動場空調設備設置工事 その1 (ゼロ債務)
図面名称
改修建築工事 特記仕様書(5)
縮尺
A-5

ハナガタ建築設計事務所
一級建築士事務所
一級建築士NO.183598号 菅谷 隆

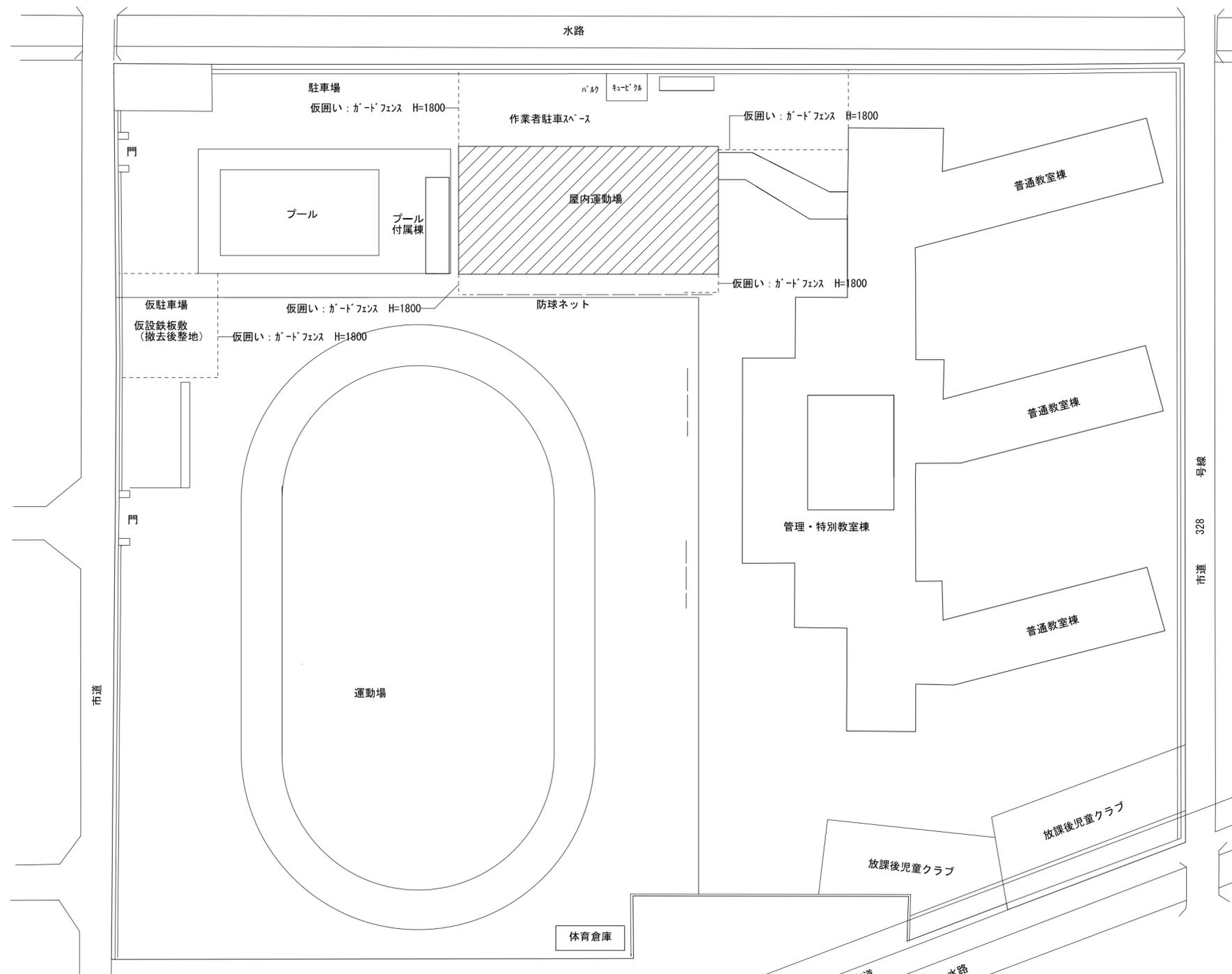
設計年月日
2021/11/15
承認 担当 製図
N.S T.S T.S
工事名称
市立小・中学校屋内運動場空調設備設置工事 その1 (ゼロ債務)
図面名称
改修建築工事 特記仕様書(5)
縮尺
A-5

図番番号
A-5
縮尺
改修建築工事 特記仕様書(5)





案内図



配置図 S=1/500

※ガードフェンス・仮設鉄板敷は、施設・施設関係者と協議の上決定する。

市道 328 号線

勝瀬小学校

摘要



ハナガタ建築設計事務所

一級建築士事務所

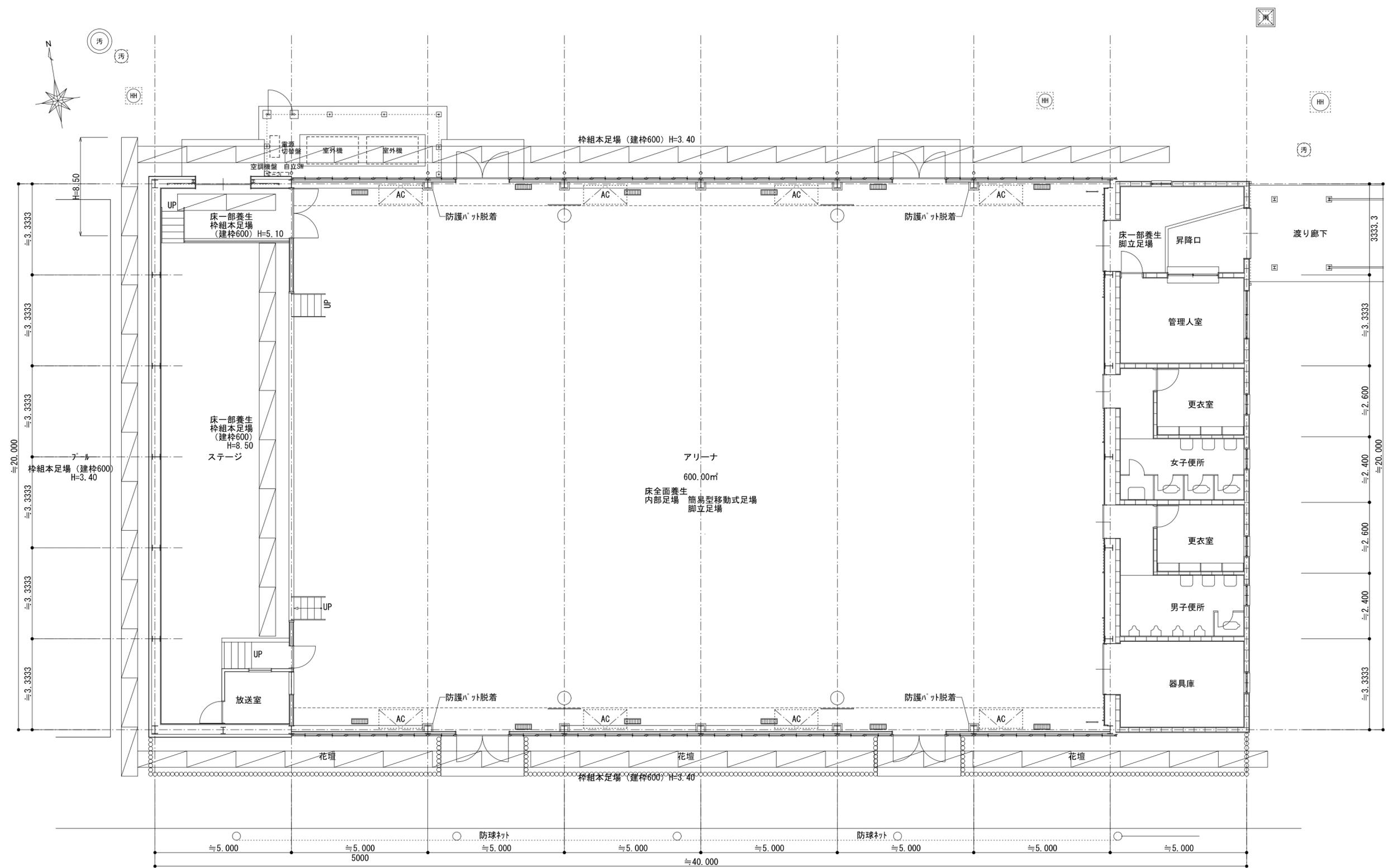
一級建築士 No. 183598号 菅谷 隆

設計年月日	2021/11/15
変更年月日	

承認	担当	製図
N.S	T.S	T.S

工事名称	市立小・中学校屋内運動場空調設備設置工事 その1 (ゼロ債務)
図面名称	配置図・案内図
縮尺	S=1/500

図面番号	A-7 /
------	-------



1 階 平 面 図 S=1/100

勝瀬小学校

摘要	

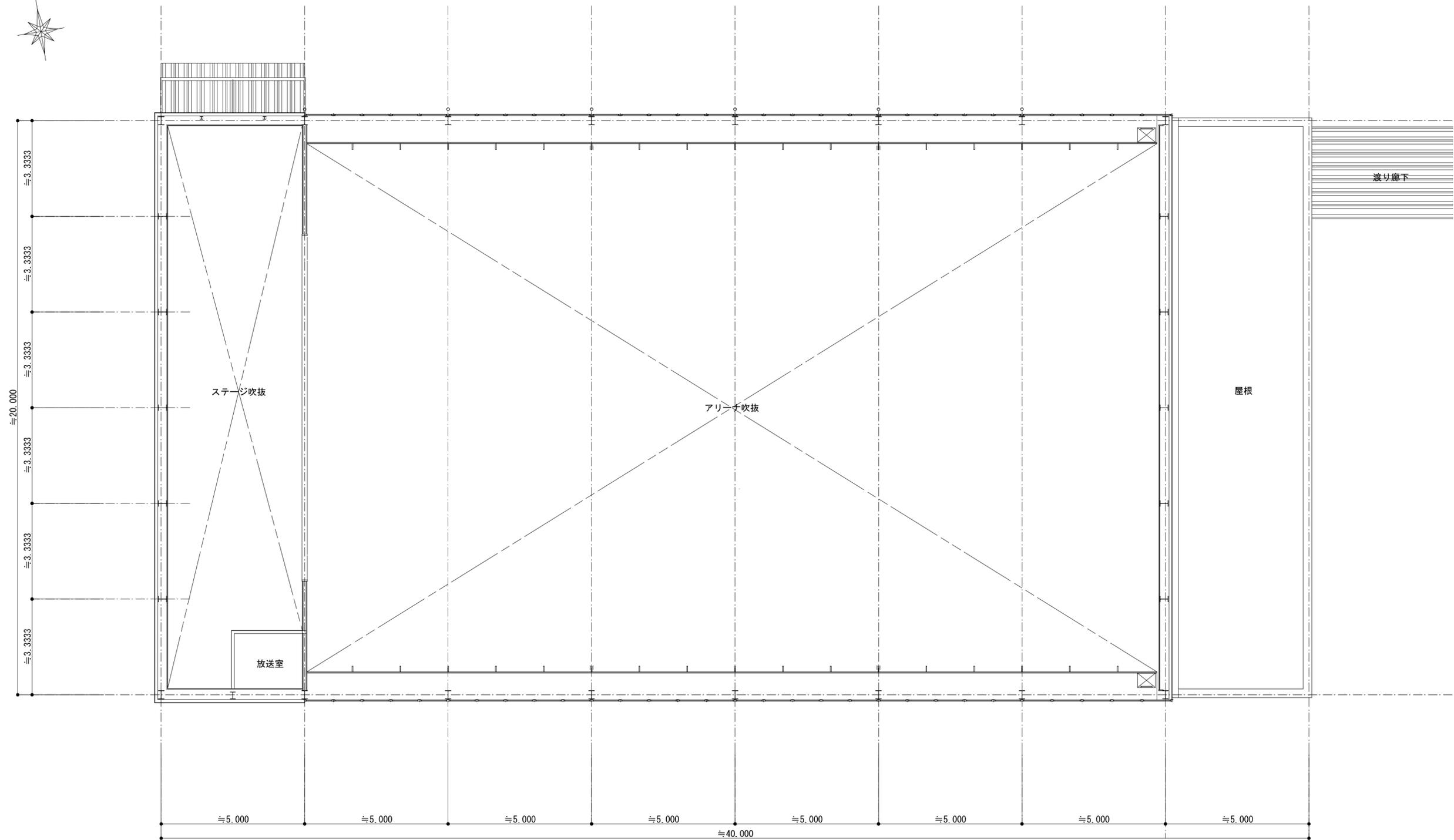

**ハナガタ建築設計事務所**  
 一級建築士事務所 一級建築士no.183598号 菅谷 隆

設計年月日	2021.11.15
変更年月日	

承認	担当	製図
N.S	T.S	T.S

工事名称	市立小・中学校屋内運動場空調設備設置工事 その1 (ゼロ債務)
図面名称	1 階 平 面 図
縮尺	S=1/100

図面番号	A-8
------	-----



2 階 平 面 図 S=1/100

勝瀬小学校

摘要



**ハナガタ建築設計事務所**

一級建築士事務所

一級建築士 No. 183598号 菅谷 隆

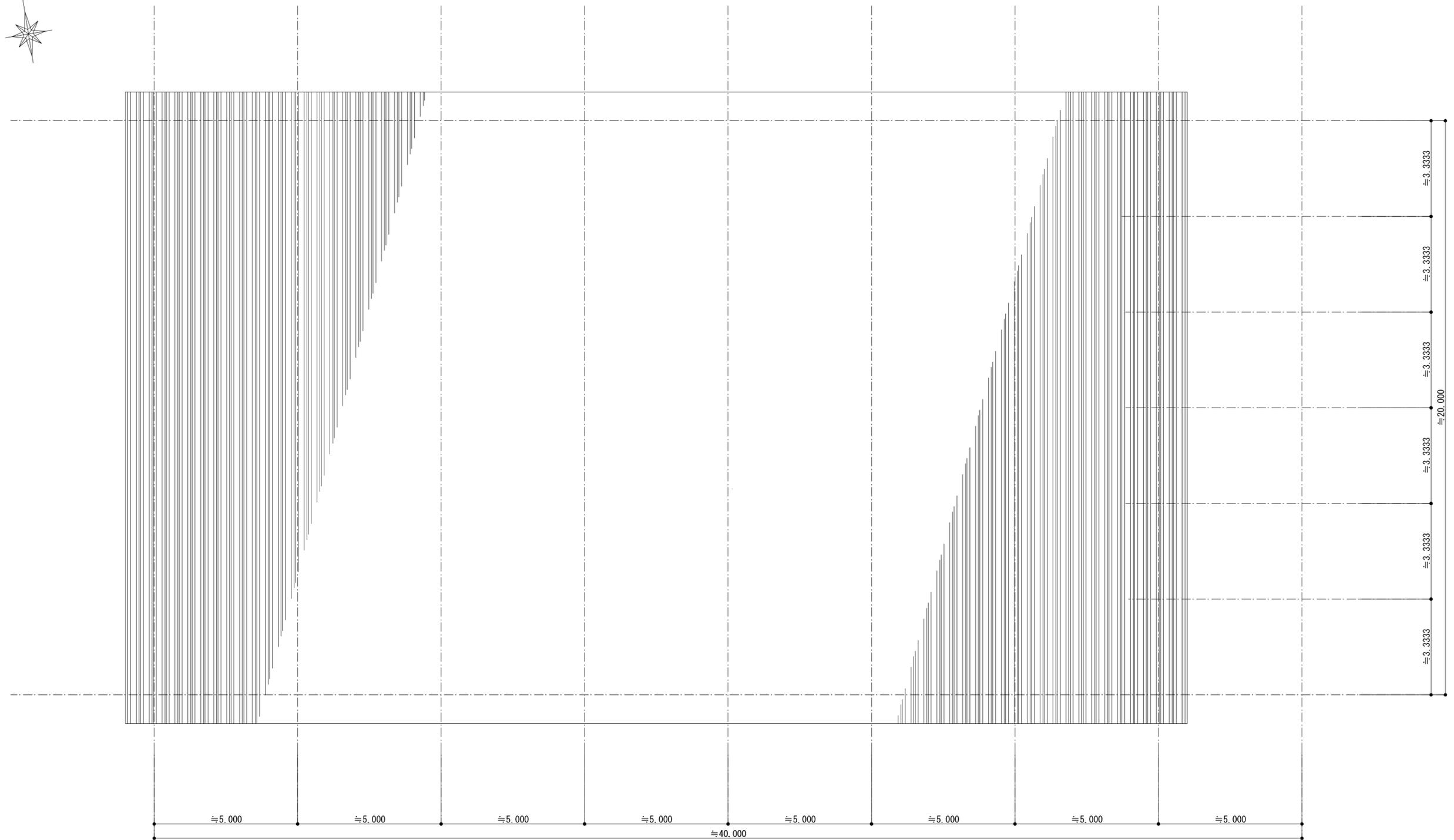
設計年月日	2021. 11. 15
変更年月日	

承認	担当	製図
N.S	T.S	T.S

工事名称	市立小・中学校屋内運動場空調設備設置工事 その1 (ゼロ債務)
図面名称	2 階 平 面 図
縮尺	S=1/100

図面番号

A-9 /



屋根平面図 S=1/100

勝瀬小学校

摘要



**ハナガタ建築設計事務所**

一級建築士事務所

一級建築士 No. 183598号 菅谷 隆

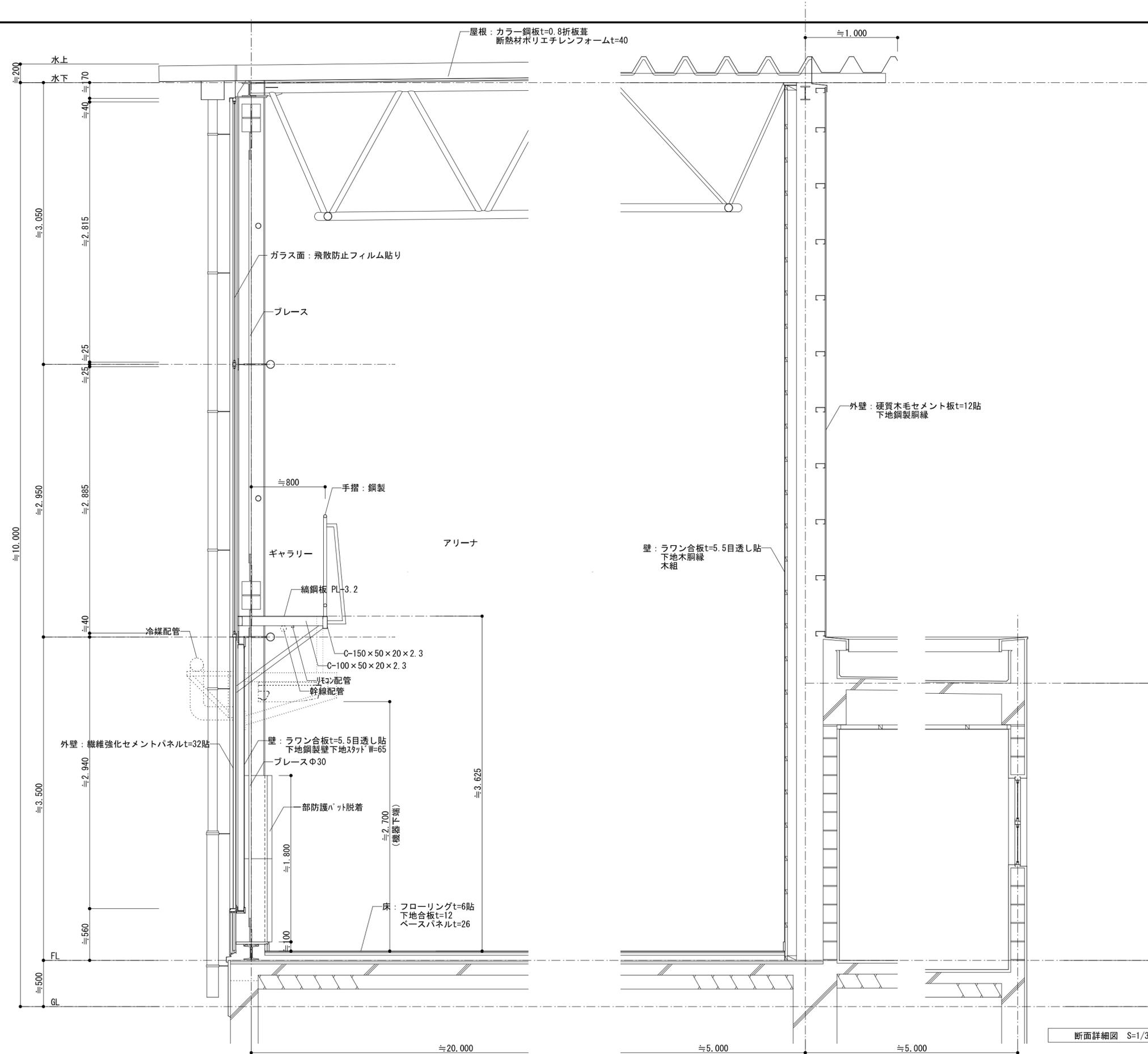
設計年月日	2021. 11. 15
変更年月日	

承認	担当	製図
N.S	T.S	T.S

工事名称	市立小・中学校屋内運動場空調設備設置工事 その1 (ゼロ債務)
図面名称	屋根平面図

縮尺	S=1/100
----	---------

図面番号	A-10 /
------	--------



摘要

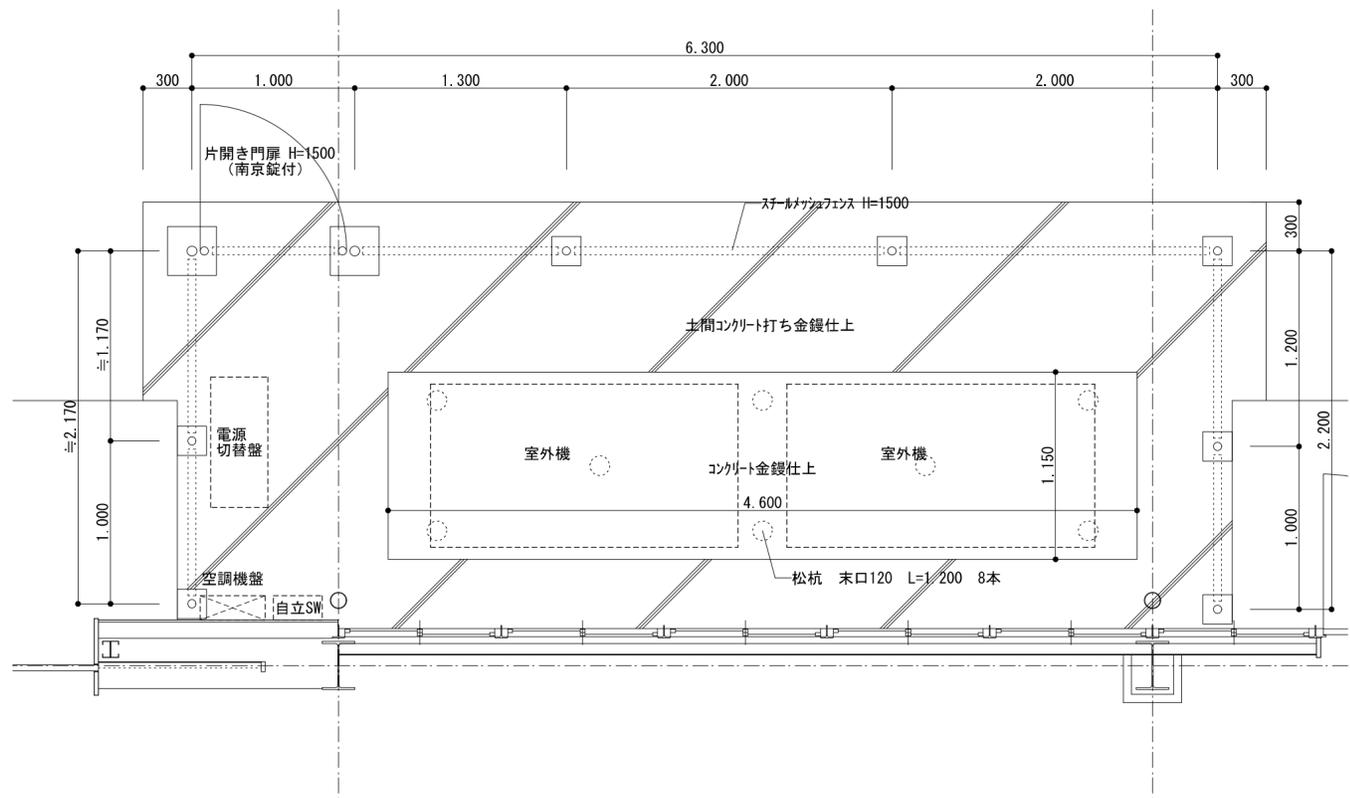
**ハナガタ建築設計事務所**  
 一級建築士事務所  
 一級建築士 No. 183598号 菅谷 隆

設計年月日	2021/11/15
変更年月日	

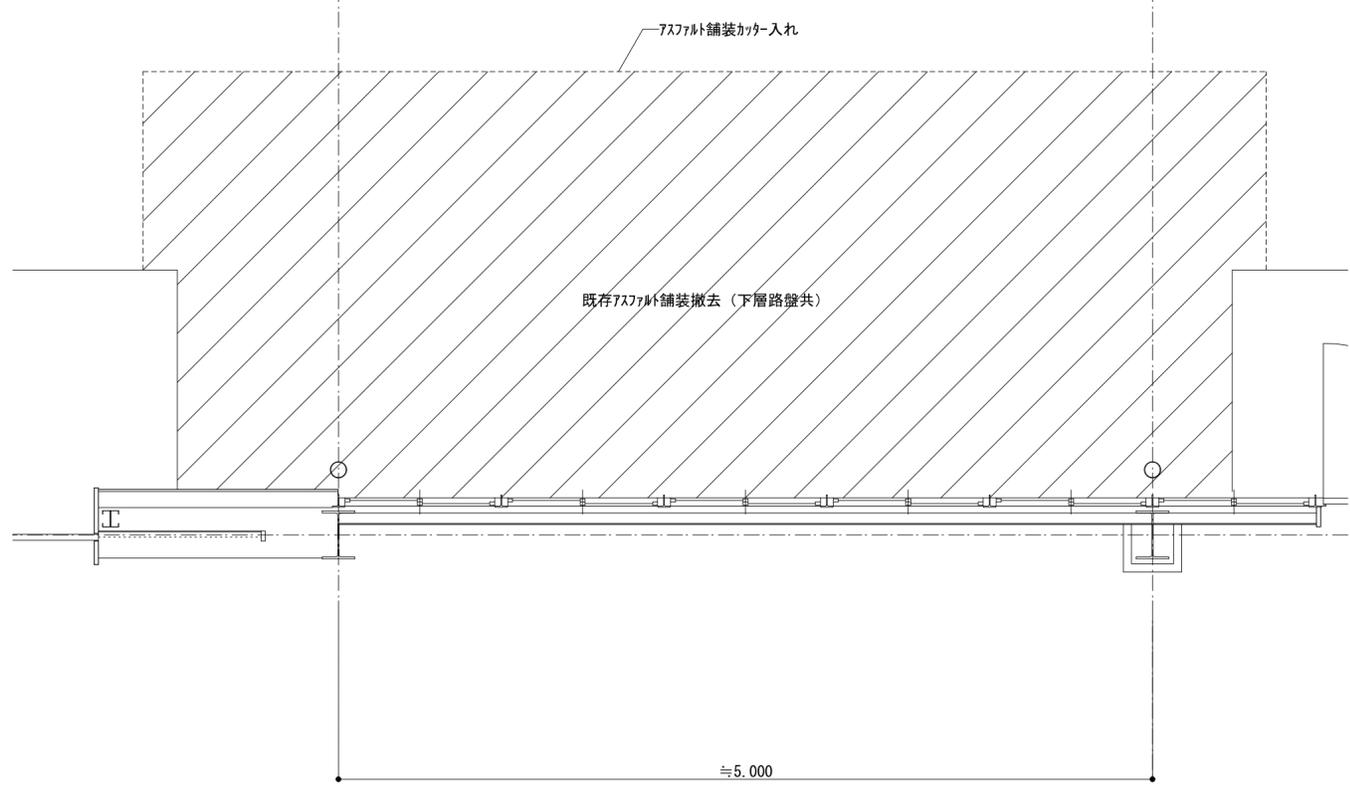
承認	担当	製図
N.S	T.S	T.S

工事名称	市立小・中学校屋内運動場空調設備設置工事 その1 (ゼロ債務)
図面名称	断面詳細図
縮尺	S=1/30

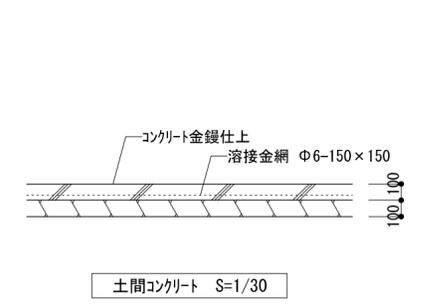
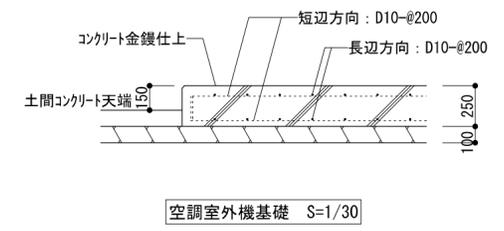
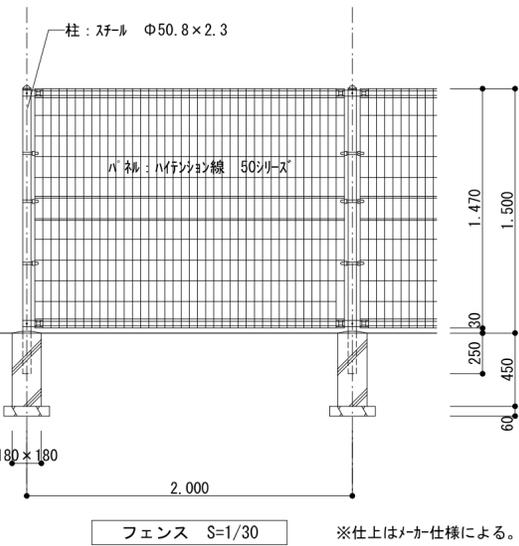
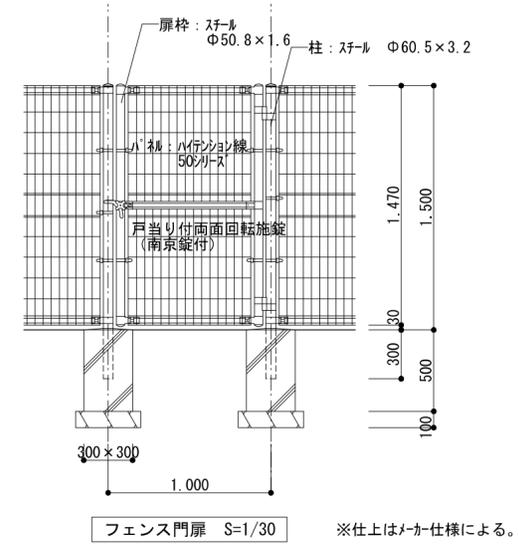
図面番号	A-11
------	------



平面詳細図 S=1/30 (改修)



平面詳細図 S=1/30 (既存)



摘要	
----	--

**ハナガタ建築設計事務所**  
 一級建築士事務所 一級建築士 No. 183598号 菅谷 隆

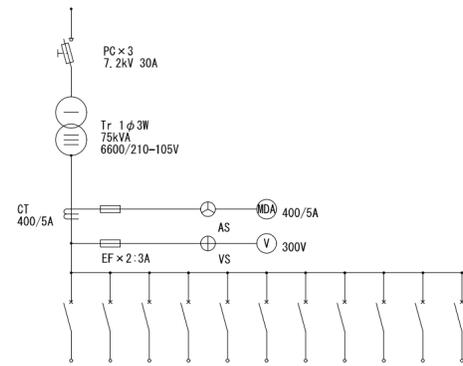
設計年月日	2021/11/15
変更年月日	

承認	担当	製図
N.S	T.S	T.S

工事名称	市立小・中学校屋内運動場空調設備設置工事 その1 (ゼロ債務)
図面名称	空調室外機置場詳細図
縮尺	S=1/30

図面番号	A-12/
------	-------

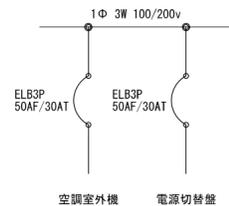




負荷番号	負荷名称	開閉器容量
L11	校舎北棟 LA-1A~3A	3P250AF/125AT
L12	校舎中棟 LB-1A~3A	3P250AF/200AT
L13	校舎南棟 LC-1A~3A	3P250AF/200AT
L14	プール LO-1A	3P50AF/50AT
L15	コンピュータ室 LB-2C	3P100AF/100AT
L16	予備 (空調機盤)	3P50AF/50AT
L17	体育館 LD-1A	3P100AF/100AT
L18	予備	3P100AF/100AT
L19	LPガスタンク 給湯器コンセント	3P50AF/30AT
L20	所内電源	2P50AF/15AT

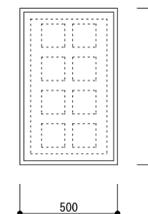
名称変更  
低圧電灯盤

キュービクル単線結線図



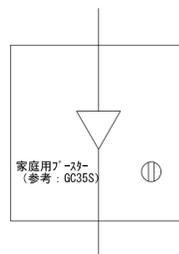
空調機盤

※鋼板製  
露出形 (屋外用)  
400×330×150



リモコン収納箱

※鋼板製  
露出形 (屋内用)  
500×800×100  
参考: BUN5810VK



TV-T1

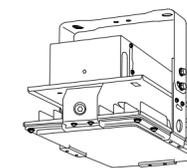
機器収納箱

※鋼板製  
露出形 (屋内用)  
300×300×120

照明器具姿図

名称	高天井用LED照明 (マルチフロア灯400形相当)		
形式	昼白色 広角タイプ	直付型	電源内蔵型
電圧	単相200V	光束	21300 lm
備考	落下防止ワイヤー付き 調光式		

LSR2W-200



摘要



ハナガタ建築設計事務所

一級建築士事務所

一級建築士no.183598号 菅谷 隆

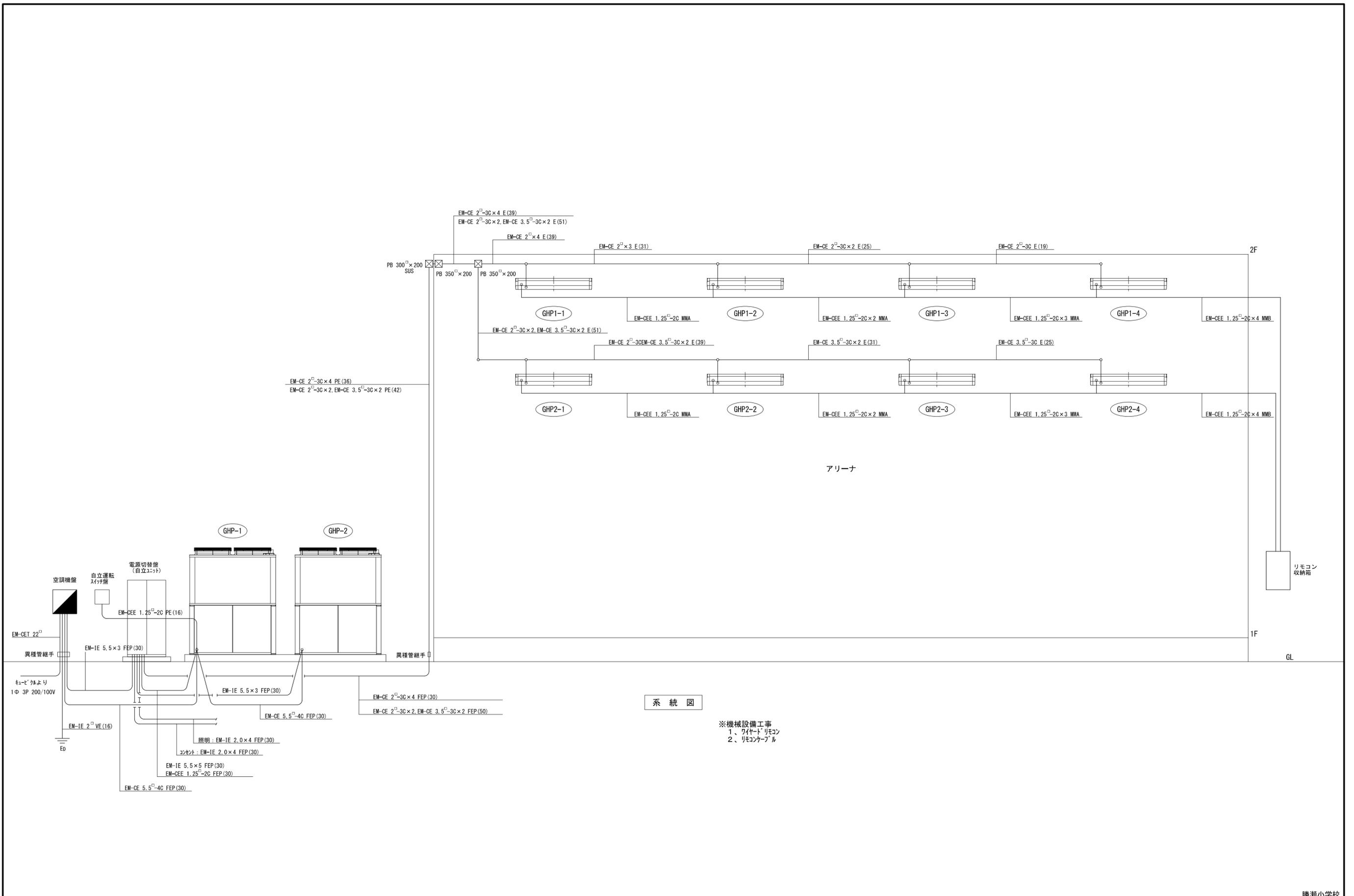
設計年月日 2021/11/15

変更年月日

承認	担当	製図
N.S	T.S	T.S

工事名称	市立小・中学校屋内運動場空調設備設置工事 その1 (ゼロ債務)
図面名称	電気設備 盤図・照明器具姿図

図面番号	E-2
縮尺	縮尺



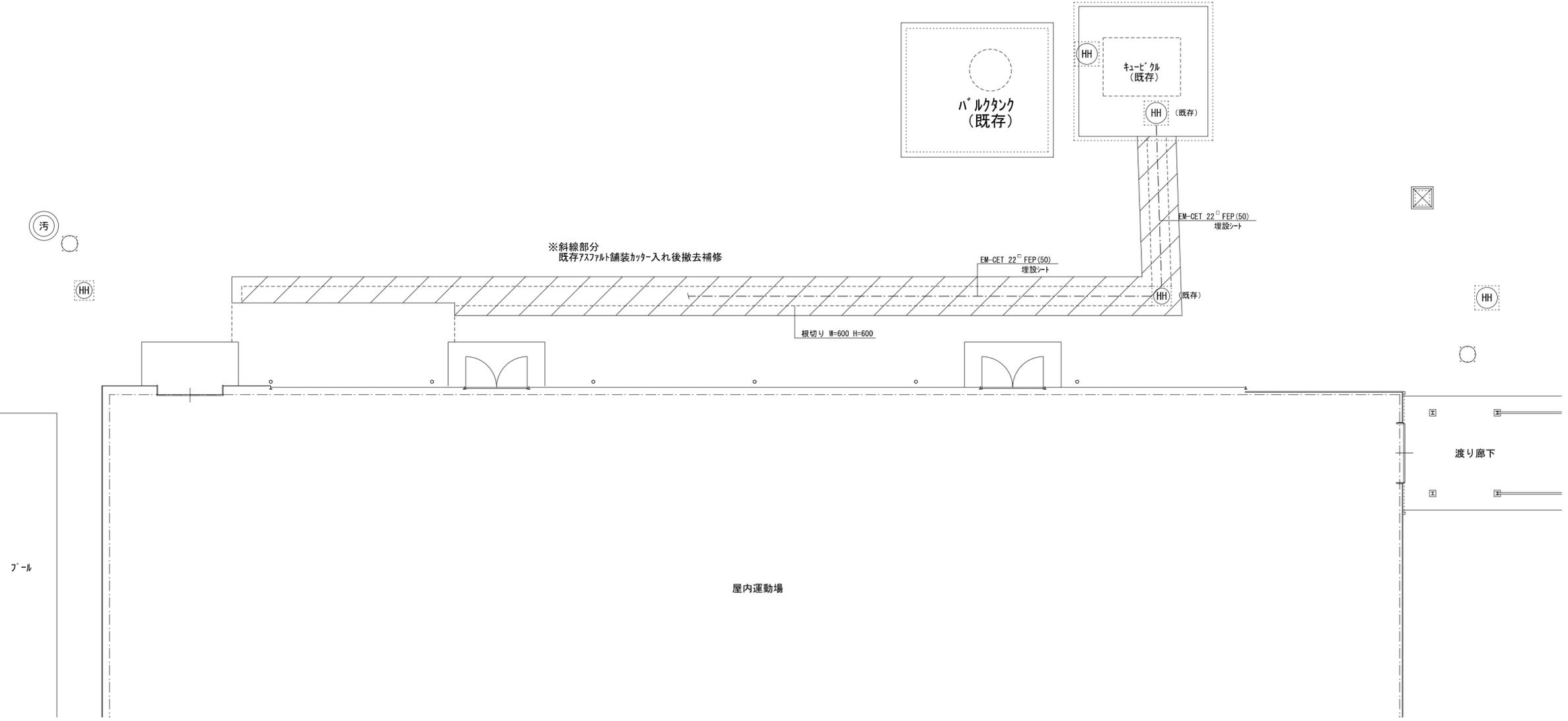
系統図

勝瀬小学校

摘要	 <b>ハナガタ建築設計事務所</b> 一級建築士事務所 一級建築士no.183598号 菅谷 隆	設計年月日	2021/11/15	承認	担当	製図	工事名称	市立小・中学校屋内運動場空調設備設置工事 その1 (ゼロ債務)	図面番号
		変更年月日		N.S	T.S	T.S	図面名称		
									E-3



ネットフェンス

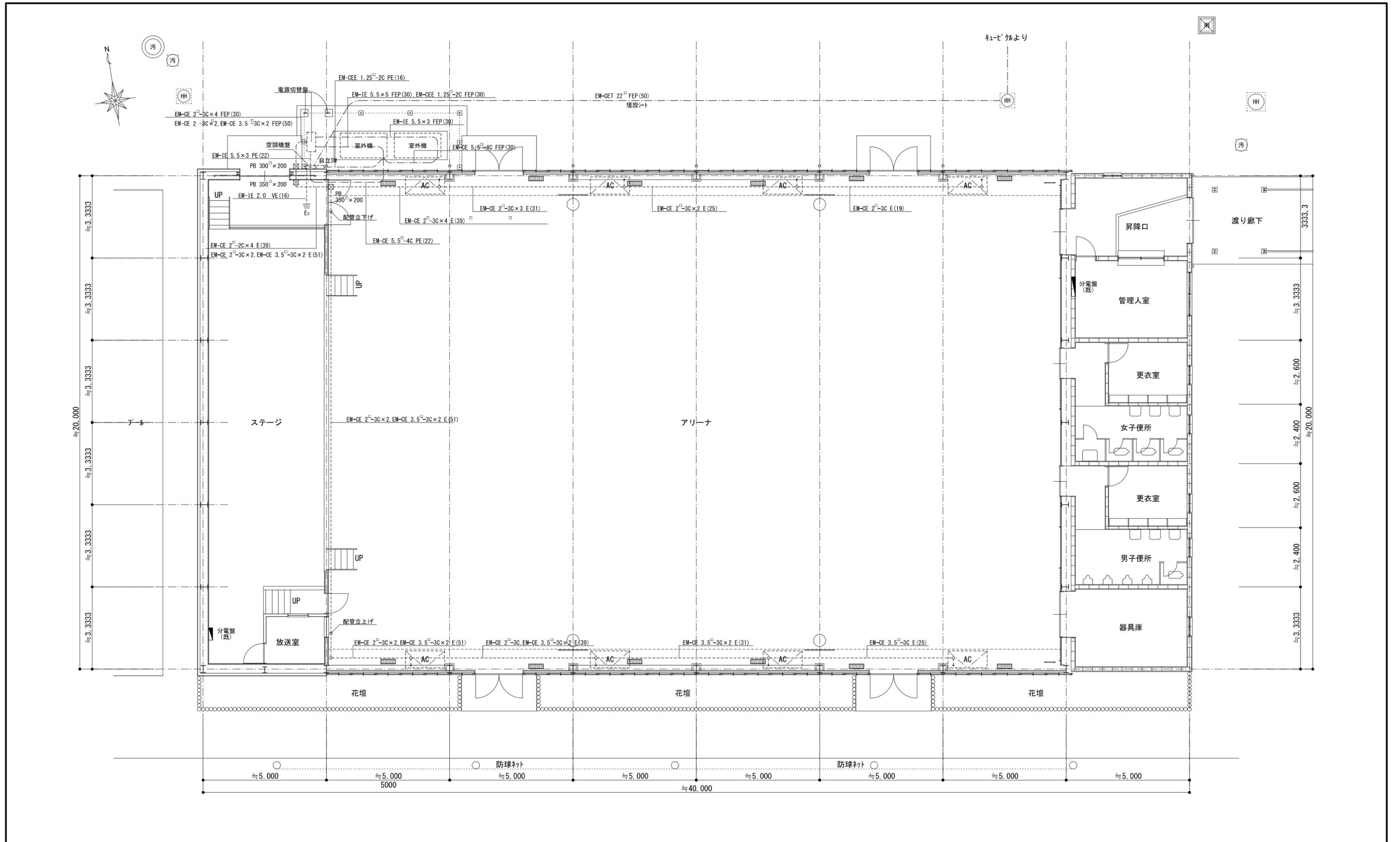


配置図 S=1/100

勝瀬小学校

摘要	 <b>ハナガタ建築設計事務所</b> 一級建築士事務所 一級建築士No.183598号 菅谷 隆	設計年月日	2021/11/15	承認	担当	製図	工事名称	市立小・中学校屋内運動場空調設備設置工事 その1 (ゼロ債務)	図面番号
		変更年月日		N.S	T.S	T.S	図面名称		電気設備(幹線)配置図

E-4



1階平面図 S=1/100 ※外部のブルボックスは全てステンレス製とする。

勝瀬小学校

摘要	

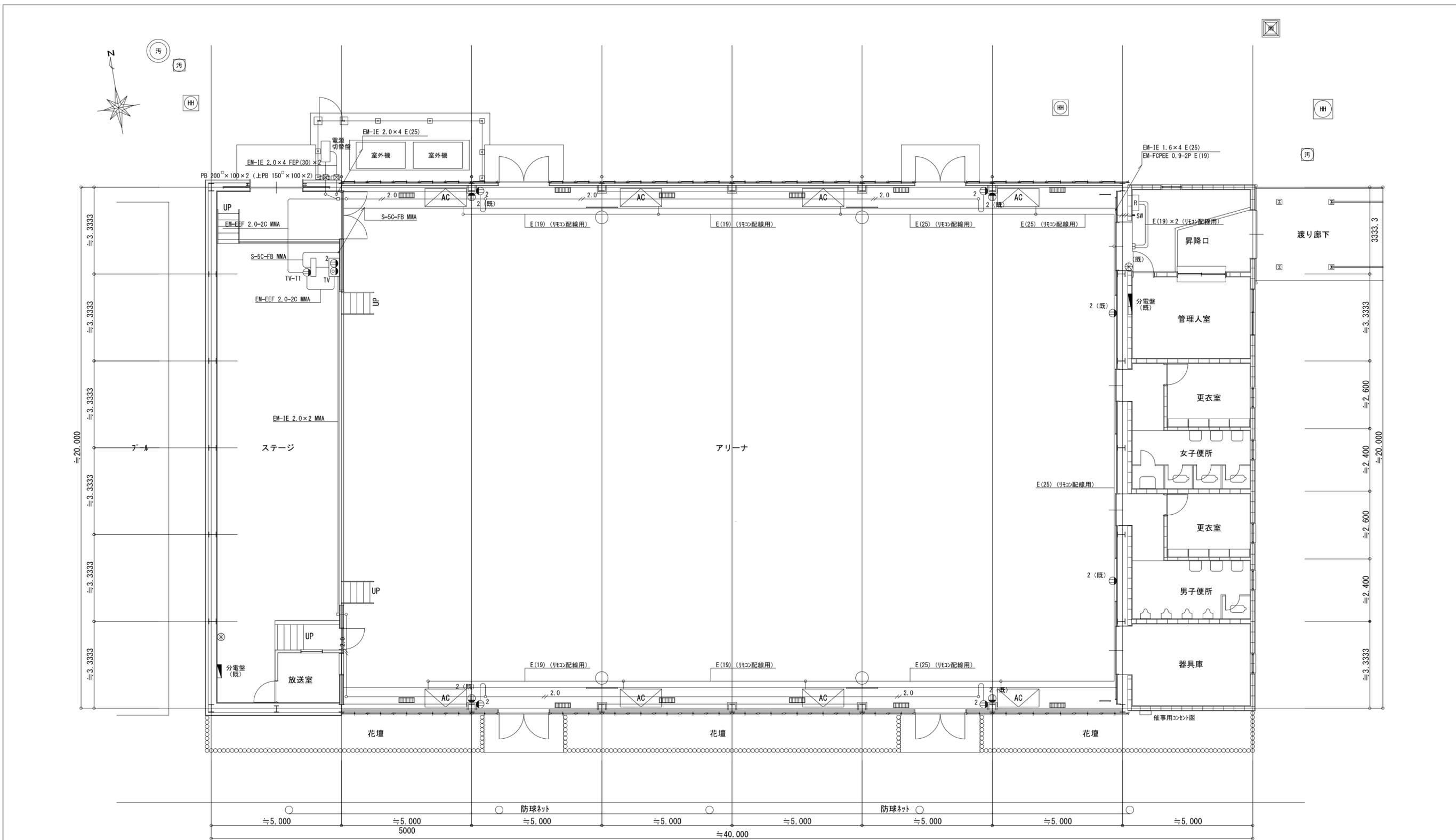

**ハナガタ建築設計事務所**  
 一級建築士事務所 一級建築士no.183598号 菅谷 隆

設計年月日	2021.11.15
変更年月日	

承認	担当	製図
N.S	T.S	T.S

工事名称	市立小・中学校屋内運動場空調設備設置工事 その1 (ゼロ債務)
図面名称	電気設備 (幹線) 1階平面図

図面番号	E-5
縮尺	S=1/100



1階平面図 S=1/100

※特記事項  
 1. 新設天井用LED照明器具は常時使用可能とし、停電時に発電機回路に切り替わり使用出来るものとする。  
 2. 新設コンセントは常時使用可能とし、停電時に発電機回路に切り替わり使用出来るものとする。  
 3. 外部のプルボックスは全てステンレス製とする。

- 凡例
- 2.0 — EM-IE 2.0×2 E(19)
  - EM-IE 1.6×2
  - EM-IE 1.6×3
  - ・ 片切りスイッチ (調光スライド式)
  - ⊗ (既) 照明セクタースイッチ (既)
  - ジャンクションボックス
  - ⊖ コンセント
  - ⊖ (既) コンセント (既)
  - ⊖ 20A (既) 20Aコンセント (既存)
  - ⊖ TV TV直列ユニット

摘要	

**ハナガタ建築設計事務所**  
 一級建築士事務所 一級建築士No.183598号 菅谷 隆

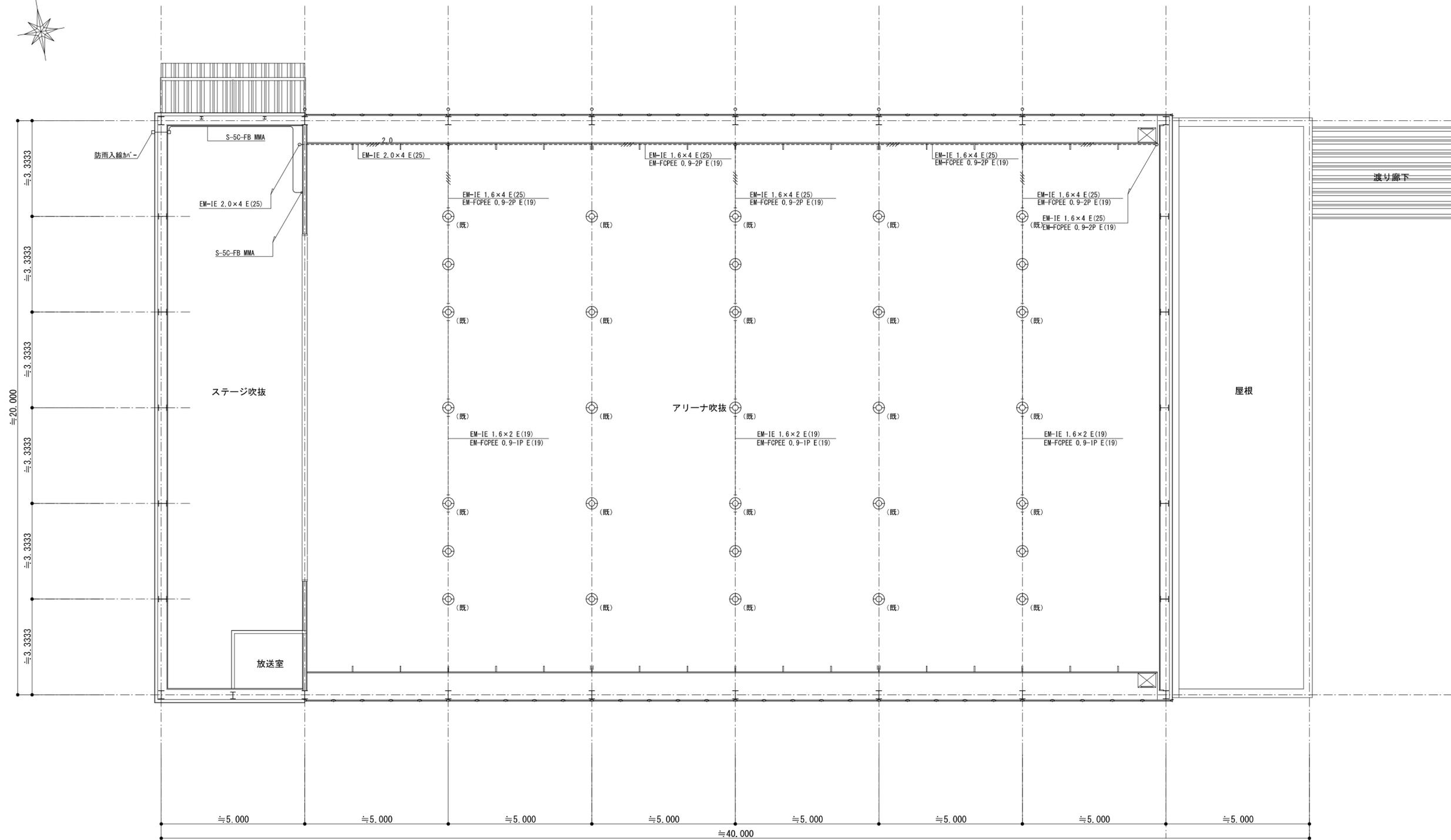
設計年月日	2021.11.15
変更年月日	

承認	担当	製図
N.S	T.S	T.S

工事名称	市立小・中学校屋内運動場空調設備設置工事 その1 (ゼロ債務)
図面名称	電気設備 (電灯・弱電) 1階平面図
縮尺	S=1/100

図面番号	E-6
------	-----

勝瀬小学校



※特記事項  
 1、新設高天井用LED照明器具は常時使用可能とし、停電時に発電機回路に切り替わり使用出来るものとする。  
 2、新設コンセントは常時使用可能とし、停電時に発電機回路に切り替わり使用出来るものとする。

2階平面図 S=1/100

凡例

- 2.0 — EM-IE 2.0×2 E(19)
- EM-IE 1.6×2 E(19)
- EM-IE 1.6×3 E(19)
- MMA, MMB — マルモルジング A型、B型
- — ジャンクションボックス
- ⊕ — 高天井用LED照明
- ⊕ (既) — 既存照明器具

勝瀬小学校

摘要
----

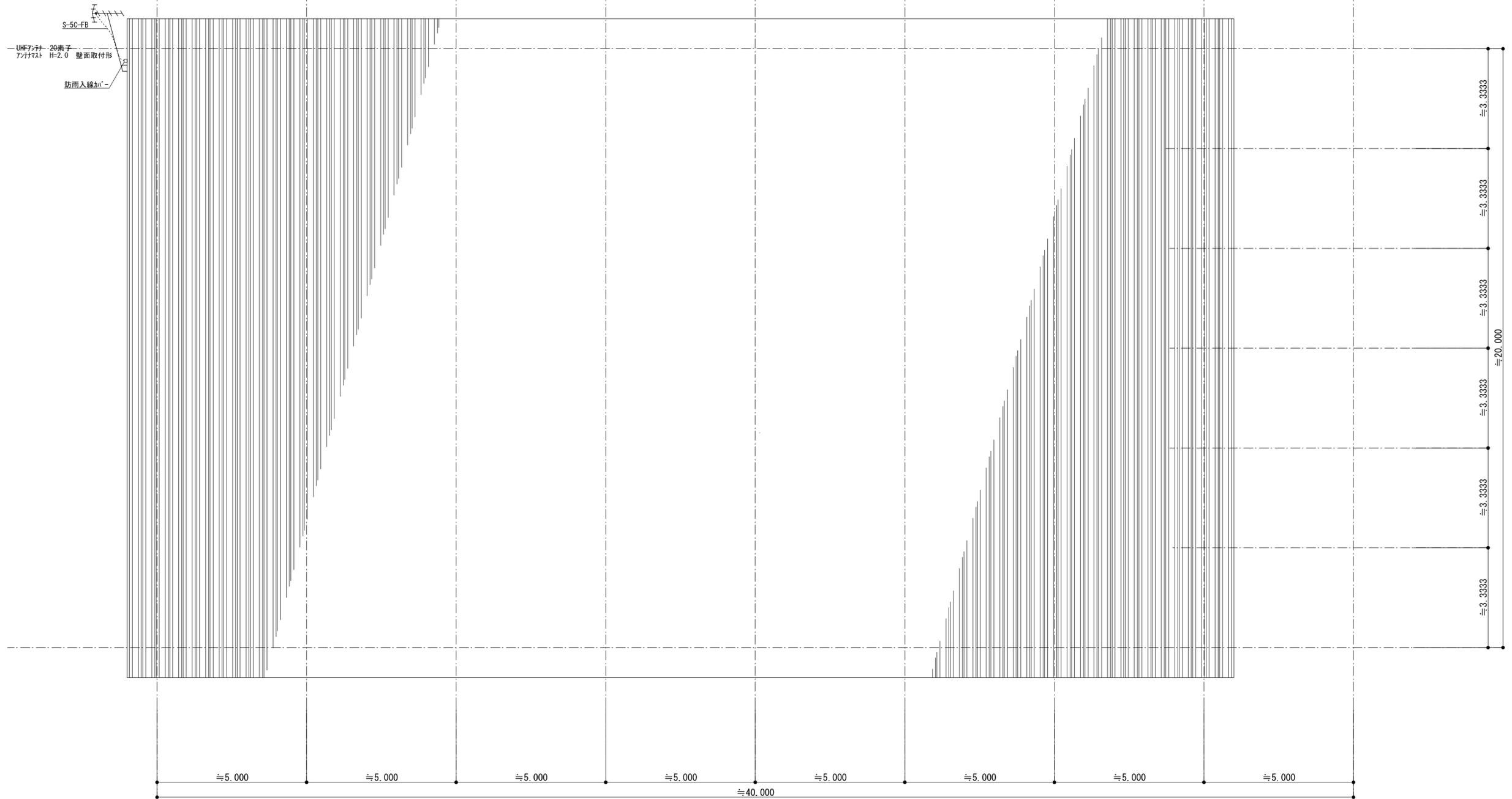
**ハナガタ建築設計事務所**  
 一級建築士事務所  
 一級建築士 No. 183598号 菅谷 隆

設計年月日	2021. 11. 15
変更年月日	

承認	担当	製図
N. S	T. S	T. S

工事名称	市立小・中学校屋内運動場空調設備設置工事 その1 (ゼロ債務)
図面名称	電気設備 (電灯・弱电) 2階平面図

図面番号	E-7
縮尺	S=1/100



屋根平面図 S=1/100

勝瀬小学校

摘要



**ハナガタ建築設計事務所**

一級建築士事務所

一級建築士 No. 183598号 菅谷 隆

設計年月日 2021. 11. 15

変更年月日

承認	担当	製図
N.S	T.S	T.S

工事名称	市立小・中学校屋内運動場空調設備設置工事 その1 (ゼロ債務)
図面名称	電気設備 (弱電) 屋根平面図
縮尺	S=1/100

図面番号

E-8 /

### 機械設備工事特記仕様書

1	工事概要	
2	工事名称	市立小・中学校屋内運動場空調設備設置工事 その1（ゼロ債務）
3	工事場所	富士見市大字勝瀬 地内（勝瀬小学校）
4	工期	契約日から令和4年12月28日
5	現場施工期間	令和4年5月20日から令和4年11月30日
6	建物概要	現場施工期間は、施設管理者との調整により変更することがある。

建物名称	構造	階数	延面積 (㎡)	消防法施行令別表第一	備考
① 屋内運動場	RC造一部S造	2階		(7)	
②					
③					
④					
⑤					

6	工事種目（●印を付いたものを適用する。）	
	建物別及び屋外	工事種別
	工事種目	① ② ③ ④ ⑤ 屋外
	●空気調和設備	一式
	○換気設備	
	○排煙設備	
	○自動制御設備	
	○衛生器具設備	
	○給水設備	
	○排水設備	
	○給湯設備	
	○消火設備	
	○厨房機器設備	
	●ガス設備	一式

7	指定部分 ※無 ・有	
	対象部分：	工期：令和 年 月 日

8	主任技術者又は監理技術者の専任期間（建設法により必要になった場合）	
1	専任期間の始期	請負契約締結の日から、○現場施工に着手するまで（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等開始されるまで）の期間 ・令和 年 月 日までの期間）については、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。
2	専任期間の終期	工事完成後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合は除く。）、事務手続き、後片付けのみが残っている場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。
3	専任期間の中断	自然災害の発生又は組織文化財調査等により発注者からの通知により、工事を全面的に一時中止にしている場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。

9	工事範囲 図示のとおり	
10	機械設備工事概要	発電機搭載型のガスヒートポンプエアコン設置 ガス設備工事

11	電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事は、それぞれの工事仕様を適用し、下記の工事仕様は適用しない。なお、それぞれの工事仕様について特記されていない事項は、電気設備工事は埼玉県電気設備工事特別共通仕様書により、建築工事は埼玉県建築工事特別共通仕様書による。	・長寿命機材の選定（2-3-3） ・設備更新を踏まえた計画（2-3-4） ・再生品の優先使用（2-3-6） ・有害物質の放数量が少ない材料の使用（2-4-2） ・発生材の再資源化を推進（3-1-6） ・フロン等の回収、破壊を行う（4-1-1） ・代替フロンの使用抑制（4-1-2） ・新冷媒の採用（4-1-3） ・太陽熱利用システムの導入（5-1-2） ・高効率機器の採用（5-2-2） ・ソーニングの工夫（5-3-1） ・外気冷却制御の導入（5-3-2） ・搬送効力の低減（5-3-3） ・ヒートポンプの採用（5-3-4） ・熱回収システムの導入（5-3-5） ・コージェネレーションの導入（5-4-1） ・節水機器の採用（6-1-1） ・雨水利用（6-1-3） ・排水再利用（6-1-4） ・アスコン廃材の再利用（6-3-2） ・再生塩化塩の採用（6-3-3）
----	--	---

12	電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事は、それぞれの工事仕様を適用し、下記の工事仕様は適用しない。なお、それぞれの工事仕様について特記されていない事項は、電気設備工事は埼玉県電気設備工事特別共通仕様書により、建築工事は埼玉県建築工事特別共通仕様書による。	・長寿命機材の選定（2-3-3） ・設備更新を踏まえた計画（2-3-4） ・再生品の優先使用（2-3-6） ・有害物質の放数量が少ない材料の使用（2-4-2） ・発生材の再資源化を推進（3-1-6） ・フロン等の回収、破壊を行う（4-1-1） ・代替フロンの使用抑制（4-1-2） ・新冷媒の採用（4-1-3） ・太陽熱利用システムの導入（5-1-2） ・高効率機器の採用（5-2-2） ・ソーニングの工夫（5-3-1） ・外気冷却制御の導入（5-3-2） ・搬送効力の低減（5-3-3） ・ヒートポンプの採用（5-3-4） ・熱回収システムの導入（5-3-5） ・コージェネレーションの導入（5-4-1） ・節水機器の採用（6-1-1） ・雨水利用（6-1-3） ・排水再利用（6-1-4） ・アスコン廃材の再利用（6-3-2） ・再生塩化塩の採用（6-3-3）
----	--	---

13	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
----	------------	---------------

14	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
----	------------	---------------

15	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
----	------------	---------------

16	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
----	------------	---------------

17	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
----	------------	---------------

18	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
----	------------	---------------

19	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
----	------------	---------------

20	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
----	------------	---------------

21	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
----	------------	---------------

22	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
----	------------	---------------

23	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
----	------------	---------------

24	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
----	------------	---------------

25	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
----	------------	---------------

26	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
----	------------	---------------

27	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
----	------------	---------------

28	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
----	------------	---------------

29	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
----	------------	---------------

30	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
----	------------	---------------

31	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
----	------------	---------------

32	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
----	------------	---------------

33	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
----	------------	---------------

34	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
----	------------	---------------

35	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
----	------------	---------------

36	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
----	------------	---------------

37	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
----	------------	---------------

38	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
----	------------	---------------

39	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
----	------------	---------------

40	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
----	------------	---------------

41	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
----	------------	---------------

42	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
----	------------	---------------

43	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
----	------------	---------------

44	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
----	------------	---------------

45	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
----	------------	---------------

46	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
----	------------	---------------

47	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
----	------------	---------------

48	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
----	------------	---------------

49	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
----	------------	---------------

50	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
----	------------	---------------

51	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
----	------------	---------------

52	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
----	------------	---------------

53	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
----	------------	---------------

54	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
----	------------	---------------

55	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
----	------------	---------------

56	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
----	------------	---------------

57	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
----	------------	---------------

58	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
----	------------	---------------

59	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
----	------------	---------------

60	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
----	------------	---------------

61	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
----	------------	---------------

62	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
----	------------	---------------

63	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
----	------------	---------------

64	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
----	------------	---------------

65	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
----	------------	---------------

66	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
----	------------	---------------

67	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
----	------------	---------------

68	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
----	------------	---------------

69	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
----	------------	---------------

70	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
----	------------	---------------

71	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
----	------------	---------------

72	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
----	------------	---------------

73	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
----	------------	---------------

74	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
----	------------	---------------

75	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
----	------------	---------------

76	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
----	------------	---------------

77	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
----	------------	---------------

78	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
----	------------	---------------

79	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
----	------------	---------------

80	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
----	------------	---------------

81	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
----	------------	---------------

82	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
----	------------	---------------

83	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
----	------------	---------------

84	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
----	------------	---------------

85	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
----	------------	---------------

86	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
----	------------	---------------

87	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
----	------------	---------------

88	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
----	------------	---------------

89	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
----	------------	---------------

90	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
----	------------	---------------

91	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
----	------------	---------------

92	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
----	------------	---------------

93	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
----	------------	---------------

94	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
----	------------	---------------

95	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
----	------------	---------------

96	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
----	------------	---------------

97	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
----	------------	---------------

98	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
----	------------	---------------

99	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
----	------------	---------------

100	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
-----	------------	---------------

101	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
-----	------------	---------------

102	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
-----	------------	---------------

103	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
-----	------------	---------------

104	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
-----	------------	---------------

105	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
-----	------------	---------------

106	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
-----	------------	---------------

107	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
-----	------------	---------------

108	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
-----	------------	---------------

109	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
-----	------------	---------------

110	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
-----	------------	---------------

111	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
-----	------------	---------------

112	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
-----	------------	---------------

113	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
-----	------------	---------------

114	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
-----	------------	---------------

115	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
-----	------------	---------------

116	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
-----	------------	---------------

117	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
-----	------------	---------------

118	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
-----	------------	---------------

119	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
-----	------------	---------------

120	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
-----	------------	---------------

121	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
-----	------------	---------------

122	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
-----	------------	---------------

123	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
-----	------------	---------------

124	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
-----	------------	---------------

125	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
-----	------------	---------------

126	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
-----	------------	---------------

127	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
-----	------------	---------------

128	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
-----	------------	---------------

129	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
-----	------------	---------------

130	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
-----	------------	---------------

131	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
-----	------------	---------------

132	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
-----	------------	---------------

133	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
-----	------------	---------------

134	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
-----	------------	---------------

135	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
-----	------------	---------------

136	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
-----	------------	---------------

137	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
-----	------------	---------------

138	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
-----	------------	---------------

139	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
-----	------------	---------------

140	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
-----	------------	---------------

141	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
-----	------------	---------------

142	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
-----	------------	---------------

143	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
-----	------------	---------------

144	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
-----	------------	---------------

145	同時期発注の関連工事	・建築工事 ・電気設備工事
-----	------------	---------------

## ハナガタ建築設計事務所

一級建築士事務所 一級建築士NO.183598号 菅谷 隆

設計年月日	2021/11/15	承認	担当	製図
変更年月日		N.S	T.S	T.S

工事名称	図面名称	図番番号
市立小・中学校屋内運動場空調設備設置工事 その1（ゼロ債務）	縮尺	M-1

機械設備工事 特記仕様書（1）

機械設備工事 特記仕様書（1）

● 空気調和設備	① 設計室温度	<table border="1"> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="4">外 気</th> <th colspan="4">屋 内</th> </tr> <tr> <th>湿度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> <th>温度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> <th>湿度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> <th>温度 (DB)</th> <th>湿度 (RH)</th> </tr> <tr> <td>夏 期</td> <td>36.9℃</td> <td>46.1%</td> <td>28℃</td> <td>9%</td> <td>℃</td> <td>9%</td> <td>℃</td> <td>9%</td> </tr> <tr> <td>冬 期</td> <td>0.6℃</td> <td>50.7%</td> <td>20℃</td> <td>9%</td> <td>℃</td> <td>9%</td> <td>℃</td> <td>9%</td> </tr> </table> <p>※外気処理用エアコンの屋内設定値は、夏期室温50%とする。</p>		外 気				屋 内				湿度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	湿度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	夏 期	36.9℃	46.1%	28℃	9%	℃	9%	℃	9%	冬 期	0.6℃	50.7%	20℃	9%	℃	9%	℃	9%	1 長方形ダクト	※低圧ダクト（亜鉛鉄板製） 長辺の長さ1500mm以下 ※共板工法 ・スライドオンフランジ工法 ・アングルフランジ工法 それ以外の部分 ※アングルフランジ工法 ・高圧1ダクト（亜鉛鉄板製） ・高圧2ダクト（亜鉛鉄板製） ・ステンレス製ダクト（・A区分 ※B区分） ・塩ビ製ダクト（・A区分 ※B区分）	○ 給 水 設 備	1 配管材料	配管材料は ※下記 ・ 図面指示（図面指示が不足する箇所は下記） による。 <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">上水配管</th> <th rowspan="2">施 工 箇 所</th> <th rowspan="2">管 種 別</th> </tr> <tr> <td>床下、暗渠内（ピット内、共同溝を含む。）</td> <td>※SUS ・SGP-PPD ・ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td rowspan="12">中水配管</td> <td>ウエツト厨房、浴室等の濡潤シンダー内配管</td> <td>※SUS ・SGP-PPD ・HIVP ・ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>保温をしない屋外露出部</td> <td>※SUS ・SGP-PPD</td> </tr> <tr> <td>地中埋設部（水道直結部分）</td> <td>※HIVP ・水道用ステンレス鋼管 ・水道配水用ポリエチレン管（PE）</td> </tr> <tr> <td>地中埋設部（一般部分）</td> <td>※HIVP ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管（PE）</td> </tr> <tr> <td>商業住宅 住戸内</td> <td>※ポリブテン管（さや管ヘッダー工法）</td> </tr> <tr> <td>便所天井内、P.S内（注5）</td> <td>※高密度ポリエチレン管（3.2A以上）</td> </tr> <tr> <td>便所天井内</td> <td>※ポリブテン管（10mm保温付）</td> </tr> <tr> <td>便所空腔壁内又は衛生器具等接続管</td> <td>※ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>その他の部分</td> <td>※SUS ・SGP-PPD ・HIVP ・ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>床下、暗渠内（ピット内、共同溝を含む。）</td> <td>※SUS ・SGP-PPD ・HIVP ・ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>濡潤シンダー内配管</td> <td>※SUS ・SGP-PPD ・HIVP ・ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>保温をしない屋外露出部</td> <td>※SUS ・SGP-PPD</td> </tr> <tr> <td>地中埋設部（一般部分）</td> <td>※HIVP ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管（PE）</td> </tr> <tr> <td>便所天井内、P.S内（注5）</td> <td>※高密度ポリエチレン管（3.2A以上）</td> </tr> <tr> <td>便所天井内</td> <td>※ポリブテン管（10mm保温付）</td> </tr> <tr> <td>便所空腔壁内又は衛生器具等接続管</td> <td>※ポリブテン管</td> </tr> <tr> <td>その他の部分</td> <td>※SUS ・SGP-PPD ・HIVP ・ポリブテン管</td> </tr> </table> <p>(注) 1. SUSとは、JIS G 3448 または JIS G 1115 に規定するステンレス鋼とし、継手は一般部（・圧縮 ※ダブル・接続）使用・廊下渡し廻り露出配管（※給管）とする。 2. ステンレス管に取付ける弁は、JWB-1による。 3. 飲料水以外の給水管は、系統別に管外部に配管種別テープを巻く。また、接続管がないことを確認するため衛生器具の取付完了後、系統毎に着色水を用いた通水試験を行う。 4. 建物導入部において、ポリエチレン管と異種管を接合する場合は、接合部が容易に点検できるように点検用樹を設ける。 5. 口径25Aにて大便器等に接続する場合は、施工状況に応じて高密度ポリエチレン管の使用も可とする。 6. 高密度ポリエチレン管とは、主材料に高密度ポリエチレン樹脂（PE100）を採用し、管と継手を電気融着にて接合するものをいう。</p>	上水配管	施 工 箇 所	管 種 別	床下、暗渠内（ピット内、共同溝を含む。）	※SUS ・SGP-PPD ・ポリブテン管	中水配管	ウエツト厨房、浴室等の濡潤シンダー内配管	※SUS ・SGP-PPD ・HIVP ・ポリブテン管	保温をしない屋外露出部	※SUS ・SGP-PPD	地中埋設部（水道直結部分）	※HIVP ・水道用ステンレス鋼管 ・水道配水用ポリエチレン管（PE）	地中埋設部（一般部分）	※HIVP ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管（PE）	商業住宅 住戸内	※ポリブテン管（さや管ヘッダー工法）	便所天井内、P.S内（注5）	※高密度ポリエチレン管（3.2A以上）	便所天井内	※ポリブテン管（10mm保温付）	便所空腔壁内又は衛生器具等接続管	※ポリブテン管	その他の部分	※SUS ・SGP-PPD ・HIVP ・ポリブテン管	床下、暗渠内（ピット内、共同溝を含む。）	※SUS ・SGP-PPD ・HIVP ・ポリブテン管	濡潤シンダー内配管	※SUS ・SGP-PPD ・HIVP ・ポリブテン管	保温をしない屋外露出部	※SUS ・SGP-PPD	地中埋設部（一般部分）	※HIVP ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管（PE）	便所天井内、P.S内（注5）	※高密度ポリエチレン管（3.2A以上）	便所天井内	※ポリブテン管（10mm保温付）	便所空腔壁内又は衛生器具等接続管	※ポリブテン管	その他の部分	※SUS ・SGP-PPD ・HIVP ・ポリブテン管	1 配管材料 ・露出部 M鋼管 その他 保温付被覆鋼管（M鋼管） ・一般配管用ステンレス鋼管 ・ポリブテン管（さや管ヘッダー工法） 取付部は下記による。 ※鋼管と鋼管及びこれに繋がる部分 ※鋼管とステンレス管及びこれに繋がる部分 (1) 規格は J1S 又は JV とし、指定なきものは 5K、それ以外は図示による。 (2) ステンレス管に取付ける弁は、JWB-1による。
		外 気				屋 内																																																																													
		湿度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)	湿度 (DB)	湿度 (RH)	温度 (DB)	湿度 (RH)																																																																										
	夏 期	36.9℃	46.1%	28℃	9%	℃	9%	℃	9%																																																																										
	冬 期	0.6℃	50.7%	20℃	9%	℃	9%	℃	9%																																																																										
	上水配管	施 工 箇 所	管 種 別																																																																																
				床下、暗渠内（ピット内、共同溝を含む。）	※SUS ・SGP-PPD ・ポリブテン管																																																																														
	中水配管	ウエツト厨房、浴室等の濡潤シンダー内配管	※SUS ・SGP-PPD ・HIVP ・ポリブテン管																																																																																
		保温をしない屋外露出部	※SUS ・SGP-PPD																																																																																
		地中埋設部（水道直結部分）	※HIVP ・水道用ステンレス鋼管 ・水道配水用ポリエチレン管（PE）																																																																																
地中埋設部（一般部分）		※HIVP ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管（PE）																																																																																	
商業住宅 住戸内		※ポリブテン管（さや管ヘッダー工法）																																																																																	
便所天井内、P.S内（注5）		※高密度ポリエチレン管（3.2A以上）																																																																																	
便所天井内		※ポリブテン管（10mm保温付）																																																																																	
便所空腔壁内又は衛生器具等接続管		※ポリブテン管																																																																																	
その他の部分		※SUS ・SGP-PPD ・HIVP ・ポリブテン管																																																																																	
床下、暗渠内（ピット内、共同溝を含む。）		※SUS ・SGP-PPD ・HIVP ・ポリブテン管																																																																																	
濡潤シンダー内配管		※SUS ・SGP-PPD ・HIVP ・ポリブテン管																																																																																	
保温をしない屋外露出部		※SUS ・SGP-PPD																																																																																	
地中埋設部（一般部分）	※HIVP ・水道用ポリエチレン管 ・水道配水用ポリエチレン管（PE）																																																																																		
便所天井内、P.S内（注5）	※高密度ポリエチレン管（3.2A以上）																																																																																		
便所天井内	※ポリブテン管（10mm保温付）																																																																																		
便所空腔壁内又は衛生器具等接続管	※ポリブテン管																																																																																		
その他の部分	※SUS ・SGP-PPD ・HIVP ・ポリブテン管																																																																																		
② 総合運転調整	※本工事 ・ 別途 風量調整 ※する ・しない 水量調整 ※する ・しない 騒音の測定 ※する ・しない 室内外空気の温湿度の測定 ※する ・しない 室内気流及びじんあいの測定 ※する ・しない 初期運転状態の記録 ※する ・しない 工事対象範囲の既設機器運転状態の記録 ※する ・しない	2 円形ダクト	※スパイラルダクト（※亜鉛鉄板製 ・ステンレス製） ・硬質塩化ビニル管（VU） ・換気用耐火二層管（大臣認定品） ※フレキシブルダクト（・保温付 ・保温無） (注) 1 使用区分は図示による。	○ 換 気 設 備	○ 消 火 設 備	1 配管材料 屋内消火栓用 一般配管※SGP（白） ・STPG370（白）Sch40 地中埋設※SGP-VS ・HIVP 消火用 一般配管※SGP（白） ・STPG370（白）Sch40 地中埋設※SGP-VS ・HIVP 不活性ガス消火用 ※STPG370（白）Sch40 ・STPG370（白）Sch80																																																																													
3 煙 道	(1) 鉄板厚 ※3.2mm ・4.5mm ) (2) ばい煙濃度計 ※設ける ・設けない (3) ばいじん量測定口 ※設ける (測定口は80φとする) ・設けない	3 風量測定口	取得付箇所は、図示した箇所及び下記の箇所とする。 送風機吐出ダクト又は吸込ダクト、外気取入ダクト、空調機吐出チャンパの分岐ダクト	○ 排 煙 設 備	○ ガ ス 設 備	① 配管材料 ・都市ガス ガス事業者の供給規定による。埋設配管はPE管を原則とする。 ○液化石油ガス 一般配管 ※合成樹脂被覆鋼管 ・SGP（白） 地中埋設 ※PE管 湯浅検査装置は、流量検知式圧力監視型とする。																																																																													
4 煙 突	※別途 ・本工事	4 チャンパー	(1) 内貼りを施すチャンパーの表示寸法は外法を示す。 (2) ダクト接続形の空気調和機等に取り付けるサブライチャンパー、レタンチャンパ及びダクト系で消音内貼りしたチャンパーには、点検口を設けるものとし点検口の大きさは下記のとおりとする。 ・300×300 ・300×500 ※400×600 ・550×750 (3) 外壁に面するガラリに直接取り付けるチャンパー及びホッパーは雨水が滞留しないようにする。	○ 自 動 制 御	② ガス漏れ警報 遮断装置 ③ 液化石油ガスの 供給槽 ガス設備工事の施工者にガスの供給権は付帯しない。																																																																														
5 長方形ダクト	※低圧ダクト（亜鉛鉄板製） 長辺の長さ1500mm以下 ※共板工法 ・スライドオンフランジ工法 ・アングルフランジ工法 それ以外の部分 ※アングルフランジ工法 ・高圧1ダクト（亜鉛鉄板製） ・高圧2ダクト（亜鉛鉄板製） ・ステンレス製ダクト（・A区分 ※B区分） ・塩ビ製ダクト（・A区分 ※B区分）	5 ダンパー	(1) 防煙ダンパー 復帰方式（※遠隔 ・ ） 定格入力DC24V、0.7A以下 (2) ヒストダンパー 復帰方式（※遠隔 ・ ）	○ 衛 生 器 具 設 備	○ 厨 房 設 備	1 厨房機器の固定 原則として、移動を前提とする厨房機器を除き地震時に転倒及び位置ずれを起こさないよう、床又は壁に堅固に取り付ける。 2 シンク用水栓 ※レバー式泡沫水栓 ・自動水栓 3 安全装置の機能 の運用 標準仕様書第5編1.6.1の表5.1.7安全装置の表中の△の項目はすべて適用とする。																																																																													
6 円形ダクト	※スパイラルダクト（※亜鉛鉄板製 ・ステンレス製） ・硬質塩化ビニル管（VU） ・換気用耐火二層管（大臣認定品） ※フレキシブルダクト（・保温付 ・保温無） (注) 1 使用区分は図示による。	6 多湿箇所の排気ダクト	(1) 排気ダクトのうち下記箇所は硬質塩化ビニル管（VU） （防火区画貫通箇所は換気用耐火二層管又は耐火VP）を使用できる。 ※浴室（シャワー室、脱衣室を含む） (2) 水抜き管は ※洗面、浴室 ※結露水が滞留する部分 （ ） の排気ダクトには設ける	○ 排 煙 設 備	○ 厨 房 設 備	2 建物導入部配管 図示部分について下記のとおり施工する。 ※埋設用フレキシブルジョイント2本をL字状に設ける。 ・標準図施工4（ ・(a) ・(b) ・(c) ）																																																																													
7 風量測定口	取得付箇所は、図示した箇所及び下記の箇所とする。 送風機吐出ダクト又は吸込ダクト、外気取入ダクト、空調機吐出チャンパーの分岐ダクト	7 保 温	下記のとおりとする。 ※全熱交換器用の隠ぺい部ダクト 仕様はN・（ロ）・X1とする。 保温施工範囲は、給気用OAダクトは全て、また、排気用EAダクトは外壁より1mの部分とする。 （※厨房 ・ 湯沸室 ・ ） 用の隠蔽ぺい部ダクト（仕様はh・（イ）・Xとし範囲図示による）	○ 衛 生 器 具 設 備	○ 厨 房 設 備	3 ガス設備 湯浅検査装置は、流量検知式圧力監視型とする。 ガス設備工事の施工者にガスの供給権は付帯しない。																																																																													
8 チャンパー	(1) 内貼りを施すチャンパーの表示寸法は外法を示す。 (2) ダクト接続形の空気調和機等に取り付けるサブライチャンパー、レタンチャンパ及びダクト系で消音内貼りしたチャンパーには、点検口を設けるものとし点検口の大きさは下記のとおりとする。 ・300×300 ・300×500 ※400×600 ・550×750 (3) 外壁に面するガラリに直接取り付けるチャンパー及びホッパーは雨水が滞留しないようにする。	8 試運転調整	風量調整 ※する ・しない 風量測定 ※する ・しない 騒音の測定 ※する ・しない	○ 衛 生 器 具 設 備	○ 厨 房 設 備	3 安全装置の機能 の運用 標準仕様書第5編1.6.1の表5.1.7安全装置の表中の△の項目はすべて適用とする。																																																																													
9 吹出口及び吸込口ボックス	※亜鉛鉄板製 ・ガラスウール製	9 ダンパー	(1) 防煙ダンパー 復帰方式（※遠隔 ・ ） 定格入力DC24V、0.7A以下 (2) ヒストダンパー 復帰方式（※遠隔 ・ ）	○ 衛 生 器 具 設 備	○ 厨 房 設 備	3 安全装置の機能 の運用 標準仕様書第5編1.6.1の表5.1.7安全装置の表中の△の項目はすべて適用とする。																																																																													
⑪ 配管材料	(1) 冷温水管 ※配管用炭素鋼鋼管（白） ・ (2) 冷却水管 ※配管用炭素鋼鋼管（白） ・ (3) フライング管 ※配管用炭素鋼鋼管（黒） ・ (4) 冷媒管 ※断熱材被覆鋼管 (保温厚mm ガス管 ※20以上 ・10以上 液管 ・20以上 ※10以上） ただし、液管の呼び径が9.52mm以下の断熱厚さは、8mmとしてもよい。 (5) ドレン管（屋外） ※配管用炭素鋼鋼管（白） ・硬質塩化ビニル管VP ドレン管（屋内） ※保温機能付空調用ドレン管（210AG <sup>1</sup> W <sup>1</sup> イ <sup>1</sup> 相当品） ・耐火二層管VP（FDPS-1） ・配管用炭素鋼鋼管（白） ・硬質塩化ビニル管VP (消防協議事項： ただし、保温機能付空調用ドレン管は、水圧1mを超える配管には使用しない。 (6) 油管 ※配管用炭素鋼鋼管（黒） ・ (7) 高気管 給気管 ※配管用炭素鋼鋼管（黒） ・ 送 気管 ※圧力配管用炭素鋼鋼管（黒）Sch40 ・ステンレス鋼管 (8) 膨張管、空気抜き管及び膨張タンクよりボイラー等への補給水管 ※配管用炭素鋼鋼管（白） ・	10 中央監視制御装置	(1) 中央監視制御装置 (2) 構成・機能 (3) 電気計装用機材 使用する電線及びケーブルは、原則としてEM電線またはEMケーブルとする。 屋外・屋内露出の電線は、図面に特記のない限り金属管配線とする。 天井内隠ぺい電線は、図面に特記のない限りケーブル配線とする。	○ 衛 生 器 具 設 備	○ 厨 房 設 備	3 安全装置の機能 の運用 標準仕様書第5編1.6.1の表5.1.7安全装置の表中の△の項目はすべて適用とする。																																																																													
12 弁 類	規格は J1S 又は JV とし、指定なきものは 5K、それ以外は図示及び共通仕様書による。 また、銅管用伸縮継手の種類は図示による。	11 水せっけん入れ 12 擬音装置	せっけん供給栓がない場合は、監督員と協議のうえ洗面器、手洗い器に設ける。 ・女子用トイレブースに設置する。（※本工事 ・ 別途工事） ・男子用トイレブースに設置する。（※本工事 ・ 別途工事） ・多目的トイレブースに設置する。（※本工事 ・ 別途工事）	○ 衛 生 器 具 設 備	○ 厨 房 設 備	3 安全装置の機能 の運用 標準仕様書第5編1.6.1の表5.1.7安全装置の表中の△の項目はすべて適用とする。																																																																													
13 温 度 計	取得部は下記による。 ※熱源機器の冷温水管（出入口共）、冷却水管（出入口共） ※空気調和機の冷温水管（出入口共） ※ダクト接続形空気調和機のサブライチャンパー、レタンダクト、 外気取入ダクト及びレタンチャンパー ※冷温水ヘッダー（住）及び各連り管 ※熱交換器の温水管（出入口） ・	13 その他	衛生設備器具の適用等の必要ことは別途衛生設備器具表による。	○ 衛 生 器 具 設 備	○ 厨 房 設 備	3 安全装置の機能 の運用 標準仕様書第5編1.6.1の表5.1.7安全装置の表中の△の項目はすべて適用とする。																																																																													
14 圧 力 計	取得部は下記による。 ※熱源機器の冷温水管（出入口共）、冷却水管（出入口共） ※空気調和機の冷温水管（出入口共） ※冷温水ヘッダー（住）及び各連り管 ※熱交換器の温水管（出入口） ・	13 その他	衛生設備器具の適用等の必要ことは別途衛生設備器具表による。	○ 衛 生 器 具 設 備	○ 厨 房 設 備	3 安全装置の機能 の運用 標準仕様書第5編1.6.1の表5.1.7安全装置の表中の△の項目はすべて適用とする。																																																																													
15 瞬間流量計	瞬間流量計はビトー管方式によるもので止水コック付とし、型式及び取得部は下記による。なお、着脱部の指示部は（※1個 ・ 個）付属とする。 ・熱源機器の冷温水管、冷却水管の出入口どちらかに（※固定形 ・ 着脱形）を設ける。 ・空気調和機の冷温水管の出入口どちらかに（※固定形 ・ 着脱形）を設ける。	13 その他	衛生設備器具の適用等の必要ことは別途衛生設備器具表による。	○ 衛 生 器 具 設 備	○ 厨 房 設 備	3 安全装置の機能 の運用 標準仕様書第5編1.6.1の表5.1.7安全装置の表中の△の項目はすべて適用とする。																																																																													
16 油面制御装置	※住又は建どちらかの冷温水ヘッダーの各種接続管へ（※固定形 ・ 着脱形）を設ける。 制御盤には（※給油ポンプ制御 ※減速油溜槽 ※遠隔監視 ※電磁弁制御 ・ 送油ポンプ制御 ）の端子を設ける。 なお、フロートスイッチ部と制御装置の配管・配線は製造者標準仕様とする。	13 その他	衛生設備器具の適用等の必要ことは別途衛生設備器具表による。	○ 衛 生 器 具 設 備	○ 厨 房 設 備	3 安全装置の機能 の運用 標準仕様書第5編1.6.1の表5.1.7安全装置の表中の△の項目はすべて適用とする。																																																																													
17 冷却塔	※直交流式 ・ 向流型 ※レジオネラ属菌殺菌剤等の自動薬剤注入装置 ※自動ブロー装置 ・ 補給水は、水道水とし、補給水接続管部分に清掃用の水栓を分岐して設ける。	13 その他	衛生設備器具の適用等の必要ことは別途衛生設備器具表による。	○ 衛 生 器 具 設 備	○ 厨 房 設 備	3 安全装置の機能 の運用 標準仕様書第5編1.6.1の表5.1.7安全装置の表中の△の項目はすべて適用とする。																																																																													
⑫ 空気熱源ヒートポンプ空調機	標準仕様書によるほか下記による。 (1) 圧縮機駆動機の制御方式 ※回転数制御 ・ オンプ制御 ・ (2) 冷媒 HFC（R410A、R32又はR407C） (注1) R410Aを採用した場合、冷媒配管は機器の設計圧力を満足するものを使用すること。 (注2) R32を採用した場合、冷媒配管の断熱材被覆鋼管は難燃性のものを使用すること。 (3) 埼玉県グリーン調達推進方針に掲げる成績係数を満たす機器とする。	13 その他	衛生設備器具の適用等の必要ことは別途衛生設備器具表による。	○ 衛 生 器 具 設 備	○ 厨 房 設 備	3 安全装置の機能 の運用 標準仕様書第5編1.6.1の表5.1.7安全装置の表中の△の項目はすべて適用とする。																																																																													

概要	

# ハナガタ建築設計事務所

一級建築士事務所                      一級建築士No.183598号   菅谷 隆

設計年月日	2021/11/15	承認	担当	製図
変更年月日		N.S	T.S	T.S

工事名称	市立小・中学校屋内運動場空調設備設置工事 その1（ゼロ債務）	図面番号	M-2
図面名称	機械設備工事 特記仕様書（2）	縮尺	

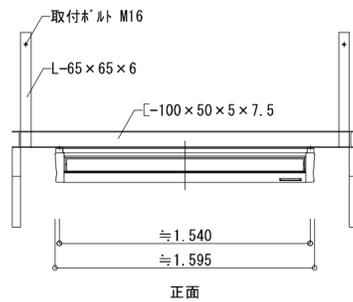
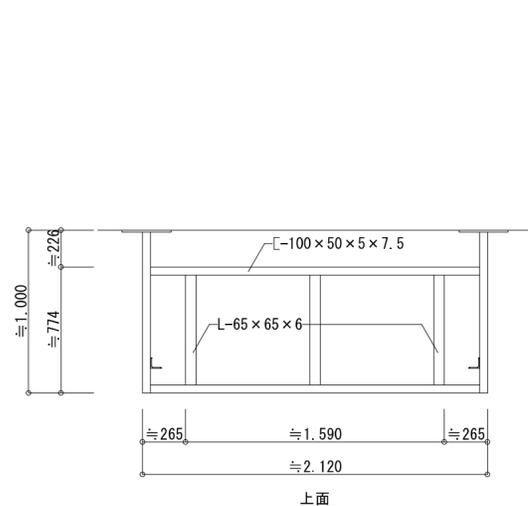


機器表

符 号	名 称	型 式	台 数	冷房能力 kW	暖房能力 kW	電 源 相・V・Hz	発電能力 kW	消費電力 kW		ガス消費量 kW		送風機	備 考
								冷房	暖房	冷房	暖房		
GHP-1	ガスヒートポンプエアコン 室外ユニット	電源自立型 床置型 20馬力 (親機)	1	56.0	63.0	1・200・50	2.5~3.5	1.02~1.22	0.95~1.05	44.8~65.3	42.6~53.2	プロペラファン×2	電源切替盤、自立スイッチ、防振ゴム、SUS7ヶホールド 参考：U-GB560S3SD
GHP1-1	ガスヒートポンプエアコン 室内ユニット	天井吊形 5馬力	1	14.0	16.0	1・200・50		0.084~0.253	0.084~0.253			シロッコファン	ワイヤードリモン、器具ガード、取付ブラケット 参考：S-G140TS1
GHP1-2	ガスヒートポンプエアコン 室内ユニット	天井吊形 5馬力	1	14.0	16.0	1・200・50		0.084~0.253	0.084~0.253			シロッコファン	ワイヤードリモン、器具ガード、取付ブラケット 参考：S-G140TS1
GHP1-3	ガスヒートポンプエアコン 室内ユニット	天井吊形 5馬力	1	14.0	16.0	1・200・50		0.084~0.253	0.084~0.253			シロッコファン	ワイヤードリモン、器具ガード、取付ブラケット 参考：S-G140TS1
GHP1-4	ガスヒートポンプエアコン 室内ユニット	天井吊形 5馬力	1	14.0	16.0	1・200・50		0.084~0.253	0.084~0.253			シロッコファン	ワイヤードリモン、器具ガード、取付ブラケット 参考：S-G140TS1
GHP-2	ガスヒートポンプエアコン 室外ユニット	発電機搭載型 床置型 20馬力 (子機)	1	56.0	63.0	1・200・50	2.5~3.5	1.02~1.22	0.95~1.05	44.8~65.3	42.6~53.2	プロペラファン×2	防振ゴム、SUS7ヶホールド 参考：U-GWX560S3SD
GHP2-1	ガスヒートポンプエアコン 室内ユニット	天井吊形 5馬力	1	14.0	16.0	1・200・50		0.084~0.253	0.084~0.253			シロッコファン	ワイヤードリモン、器具ガード、取付ブラケット 参考：S-G140TS1
GHP2-2	ガスヒートポンプエアコン 室内ユニット	天井吊形 5馬力	1	14.0	16.0	1・200・50		0.084~0.253	0.084~0.253			シロッコファン	ワイヤードリモン、器具ガード、取付ブラケット 参考：S-G140TS1
GHP2-3	ガスヒートポンプエアコン 室内ユニット	天井吊形 5馬力	1	14.0	16.0	1・200・50		0.084~0.253	0.084~0.253			シロッコファン	ワイヤードリモン、器具ガード、取付ブラケット 参考：S-G140TS1
GHP2-4	ガスヒートポンプエアコン 室内ユニット	天井吊形 5馬力	1	14.0	16.0	1・200・50		0.084~0.253	0.084~0.253			シロッコファン	ワイヤードリモン、器具ガード、取付ブラケット 参考：S-G140TS1

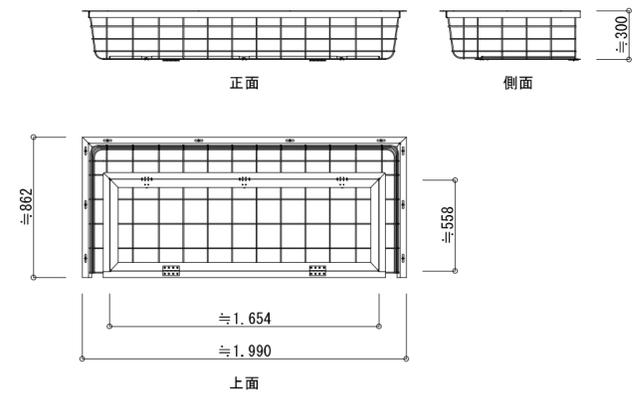
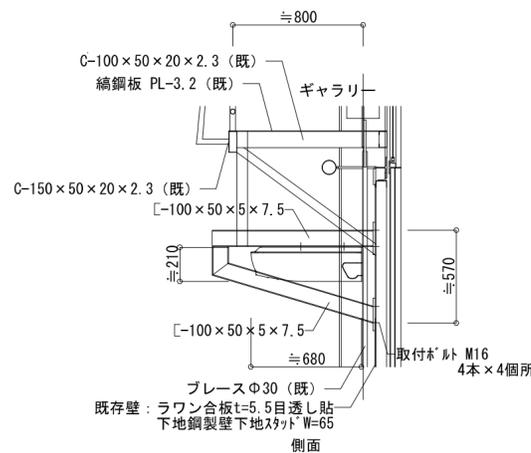
※特記事項  
 1、新設高天井用LED照明器具は常時使用可能とし、停電時に発電機回路に切り替わり使用出来るものとする。  
 2、新設コンセントは常時使用可能とし、停電時に発電機回路に切り替わり使用出来るものとする。

※発電能力、消費電力、ガス消費量は参考数値とする。



室内機取付図 S=1/30

防球ガード取付用ブラケット (参考図)



防球ガード姿図 S=1/30

(参考図)

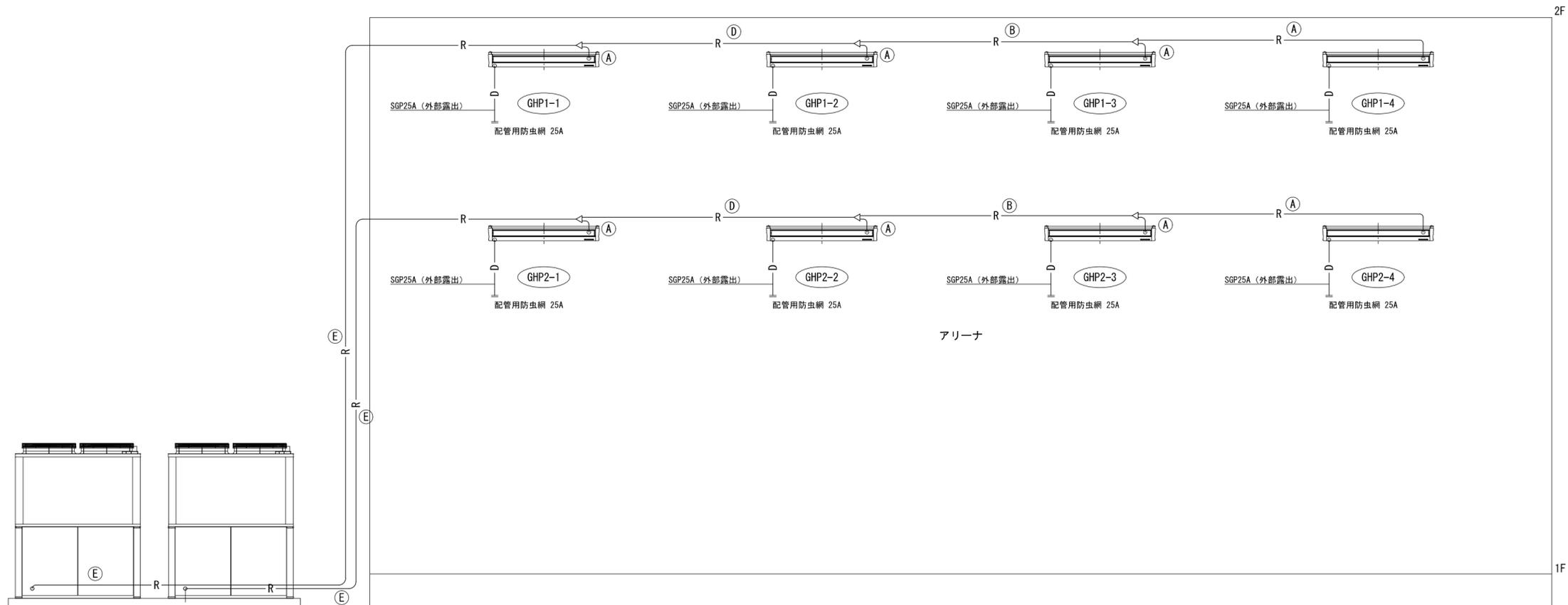
摘要

**ハナガタ建築設計事務所**  
 一級建築士事務所 一級建築士NO.183598号 菅谷 隆

設計年月日	2021/11/15	承認	担当	製図
変更年月日		N.S	T.S	T.S

工事名称	市立小・中学校屋内運動場空調設備設置工事 その1 (ゼロ債務)
図面名称	機械設備 機器表・室内機取付図
縮尺	S=1/30

図面番号	M-4
------	-----



GHP-1      GHP-2  
 ※室外機据付用アンカーボルト  
 M12×4本 2組

系 統 図

- 凡 例
- R — 冷媒配管 冷媒用被覆銅管
  - D — ドレン配管 炭素鋼鋼管 SGP
  - Ⓡ リモコン収納箱

冷媒配管一覧		
符号	冷媒配管	室内外操作線
A	Φ15.88/Φ9.52	EM-CEE 2.0 <sup>□</sup> -2C ※冷媒配管に共巻き
B	Φ22.22/Φ9.52	
C	Φ25.4/Φ12.7	
D	Φ28.58/Φ12.7	
E	Φ28.58/Φ15.88	

勝瀬小学校

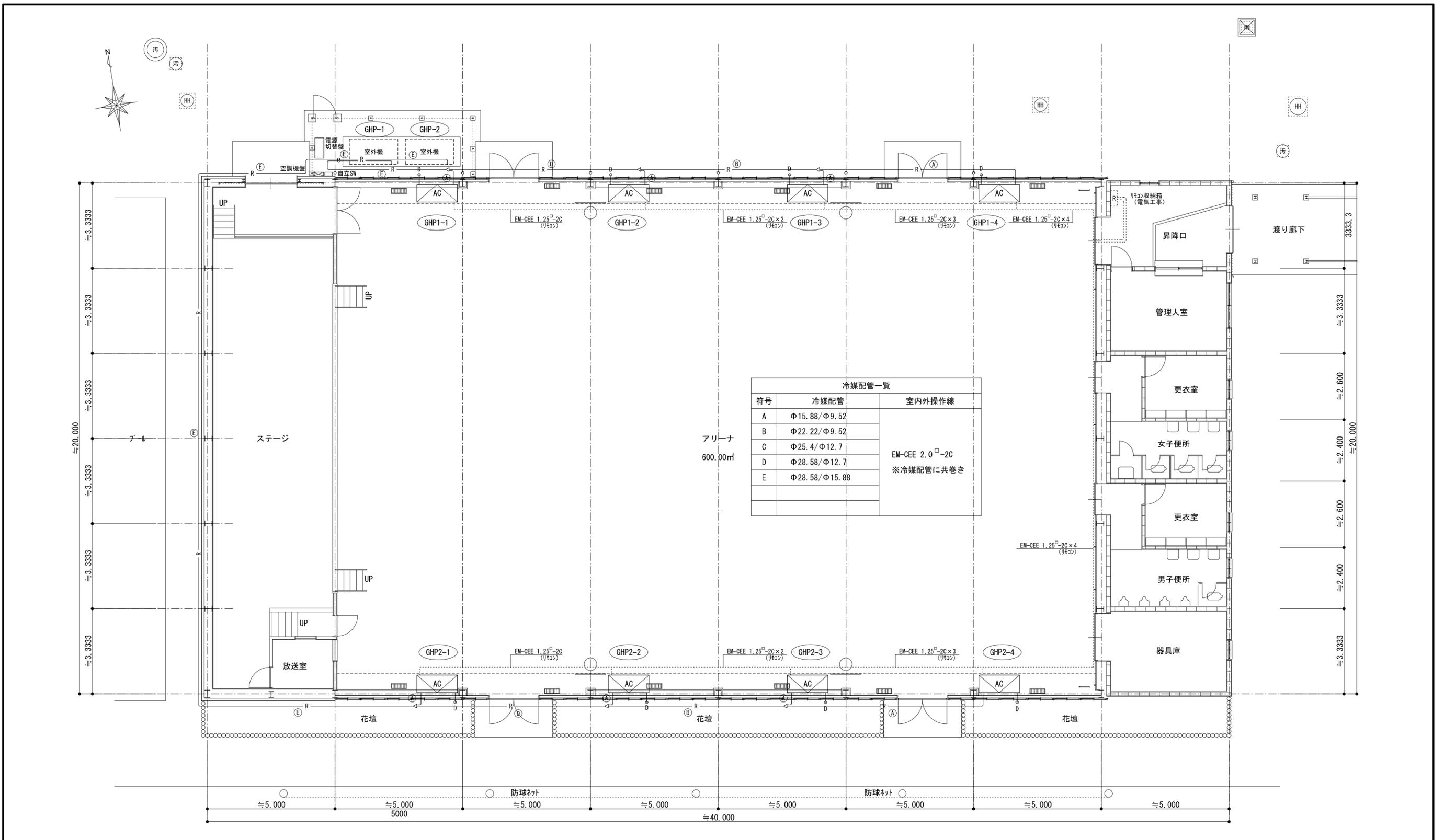
摘要

**ハナガタ建築設計事務所**  
 一級建築士事務所      一級建築士no.183598号 菅谷 隆

設計年月日	2021/11/15	承認	担当	製図
変更年月日		N.S	T.S	T.S

工事名称	市立小・中学校屋内運動場空調設備設置工事 その1 (ゼロ債務)	
図面名称	機械設備 系統図	縮尺

図面番号  
**M-5**



冷媒配管一覧

符号	冷媒配管	室内外操作線
A	Φ15.88/Φ9.52	EM-CEE 2.0 <sup>2</sup> -2C ※冷媒配管に共巻き
B	Φ22.22/Φ9.52	
C	Φ25.4/Φ12.7	
D	Φ28.58/Φ12.7	
E	Φ28.58/Φ15.88	

1階平面図 S=1/100

- 凡例
- R 冷媒配管 冷媒用被覆銅管
  - D トレーン配管 炭素鋼銅管 SGP
  - リコン収納箱

摘要

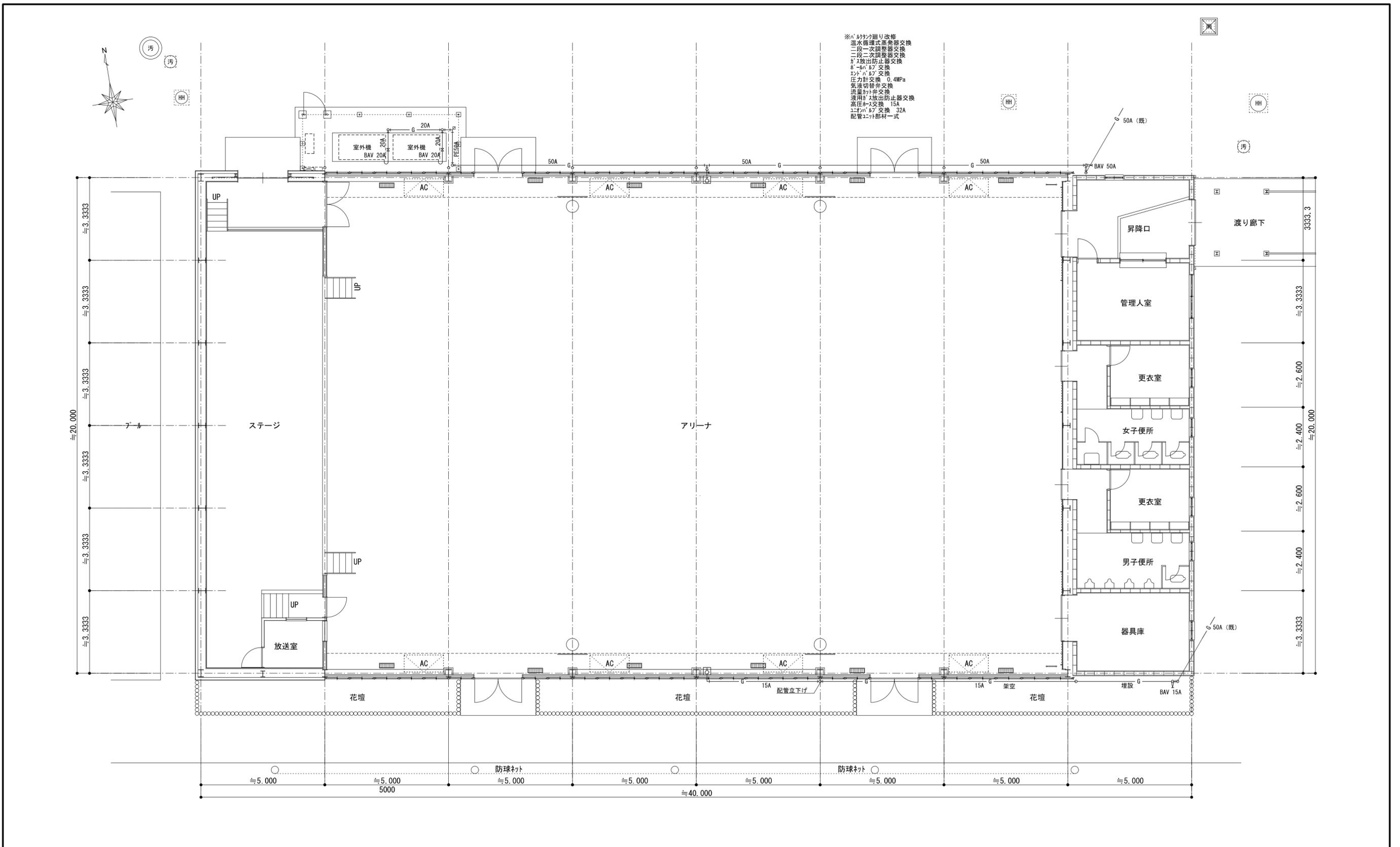
**ハナガタ建築設計事務所**  
 一級建築士事務所 一級建築士 No. 183598号 菅谷 隆

設計年月日 2021.11.15  
 変更年月日

承認 担当 製図  
 N.S T.S T.S

工事名称 市立小・中学校屋内運動場空調設備設置工事 その1 (ゼロ債務)  
 図面名称 機械設備 (空調) 1階平面図  
 縮尺 S=1/100

図面番号 M-6



1 階 平 面 図 S=1/100

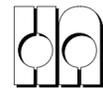
- 凡 例
- G — ホリフレイン被覆鋼管
  - ⊠ ガスコンセント (壁ケース型)

摘要	 <b>ハナガタ建築設計事務所</b> 一級建築士事務所 一級建築士 No. 183598号 菅谷 隆	設計年月日	2021. 11. 15	承認	担当	製図	工事名称	市立小・中学校屋内運動場空調設備設置工事 その1 (ゼロ債務)	図面番号	M-7
		変更年月日		N.S	T.S	T.S	図面名称	機械設備 (ガス) 1階平面図	縮尺	

勝瀬小学校

# 市立小・中学校屋内運動場空調設備設置工事 その1(ゼロ債務)

【市立富士見台中学校】



**ハナガタ建築設計事務所**





5 アルミニウム製建具	性能値等 耐風圧性、気密性及び水密性の等級、枠の見込み寸法 外部に面する建具の種類 ・A種 ・B種 ・C種 (適用する建具 ※建具表による) 上記以外の建具 (※建具表による) ・図示 防音ドア、防音サッシとする場合 遮音性の等級 ( ) (適用する建具 ※建具表による) 断熱ドア、断熱サッシ ☑ とする場合 断熱性の等級 ( ) (適用する建具 ※建具表による) 耐震ドアとする場合 面内変形追随性の等級 ( ) (適用する建具 ※建具表による)	11 建具用金物	・ふすま 張りの種別 ( ・I型 ・II型) 上張り (押入等の裏側以外) ・鳥の子 上張り (押入等の裏側以外) ・鳥の子 縁仕上げ ・塗り縁 ・生地縁 (染地) 見込み寸法 ※19.5mm ・建具表による	[5. 7. 1~3]
	戸ふすま 見込み寸法 ※30mm ・建具表による ・紙張り障子 見込み寸法 ※30mm ・建具表による 枠及びつすりの材料 ・建具表による 金物の種類及び見え掛り部の材質等 ※[表5. 7. 1]及び適用は建具表による 金属製建具に使用する丁寧の枚数及び大きさ ※[表5. 7. 2]による ・建具表による 樹脂製建具に使用する丁寧の枚数及び大きさ ※[表5. 7. 3]による ・建具表による 握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセント等の取付位置 ・建具表による ・図示 木製建具に使用する戸車及びレール ※標準仕様書 表16. 8. 5による ・建具表による			
6 樹脂製建具	性能値等 耐風圧性、気密性及び水密性の等級、枠の見込み寸法 外部に面する建具の種類 ・A種 ・B種 ・C種 (適用する建具 ※建具表による) 上記以外の建具 (※建具表による) ・図示 防音ドア、防音サッシとする場合の遮音性の等級 外部に面する建具の種類 ・H種 ・I種 (適用する建具 ※建具表による) 上記以外の建具 (※建具表による) ・図示 断熱ドア、断熱サッシ ☑ とする場合の断熱性の等級 外部に面する建具の種類 ・H-A種 ・H-B種 ・H-C種 (適用する建具 ※建具表による) 上記以外の建具 (※建具表による) ・図示	12 錠	マスターキー ・製作する( ・新規 ・既存マスター合わせ) ・製作しない その他の錠 ※各型3本1組 ・有 錠箱 ・無	[5. 7. 4]
	表面処理 外部に面する建具 種別 ・BB-1種 ・BB-2種 着色 ・標準色 ・特注色 屋内の建具 種別 ・BC-1種 ・BC-2種 着色 ・標準色 ・特注色 結露水の処理方法 ※図示 水切り板、ぜん板等 ※図示			
7 鋼製建具	性能値等 耐風圧性、気密性及び水密性の等級、枠の見込み寸法 外部に面する建具の種類 ・A種 ・B種 ・C種 (適用する建具 ※建具表による) 上記以外の建具 (※建具表による) ・図示 防音ドア、防音サッシとする場合の遮音性の等級 外部に面する建具の種類 ・H-A種 ・H-B種 ・H-C種 (適用する建具 ※建具表による) 上記以外の建具 (※建具表による) ・図示	13 自動ドア開閉装置	引き戸用駆動装置及び検出装置の種類	[5. 8. 2, 3]
	ガラス 水切り板、ぜん板等 ※標準ガラス 表面色 ・標準色 ・特注色			
8 鋼製軽量建具	性能値等 簡易気密型ドアセットの気密性及び水密性の等級 ・適用する (※建具表による) ・適用しない 外部に面する鋼製建具の耐風圧性の等級 ・S-4 ・S-5 ・S-6 (適用する建具 ※建具表による) 防音ドア、防音サッシとする場合 遮音性の等級 ( ) (適用する建具 ※建具表による) 断熱ドア、断熱サッシ ☑ とする場合 断熱性の等級 ( ) (適用する建具 ※建具表による) 耐震ドアとする場合 面内変形追随性の等級 ( ) (適用する建具 ※建具表による)	14 内閉式上吊り戸装置	多機能トイレ出入口に設置される引き戸 出入口引き戸用駆動装置の性能値 ※[表5. 8. 2]による (防錆の適用 ・する ※しない) 上記によらない場合 ( ) 検出装置(センサー)の種類 ・建具表による ・上記表と同じ 凍結防止措置 ・行う (適用箇所は建具表による) ・行わない	[5. 9. 3]
	鋼板類 ※重めつき鋼板 ・ビニル被覆鋼板 ・鋼板類 ・スチール鋼板 召合せ、縦小口包み等の材質 ※図板 ・建具表による			
9 ステンレス製建具	性能値等 簡易気密型ドアセットの気密性及び水密性の等級 ・適用する (※建具表による) ・適用しない 外部に面するステンレス製建具の耐風圧性の等級 ・S-4 ・S-5 ・S-6 (適用する建具 ※建具表による) 防音ドア、防音サッシとする場合 遮音性の等級 ( ) (適用する建具 ※建具表による) 断熱ドア、断熱サッシ ☑ とする場合 断熱性の等級 ( ) (適用する建具 ※建具表による) 耐震ドアとする場合 面内変形追随性の等級 ( ) (適用する建具 ※建具表による)	15 重量シャッター	引き戸検出装置の性能値 ※[表5. 8. 3]による ・上記によらない場合 ( ) 戸の開閉方式 ※建具表による ・図示	[5. 10. 2, 3]
	鋼板類 ※重めつき鋼板 ・ビニル被覆鋼板 ・鋼板類 ・スチール鋼板 召合せ、縦小口包み等の材質 ※図板 ・建具表による			
10 木製建具	性能値等 耐風圧性、気密性及び水密性の等級、枠の見込み寸法 外部に面する建具の種類 ・A種 ・B種 ・C種 (適用する建具 ※建具表による) 上記以外の建具 (※建具表による) ・図示 防音ドア、防音サッシとする場合 遮音性の等級 ( ) (適用する建具 ※建具表による) 断熱ドア、断熱サッシ ☑ とする場合 断熱性の等級 ( ) (適用する建具 ※建具表による) 耐震ドアとする場合 面内変形追随性の等級 ( ) (適用する建具 ※建具表による)	16 軽量シャッター	シャッターの種類	[5. 11. 2~4]
	鋼板類 ※SUS304、SUS430J1又はSUS443J1 表面仕上げ ※H L ・鏡面仕上げ ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ			
11 ガラス	性能値等 耐風圧性、気密性及び水密性の等級、枠の見込み寸法 外部に面する建具の種類 ・A種 ・B種 ・C種 (適用する建具 ※建具表による) 上記以外の建具 (※建具表による) ・図示 防音ドア、防音サッシとする場合 遮音性の等級 ( ) (適用する建具 ※建具表による) 断熱ドア、断熱サッシ ☑ とする場合 断熱性の等級 ( ) (適用する建具 ※建具表による) 耐震ドアとする場合 面内変形追随性の等級 ( ) (適用する建具 ※建具表による)	17 オーバーヘッドドア	開閉形式の種類 ・上部電動式 (手動併用) ※手動式 耐風圧強度 ( ) N/m <sup>2</sup> 材料 スラットの材質 種類及びめつきの付着量 ・JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) めつき付着量 (※Z06又はF06) ・JIS G 3322 (塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯) めつき付着量 (※Z30) スラットの形状 ・インターロック型形 ・オーバーラッピング形	[5. 12. 2, 3]
	鋼板類 ※SUS304、SUS430J1又はSUS443J1 表面仕上げ ※H L ・鏡面仕上げ ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ			
12 ガラス	性能値等 耐風圧性、気密性及び水密性の等級、枠の見込み寸法 外部に面する建具の種類 ・A種 ・B種 ・C種 (適用する建具 ※建具表による) 上記以外の建具 (※建具表による) ・図示 防音ドア、防音サッシとする場合 遮音性の等級 ( ) (適用する建具 ※建具表による) 断熱ドア、断熱サッシ ☑ とする場合 断熱性の等級 ( ) (適用する建具 ※建具表による) 耐震ドアとする場合 面内変形追随性の等級 ( ) (適用する建具 ※建具表による)	18 ガラス	セクション材料 による区分 耐風圧 区分 (Pa) 開閉方式 による区分 収納形式 による区分 ガイドレール の材質 ※スチールタイプ ・125 ※バランスタイプ ・スタンダード形 ※溶融亜鉛 ・アルミニウムタイプ ・100 ・チェーン式 ・ローヘッド形 めつき鋼板 ・ファイバーグラスタイプ ・75 ・電動式 ・ハイリフト形 ・ステンレス鋼板 ・バーチカル形	[3. 7] [5. 13. 2~4]
	鋼板類 ※SUS304、SUS430J1又はSUS443J1 表面仕上げ ※H L ・鏡面仕上げ ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ			

19 ガラスブロック	性能値 耐電圧、遮熱性、防錆 耐久性(サイクル) ・SSLD-1 ※[表5. 8. 1]による ・SSLD-2 ※適用しない ・DSDL-1 ・DSDL-2	検出装置(センサー)の種類 ・マットスイッチ ・光線(反射)スイッチ ・熱線スイッチ ・音波スイッチ ・光電スイッチ ・電波スイッチ ・タッチスイッチ ・押しボタンスイッチ ・ペダルスイッチ ・多機能トイレスイッチ	凍結防止措置 ・行う (適用箇所は建具表による) ・行わない	[5. 13. 5]
	表面形状 呼び寸法 厚さ 色調 目地幅(mm) 伸縮調整 目地(mm) 防火性能 ・正方形 ・125×125 80 ・ ※⑥~⑮ 外側 ※15以下 ※⑥以下ごと ※無し ・160×160 95 ・ ※15~25 内側 ※10~25 ・有り ・200×200 95 ・ ・ ・125 ・ ・ ・320×320 95 ・ ・ ・250×125 80 ・ ・ ・320×160 95 ・ ・			
20 ガラス用フィルム	性能値 耐電圧、遮熱性、防錆 耐久性(サイクル) ・SSLD-1 ※[表5. 8. 1]による ・SSLD-2 ※適用しない ・DSDL-1 ・DSDL-2	多機能トイレ出入口に設置される引き戸 出入口引き戸用駆動装置の性能値 ※[表5. 8. 2]による (防錆の適用 ・する ※しない) 上記によらない場合 ( ) 検出装置(センサー)の種類 ・建具表による ・上記表と同じ 凍結防止措置 ・行う (適用箇所は建具表による) ・行わない	引き戸検出装置の性能値 ※[表5. 8. 3]による ・上記によらない場合 ( ) 戸の開閉方式 ※建具表による ・図示	[5. 9. 3]
	鋼板類 ※SUS304、SUS430J1又はSUS443J1 表面仕上げ ※H L ・鏡面仕上げ ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ			

19 ガラスブロック	性能値 耐電圧、遮熱性、防錆 耐久性(サイクル) ・SSLD-1 ※[表5. 8. 1]による ・SSLD-2 ※適用しない ・DSDL-1 ・DSDL-2	検出装置(センサー)の種類 ・マットスイッチ ・光線(反射)スイッチ ・熱線スイッチ ・音波スイッチ ・光電スイッチ ・電波スイッチ ・タッチスイッチ ・押しボタンスイッチ ・ペダルスイッチ ・多機能トイレスイッチ	凍結防止措置 ・行う (適用箇所は建具表による) ・行わない	[5. 13. 5]
	表面形状 呼び寸法 厚さ 色調 目地幅(mm) 伸縮調整 目地(mm) 防火性能 ・正方形 ・125×125 80 ・ ※⑥~⑮ 外側 ※15以下 ※⑥以下ごと ※無し ・160×160 95 ・ ※15~25 内側 ※10~25 ・有り ・200×200 95 ・ ・ ・125 ・ ・ ・320×320 95 ・ ・ ・250×125 80 ・ ・ ・320×160 95 ・ ・			
20 ガラス用フィルム	性能値 耐電圧、遮熱性、防錆 耐久性(サイクル) ・SSLD-1 ※[表5. 8. 1]による ・SSLD-2 ※適用しない ・DSDL-1 ・DSDL-2	多機能トイレ出入口に設置される引き戸 出入口引き戸用駆動装置の性能値 ※[表5. 8. 2]による (防錆の適用 ・する ※しない) 上記によらない場合 ( ) 検出装置(センサー)の種類 ・建具表による ・上記表と同じ 凍結防止措置 ・行う (適用箇所は建具表による) ・行わない	引き戸検出装置の性能値 ※[表5. 8. 3]による ・上記によらない場合 ( ) 戸の開閉方式 ※建具表による ・図示	[5. 9. 3]
	鋼板類 ※SUS304、SUS430J1又はSUS443J1 表面仕上げ ※H L ・鏡面仕上げ ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ			

6 造作用集材	性能値等 耐風圧性、気密性及び水密性の等級、枠の見込み寸法 外部に面する建具の種類 ・A種 ・B種 ・C種 (適用する建具 ※建具表による) 上記以外の建具 (※建具表による) ・図示 防音ドア、防音サッシとする場合の遮音性の等級 外部に面する建具の種類 ・H-A種 ・H-B種 ・H-C種 (適用する建具 ※建具表による) 上記以外の建具 (※建具表による) ・図示	12 錠	マスターキー ・製作する( ・新規 ・既存マスター合わせ) ・製作しない その他の錠 ※各型3本1組 ・有 錠箱 ・無	[5. 7. 4]
	鋼板類 ※重めつき鋼板 ・ビニル被覆鋼板 ・鋼板類 ・スチール鋼板 召合せ、縦小口包み等の材質 ※図板 ・建具表による			
7 造作用単板積層材	性能値等 耐風圧性、気密性及び水密性の等級、枠の見込み寸法 外部に面する建具の種類 ・A種 ・B種 ・C種 (適用する建具 ※建具表による) 上記以外の建具 (※建具表による) ・図示 防音ドア、防音サッシとする場合の遮音性の等級 外部に面する建具の種類 ・H-A種 ・H-B種 ・H-C種 (適用する建具 ※建具表による) 上記以外の建具 (※建具表による) ・図示	13 自動ドア開閉装置	引き戸用駆動装置及び検出装置の種類	[5. 8. 2, 3]
	鋼板類 ※重めつき鋼板 ・ビニル被覆鋼板 ・鋼板類 ・スチール鋼板 召合せ、縦小口包み等の材質 ※図板 ・建具表による			
8 造作用単板積層材	性能値等 耐風圧性、気密性及び水密性の等級、枠の見込み寸法 外部に面する建具の種類 ・A種 ・B種 ・C種 (適用する建具 ※建具表による) 上記以外の建具 (※建具表による) ・図示 防音ドア、防音サッシとする場合の遮音性の等級 外部に面する建具の種類 ・H-A種 ・H-B種 ・H-C種 (適用する建具 ※建具表による) 上記以外の建具 (※建具表による) ・図示	14 内閉式上吊り戸装置	多機能トイレ出入口に設置される引き戸 出入口引き戸用駆動装置の性能値 ※[表5. 8. 2]による (防錆の適用 ・する ※しない) 上記によらない場合 ( ) 検出装置(センサー)の種類 ・建具表による ・上記表と同じ 凍結防止措置 ・行う (適用箇所は建具表による) ・行わない	[5. 9. 3]
	鋼板類 ※重めつき鋼板 ・ビニル被覆鋼板 ・鋼板類 ・スチール鋼板 召合せ、縦小口包み等の材質 ※図板 ・建具表による			
9 造作用単板積層材	性能値等 耐風圧性、気密性及び水密性の等級、枠の見込み寸法 外部に面する建具の種類 ・A種 ・B種 ・C種 (適用する建具 ※建具表による) 上記以外の建具 (※建具表による) ・図示 防音ドア、防音サッシとする場合の遮音性の等級 外部に面する建具の種類 ・H-A種 ・H-B種 ・H-C種 (適用する建具 ※建具表による) 上記以外の建具 (※建具表による) ・図示	15 重量シャッター	シャッターの種類	[5. 10. 2, 3]
	鋼板類 ※重めつき鋼板 ・ビニル被覆鋼板 ・鋼板類 ・スチール鋼板 召合せ、縦小口包み等の材質 ※図板 ・建具表による			
10 造作用単板積層材	性能値等 耐風圧性、気密性及び水密性の等級、枠の見込み寸法 外部に面する建具の種類 ・A種 ・B種 ・C種 (適用する建具 ※建具表による) 上記以外の建具 (※建具表による) ・図示 防音ドア、防音サッシとする場合の遮音性の等級 外部に面する建具の種類 ・H-A種 ・H-B種 ・H-C種 (適用する建具 ※建具表による) 上記以外の建具 (※建具表による) ・図示	16 軽量シャッター	開閉形式の種類 ・上部電動式 (手動併用) ※手動式 耐風圧強度 ( ) N/m <sup>2</sup> 材料 スラットの材質 種類及びめつきの付着量 ・JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) めつき付着量 (※Z06又はF06) ・JIS G 3322 (塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯) めつき付着量 (※Z30) スラットの形状 ・インターロック型形 ・オーバーラッピング形	[5. 11. 2~4]
	鋼板類 ※SUS304、SUS430J1又はSUS443J1 表面仕上げ ※H L ・鏡面仕上げ ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ			
11 造作用単板積層材	性能値等 耐風圧性、気密性及び水密性の等級、枠の見込み寸法 外部に面する建具の種類 ・A種 ・B種 ・C種 (適用する建具 ※建具表による) 上記以外の建具 (※建具表による) ・図示 防音ドア、防音サッシとする場合の遮音性の等級 外部に面する建具の種類 ・H-A種 ・H-B種 ・H-C種 (適用する建具 ※建具表による) 上記以外の建具 (※建具表による) ・図示	17 オーバーヘッドドア	開閉形式の種類 ・上部電動式 (手動併用) ※手動式 耐風圧強度 ( ) N/m <sup>2</sup> 材料 スラットの材質 種類及びめつきの付着量 ・JIS G 3312 (塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) めつき付着量 (※Z06又はF06) ・JIS G 3322 (塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯) めつき付着量 (※Z30) スラットの形状 ・インターロック型形 ・オーバーラッピング形	[5. 12. 2, 3]
	鋼板類 ※SUS304、SUS430J1又はSUS443J1 表面仕上げ ※H L ・鏡面仕上げ ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ			
12 造作用単板積層材	性能値等 耐風圧性、気密性及び水密性の等級、枠の見込み寸法 外部に面する建具の種類 ・A種 ・B種 ・C種 (適用する建具 ※建具表による) 上記以外の建具 (※建具表による) ・図示 防音ドア、防音サッシとする場合の遮音性の等級 外部に面する建具の種類 ・H-A種 ・H-B種 ・H-C種 (適用する建具 ※建具表による) 上記以外の建具 (※建具表による) ・図示	18 ガラス	セクション材料 による区分 耐風圧 区分 (Pa) 開閉方式 による区分 収納形式 による区分 ガイドレール の材質 ※スチールタイプ ・125 ※バランスタイプ ・スタンダード形 ※溶融亜鉛 ・アルミニウムタイプ ・100 ・チェーン式 ・ローヘッド形 めつき鋼板 ・ファイバーグラスタイプ ・75 ・電動式 ・ハイリフト形 ・ステンレス鋼板 ・バーチカル形	[3. 7] [5. 13. 2~4]
	鋼板類 ※SUS304、SUS430J1又はSUS443J1 表面仕上げ ※H L ・鏡面仕上げ ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ			

概要	

# ハナガタ建築設計事務所

一級建築士事務所      一級建築士NO.183598号   菅谷 隆

設計年月日	2021/11/15	承認	担当	製図
変更年月日		N.S	T.S	T.S

工事名称	市立小・中学校屋内運動場空調設備設置工事 その1 (ゼロ債務)	図面番号	図面番号
図面名称	改修建築工事 特記仕様書 (3)	縮尺	A-3

Table with 2 columns: Item Name (e.g., 9 接合具等, 10 防蟻・防蟻・防虫処理) and Description/Requirements. Includes details on construction methods, materials, and safety standards.

Table with 2 columns: Item Name (e.g., 19 カーペット敷き, 20 合成樹脂塗床) and Description/Requirements. Details specifications for flooring and coatings, including material types and installation methods.

Table with 2 columns: Item Name (e.g., 24 壁紙張り, 25 モルタル塗り) and Description/Requirements. Covers wall papering and plastering specifications, including material grades and application techniques.

Table with 2 columns: Item Name (e.g., 28 フリーアクセスフロア, 29 可動間仕切) and Description/Requirements. Details requirements for floor access, movable partitions, and other specialized interior finishes.

Summary table with 2 columns: Item Name (e.g., 9 接合具等) and a brief description of the item.

Project logo and contact information for HANAGATA ARCHITECTURAL DESIGN OFFICE, including address and phone number.

Project metadata table including Design Date (2021/11/15), Designer (N.S.), and Project Name (市立小・中学校屋内運動場空調設備設置工事).

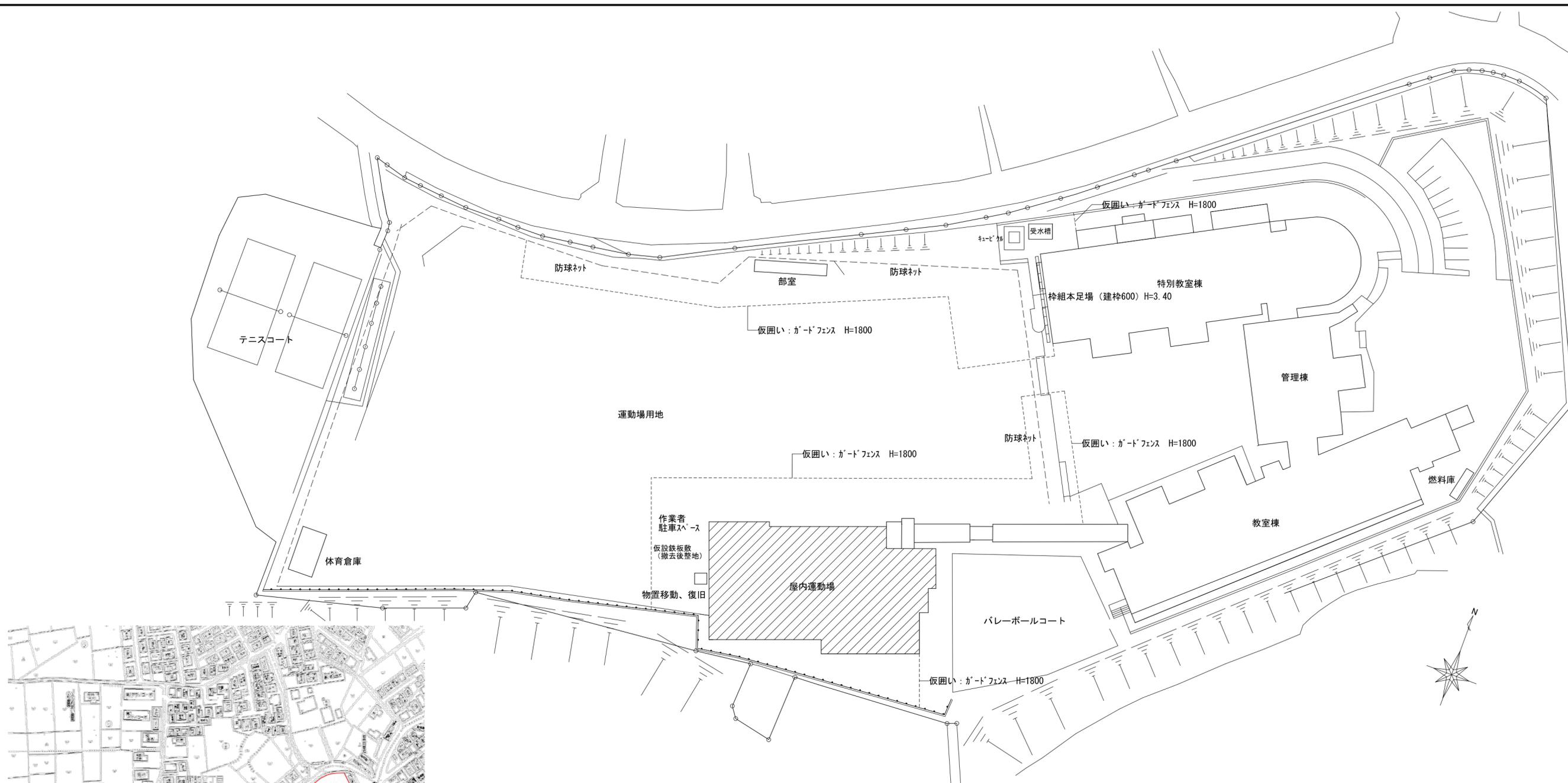
Project metadata table including Drawing Name (改修建築工事 特記仕様書 (4)), Scale (縮尺), and Drawing Number (A-4).



11	① コンクリートの種類等	類別 (6.2.1) ※Ⅰ類 (JIS A 5308 への適合を認証されたコンクリート) ・Ⅱ類 (JIS A 5308 に適合したコンクリート) 普通コンクリート (6.2.1~6.2.4)	14 無筋コンクリート (6.14.1)	コンクリートの種類 ※普通コンクリート セメントの種類 ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種 ・高炉セメントB種 [G] ・フライアッシュセメントB種 [G] 設計基準強度 ※18 (N/mm <sup>2</sup> ) スランプ ※15cm又は18cm 適用箇所 ※標準仕様書6.14.1(4)による箇所 ・図示による ( )																						
		設計基準強度 (N/mm <sup>2</sup> ) ・ 24 ・ 21 ・ 21 ・ ・ ・ 気乾単位容積 (t/m <sup>3</sup> ) ・ 2.3程度 ・ 2.3程度 ・ ・ ・ スランプ ・ 15又は18・18 ・ 18 ・ ・ 適用箇所 ・ 空調室外機基礎 ・ 土間		15 コンクリートの単位水量測定								実施要領 (1) 単位水量の測定は、150m <sup>2</sup> に1回以上及び荷下し時に品質の異常が認められた時に実施する。 (2) 単位水量の上限値は、標準仕様書6.3.2(f)(g)による。 (3) 単位水量の管理目標値は次の通りとして、施工する。 1) 測定した単位水量が、計画適合書の設計値(以下、「設計値」という。)±15kg/m <sup>3</sup> の範囲にある場合はそのまま施工する。 2) 測定した単位水量が、設計値±15を超え±20kg/m <sup>3</sup> の範囲にある場合は、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示し、その運搬車の生コンは打設する。その後、設計値±15kg/m <sup>3</sup> 以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 3) 設計値±20kg/m <sup>3</sup> を超える場合は、生コンを打込まずに持ち帰らせ、水量変動の原因を調査するとともに生コン製造者に改善を指示しなければならない。その後の全運搬車の測定を行い設計値±20kg/m <sup>3</sup> 以内であることを確認する。更に、設計値±15kg以内で安定するまで、運搬車の3台毎に1回、単位水量の測定を行う。 4) 3)の不合格生コンを確実に持ち帰ったことを確認する。 (4) 単位水量管理についての記録を計画(計画適合書、製造管理記録、打込み時の外気温、コンクリート温度等)と写真により提出する。 (5) 単位水量の測定方法は、高周波誘電加熱乾燥法(電子レンジ法)、17f-法又は静電容量測定法による。また、試験機関は該当コンクリート製造所以外の機関とする。														
		構造体強度補正値(S) ※標準仕様書 表6.3.2による 補正値 S = 3 (月日~月日、月日~月日) S = 6 (月日~月日、月日~月日)										種類 (6.3.1) ※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種 適用箇所 (※下記以外全て) ・ 普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210 に示された規定の他、水和熱が7日目で 352J/g以下、かつ28日目で 402J/g以下のものとする。 ・高炉セメントB種 [G] 適用箇所 (・IFLより下部(立上り部を含む)) ・ ・フライアッシュセメントB種 [G] 適用箇所(・)	アルカリシリカ反応性による区分 (6.3.1) ※A ・ B (コンクリート中のアルカリ総量が 3.0 kg/m <sup>3</sup> 以下)	① フェンス ② 門扉	材質 <input type="radio"/> スチール 種類 <input type="radio"/> メッシュフェンス 高さ <input type="radio"/> 500 材質 <input type="radio"/> スチール 種類 <input type="radio"/> メッシュフェンス 形状 <input type="radio"/> 片開き ・ 両開き 高さ <input type="radio"/> 500											
		2 セメント										③ 骨材 (6.3.1)	④ 混和材料 (6.3.1)	⑤ 打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継ぎ目地 (6.6.4)	⑥ 目地の寸法 (6.6.4)(6.8.1)(9.7.3)	⑦ ひび割れ誘発目地の位置、形状、寸法 (6.8.1)	⑧ 湿度養生 (6.7.2)	⑨ コンクリートの仕上り (6.2.5)(6.8.2)	⑩ 打増し厚さ(打放し仕上げ部) (6.8.1)	⑪ 型枠 (6.8.2)	⑫ せき板の材料及び厚さ (6.8.4)	⑬ 存置期間及び取外し (6.8.4)	⑭ 軽量コンクリート (6.10.1、2)	⑮ 寒中コンクリート (6.11.1、2)	⑯ 暑中コンクリート (6.12.2)	⑰ マスコンクリート (6.13.1、2)
		3 骨材										4 混和材料	5 打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継ぎ目地	6 目地の寸法	7 ひび割れ誘発目地の位置、形状、寸法	8 湿度養生	9 コンクリートの仕上り	10 打増し厚さ(打放し仕上げ部)	11 型枠	12 せき板の材料及び厚さ	13 存置期間及び取外し	14 軽量コンクリート	15 寒中コンクリート	16 暑中コンクリート	17 マスコンクリート	
		4 混和材料										5 打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継ぎ目地	6 目地の寸法	7 ひび割れ誘発目地の位置、形状、寸法	8 湿度養生	9 コンクリートの仕上り	10 打増し厚さ(打放し仕上げ部)	11 型枠	12 せき板の材料及び厚さ	13 存置期間及び取外し	14 軽量コンクリート	15 寒中コンクリート	16 暑中コンクリート	17 マスコンクリート		
		5 打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継ぎ目地										6 目地の寸法	7 ひび割れ誘発目地の位置、形状、寸法	8 湿度養生	9 コンクリートの仕上り	10 打増し厚さ(打放し仕上げ部)	11 型枠	12 せき板の材料及び厚さ	13 存置期間及び取外し	14 軽量コンクリート	15 寒中コンクリート	16 暑中コンクリート	17 マスコンクリート			
		6 目地の寸法										7 ひび割れ誘発目地の位置、形状、寸法	8 湿度養生	9 コンクリートの仕上り	10 打増し厚さ(打放し仕上げ部)	11 型枠	12 せき板の材料及び厚さ	13 存置期間及び取外し	14 軽量コンクリート	15 寒中コンクリート	16 暑中コンクリート	17 マスコンクリート				
		7 ひび割れ誘発目地の位置、形状、寸法										8 湿度養生	9 コンクリートの仕上り	10 打増し厚さ(打放し仕上げ部)	11 型枠	12 せき板の材料及び厚さ	13 存置期間及び取外し	14 軽量コンクリート	15 寒中コンクリート	16 暑中コンクリート	17 マスコンクリート					
		8 湿度養生										9 コンクリートの仕上り	10 打増し厚さ(打放し仕上げ部)	11 型枠	12 せき板の材料及び厚さ	13 存置期間及び取外し	14 軽量コンクリート	15 寒中コンクリート	16 暑中コンクリート	17 マスコンクリート						
		9 コンクリートの仕上り										10 打増し厚さ(打放し仕上げ部)	11 型枠	12 せき板の材料及び厚さ	13 存置期間及び取外し	14 軽量コンクリート	15 寒中コンクリート	16 暑中コンクリート	17 マスコンクリート							
10 打増し厚さ(打放し仕上げ部)	11 型枠	12 せき板の材料及び厚さ	13 存置期間及び取外し		14 軽量コンクリート	15 寒中コンクリート	16 暑中コンクリート	17 マスコンクリート																		
11 型枠	12 せき板の材料及び厚さ	13 存置期間及び取外し	14 軽量コンクリート	15 寒中コンクリート	16 暑中コンクリート	17 マスコンクリート																				
12 せき板の材料及び厚さ	13 存置期間及び取外し	14 軽量コンクリート	15 寒中コンクリート	16 暑中コンクリート	17 マスコンクリート																					
13 存置期間及び取外し	14 軽量コンクリート	15 寒中コンクリート	16 暑中コンクリート	17 マスコンクリート																						
14 軽量コンクリート	15 寒中コンクリート	16 暑中コンクリート	17 マスコンクリート																							
15 寒中コンクリート	16 暑中コンクリート	17 マスコンクリート																								
16 暑中コンクリート	17 マスコンクリート																									
17 マスコンクリート																										

摘要

設計年月日	2021/11/15	承認	担当	製図	工事名称 市立小・中学校屋内運動場空調設備設置工事 その1 (ゼロ債務) 図面名称 改修建築工事 特記仕様書 (6)	縮尺 A-6	図面番号 A-6
変更年月日		N.S	T.S	T.S			



案内図

配置図 S=1/600

※ガードフェンス・仮設鉄板敷は、施設・施設関係者と協議の上決定する。

富士見台中学校

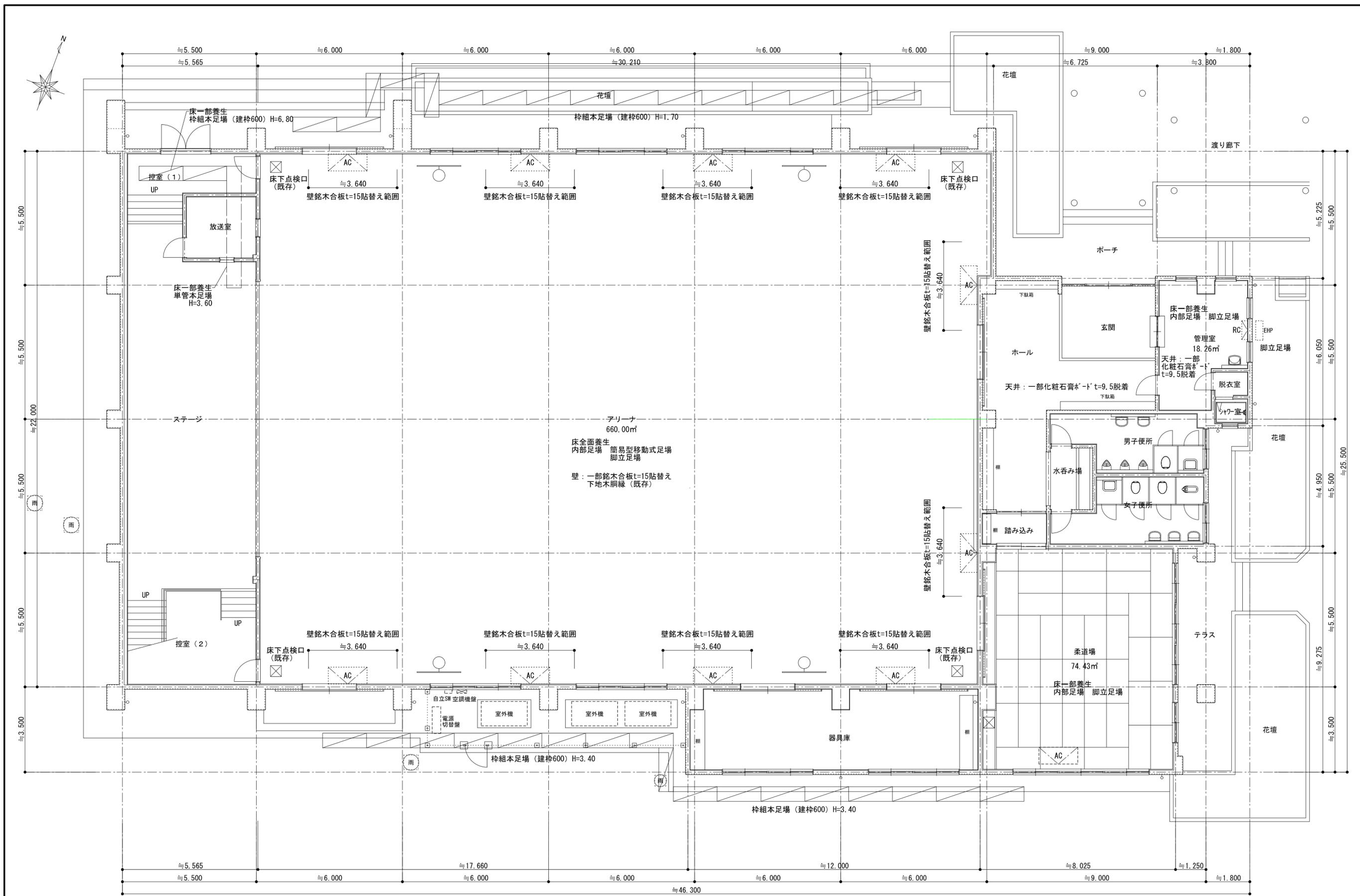
摘要

**ハナガタ建築設計事務所**  
 一級建築士事務所 一級建築士no.183598号 菅谷 隆

設計年月日	2021/11/15	承認	担当	製図
変更年月日		N.S	T.S	T.S

工事名称	市立小・中学校屋内運動場空調設備設置工事 その1 (ゼロ債務)
図面名称	配置図・案内図
縮尺	S=1/600

図面番号	A-7 /
------	-------



富士見台中学校

摘要	

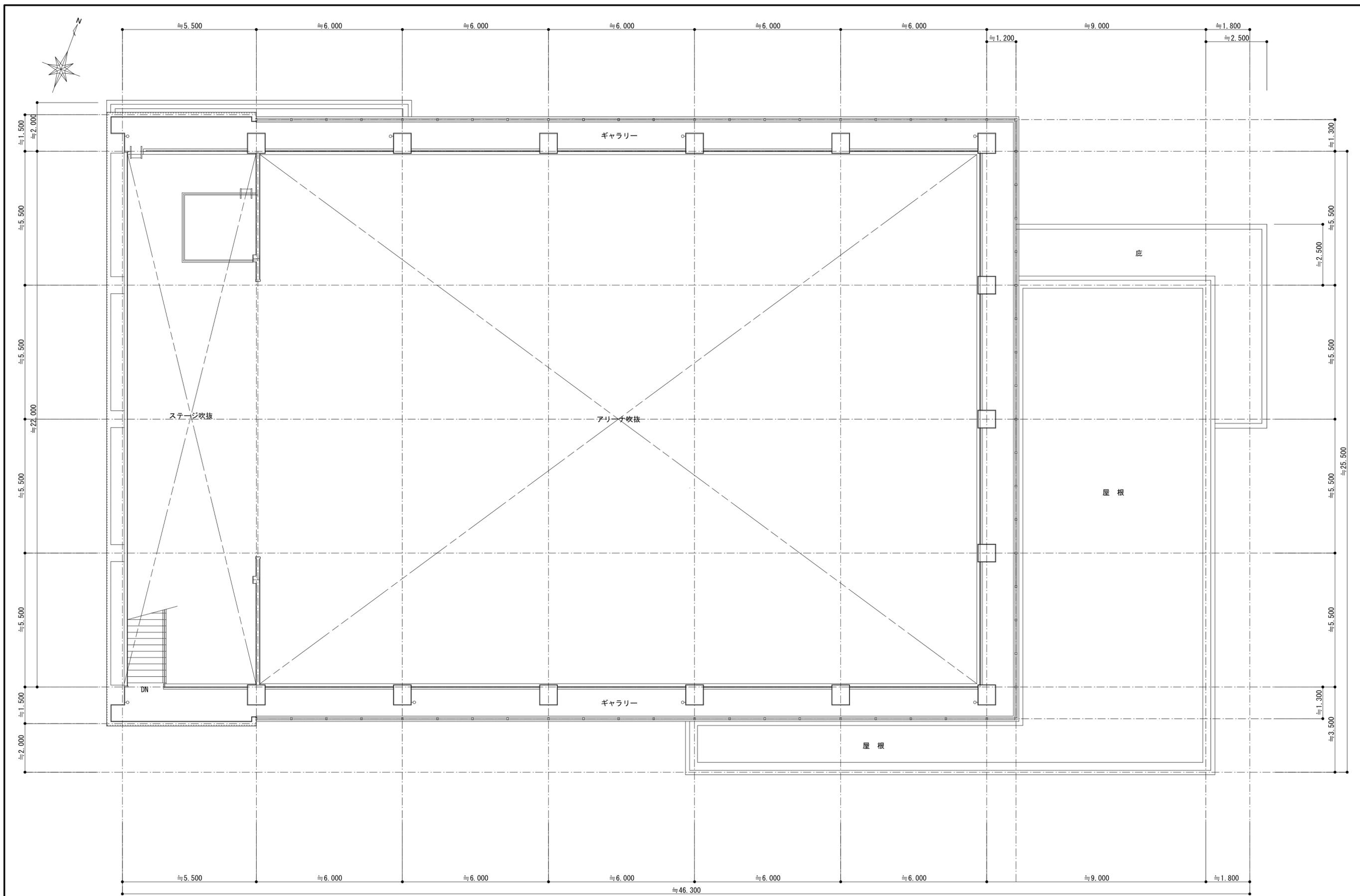
**ハナガタ建築設計事務所**  
 一級建築士事務所 一級建築士 No. 183598号 菅谷 隆

設計年月日	2021.11.15
変更年月日	

承認	担当	製図
N.S	T.S	T.S

工事名称	市立小・中学校屋内運動場空調設備設置工事 その1 (ゼロ債務)
図面名称	1階平面図
縮尺	S=1/100

図面番号	A-8
------	-----



2階平面図 S=1/100

富士見台中学校

摘要



**ハナガタ建築設計事務所**

一級建築士事務所

一級建築士No.183598号 菅谷 隆

設計年月日 2021.11.15

変更年月日

承認	担当	製図
N.S	T.S	T.S

工事名称  
市立小・中学校屋内運動場空調設備設置工事 その1 (ゼロ債務)

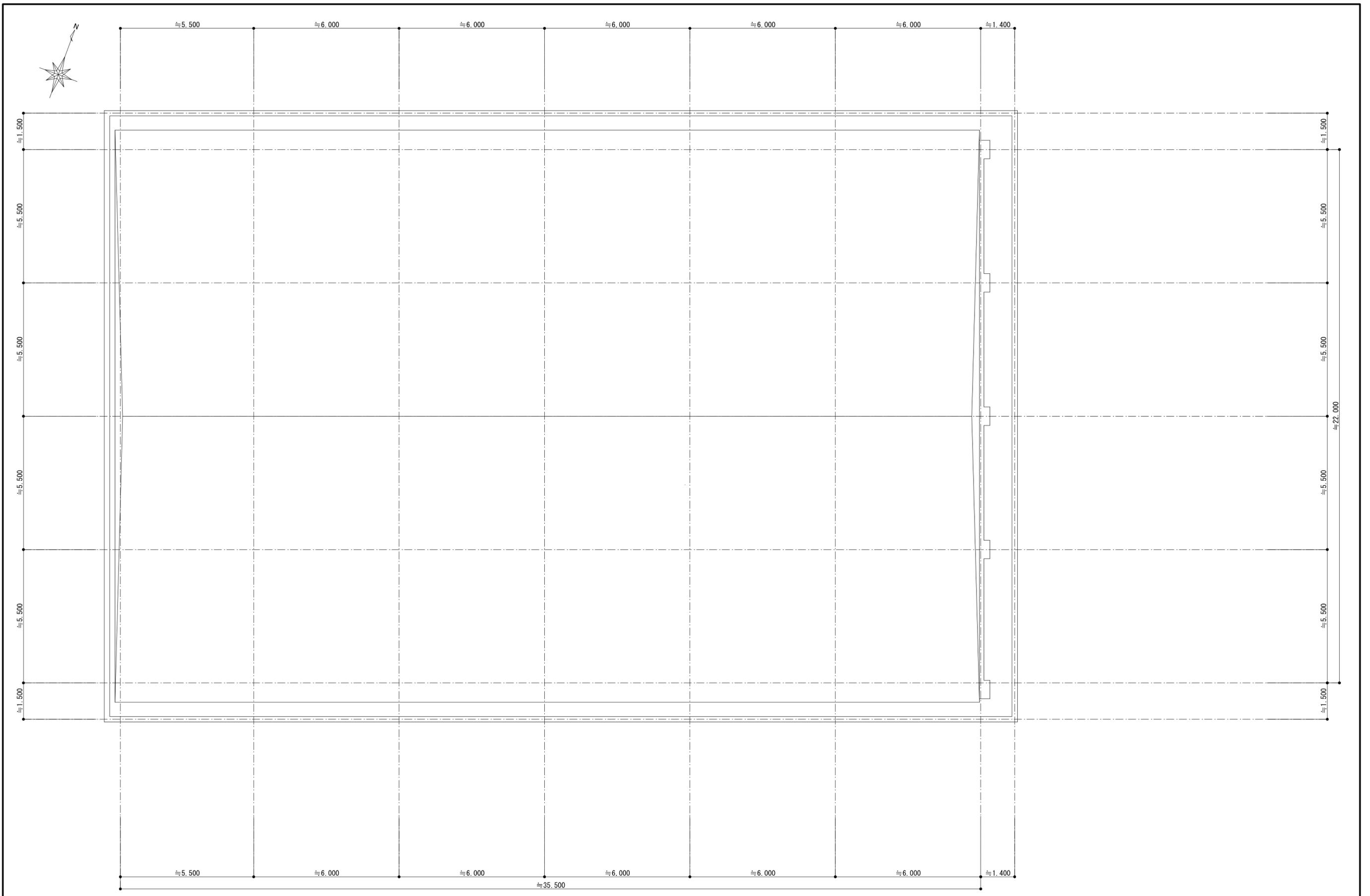
図面名称

2階平面図

縮尺  
S=1/100

図面番号

A-9



屋根平面図 S=1/100

富士見台中学校

摘要

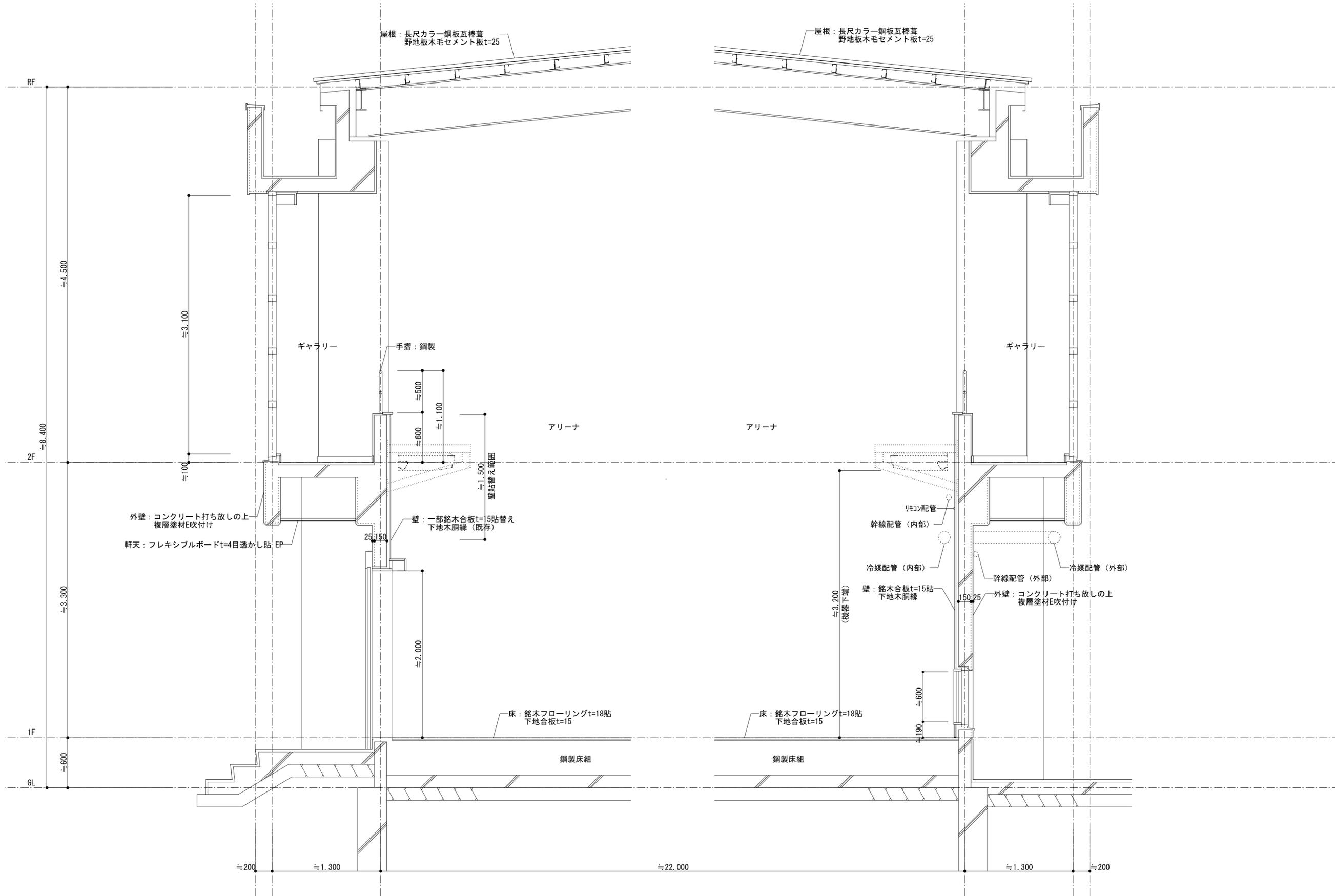

**ハナガタ建築設計事務所**  
 一級建築士事務所      一級建築士No.183598号 菅谷 隆

設計年月日	2021. 11. 15
変更年月日	

承認	担当	製図
N.S	T.S	T.S

工事名称	市立小・中学校屋内運動場空調設備設置工事 その1 (ゼロ債務)
図面名称	屋根平面図
縮尺	S=1/100

図面番号	A-10
------	------



断面詳細図 S=1/30

※仕上は既存を表示する。

富士見台中学校

摘要

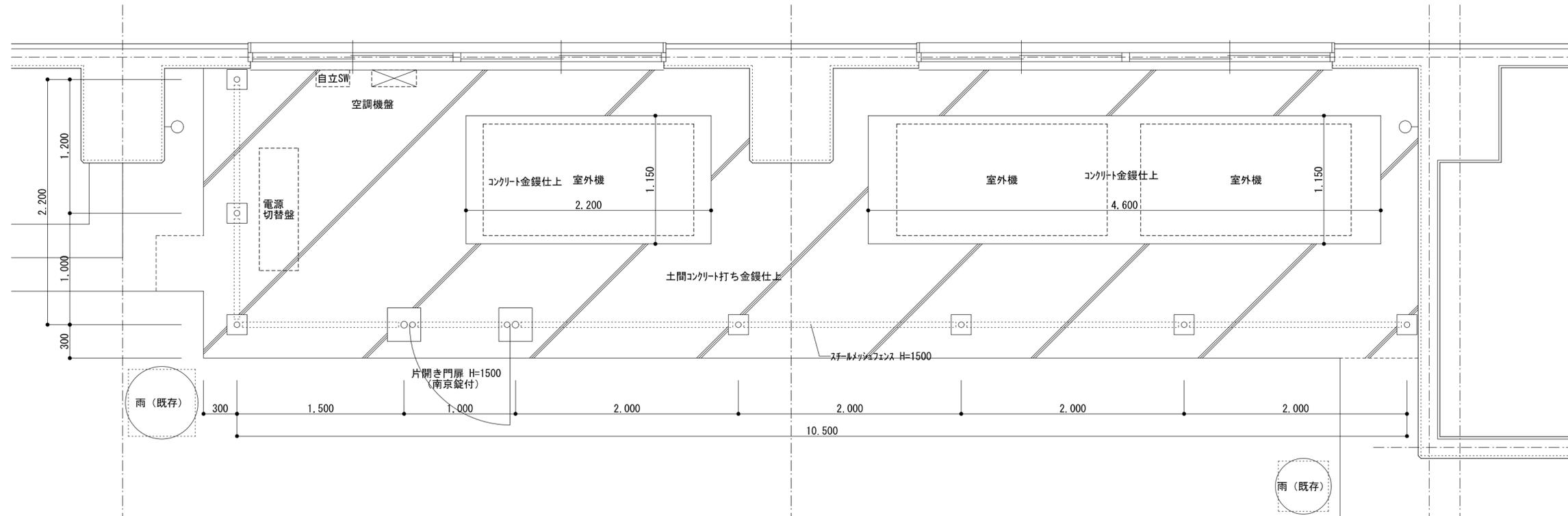

**ハナガタ建築設計事務所**  
 一級建築士事務所  
 一級建築士no.183598号 菅谷 隆

設計年月日	2021/11/15
変更年月日	

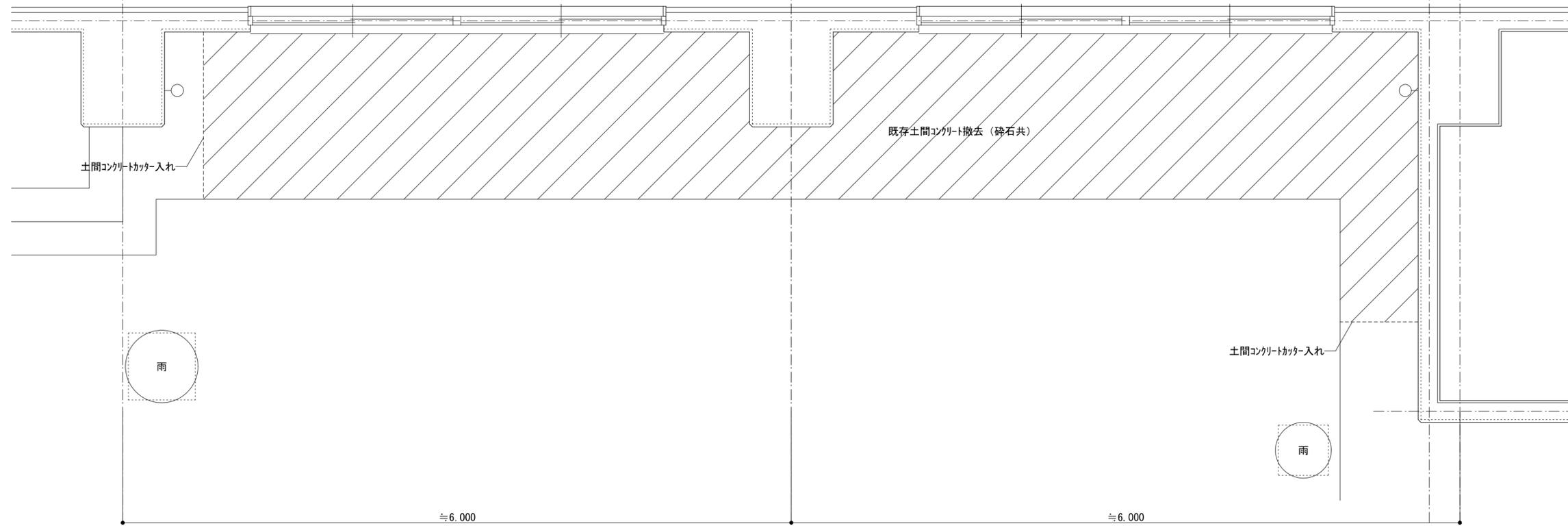
承認	担当	製図
N.S	T.S	T.S

工事名称	市立小・中学校屋内運動場空調設備設置工事 その1 (ゼロ債務)
図面名称	断面詳細図
縮尺	S=1/30

図面番号	A-11 /
------	--------



平面詳細図 S=1/30 (改修)



平面詳細図 S=1/30 (既存)

富士見台中学校

摘要	

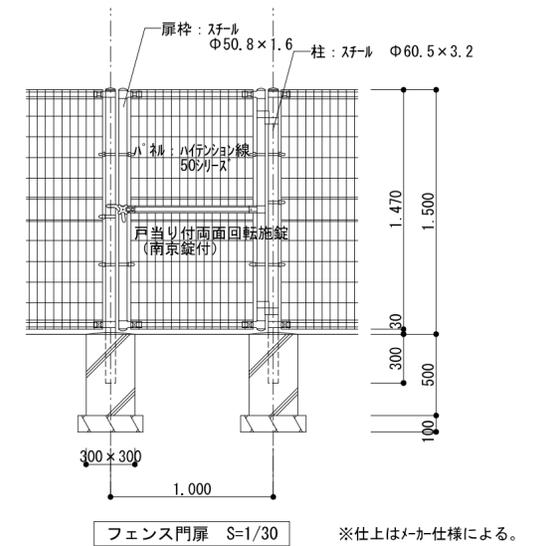
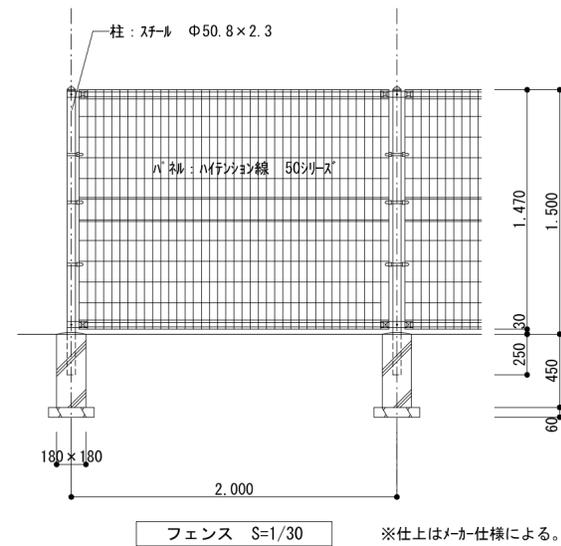
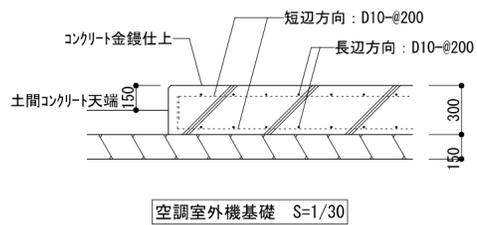
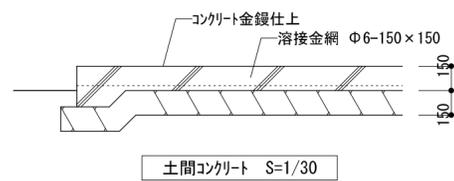

**ハナガタ建築設計事務所**  
 一級建築士事務所 一級建築士 No. 183598号 菅谷 隆

設計年月日	2021/11/15
変更年月日	

承認	担当	製図
N.S	T.S	T.S

工事名称	市立小・中学校屋内運動場空調設備設置工事 その1 (ゼロ債務)
図面名称	空調室外機置場詳細図 (1)
縮尺	S=1/30

図面番号	A-12
------	------



摘要	


**ハナガタ建築設計事務所**  
 一級建築士事務所 一級建築士 No. 183598号 菅谷 隆

設計年月日	2021/11/15	承認	担当	製図
変更年月日		N.S	T.S	T.S

工事名称	市立小・中学校屋内運動場空調設備設置工事 その1 (ゼロ債務)
図面名称	空調室外機置場詳細図 (2)
縮尺	S=1/30

図面番号	A-13
------	------

電気設備工事特記仕様書

1 工事概要

1.1 工事名 市立小・中学校屋内運動場空調設備設置工事 その1（ゼロ債務）

1.2 工事場所 富士市調訪2丁目 地内（富士見台中学校）

1.3 工期 契約日から令和4年12月28日まで  
現場施工期間 令和4年5月20日から令和4年11月30日まで  
現場施工期間は、施設管理者との調整により変更することがある。

1.4 工事科目（○印の付いたものを適用する）

<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 電灯設備</li> <li>・ 動力設備</li> <li>・ 電熱設備</li> <li>・ 常備保護設備</li> <li>・ 受変電設備</li> <li>・ 電力貯蔵設備</li> <li>・ 発電設備</li> <li>・ 構内情報通信網設備</li> <li>・ 構内交換設備</li> <li>・ 情報表示設備</li> <li>・ 映像、音響設備</li> <li>・ 拡声設備（非常放送設備）</li> <li>・ 誘導支援、呼出し設備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ テレビ共同受信設備</li> <li>・ テレビ電波障害防除設備</li> <li>・ 監視カメラ設備</li> <li>・ 駐車場管制設備</li> <li>・ 防火、入退室管理設備</li> <li>・ 自動火災報知設備</li> <li>・ 自動閉鎖設備</li> <li>・ ガス漏れ火災警報設備</li> <li>・ 電話配管設備</li> <li>・ 中央監視制御設備</li> <li>・ 監視関係設備</li> <li>・ 昇降機設備</li> </ul>
---	---

1.5 指定部分 ○ 無 ・ 有（ 工期：令和 年 月 日）

1.6 主任技術者又は監理技術者の専任期間（建設業法により必要になった場合）

1 専任期間の始期  
請負契約締結の日から、○現場施工に着手するまで（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまで）の期間（令和 年 月 日までの期間）については、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。

2 専任期間の終期  
工事完成後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合は除く。）、事務手続き、後片付けのみが残っている場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。

3 専任期間の中断  
自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により発注者からの通知により、工事を全面的に一時中止にしている場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。

1.7 建物概要  
屋内運動場

1.8 工事概要  
空調設備用電気配管・配線工事  
非常時用LED高天井照明設置

1.9 同時発注の関連工事 ・ 建築工事 ・ 機械設備工事

2 工事仕様

2.1 共通仕様

(1) この工事は特記仕様書、図面によるほか、埼玉県電気設備工事特別共通仕様書（以下「特別共通仕様書」という。）、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）、公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）、公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）（以下「標準仕様書等」という。）及び監督員の指示に従い施工する。  
なお、県営住宅の場合は、公共住宅建設工事共通仕様書、機材の品質・性能基準を最優先とする。

(2) 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、それぞれの特別共通仕様書及び標準仕様書等を適用する。

(3) 法令・基準・仕様書等は、原則として施工時において最新のものを適用する。

2.2 特記仕様（特記事項の選択項目は、○印のついたものがなければ印を適用し、・印のものは適用しない。○印と⊗印の付いた場合は、共に適用する。）

項 目	特 記 事 項
① 機材等	本工事に使用する機材等は、設計図書に規定するもの又はこれと同等のものとする。なお、資材名、製造所名および発注先を記載した報告書を監督員に提出し承諾を受けるものとする。 使用機材等については、アスベスト含有の有無を確認し、アスベストを含む機材等は使用しないこと。 「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」に基づく特定調達品目に該当する機材を使用する場合は、原則として、その判断の基準、配慮事項を満たすこと。 関連する工事材料は、埼玉県産とするよう努めるものとする。
② 施工条件	施工時間 ※行政機関の休日に関する法律（第91号）に定める行政機関の休日以外、上記以外の時間に施工する場合は事前に監督員と協議すること。
③ 工事用電力・水	本工事に必要な電力及び水などは、構内から使用できるものとしその仮設にかかる費用は、受注者の負担とする。
④ 工事用仮設物	すべて受注者の負担とし、構内につくることができる。
⑤ 足場・さんばし類	※別契約の関連工事の受注者が定置したものは無償で使用できる。 ○本工事とする。
6 監督員事務所	本工事で ・ 設ける（規模 ） ※設けない
⑦ 保 険	受注者は工事も目的物及び工事材料について工事完成期日後14日まで、これを火災が保障対象となっている組立保険等にかけて、証書の写しを監督員に提出する。 受注者は法定外の労災保険に付し、証書の写し等を監督員に提出する。
⑧ 再使用機材	取外し再使用機材は、清掃及び絶縁抵抗測定等を行い、機能が良好なことを確認した上で取付ける。なお、その測定結果表を監督員に提出する。
⑨ 建設リサイクル法の適用	建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律の適用について ※ 適用する（契約金額による） ・ 適用しない
⑩ 完成図書の電子納品	完成図書の電子納品ガイドライン ※ 適用する ・ 適用しない 完成図書の紙及び背表紙には、工事名、受・発注者名、完成年月を記載すること。また、完成図の中に主要機器一覧表（名称、製造者名、形式、容量又は出力、数量等）を記載すること。 県営住宅の完成図の提出部数は、A1二つ折り1部及びA3二つ折り3部とする。 引渡を要するもの以外は構外に搬出し、適切に処理する。 （構外搬出処理費は、※本工事 ・ 別途） (1) 引渡しを要するもの（ ） (2) 買取処分をするもの（銅屑・鉄屑 ） (3) 再資源化を図るもの（蛍光管 ） 蛍光管等は再資源化施設等に搬入し、全てリサイクルするものとする。 (4) 特別管理産業廃棄物（ ） ※処理に先立ち計画書を提出し、処理後は調査を提出すること。
⑪ 発生材処理	

⑫ 金属電線管の塗装

⑬ 鍵

⑭ 地中電線路

(1) 管路等の敷設に伴う敷き均し土は、標準仕様書のほか下記及び図面特記による。

敷き均し土	管 理 別
良質土	硬質ゼンシル電線管（VE） 耐衝撃性強化ビニル管（HIVE） 波付硬質合成樹脂管（FEP） ポリエチレン被覆電線管（PLP）

(2) 地中電線路には、ケーブル埋設標及び埋設シートを設ける。ただし、低圧・弱電回路の埋設シートは図面特記による。

(3) 地中電線路の敷設は管路式とし、埋設深さは地表面（舗装する部分では路盤材下面）から配管の上端まで原則、600mmとする。ただし、公道への引込み管路等の埋設深さについては、供給事業者と協議のうえ決定する。

ハンドホール、プルボックス及び主要なアウトレットボックス内の電線・ケーブルには、回路の種別、行先の表示を行う。

湿気の多い場所、水を使用する場所及び屋外は、圧着接続し自己融着テープを巻き付けたうえで絶縁テープ巻きとする。  
上記以外の場所においては、屋内配線用電線コネクタによる接続をしてもよい。ただし、接続はボックス内とする。

⑮ 回路の種別  
行先の表示

⑯ 電線管の接続

⑰ 電線管の接続

⑱ 残土処分

⑲ 再生砂・再生アスコン

20 耐震施工

屋外におけるケーブルの保護管に用いる厚膜電線管の接続は、防水処置を施したおなじ工法としてもよい。

埋戻し後の建設残土は、監督員が指示する構内の場所に敷き均しとする。

契約図書中の山砂の類、砂利、砕石及びアスコンに代替し、監督員の了解を得た上で、使用できる。 ※使用できない。  
再生砂使用に先立ち、1購入あたり1検体の圧入コロム溶出試験を行い土壌の汚染に係る環境基準に適合することを確認すること。

設備機器の固定は、「建築設備耐震設計・施工指針 2014年版」（独立行政法人建築研究所監修）による。  
なお、施工に際し、耐震強度計算書を監督員に提出し、承諾を受けるものとする。

(1) 設計用水平地震力  
機器の重量 [kgf] に、設計用水平震度を乗じたものとする。  
なお、特記なき場合、設計用水平震度は、次による。

設計用標準水平震度

設置場所	機器種別	特定の施設		一般の施設	
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階 屋上及び塔屋	機 器	2.0	1.5	1.5	1.0
	防護支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
	水 槽 類(※1)	2.0	1.5	1.5	1.0
中間階	機 器	1.5	1.0	1.0	0.6
	防護支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
	水 槽 類(※1)	1.5	1.0	1.0	0.6
地下・1階	機 器	1.0	0.6	0.6	0.4
	防護支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6
	水 槽 類(※1)	1.5	1.0	1.0	0.6

【備 考】(※1)：水槽類には、オイルタンク等を含む。

重要機器

- ・ 配電盤 ・ 発電装置（防災用） ・ 直流電源装置 ・ 交流無停電電源装置
- ・ 交換機 ・ 火災報知器受信機 ・ 中央監視装置 ・ 太陽光発電装置

上層階の定義は次による。  
2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階とする。

(2) 設計用鉛直地震力  
設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。

機器・配管等の据付けにおけるあと施工アンカーの使用については、監督員の承諾を受けるものとする。  
重量100kgを超える機器の耐震支持については、耐震計算書を添付し、アンカーボルトを選定すること。  
施工は、（一社）日本建築あと施工アンカー協会の資格を有するもの、又は十分な技能及び経験を有した者が行うこと。  
金属拡張系アンカーの場合は、所定の穿孔深さ、拡張の完了がわかる記録を添付すること。  
接着系アンカーの場合は、所定の穿孔深さ、清掃状況、マーキング、カプセル挿入、埋込みの完了が分かる記録を添付すること。  
（原則として、接着系アンカーは吊り支持に使用しないものとする。）  
あと施工アンカーの試験は、アンカーの種類毎に1か所引張試験を実施すること。

⑳ かつり及びあと  
施工アンカー打設

㉑ 改修部分の足場

㉒ はつり及びあと  
施工アンカー打設

㉓ 改修部分の足場

㉔ 墜落制止用器具  
（フルハーネス型）

㉕ その他

既存コンクリート床、壁等の配管貫通部の穴開け及びあと施工アンカー打設前に、図面に明示する箇所についてX線撮影調査を実施すること。

本工事で単独に必要な足場は、下記により設ける。  
(1) 内部足場 ※ 脚立足場  
(2) 外部足場 ※ A種（棒脚足場）・B種・C種・D種・E種・F種  
※足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン」について」（厚生労働省基発第043001号平成21年4月24日）の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さみ及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の(2)手すり設置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うものとする。

※使用を要する 墜落制止用器具の安全使用に関するガイドライン（平成30年6月22日付け基発0622第2号）による  
・ 使用を要しない

(1) 施工に先立ちて建築及び関連設備の業者と打合せのうえで施工図を作成し、監督員の承諾を受ける。

(2) 本工事に使用する製作品は、事前に製作図を監督員に提出し、承諾後製作する。

(3) 本工事に使用する機器は、事前に性能等を記した機器仕様書を監督員に提出し、承諾後施工する。

(4) 本工事にかかるとる官公庁への請求書はすべて受注者が代行し、その費用は受注者の負担とする。

(5) 特記なき電線・ケーブルは、原則としてエコマテリアル電線・ケーブルとし、露出部分に使用する場合は耐紫外線性能を有するものとする。

(6) 改修工事等を行う場合、施工する前後に工事対象箇所の写真撮影を行い、また、既設ケーブル等は施工前後に絶縁抵抗、伝送品質等の測定を行い、試験記録を提出する。

(7) 受注者は、施工にあたって施設運営に支障の無いように精密に打合せを行うこと。

(8) 本工事における停電措置が必要な場合、事前に計画書を電気主任技術者に提出する。また、電源操作・安全処置は受注者が行い、その費用は受注者の負担とする。

(9) 特に騒音振動など周辺に甚大な影響のある工事については、原則として学校では学校運営に支障を与えない期間、その他の施設では施設管理者と打合せして設定すること。

(10) 工事に先立ち、監督員と打合せの上、住民及び関係自治会等に対して工事説明を実施すること又、工事に先立ち、「工事のお知らせ」等を配布し、周知する。

以上のことを留意し、工程管理、安全管理に万全を期すること。

2.3 工事別一般事項（特記事項選択項目は、○印のついたものを適用する）

項 目	特 記 事 項
① 電灯設備	(1) 配線器具 スイッチ・壁付コンセント(2P15A)は通用形とする。なお、2口コンセントは横式を使用してもよい。 フラッシュプレートは原則としてステンレス又は新金属を使用する。ただし、県営住宅における住戸内のフラッシュプレートについては、樹脂プレートを使用することができる。 コンセント器具に具備されている送り配線端子は使用してはならない。 (2) 照明器具 防災用照明器具は、建築基準法による非常用照明器具及び消防法による誘導灯とし、関係法令に適合したものとする。 (3) 照度測定 電灯設備工事の際し、新設工事の場合は新設後の、改修工事の場合は改修前と改修後の照度測定をJIS C 7612「照度測定方法」により、学校においては学校環境衛生基準により実施すること。 (4) 分電盤 分電盤の塗装色は、監督員の指定した色とする。 (5) 継手 天井又は壁埋込みの場合のボックスは、塗りしろカバーと仕上り面とが10mm程度以上離れる場合は継手を使用する。ただし、ボード張り、ボード裏面と塗りしろカバーの間が離れないように施工した場合は、継手を必要としない。 (6) 位置ボックスの省略 ケーブルころが配線で、位置ボックスの図面特記がなく、かつ、照明器具に送り配線端子が具備されている場合は、位置ボックスを省略してもよい。
2 動力設備	(1) 動力制御盤及び開閉器の塗装色は、監督員の指定した色とする。負荷用端子台は1負荷につきU・V・W・Eの4Pを原則とする。 (2) 電動機等各負荷までの接続は、本工事とする。ただし、制御盤以降が別途工事の場合は、当該制御盤の電源側接続までとする。
3 常保護設備	受雷部突針はL R1とする。
4 受変電設備	高 圧 引 込 引込み口は、設計図に示された位置を電力会社に再確認する。また、ケーブル等の埋設及び、その端末処理は監督員の立会いのうえで施工する。 （端末処理 ・ 耐塩用 ・ 一般用 ） 受 電 電 圧 柱上高圧気中 負荷開閉器(PAS) 主 進 断 装 置 変圧器設備容量 交流3相3線式 6.6kV 50Hz 定格電圧 7.2kV 定格電流 A 定格電圧 kV 定格遮断電流 kA 動力用 kVA× 台 電灯用 kVA× 台 高圧進相コンデンサ kVar × 台 直列リアクトル ・ 6％ ・ 1.3％ kVar × 台
5 構内情報通信網設備	ネットワーク機器を盤内等に収納する場合は、放熱、耐塵等を考慮する。
6 電力貯蔵設備	・ 直流電源装置 ・ 交流無停電電源装置 ・ (概要)
7 発電設備	・ ディーゼル発電装置 ・ ガスエンジン発電装置 ・ ガスタービン発電装置 ・ マイクロガスタービン発電装置 ・ 燃料電池発電装置 ・ 熱併給(コージェネレーション)発電装置 ・ 太陽光発電装置 ・ 風力発電装置 ・ (概要)
8 構内交換設備	局線電話の引込位置は、第一種電気通信事業者と打合せのうえで施工する。
9 自動火災報知設備、ガス漏れ火災警報設備、拡声設備（非常放送設備）	(1) 所轄する消防署と打合せのうえ、関係条例等に従い施工する。 (2) 総合室内の接続は端子を使用し、回路名を記入しておくものとする。 (3) ガス漏れ警報設備の動作試験は、原則としてガス入室業者立会いのうえで行うものとする。
10 昇降機設備	特記なき場合の施工は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）による。 なお、県営住宅の場合は、公共住宅建設工事共通仕様書による。

2.4 取付高さ  
壁付、壁掛型の機器等の取付高さは、図面に記載のない場合は原則として次のとおりとする。

名 称	測 点	取付高さ (mm)	
		一 般	県営住宅
スイッチ（一般）	床下～中心	1,300	1,200
”（身体障害者用）	”	1,100	1,000
”（人感センサー切替用）	”	2,000	2,000
コンセント、電話用アレルレ、直列コンセント（一般）	”	300	400
”（和室）	”	150	200
”（台所）	台上～中心	150	500
防水型コンセント	床下～中心	500	500
分電盤、制御盤、開閉器箱	”	(上層1,900以下)1,500	(上層1,900以下)1,500
呼出ボタン（身体障害者用）	”	900	900
復帰ボタン（ ” ）	”	1,800	1,800
廊下表示灯（ ” ）	”	2,000	2,000
端子盤	”	(上層1,900以下)1,500	2,000

3 その他

3.1 他工事との取合区分  
発注図又は工事区分表による。

3.2 図面上の縮尺  
図面上の縮尺は、JIS A1版とした縮尺とする。

3.3 疑義  
本特記仕様書、特別共通仕様書及び標準仕様書等において疑義が生じた場合は、監督員と協議するものとする。

舗装版切断時に発生する濁水の処理に係る特記仕様書

第1条 この特記仕様書は、埼玉県電気設備工事特別共通仕様書に定めるもののほか、アスファルト舗装版切断時に発生する濁水（以下「濁水」という。）の処理に関し必要な事項を定めるものである。

第2条 受注者は、回収した濁水を次のとおり処理するものとする。  
・ 種類及び処理量 汚泥（油分を含む汚泥） ・ m3  
・ 中間処理施設 市 地内、（株）  
・ 処理方法 ・ 中間処理後、最終処分場に搬入（処理に焼却又は消砕含まず）  
・ 中間処理後、最終処分場又は再資源化（処理に焼却又は消砕を含む）

2 受注者は、別の中間処理施設を選定する場合には、事前に監督員と協議するものとする。

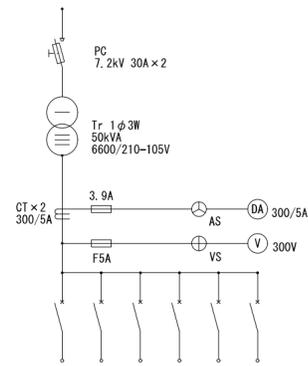
第3条 受注者は、舗装版切断作業を行いながら濁水を可能な限り回収し、作業後速やかに回収した濁水を産業廃棄物の汚泥（油分を含む汚泥）として中間処理施設に運搬及び処理するものとする。  
2 受注者は、汚泥の中間処理業の許可を受けている業者と産業廃棄物処分委託契約を締結しなければならぬものとする。  
3 受注者は、自ら運搬を行う場合を除き、汚泥の収集運搬業の許可を受けている業者と産業廃棄物収集運搬委託契約を締結しなければならぬものとする。  
4 受注者は、濁水の処理に関する履行について、産業物の処理及び清掃に関する法律において定める産業廃棄物管理票（以下「マニフェスト」という。）により管理するものとする。

第4条 受注者は、施工計画書において、濁水の回収、運搬及び処理に関する方法を定めなければならないものとする。また、中間処理業者及び収集運搬業者と第3条第3項及び第4項に基づき締結した委託契約書の写し及び許可証の写しを添付すること。  
2 受注者は、工事検査時にマニフェスト原本を提示する。

第5条 濁水処理量については、舗装版の切断延長や切断厚が変わった場合を除き、原則として設計変更の対象としないものとする。  
2 受注者は、舗装版切断時に濁水を生じない工法を使用する場合においては、事前に監督員と協議するものとする。  
3 この特記仕様書に疑義等が生じた場合については、別途監督員と協議するものとする。

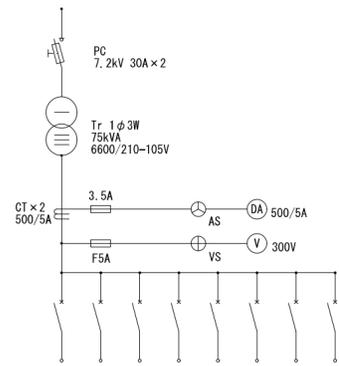
概要	設計年月日	2021/11/15	承認	担当	製図	工事名称 市立小・中学校屋内運動場空調設備設置工事 その1（ゼロ債務）	図面番号 E-1

**ハナガタ建築設計事務所**  
一級建築士事務所 一級建築士NO.183598号 菅谷 隆



負荷番号	負荷名称	開閉器容量
L1-2	LC-1A L-11	3P225AF/150AT
L1-4	LC-1B L-12	3P100AF/100AT
L1-1	LA-1A L-13 LA-1B L-1C	3P225AF/225AT
L1-3	廊室	3P100AF/100AT
L1-5	変換電源 300V電源	2P100AF/20AT

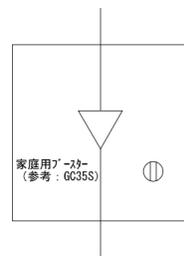
低圧電灯盤No. 1



負荷番号	負荷名称	開閉器容量
L2-1	体育館 LD-1A	3P225AF/225AT
L2-2	LC-2A L-21 LC-2B L-2C	3P225AF/200AT
L2-3	LB-2A L-20 L-24	3P225AF/150AT
L2-4	LC-3A L-3A L-31	3P225AF/150AT
L2-5	LA-1D コンピュータ 予備 (空調機盤)	3P100AF/75AT
L2-6	3P100AF/100AT 3P50AF/50ATに交換	
L2-7	所内電源	2P100AF/20AT

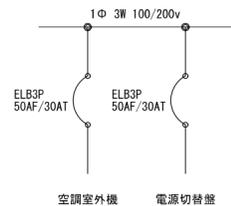
低圧電灯盤No. 2

キュービクル単線結線図



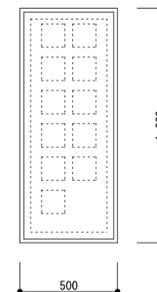
TV-T1  
機器収納箱

※鋼板製  
露出形 (屋内用)  
300×300×120



空調機盤

※鋼板製  
露出形 (屋外用)  
400×330×150



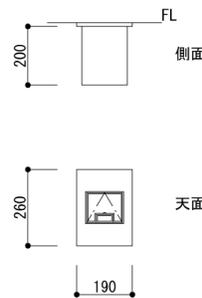
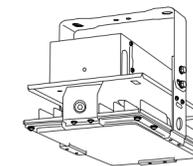
リモコン収納箱

※鋼板製  
露出形 (屋内用)  
500×1200×125  
参考: B0N51212VK

照明器具姿図

名称	高天井用LED照明 (マルチLEDランプ400形相当)		
形式	昼白色 広角タイプ	直付型	電源内蔵型
電圧	単相200V	光束	21300 lm
備考	落下防止ワイヤー付き 調光式		

LSR2W-200



707-コンセント図

摘要



ハナガタ建築設計事務所

一級建築士事務所

一級建築士 No. 183598号 菅谷 隆

設計年月日

2021/11/15

承認 担当 製図

N.S T.S T.S

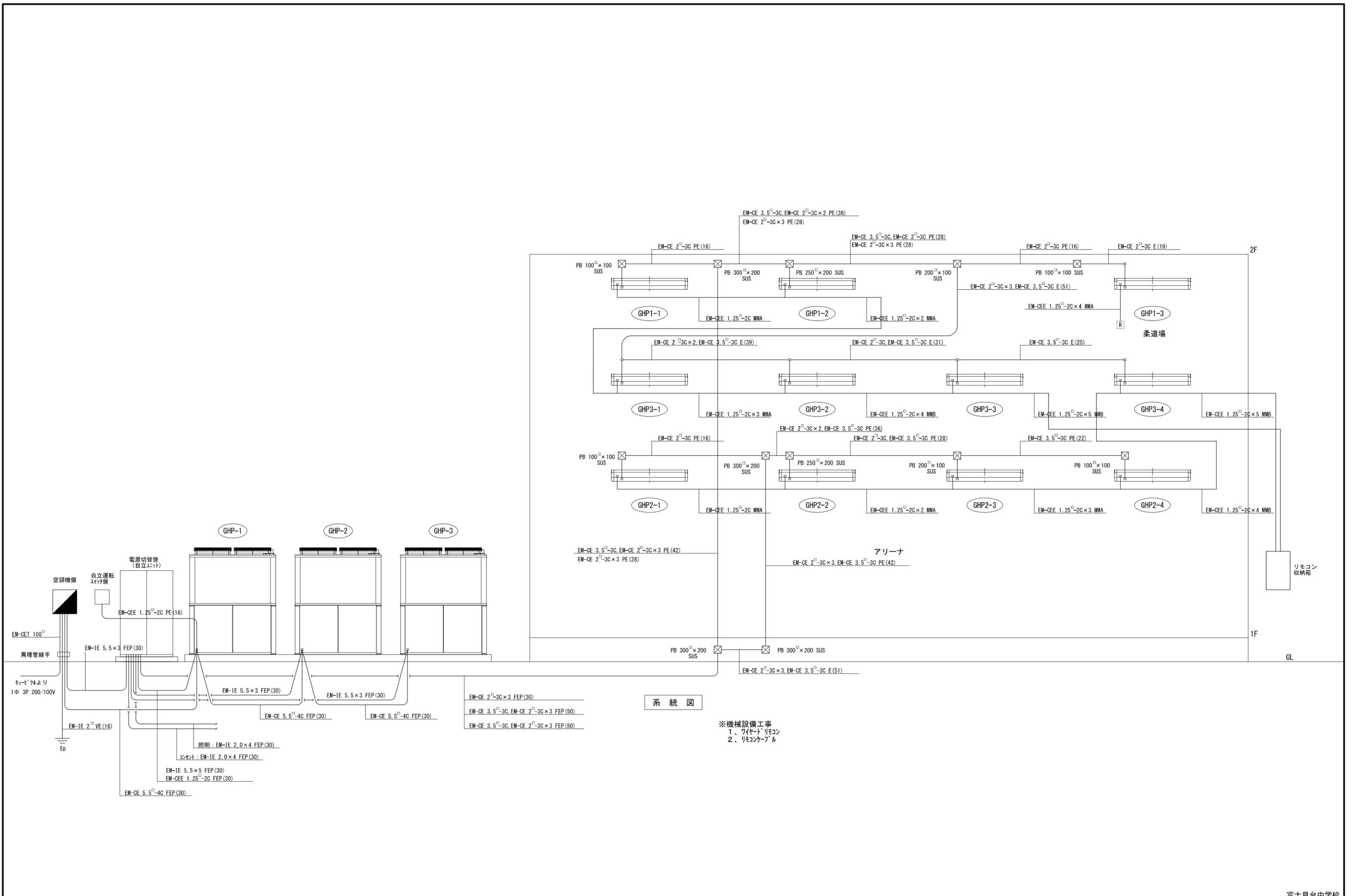
工事名称  
市立小・中学校屋内運動場空調設備設置工事 その1 (ゼロ債務)

図面名称  
電気設備 盤図・照明器具姿図

縮尺

図面番号

E-2



摘要

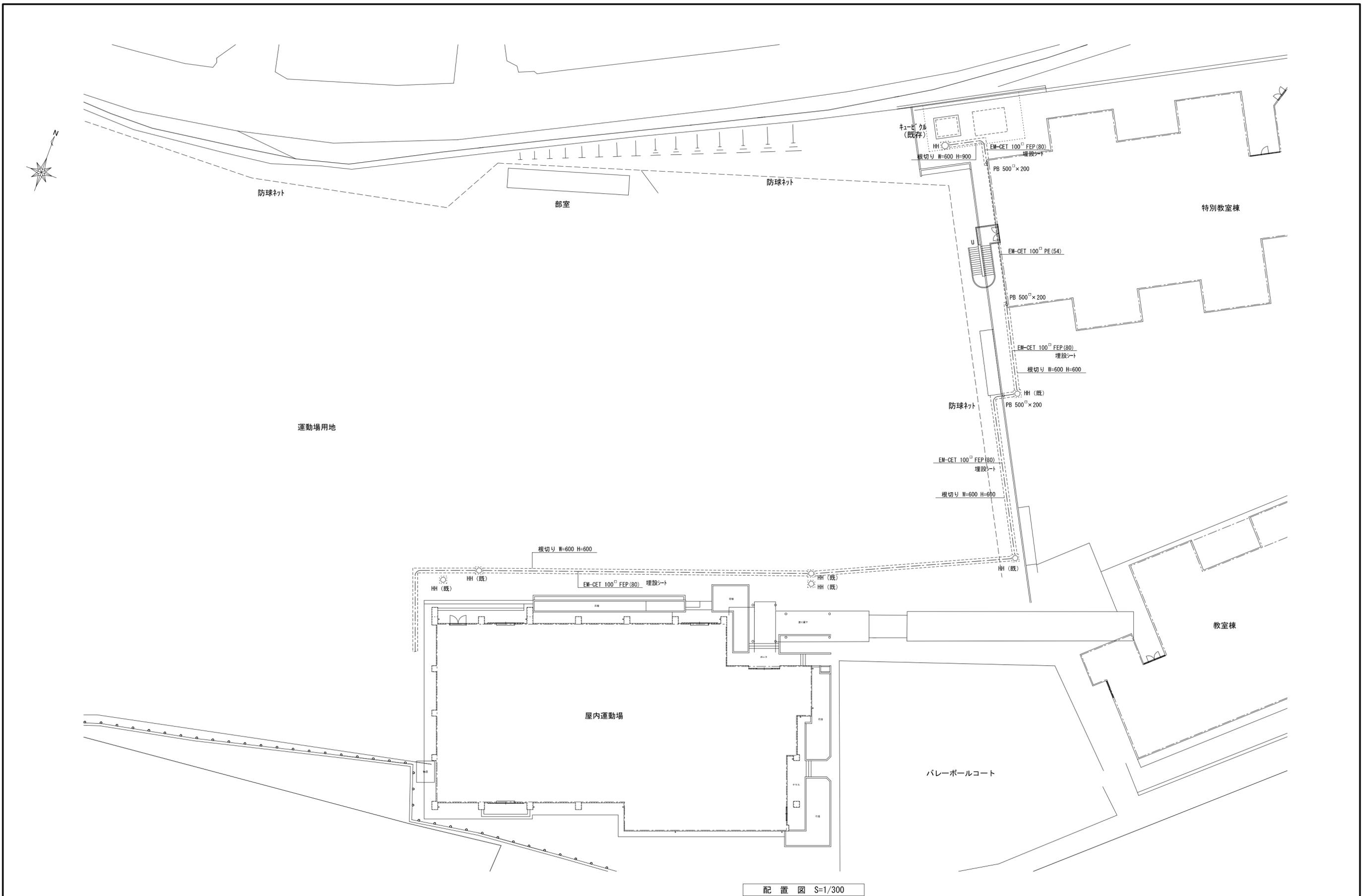

**ハナガタ建築設計事務所**  
 一級建築士事務所

一級建築士 no. 183598号 菅谷 隆

設計年月日	2021/11/15	承認	担当	製図
変更年月日		N.S	T.S	T.S

工事名称	市立小・中学校屋内運動場空調設備設置工事 その1 (ゼロ債務)
図面名称	電気設備 系統図

図面番号	E-3
縮尺	縮尺



配置図 S=1/300

富士見台中学校

摘要

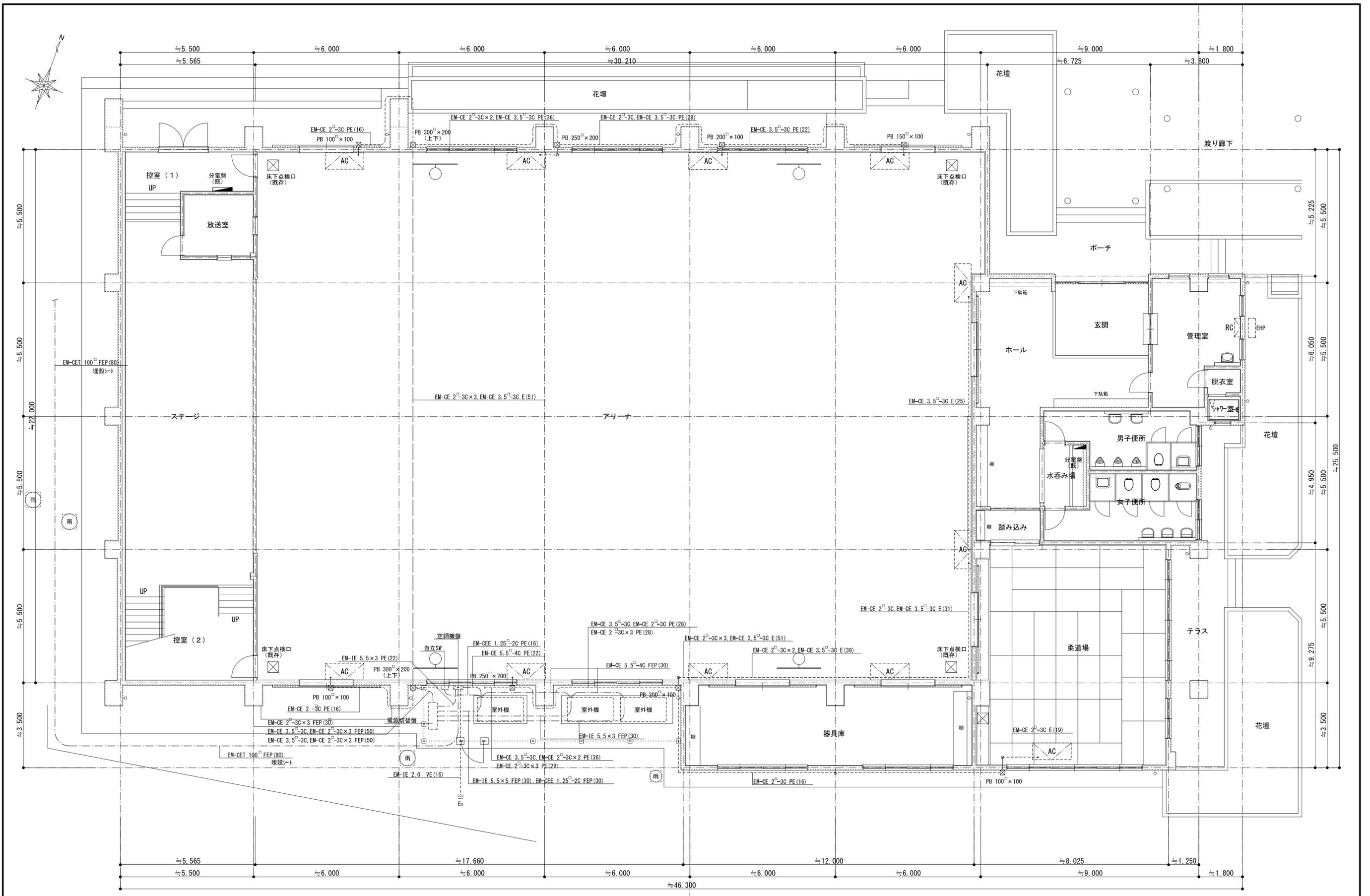

**ハナガタ建築設計事務所**  
 一級建築士事務所 一級建築士 No. 183598号 菅谷 隆

設計年月日	2021/11/15
変更年月日	

承認	担当	製図
N.S	T.S	T.S

工事名称	市立小・中学校屋内運動場空調設備設置工事 その1 (ゼロ債務)
図面名称	電気設備 (幹線) 配置図

図面番号	E-4 /
縮尺	S=1/300



1階平面図 S=1/100

※外部のブルボックスは全てステンレス製とする。

富士見台中学校

摘要	

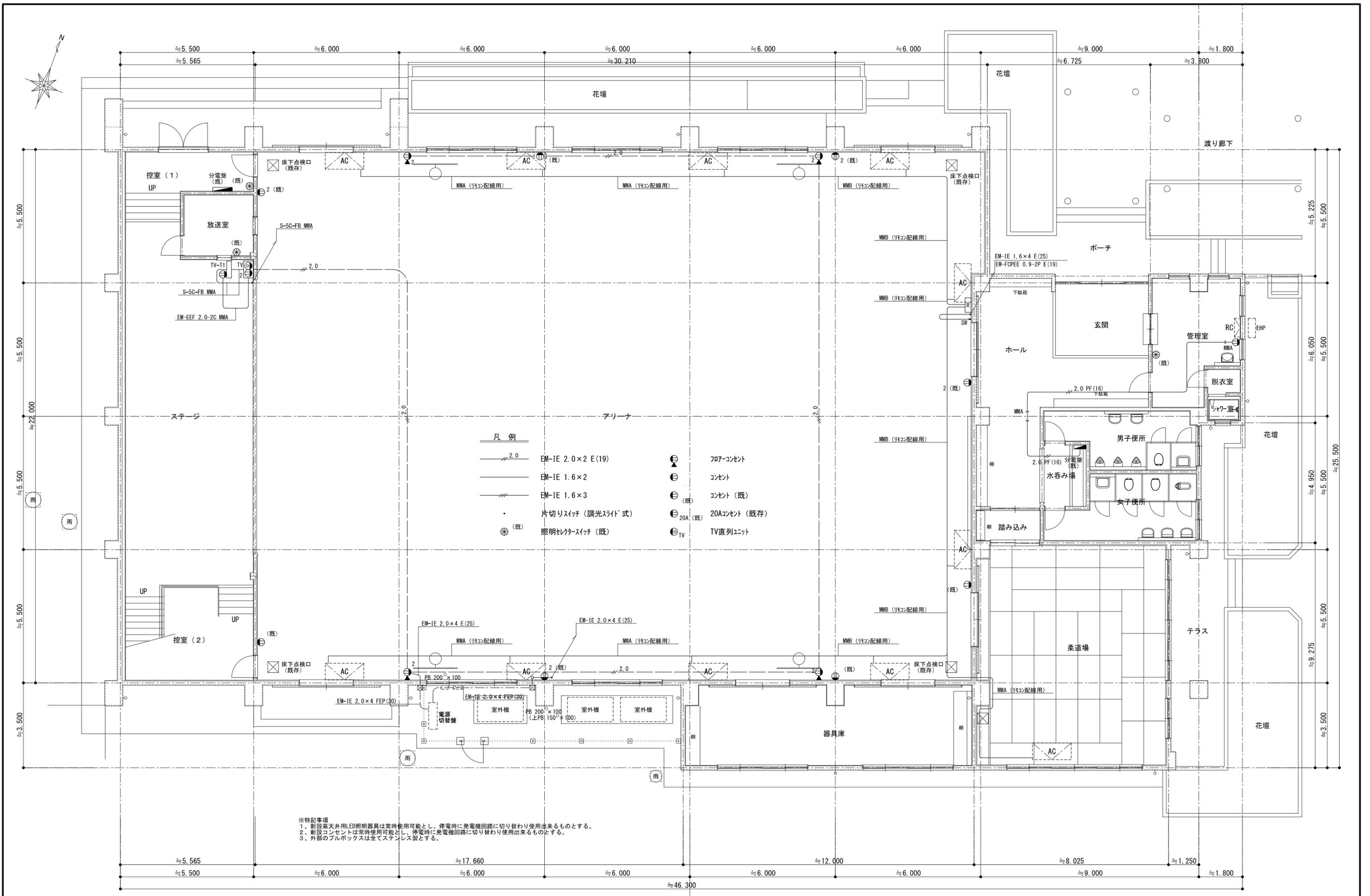

**ハナガタ建築設計事務所**  
 一級建築士事務所 一級建築士no.183598号 菅谷 隆

設計年月日	2021.11.15
変更年月日	

承認	担当	製図
N.S	T.S	T.S

工事名称	市立小・中学校屋内運動場空調設備設置工事 その1 (ゼロ債務)
図面名称	電気設備 (幹線) 1階平面図

図面番号	E-5
縮尺	S=1/100



- 凡例
- 2.0 — EM-IE 2.0×2 E(19)
  - EM-IE 1.6×2
  - EM-IE 1.6×3
  - 片切りスイッチ (調光スライド式)
  - ⊗ (既) 照明セクタースイッチ (既)
  - 707-コンセント
  - コンセント
  - (既) コンセント (既)
  - 20A (既) 20Aコンセント (既存)
  - TV TV直列ユニット

※特記事項  
 1. 新設天井用LED照明器具は常時使用可能とし、停電時に発電機回路に切り替わり使用出来るものとする。  
 2. 新設コンセントは常時使用可能とし、停電時に発電機回路に切り替わり使用出来るものとする。  
 3. 外部のプルボックスは全てステンレス製とする。

1階平面図 S=1/100

摘要	

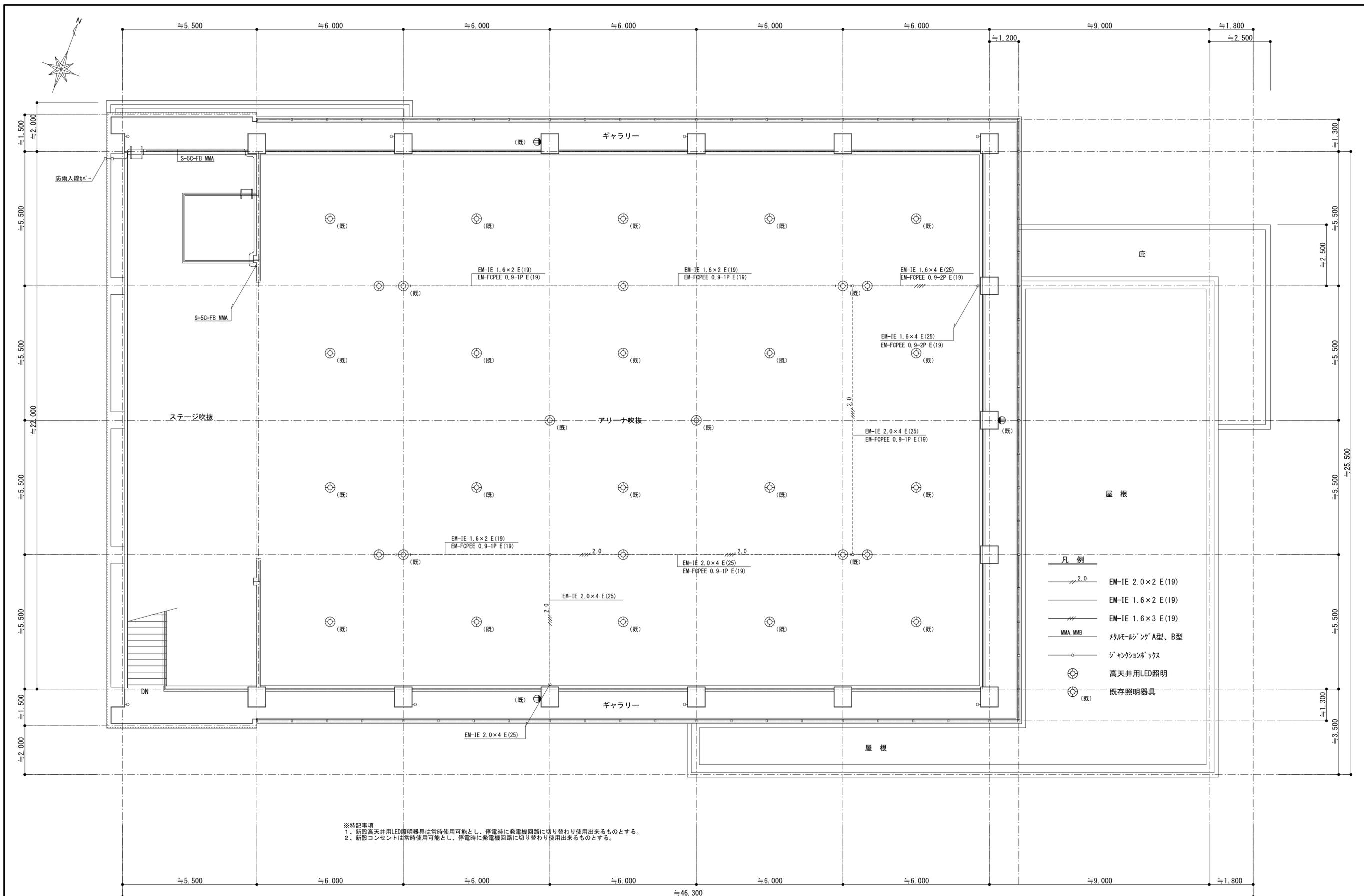
**ハナガタ建築設計事務所**  
 一級建築士事務所  
 一級建築士 No. 183598号 菅谷 隆

設計年月日	2021.11.15	承認	担当	製図
変更年月日		N.S	T.S	T.S

工事名称	市立小・中学校屋内運動場空調設備設置工事 その1 (ゼロ債務)
図面名称	電気設備 (電灯・弱电) 1階平面図

図面番号	E-6
縮尺	S=1/100

富士見台中学校



2階平面図 S=1/100

富士見台中学校

摘要

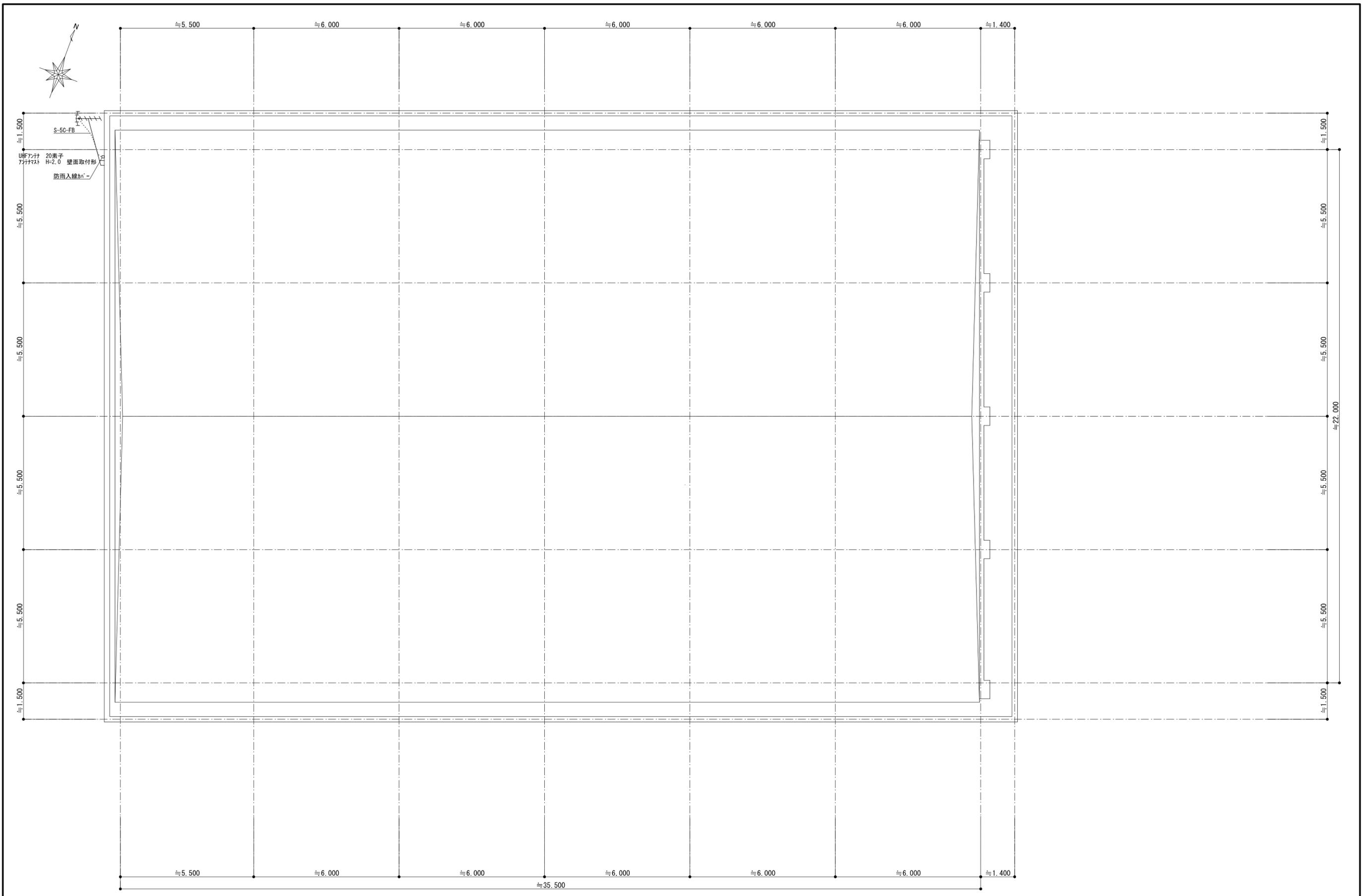
**ハナガタ建築設計事務所**  
 一級建築士事務所  
 一級建築士no.183598号 菅谷 隆

設計年月日	2021.11.15
変更年月日	

承認	担当	製図
N.S	T.S	T.S

工事名称	市立小・中学校屋内運動場空調設備設置工事 その1 (ゼロ債務)
図面名称	電気設備 (電灯・弱电) 2階平面図

図面番号	E-7
縮尺	S=1/100



屋根平面図 S=1/100

富士見台中学校

摘要


**ハナガタ建築設計事務所**  
 一級建築士事務所 一級建築士no.183598号 菅谷 隆

設計年月日	2021.11.15
変更年月日	

承認	担当	製図
N.S	T.S	T.S

工事名称	市立小・中学校屋内運動場空調設備設置工事 その1 (ゼロ債務)
図面名称	電気設備 (弱電) 屋根平面図

図面番号	E-8
縮尺	S=1/100



●空気調和設備

① 設計温度

	外 気	一 般 系 統				屋 内			
	温度 (DB)	湿度 (RH)							
夏 期	36.9℃	46.1%	28℃	9%	℃	9%	℃	9%	
冬 期	0.6℃	50.7%	20℃	9%	℃	9%	℃	9%	

※外気処理用エアコンの屋内設定値は、夏期湿度50%とする。

② 総合運転調整

※本工事 ・ 別途

風量調整 ※する ・ しない

水量調整 ※する ・ しない

騒音の測定 ※する ・ しない

室内外空気の温湿度の測定 ※する ・ しない

室内気流及びじんあいの測定 ※する ・ しない

初期運転状態の記録 ※する ・ しない

工事対象範囲の既設機器運転状態の記録 ※する ・ しない

3 煙 道

(1) 鉄板厚 (※3.2mm ・ 4.5mm)

(2) ばい煙濃度計 ※設ける ・ 設けない

(3) ばいじん量測定口 ※設ける (測定口は80φとする) ・ 設けない

4 煙 突

※別途 ・ 本工事

5 長方形ダクト

※低圧ダクト (亜鉛鉄板製)

長辺の長さ1500mm以下 ※共板工法 ・ スライドオンフランジ工法 ・ アンクルフランジ工法

それ以外の部分 ※アンクルフランジ工法

・ 高圧1ダクト (亜鉛鉄板製) ・ 高圧2ダクト (亜鉛鉄板製)

・ ステンレス製ダクト (A区分 ※B区分) ・ 塩ビ製ダクト (A区分 ※B区分)

6 円形ダクト

※スパイラルダクト (※亜鉛鉄板製 ・ ステンレス製) ・ 硬質塩化ビニル管 (VU) ・ 換気用耐火二層管 (大臣認定品) ※フレキシブルダクト (保温付 ・ 保温無)

(注)1 使用区分は図示による。

7 風量測定口

取付け箇所は、図示した箇所及び下記の箇所とする。

送風機吐ダクト又は吸込ダクト、外気取入ダクト、空調機出クチャンパーの分岐ダクト

8 チャンパー

(1) 内貼りを施すチャンパーの表示寸法は外法を示す。

(2) ダクト接続形の空気調和機等に取り付けるサブライチャンパー、レタンチャンパ及びダクト系で消音内貼りしたチャンパーには、点検口を設けるものとし点検口の大きさは下記のとおりとする。

・ 300×300 ・ 300×500 ※400×600 ・ 550×750

(3) 外壁に面するガラリに直接取り付けるチャンパー及びホッパーは雨水が滞留しないようにする。

9 吹出口及び吸込口ボックス

※亜鉛鉄板製 ・ グラスウール製

10 ダンパー

(1) 防煙ダンパー 復帰方式 (※遠隔) ・ 定格入力DC24V、0.7A以下

(2) ビストンダンパー 復帰方式 (※遠隔) ・

⑪ 配管材料

(1) 冷温水管 ※配管用炭素鋼管 (白) ・

(2) 冷却水管 ※配管用炭素鋼管 (白) ・

(3) フライング管 ※配管用炭素鋼管 (黒) ・

(4) 冷媒管 ※断熱材被覆銅管 (保温厚mm ガス管 ※20以上 ・ 10以上 液管 ※20以上 ※10以上) ただし、液管の呼び径が9.52mm以下の断熱厚さは、8mmとしてもよい。

(5) ドレン管 (屋外) ※配管用炭素鋼管 (白) ・ 硬質塩化ビニル管VP

ドレン管 (屋内) ※保温機能付空調用ドレン管 (210AC<sup>2</sup>レノビ<sup>2</sup>相当品) ・ 耐火二層管VP (FDPS-1) ・ 配管用炭素鋼管 (白) ・ 硬質塩化ビニル管VP (消防協議事項: ただし、保温機能付空調用ドレン管は、水圧1mを超える配管には使用しない。

(6) 油管 ※配管用炭素鋼管 (黒) ・

(7) 高気管 給気管 ※配管用炭素鋼管 (黒) ・

送 気管 ※圧力配管用炭素鋼管 (黒) Sch40 ・ ステンレス鋼管

(8) 膨張管、空気抜き管及び膨張タンクよりボイラー等への補給水管 ※配管用炭素鋼管 (白) ・

12 弁 類

規格はJIS又はJVTとし、指定なきものは5K、それ以外は図示及び共通仕様書による。また、銅管用伸縮管継手の種類は図示による。

13 温 度 計

取付部は下記による。

※熱源機器の冷温水管 (出入口共)、冷却水管 (出入口共) ※空気調和機の冷温水管 (出入口共) ※ダクト接続形空気調和機のサブライチャンパー、レタンダクト、外気取入ダクト及びレタンチャンパー ※冷温水ヘッダー (往) 及び各連り管 ※熱交換器の温水管 (出入口) ・

14 圧 力 計

取付部は下記による。

※熱源機器の冷温水管 (出入口共)、冷却水管 (出入口共) ※空気調和機の冷温水管 (出入口共) ※冷温水ヘッダー (往) 及び各連り管 ※熱交換器の温水管 (出入口) ・

15 瞬間流量計

瞬間流量計はビトー管方式によるもので止水コック付とし、型式及び取付部は下記による。なお、着脱部の指示部は (※1個 ・ 個) 付属とする。

・ 熱源機器の冷温水管、冷却水管の出入口どちらかに (※固定形 ・ 着脱形) を設ける。

・ 空気調和機の冷温水管の出入口どちらかに (※固定形 ・ 着脱形) を設ける。

16 油面制御装置

※往又は還どちらかの冷温水ヘッダーの各種継管へ (※固定形 ・ 着脱形) を設ける。制御盤には (※給油ポンプ制御 ※減速油室制御 ・ 遠隔監視 ・ 電磁弁制御 ・ 還油ポンプ制御) の端子を設ける。

なお、フロートスイッチ部と制御装置の配管・配線は製造者標準仕様とする。

17 冷却塔

※直交流式 ・ 向流型

※レジオネラ属菌殺菌剤等の自動薬剤注入装置 ※自動ブロー装置 ・

補給水は、水道水とし、補給水接続管部分に清掃用の水栓を分岐して設ける。

⑫ 空気熱源ヒートポンプ空調機

標準仕様書によるほか下記による。

(1) 圧縮機駆動機の種類方式 ※回転数制御 ・ オンプ制御 ・

(2) 冷媒 HFC (R410A、R32又はR407C)

(注1) R410Aを採用した場合、冷媒配管は機器の設計圧力を満足するものを使用すること。

(注2) R32を採用した場合、冷媒配管の断熱材被覆銅管は難燃性のものを使用すること。

(3) 埼玉県グリーン調達推進方針に掲げる成績係数を満たす機器とする。

○換気設備

1 長方形ダクト

※低圧ダクト (亜鉛鉄板製)

長辺の長さ1500mm以下 ※共板工法 ・ スライドオンフランジ工法 ・ アンクルフランジ工法

それ以外の部分 ※アンクルフランジ工法

・ 高圧1ダクト (亜鉛鉄板製) ・ 高圧2ダクト (亜鉛鉄板製)

・ ステンレス製ダクト (A区分 ※B区分) ・ 塩ビ製ダクト (A区分 ※B区分)

2 円形ダクト

※スパイラルダクト (※亜鉛鉄板製 ・ ステンレス製) ・ 硬質塩化ビニル管 (VU) ・ 耐火二層換気管又は耐火VP ※フレキシブルダクト (保温付 ・ 保温無)

(注)1 使用区分は図示による。

3 風量測定口

取付け箇所は、図示した箇所及び下記の箇所とする。

送風機吐ダクト又は吸込ダクト、外気取入ダクト

4 チャンパー

(1) 内貼りを施すチャンパーの表示寸法は外法を示す。

(2) 消音内貼りしたチャンパーには、点検口を設けるものとし、点検口の大きさは下記のとおりとする。

・ 300×300 ・ 300×500 ※400×600 ・ 550×750

(3) 外壁に面するガラリに直接取り付けるチャンパー及びホッパーは雨水が滞留しないようにする。

5 ダンパー

(1) 防煙ダンパー 復帰方式 (※遠隔) ・ 定格入力DC24V、0.7A以下

(2) ビストンダンパー 復帰方式 (※遠隔) ・

6 多湿箇所の排気ダクト

(1) 排気ダクトのうち下記箇所は硬質塩化ビニル管 (VU) (防火区画貫通箇所は換気用耐火二層管又は耐火VP) を使用できる。

※浴室 (シャワー室、脱衣室を含む) ・

(2) 水抜き管は (※洗面、浴室 ※結露水が滞留する部分) の排気ダクトには設ける

7 保 温

下記のダクトの保温を行う。

※全熱交換器用の隠ぺいダクト

仕様はN ・ (ロ) ・ X1とする。

保温施工範囲は、給気用OAダクトは全て、また、排気用EAダクトは外壁より1mの部分とする。

※ (※厨房 ・ 湯沸室) 用の隠蔽ぺいダクト (仕様はh ・ (イ) ・ Xとし範囲図示による)

8 試運転調整

風量調整 ※する ・ しない

風量測定 ※する ・ しない

騒音の測定 ※する ・ しない

○排煙設備

1 ダクト

※亜鉛鉄板 ・

2 排煙口の形式

※天井取付 (スリット形 ※スイング形)

・ 壁取付 (スリット形 ・ スイング形)

3 排煙口手動開放装置

開放及び復帰方式 ※ワイヤー式 ・ 電気式 (遠隔操作 ・ 不要 ・ 要)

4 排煙風量測定

建築設備定期検査業務標準書 (一財) 日本建築設備・昇降機センター) の排煙風量の検査方法に準ずる。

○自動制御

1 中央監視制御装置

・ 有り ※無し

2 構成・機能

図示による

3 電気計装用機材

使用する電線及びケーブルは、原則としてEM電線またはEMケーブルとする。屋外・屋内露出の電線は、図面に特記のない限り金属管配線とする。天井内隠ぺい電線は、図面に特記のない限りケーブル配線とする。

○衛生器具設備

1 小便器用節水装置

JIS B 2026 (自動水栓) による電気開閉式とし、小便器 (※一体形・分離形) とする。

2 バリアフリー対応

・ 小便器 ※全部ストール形 ・ 一部ストール形

手すり (本工事 ※別途工事)

・ 洗面器 ※自動水栓 (全部 ※一部) ・ レバー式水栓 (一部)

・ シャワー ※サーモスタット式 ・ ミキシング式

※スライドバー ・ フック ※止水機能付節水型シャワーヘッド

・ 鏡 ※600×800 (耐食鏡) ・ 鏡料鏡 (照明無 ・ 照明付)

3 衛生器具付属水栓

(1) 器具付属止水栓は ※ドライバー式 ・ ハンドル式

(2) 水抜き栓を使用する場合は、水栓は固定コマ式とする。

4 自動水栓種の電源

※AC100V ・ 乾電池等 ・ 自己発電

5 暖房便座

(1) JIS A 4422 (温水洗浄便座) とする。

(2) 機能種別 ※温水洗浄 ・ 脱臭 ・ 温風乾燥 ・ トイレ室内暖房

(3) 温水洗浄加熱方式 ※瞬間式 ・ 貯湯式

(4) 使用洗剤は、飲料用水道水とする。

(5) リモコン ・ AC100V ・ 乾電池等 ※自己発電

6 大便器洗浄弁・洗浄用タンク

器具表又は下記の場合を除き、※節水I型・節水II型とする。

・ 洗浄弁操作方式は、※手動式 ・ 電気開閉式 (※センサー式 ・ タッチスイッチ式)

・ 上層階で使用する大便器洗浄弁は、現地給水管の流動圧を確認し、必要に応じ低圧形とする。

7 大便器耐火カバー

※設ける (ビツ内は除く) ・ 設けない

8 掃除流し

※共栓なしとする。 ・ 共栓付とする。

9 排水器具用ゴミ継手

※使用できる ・ 使用できない

10 標 記 板

大便器、小便器の洗浄用排水に雨水等の利用をしている場合は、その旨をわかりやすく各トイレ毎に表示する。

11 水せっけん入れ

せっけん供給栓がない場合は、監督員と協議のうえ洗面器、手洗い器に設ける。

・ 女子用トイレースに設置する。(※本工事 ・ 別途工事)

12 擬音装置

・ 男子用トイレースに設置する。(※本工事 ・ 別途工事)

・ 多目的トイレースに設置する。(※本工事 ・ 別途工事)

13 そ の 他

衛生設備器具の適用等の必要ことは別途衛生設備器具表による。

○給水設備

1 配管材料

配管材料は ※下記 ・ 図面指示 (図面指示が不足する箇所は下記) による。

施工箇所	管 種 別
床下、踏室内 (ビツ内、共同溝を含む。)	※SUS ・ SGP-PD ・ ポリブテン管
ウエット厨房、浴室等の濡潤シンダー内配管)	※SUS ・ SGP-PD ・ HIVP ・ ポリブテン管
保温をしない屋外露出部	※SUS ・ SGP-PD
地中埋設部 (水道直結部分)	※HIVP ・ 水道用ステンレス鋼管 ・ 水道配水用ポリエチレン管 (PE) ・
地中埋設部 (一般部分)	※HIVP ・ 水道用ポリエチレン管 ・ 水道配水用ポリエチレン管 (PE) ・
商業住宅 住戸内	※ポリブテン管 (さや管ヘッダー工法)
便所天井内、PS内 (注5)	※高密度ポリエチレン管 (3.2A以上)
便所天井内	※ポリブテン管 (10mm保温付)
便所空腔壁内又は衛生器具等接続管	※ポリブテン管
その他の部分	※SUS ・ SGP-PD ・ HIVP ・ ポリブテン管
床下、踏室内 (ビツ内、共同溝を含む。)	※SUS ・ SGP-PD ・ HIVP ・ ポリブテン管
濡潤シンダー内配管)	※SUS ・ SGP-PD ・ HIVP ・ ポリブテン管
保温をしない屋外露出部	※SUS ・ SGP-PD
地中埋設部 (一般部分)	※HIVP ・ 水道用ポリエチレン管 ・ 水道配水用ポリエチレン管 (PE) ・
便所天井内、PS内 (注5)	※高密度ポリエチレン管 (3.2A以上)
便所天井内	※ポリブテン管 (10mm保温付)
便所空腔壁内又は衛生器具等接続管	※ポリブテン管
その他の部分	※SUS ・ SGP-PD ・ HIVP ・ ポリブテン管

(注)1. SUSとは、JIS G 3448 または JWWA G 115 に規定するステンレス鋼管とし、継手は一般部 (圧縮 ※ターレット ・ 縮管) 使用 ・ 廊下洗し廻り露出配管 (※縮管) とする。

2. ステンレス管に取付ける弁は、JWB-1による。

3. 飲料水以外の給水管は、系統別に管外部に配管種別テープを巻く。また、接続がないことを確認するため衛生器具の取付完了後、系統毎に着色水を用いた通水試験を行う。

4. 建物導入部において、ポリエチレン管と異種管を接合する場合は、接合部が容易に点検できるように点検用樹を設ける。

5. 口径25Aにて大便器等に接続する場合は、施工状況に応じて高密度ポリエチレン管の使用も可とする。

6. 高密度ポリエチレン管とは、主材料に高密度ポリエチレン樹脂 (PE100) を採用し、管と継手を電気融着にて接合するものをいう。

一体形タンク

一体形タンクについての標準図は一般的な形状及び数値を示すものであって、図面及び特記仕様書に記載された耐震強度、容量、寸法を満たすものであればよい。

3 水 栓

※給湯用栓を除き大きめの呼び13の水栓は、節水コマとする。

・ 水抜き栓を使用する場合は、屋外に設ける水栓は耐寒水栓とする。ただし屋内は固定コマ式とする。

※親メーター (※買品 ・ ) ・ 子メーター (※買取り ・ )

※水道事業者指定品 ・ 標準図MC形

規格はJIS又はJVTとし、水道直結部分は10Kとし、指定なきものは5K、それ以外は図示及び標準仕様書による。

※防凍コンクリート水栓柱 (1200L) ・ 不凍給水栓

図示部分について下記のとおり施工する。

・ ※埋設用フレキシブルジョイント2本をL字状に設ける。

・ 標準図施工4 ( (a) ・ (b) ・ (c) )

水道事業者の集住宅地に関する戸別検針規程に適合するように関連工事業者と調整のうえ実施すること。

水道利用加入金

水道利用加入金は、別途とする。ただし、水道事業者との調整は本工事を含む。

11 本管取出し

水道本管からの給水取出し工事は、本工事範囲とする。また、取出し部における舗装の復旧も含む。

○排水設備

1 配管材料

配管材料は ※下記 ・ 図面指示 (図面指示が不足する箇所は下記) による。

施工箇所	管 種 別
床下、踏室内 (ビツ内、共同溝を含む。)	※RF-VVP又はリサイクルVVP ・ VP
厨房等の温排水	※SGP (白) ・
耐火性能を要求される箇所	※耐火二層管VP (FDPS-1)又は耐火VP ・ SGP (白)
その他の部分	※RF-VVP又はリサイクルVVP ・ VP ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管
床下、踏室内 (ビツ内、共同溝を含む。)	※RF-VVP又はリサイクルVVP ・ VP
耐火性能を要求される場所	※耐火二層管VP (FDPS-1)又は耐火VP ・ 排水用/ホ-ホ <sup>2</sup> 形塗装鋼管
その他の部分	※RF-VVP又はリサイクルVVP ・ VP ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管
地中埋設部	※RS-VU又はリサイクルVU ・ VU ・ 銅形管 (ゴム輪接合)
	※REP-VU (経荷重の重)
	・ RF-VVP又はリサイクルVVP ・ VP
耐火性能を要求される箇所	※耐火二層管VP (FDPS-1)又は耐火VP ・ SGP (白)
その他の部分	※リサイクルVVP又はRF-VVP ・ VP ・ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管

(注) 1. リサイクルVVP、リサイクルVUはJIS K6741の規格をもつ塩ビリサイクル管、RF-VVP、RS-WU又は、REP-VUは標準仕様書第2編2. 1. 2. 6による。

2. 雨水排水を含む場合は、雨水排水管は雑排水配管の材料種別による。

3. 原則として雑排水配管、汚水配管の管接合部はY45度で行う。

洗面器等に直結する排水管は、器具トラップより1サイズアップする。

3階以上をわたる排水立て管には、各階毎に次の継手を設ける。

※掃除口付きコック ・ 満水試験用排水口ソケット

別紙附表による。

○給湯設備

1 配管材料

・ 露出部 M鋼管 その他 保温付被覆銅管 (M鋼管)

・ 一般配管用ステンレス鋼管

・ ポリブテン管 (さや管ヘッダー工法)

2 絶縁フランジ

取付部は下記による。

※鋼管と鋼管及びこれに繋がる部分

※鋼管とステンレス管及びこれに繋がる部分

(1) 規格はJIS又はJVTとし、指定なきものは5K、それ以外は図示による。

(2) ステンレス管に取付ける弁は、JWB-1による。

3 弁 類

※屋外設置の潜熱回収型 ・ PS室内設置の潜熱回収型

4 ガス瞬間湯沸器

※屋外設置の潜熱回収型 ・ PS室内設置の潜熱回収型

5 電気給湯器

取用の場合は、80℃以上で使用可能なものとし、「熱湯注意」の表示をする。

○消火設備

1 配管材料

屋内消火栓用 一般配管※SGP (白) ・ STPG370 (白) Sch40

地中埋設※SGP-VS ・ HIVP

消火用 一般配管※SGP (白) ・ STPG370 (白) Sch40

地中埋設※SGP-VS ・ HIVP

不活性ガス消火用 ※STPG370 (白) Sch40 ・ STPG370 (白) Sch80

2 建物導入部配管

図示部分について下記のとおり施工する。

・ ※埋設用フレキシブルジョイント2本をL字状に設ける。

・ 標準図施工4 ( (a) ・ (b) ・ (c) )

○ガス設備

① 配管材料

○都市ガス ガス事業者の供給規定による。埋設配管はPE管を原則とする。

・ 液化石油ガス 一般配管 ※ 合成樹脂被覆鋼管 ・ SGP (白) 地中埋設 ※ PE管

漏洩検知装置は、流量検知式圧力監視型とする。

3 液化石油ガスの供給権

ガス設備工事の施工者にガスの供給権は付帯しない。

○厨房設備

1 厨房機器の固定

原則として、移動を前提とする厨房機器を除き地震時に転倒及び位置ずれを起こさないよう、床又は壁に堅固に取り付ける。

2 シンク用栓

※レバー式泡沫水栓 ・ 自動水栓

3 安全装置の機能の運用

標準仕様書第5編1.6・1の表5.1.7安全装置の表中の△の項目はすべて適用とする。

舗装版切断時に発生する濁水の処理に係る特記仕様書

第1条 この特記仕様書は、埼玉県機械設備工事特別共通仕様書に定めるもののほか、アスファルト舗装版切断時に発生する濁水 (以下「濁水」という。) の処理に関し必要な事項を定めるものである。

第2条 受注者は、回収した濁水を次のとおり処理するものとする。

・ 種類及び処理量 汚泥 (油分を含む汚泥) m<sup>3</sup>

・ 中間処理施設 市 地内、 (株)

・ 処理方法 ・ 中間処理後、最終処分場へ搬入 (処理に焼却又は溶融含まず)

・ 中間処理後、最終処分場又は再資源化 (処理に焼却又は溶融を含む)

2 受注者は、別の中間処理施設を選定する場合には、事前に監督員と協議するものとする。

第3条 受注者は、舗装版切断作業を行いながら濁水可能な限り回収し、作業後速やかに回収した濁水を産業廃棄物の汚泥 (油分を含む汚泥) として中間処理施設に運搬及び処理するものとする。

2 受注者は、汚泥の中間処理業の許可を受けている業者と産業廃棄物処分委託契約を締結しなければならないものとする。

3 受注者は、自ら運搬を行う場合を除き、汚泥の収集運搬業の許可を受けている業者と産業廃棄物収集運搬委託契約を締結しなければならないものとする。

4 受注者は、濁水の処理に関する履行について、廃棄物の処理及び清掃に関する法律において定める産業廃棄物管理業 (以下「マニフェスト」という) により管理するものとする。

第4条 受注者は、施工計画において、濁水の回収、運搬及び処理に関する方法を定めなければならないものとする。また、中間処理業者及び収集運搬業者と第3条第3項及び第4項に基づき締結した委託契約書の写し及び許可証の写しを添付すること。

2 受注者は、工事検査時にマニフェスト原本を提示する。

第5条 濁水処理量については、舗装版の切断延長や切断厚が変わった場合を除き、原則として設計変更の対象としないものとする。

2 受注者は、舗装版切断時に濁水を生じない工法を使用する場合には、事前に監督員と協議するものとする。

3 この特記仕様書に疑義等が生じた場合については、別途監督員と協議するものとする。

概要	 <b>ハナガタ建築設計事務所</b> 一級建築士事務所 一級建築士 No.183598号 菅谷 隆	設計年月日	2021/11/15	承認	担当	製図	工事名称 <b>市立小・中学校屋内運動場空調設備設置工事 その1 (ゼロ債務)</b>	図番番号	M-2
		変更年月日		N.S	T.S	T.S	図面名称	縮尺	M-2
							機械設備工事 特記仕様書 (2)		



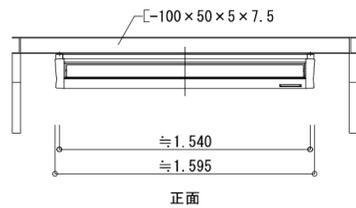
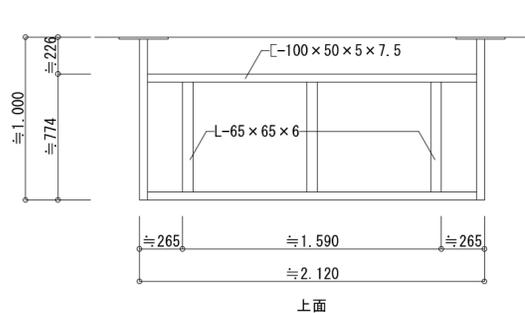
機器表

符 号	名 称	型 式	台 数	冷房能力 kW	暖房能力 kW	電 源 相・V・Hz	発電能力 kW	消費電力 kW		ガス消費量 kW		送風機	備 考
								冷房	暖房	冷房	暖房		
GHP-1	ガスヒートポンプエアコン 室外ユニット	電源自立型 床置型 20馬力 (親機)	1	56.0	63.0	1・200・50	2.5~3.5	1.02~1.22	0.95~1.05	44.8~65.3	42.6~53.2	プロペラファン×2	電源切替盤、自立スイッチ、防雪フード、防振ゴム、SUSアーカーボルト 参考：U-GB560S3SD
GHP1-1	ガスヒートポンプエアコン 室内ユニット	天井吊形 5馬力	1	14.0	16.0	1・200・50		0.084~0.253	0.084~0.253			シロッコファン	ワイヤードリモン、器具ガード、取付ブラケット 参考：S-G140TS1
GHP1-2	ガスヒートポンプエアコン 室内ユニット	天井吊形 5馬力	1	14.0	16.0	1・200・50		0.084~0.253	0.084~0.253			シロッコファン	ワイヤードリモン、器具ガード、取付ブラケット 参考：S-G140TS1
GHP1-3	ガスヒートポンプエアコン 室内ユニット	天井吊形 6馬力	1	16.0	18.0	1・200・50		0.103~0.343	0.103~0.343			シロッコファン	ワイヤードリモン、器具ガード、取付ブラケット 参考：S-G160TS1
GHP-2	ガスヒートポンプエアコン 室外ユニット	発電機搭載型 床置型 20馬力 (子機)	1	56.0	63.0	1・200・50	2.5~3.5	1.02~1.22	0.95~1.05	44.8~65.3	42.6~53.2	プロペラファン×2	防振ゴム、防雪フード、SUSアーカーボルト 参考：U-GWX560S3SD
GHP2-1	ガスヒートポンプエアコン 室内ユニット	天井吊形 5馬力	1	14.0	16.0	1・200・50		0.084~0.253	0.084~0.253			シロッコファン	ワイヤードリモン、器具ガード、取付ブラケット 参考：S-G140TS1
GHP2-2	ガスヒートポンプエアコン 室内ユニット	天井吊形 5馬力	1	14.0	16.0	1・200・50		0.084~0.253	0.084~0.253			シロッコファン	ワイヤードリモン、器具ガード、取付ブラケット 参考：S-G140TS1
GHP2-3	ガスヒートポンプエアコン 室内ユニット	天井吊形 5馬力	1	14.0	16.0	1・200・50		0.084~0.253	0.084~0.253			シロッコファン	ワイヤードリモン、器具ガード、取付ブラケット 参考：S-G140TS1
GHP2-4	ガスヒートポンプエアコン 室内ユニット	天井吊形 5馬力	1	14.0	16.0	1・200・50		0.084~0.253	0.084~0.253			シロッコファン	ワイヤードリモン、器具ガード、取付ブラケット 参考：S-G140TS1
GHP-3	ガスヒートポンプエアコン 室外ユニット	発電機搭載型 床置型 20馬力 (子機)	1	56.0	63.0	1・200・50	2.5~3.5	1.02~1.22	0.95~1.05	44.8~65.3	42.6~53.2	プロペラファン×2	防振ゴム、防雪フード、SUSアーカーボルト 参考：U-GWX560S3SD
GHP3-1	ガスヒートポンプエアコン 室内ユニット	天井吊形 5馬力	1	14.0	16.0	1・200・50		0.084~0.253	0.084~0.253			シロッコファン	ワイヤードリモン、器具ガード、取付ブラケット 参考：S-G140TS1
GHP3-2	ガスヒートポンプエアコン 室内ユニット	天井吊形 5馬力	1	14.0	16.0	1・200・50		0.084~0.253	0.084~0.253			シロッコファン	ワイヤードリモン、器具ガード、取付ブラケット 参考：S-G140TS1
GHP3-3	ガスヒートポンプエアコン 室内ユニット	天井吊形 5馬力	1	14.0	16.0	1・200・50		0.084~0.253	0.084~0.253			シロッコファン	ワイヤードリモン、器具ガード、取付ブラケット 参考：S-G140TS1
GHP3-4	ガスヒートポンプエアコン 室内ユニット	天井吊形 5馬力	1	14.0	16.0	1・200・50		0.084~0.253	0.084~0.253			シロッコファン	ワイヤードリモン、器具ガード、取付ブラケット 参考：S-G140TS1
RAC-1	ルームエアコン	壁掛形	1	2.8	3.6	1・100・50		0.75~0.77	0.867~0.87				ワイヤードリモン、冷媒管、ドレンホース、配管樹脂製化粧カバー、室外機樹脂架台 参考：S28YTCXS-W

※特記事項

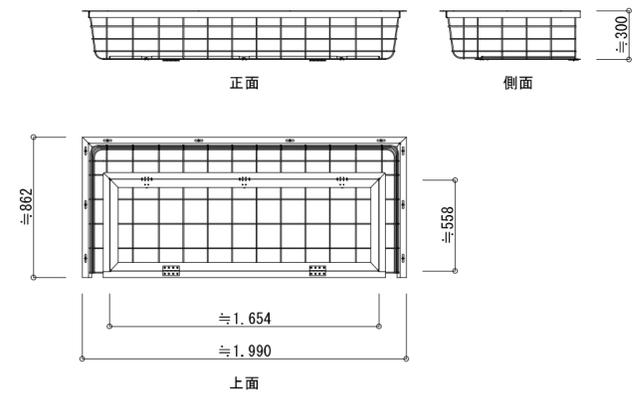
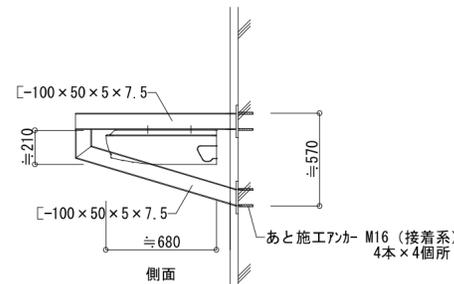
- 1、新設高天井用LED照明器具は常時使用可能とし、停電時に発電機回路に切り替わり使用出来るものとする。
- 2、新設コンセントは常時使用可能とし、停電時に発電機回路に切り替わり使用出来るものとする。

※発電能力、消費電力、ガス消費量は参考数値とする。



室内機取付図 S=1/30

防球ガード取付用ブラケット (参考図)



ポリエステル粉体塗装

防球ガード姿図 S=1/30

(参考図)

摘要



ハナガタ建築設計事務所

一級建築士事務所

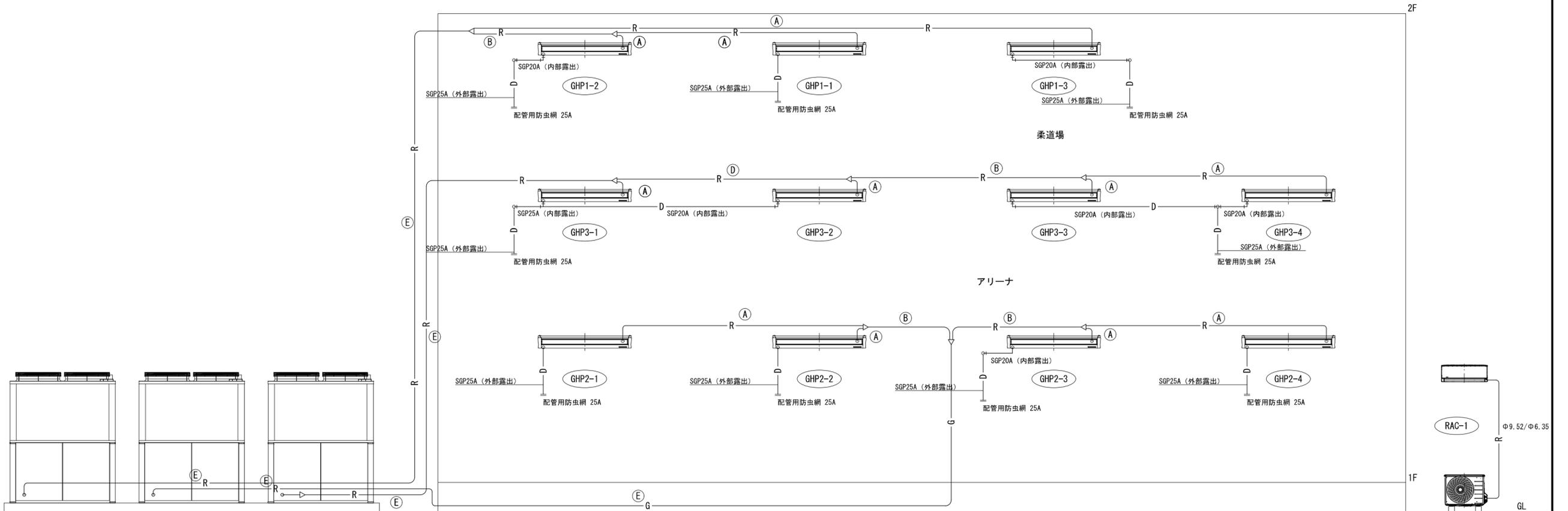
一級建築士NO.183598号 菅谷 隆

設計年月日	2021/11/15
変更年月日	

承認	担当	製図
N.S	T.S	T.S

工事名称	市立小・中学校屋内運動場空調設備設置工事 その1 (ゼロ債務)
図面名称	機械設備 機器表・室内機取付図
縮尺	S=1/30

図面番号	M-4
------	-----



GHP-1      GHP-2      GHP-3

※室外機据付用アンカーボルト  
M12×4本 3組

系 統 図

凡 例

- R — 冷媒配管 冷媒用被覆銅管
- D — ドレン配管 炭素鋼鋼管 SGP
- ⊞ R ⊞ リモコン収納箱

冷媒配管一覧		
符号	冷媒配管	室内外操作線
A	Φ15.88/Φ9.52	EM-CEE 2.0 <sup>□</sup> -2C ※冷媒配管に共巻き
B	Φ22.22/Φ9.52	
C	Φ25.4/Φ12.7	
D	Φ28.58/Φ12.7	
E	Φ28.58/Φ15.88	

富士見台中学校

摘要



ハナガタ建築設計事務所

一級建築士事務所

一級建築士 No. 183598号 菅谷 隆

設計年月日 2021/11/15

変更年月日

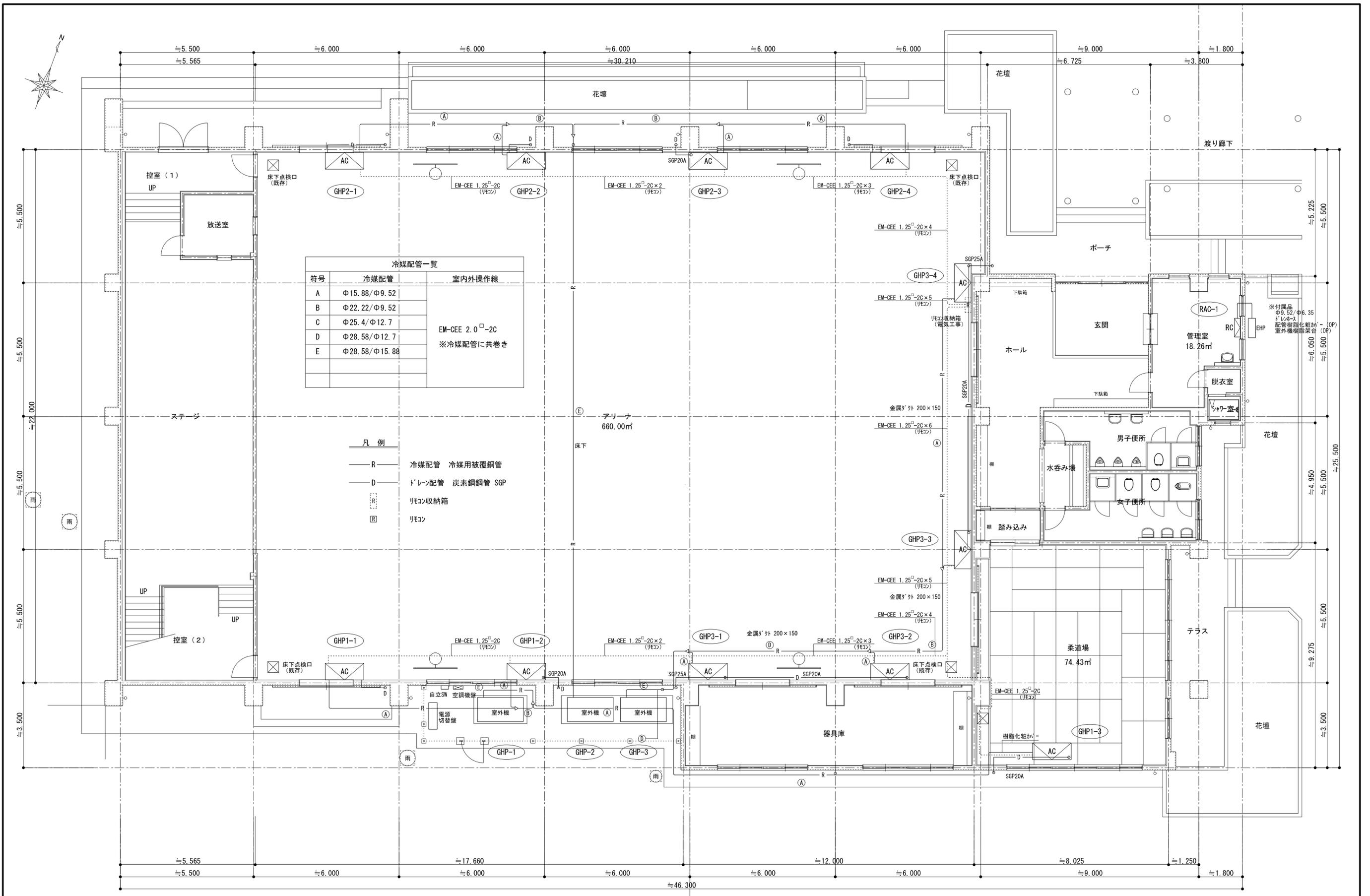
承認 担当 製図  
N.S T.S T.S

工事名称  
市立小・中学校屋内運動場空調設備設置工事 その1 (ゼロ債務)  
図面名称  
機械設備 系統図

図面番号

M-5

縮尺



冷媒配管一覧

符号	冷媒配管	室内外操作線
A	Φ15.88/Φ9.52	EM-CEE 2.0 <sup>□</sup> -2C ※冷媒配管に共巻き
B	Φ22.22/Φ9.52	
C	Φ25.4/Φ12.7	
D	Φ28.58/Φ12.7	
E	Φ28.58/Φ15.88	

- 凡例
- R — 冷媒配管 冷媒用被覆銅管
  - D — ドレイン配管 炭素鋼鋼管 SGP
  - ⋯ R ⋯ リモコン収納箱 (電気工事)
  - リモコン

1階平面図 S=1/100

摘要

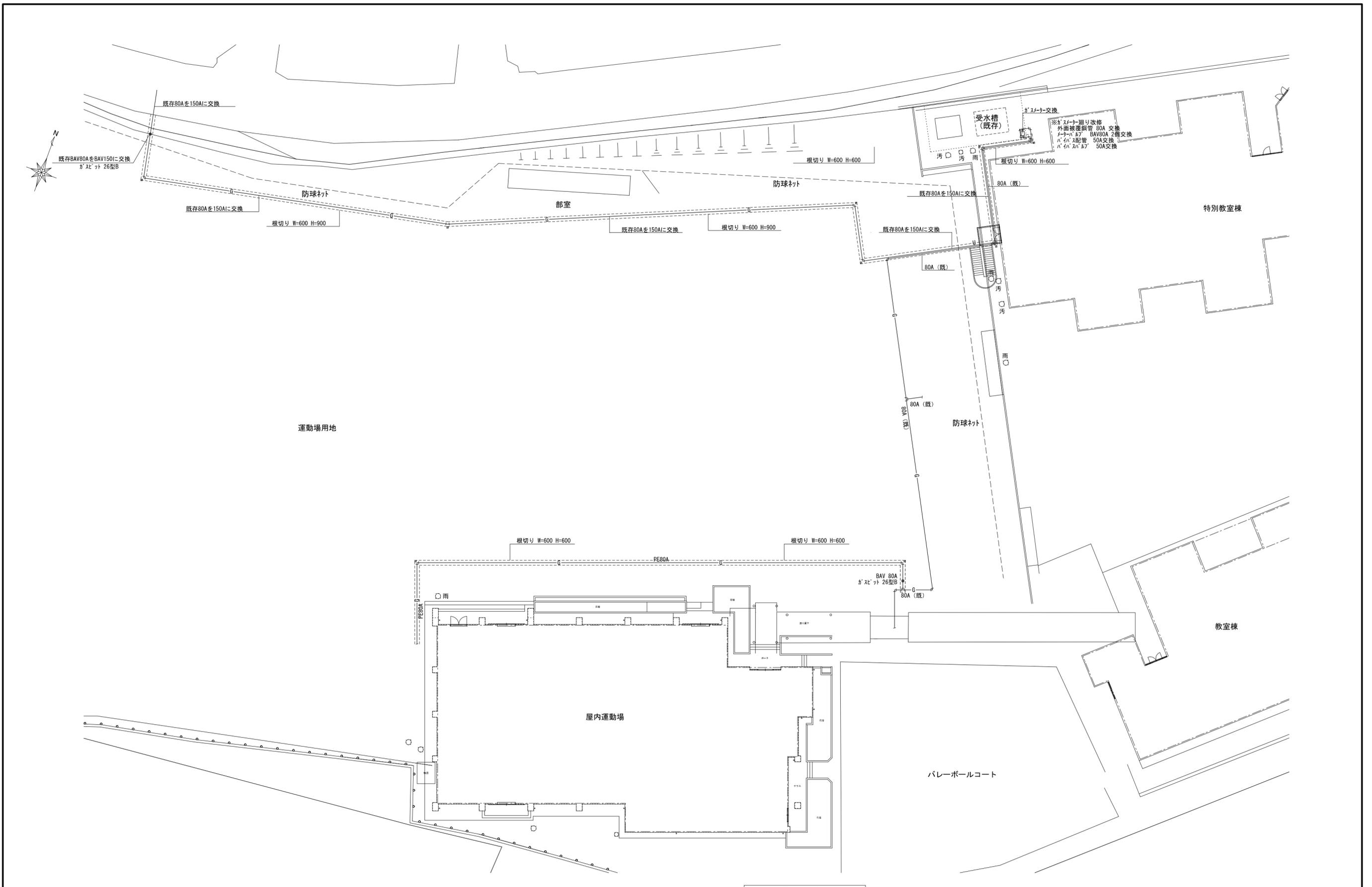
**ハナガタ建築設計事務所**  
 一級建築士事務所 一級建築士 No. 183598号 菅谷 隆

設計年月日 2021.11.15  
 変更年月日

承認 担当 製図  
 N.S T.S T.S

工事名称 市立小・中学校屋内運動場空調設備設置工事 その1 (ゼロ債務)  
 図面名称 電気設備 (空調) 1階平面図

図面番号 M-6  
 縮尺 S=1/100



配置図 S=1/300

富士見台中学校

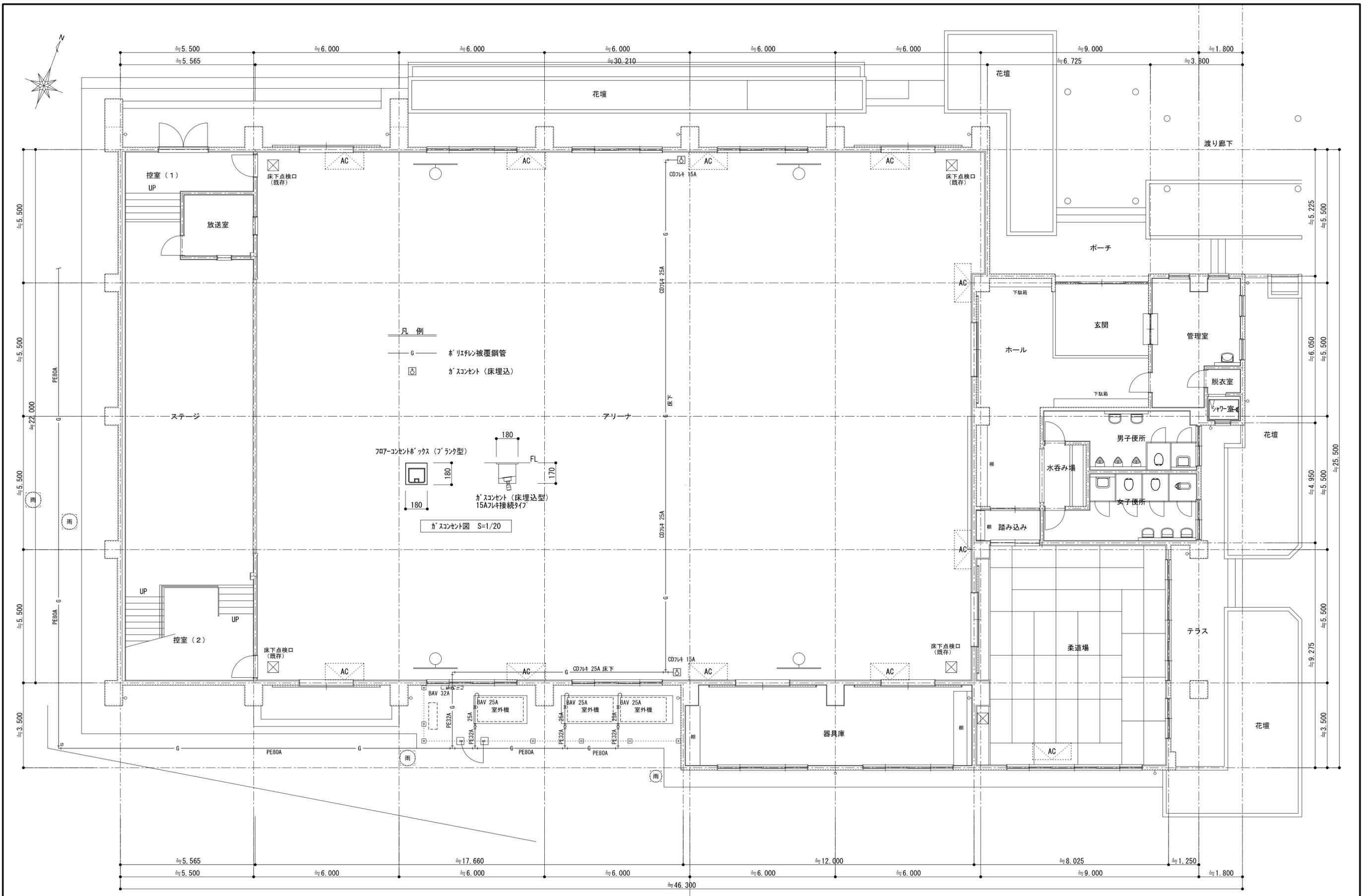
摘要


**ハナガタ建築設計事務所**  
 一級建築士事務所 一級建築士 no. 183598号 菅谷 隆

設計年月日	2021/11/15	承認	担当	製図
変更年月日		N.S	T.S	T.S

工事名称	市立小・中学校屋内運動場空調設備設置工事 その1 (ゼロ債務)
図面名称	機械設備 (ガス) 配置図
縮尺	S=1/300

図面番号	M-7 /
------	-------



摘要	


**ハナガタ建築設計事務所**  
 一級建築士事務所 一級建築士 No. 183598号 菅谷 隆

設計年月日	2021. 11. 15
変更年月日	

承認	担当	製図
N.S	T.S	T.S

工事名称	市立小・中学校屋内運動場空調設備設置工事 その1 (ゼロ債務)
図面名称	機械設備 (ガス) 1階平面図

図面番号	M-8
縮尺	S=1/100

富士見台中学校